au

VEGA PTL21

取扱説明書（詳細版）

4G LTE

ごあいさつ

このたびは、「VEGA（PTL21）」（以下、「本製品」と表記します）をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前に『取扱説明書』（本体付属品）または『取扱説明書（詳細版）』をお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。『取扱説明書』（本体付属品）を紛失されたときは、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

操作説明について

『取扱説明書』（本体付属品）では、主な機能の主な操作のみ説明しています。
さまざまな機能のより詳しい説明については、本書または本体内で利用できる『取扱説明書アプリケーション』をご参照ください。

■ 取扱説明書アプリケーション

本製品では、本体内で詳しい操作方法を確認できる『取扱説明書アプリケーション』を利用できます。
また、機能によっては説明画面からその機能を起動することができます。

1 ホーム画面で［アプリ］→［取扱説明書］

初めてご利用になる場合は、画面の指示に従ってアプリケーションをダウンロードして、インストールする必要があります。

■ 取扱説明書ダウンロード

『取扱説明書』（本体付属品）、『設定ガイド』、『取扱説明書（詳細版）』のPDFファイルをauホームページからダウンロードできます。
http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html

■ For Those Requiring an English/Korean/Simplified Chinese/Traditional Chinese/Portuguese Instruction Manual
英語版・韓国語版・中国語（簡体）版・中国語（繁体）版・ポルトガル語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of the Basic Manual from the au website (available from approximately one month after the product is released).
『取扱説明書・抜粋（英語版）』をauホームページからダウンロードできます（発売後約１ヶ月後から）。
Download URL: http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html

English/Korean/Simplified Chinese/Traditional Chinese/Portuguese Simple Manual can be read at the end of this manual.
簡易英語版／簡易韓国語版／簡易中国語（簡体）版／簡易中国語（繁体）版／簡易ポルトガル語版は、本書巻末でご覧いただけます。

安全上のご注意

本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。
故障とお考えになる前に、以下のauホームページのauお客さまサポートで症状をご確認ください。
http://cs.kddi.com/support/komatta/kosho/index.html

本製品をご利用いただくにあたって

- サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル・地下など）では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください。（ただし、LTE／CDMA／GSM／UMTS方式は通信上の高い秘話機能を備えております。）
- 本製品は国際ローミングサービス対応の携帯電話ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があり、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている携帯電話のIMEI情報を自動的にKDDI（株）に送信いたします。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が「取扱説明書」（本書）をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- 海外でご利用される場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。

■マナーも携帯！

- 電源を入れておくだけで、携帯電話からは常に弱い電波が出ています。周囲への心配りを忘れずに楽しく安全に使いましょう。
- 映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。
- 街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- 新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- 携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。

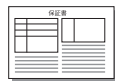
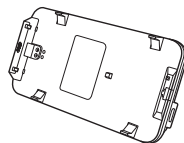
■周りの人への配慮も大切！

- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。携帯電話の電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

■こんな場所では、使用禁止！

- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- 航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。

- 取扱説明書（同梱版）
- 設定ガイド
- VEGA Motion はじめてガイド

以下のものは同梱されていません。

・microSDメモリカード	・ステレオイヤホン
・ACアダプタ	・microUSBケーブル

- 指定の充電用機器（別売）をお買い求めください。
- 本文中で使用している携帯電話のイラストはイメージです。実際の製品と違う場合があります。

目次

目次

安全上のご注意

本書の表記方法について

■ 掲載されているキー表示について

本書では、キーの図を次のように簡略化しています。

■ 項目／アイコン／キーなどを選択する操作の表記方法について

本書では、メニューの項目／アイコン／画面上のキーなどをタップ（▶P.51）する操作を、［(項目などの名称)］と省略して表記しています。

また、本書では縦表示での操作を基準に説明しています。横表示では、メニューの項目／アイコン／画面上のキーなどが異なる場合があります。

例：ホーム画面にウィジェットを追加する場合

1 ホーム画面で［ ⋮ ］→［ウィジェット］

追加可能なウィジェットが表示されます。
追加したいウィジェットを目的の場所までドラッグしてドロップします。

memo

- アプリケーションによっては、起動した際にホームやメニューなどの基本画面が表示されずに、前回起動時に最後に表示していた画面などが表示される場合があります。その場合は、⟲ を数回タップするとホームやメニューなどの基本画面が表示されます。本書では、⟲ を数回タップする操作を省略して、ホームやメニューなどの基本画面からの操作を記載しています。
- 本書では、キーや画面、アイコンは本体カラー「プレシャスホワイト」を例に説明しておりますが、実際のキーや画面とは字体や形状が異なっていたり、一部を省略している場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本書に記載されているメニューの項目やアイコンはご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。また、説明用に意図的にアイコンを追加したり移動している場合があります。
- 本書では「microSD™メモリカード」、「microSDHC™メモリカード」および「microSDXC™メモリカード」の名称を「microSDメモリカード」と省略しています。

■ 掲載されている画面表示について

本書に記載されている画面は、実際の画面とは異なる場合があります。

また、画面の上下を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本書の表記では、画面上部のアイコン類などは、省略されています。

実際の画面

本書の表記例

免責事項について

- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

※ 本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。

発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）

輸入元：Pantech Wireless Japan Inc.

製造元：Pantech Co., Ltd.

memo

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

●この「安全上のご注意」には本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。

●各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■表示の説明

⚠危険	この表示は「人が死亡または重傷（※1）を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
⚠警告	この表示は「人が死亡または重傷（※1）を負うことが想定される内容」を示しています。
⚠注意	この表示は「人が傷害（※2）を負うことが想定される内容や物的損害（※3）の発生が想定される内容」を示しています。

※1　重傷　　　：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。

※2　傷害　　　：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。

※3　物的損害：家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

■図記号の説明

	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	必ず実行していただくこと（強制）を示す記号です。
	電源プラグをコンセントから抜いていただく（強制）内容を示しています。

■本体、au Micro IC Card(LTE)、電池パック、充電用機器、周辺機器共通

⚠危険 必ず、下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源をお切りください。また、充電もしないでください。ガスに引火するおそれがあります。また、ガソリンスタンド構内などでNFC／おサイフケータイ®をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。（「NFC／おサイフケータイロック」を設定されている場合は、ロックを解除したうえで電源をお切りください。）

電子レンジなどの加熱調理機や高圧容器に入れないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。

接続端子をショートさせないでください。また、接続端子に導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れたり、内部に入らないようにしてください。火災や故障の原因となります。

金属製のアクセサリーなどをご使用になる場合は、充電の際に接続端子やコンセントなどに触れないように十分ご注意ください。感電・発火・傷害・故障の原因となります。

カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。レンズの集光作用により、発火・破裂・火災の原因となります。

お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などにより本製品本体や周辺機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。本製品の改造は電波法違反になります。

⚠警告　必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

落下させる、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・故障の原因となります。

屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。

接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

本製品が落下などによって破損し、ディスプレイが割れたり、機器内部が露出した場合、割れたディスプレイや露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをする場合があります。auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。

本製品は防水性能を有する機種ですが、万一、水などの液体が外部接続端子カバー、イヤホン端子カバー、電池フタなどから本体などに入った場合には、ご使用をやめてください。そのまま使用すると、発熱・発火・故障の原因となります。

電池フタを取り外す際、必要以上に力を入れないでください。電池パックが飛び出すなどして、けがや故障の原因となる場合があります。

自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩きながらの操作はしないでください。安全性を損ない、事故の原因となります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をおやめください。漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。

乳幼児の手が届く場所には置かないでください。小さな部品などの誤飲で窒息したり、誤って落下させたりするなど、事故や傷害の原因となる場合があります。

⚠注意　必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

直射日光の当たる場所（自動車内など）や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・発火・変形や故障の原因となる場合があります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。バイブレータ設定中は特にご注意ください。また、衝撃などにも十分ご注意ください。

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。火災、故障、傷害の原因となります。

外部から電源が供給されている状態の本体、指定のACアダプタ（別売）に長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。

本製品を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどの原因となる場合があります。

コンセントや配線器具は定格を超えて使用しないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

電池フタを外したまま使用しないでください。

腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。

本体から電池フタを外したまま、放置･保管しないでください。内部にほこりなどの異物が入ると故障の原因となります。

使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなどの異常が起きたときは使用をやめてください。充電中であれば、指定の充電用機器（別売）をコンセントまたはソケットから抜き、熱くないことを確認してから電源を切り、電池パックを外して、auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。また、落下したり、破損した場合なども、そのまま使用せず、auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。

イヤホンなどを本製品に挿入して使用する場合は、適度な音量に調節してください。音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると耳に悪い影響を与えるおそれがあります。また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。

イヤホンなどを本製品に挿入し音量を調節する場合は、少しずつ音量を上げて調節してください。始めから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳に悪い影響を与えるおそれがあります。

充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。また、正しい方向で抜き差ししてください。破損・故障の原因となります。

■本体について

⚠警告　必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。

航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

高精度な電子機器の近くでは本製品の電源をお切りください。電子機器に影響を与える場合があります。（影響を与えるおそれがある機器の例：心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電気機器・火災報知器・自動ドアなど。医用電気機器をお使いの場合は機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。）

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器や医用電気機器の近くで本製品を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。

1. 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている方は、本製品を植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器から22cm以上離して携行および使用してください。
2. 満員電車の中など混雑した場所では、付近に植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本製品の電源を切るよう心がけてください。
3. 医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。
   - 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本製品を持ち込まないでください。
   - 病棟内では、本製品の電源をお切りください。
   - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は本製品の電源をお切りください。
   - 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
4. 医療機関の外で、植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合（自宅療養など）は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

通話･メール･インターネット･撮影･ゲームなどをするときや、ワンセグ視聴したり、音楽を聴くときなどは周囲の安全を確認してください。転倒・交通事故の原因となります。

赤外線ポートを目に向けて赤外線送信しないでください。目に影響を与える可能性があります。また、その他赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。

モバイルライトをご使用になる場合は、人の目の前で発光させないでください。また、モバイルライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。視力低下などの障がいを引き起こす原因となります。特に乳幼児に対して至近距離で撮影しないでください。

自動車や原動機付自転車、自転車などの運転者に向けてモバイルライトを点灯させないでください。目がくらんで運転不能になり、事故を起こす原因となります。

ごくまれに、点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある人は、事前に医師とご相談ください。

⚠注意

必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

皮膚に異常を感じたときには直ちに使用をやめ、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質･体調によっては、かゆみ･かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

本製品で使用している各部品の材質は次の通りです。

■本体

使用箇所	使用材質	表面処理
外装ケース（ディスプレイパネル側）	PC＋GF強化樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
外装ケース（ディスプレイ枠部）	PC＋GF強化樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
外装ケース（操作キー側）	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
外装ケース（電池フタ側）	PC＋GF強化樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
電池フタ	PC＋GF強化樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
カメラレンズ部	アクリル樹脂	化学硬化処理
ディスプレイ（タッチパネル）	強化ガラス	強化熱処理および耐指紋コーティング
赤外線ポート部	アクリル樹脂	化学硬化処理
電源キー、音量キー	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
外部接続端子カバー	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
イヤホン端子カバー	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
充電端子	ステンレス	金メッキ
ワンセグアンテナ（ヘッド部）	PC＋GF強化樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
ワンセグアンテナ（パイプ部）	ステンレス	ニッケルメッキ

■卓上ホルダ

使用箇所	使用材質	表面処理
外装ケース（フロント、リア）	ABS樹脂	表面処理なし
スタンド脚部	ABS樹脂	表面処理なし
上／下のクリップ	POM樹脂	表面処理なし
サイドクリップ部	POM樹脂	表面処理なし
端子レバー	POM樹脂	表面処理なし
滑り止めラバー	PU樹脂	表面処理なし
端子部	銅合金	金メッキ
microUSB接続端子	銅合金	金メッキ

キャッシュカード・フロッピーディスク・クレジットカード・テレホンカードなどの磁気を帯びたものを近づけたりしないでください。記録内容が消失される場合があります。

microSDメモリカードスロットに液体、金属体、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災、感電、故障の原因となります。

ストラップなどを持って、本製品を振り回さないでください。けがなどの事故や破損の原因となることがあります。

通常は外部接続端子カバー、イヤホン端子カバーなどを閉めた状態で使用してください。カバーを閉めずに使用すると、ほこり・水などが入り故障の原因となります。

テレビ（ワンセグ）視聴時以外ではワンセグアンテナを収納してください。ワンセグアンテナを引き出したままで通話などをすると顔などにあたり思わぬけがの原因となります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

本体の吸着物にご注意ください。受話口（レシーバー）部などに磁石を使用しているため、画鋲やピン・カッターの刃、ホチキス針などの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。ご使用の際、受話口（レシーバー）部などに異物がないかを必ず確かめてください。

砂浜などの上に直に置かないでください。受話口、送話口、スピーカーなどに砂などが入り音が小さくなったり、本製品本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

通話・通信中などの使用中は、本体が熱くなることがありますので、長時間直接肌に触れさせたり、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。火災・やけど・故障の原因となる場合があります。

■電池パックについて

Li-ion 00

（本製品の電池パックは、リチウムイオン電池です。）電池パックはお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。

⚠危険 必ず、下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

電池パックのプラス（+）とマイナス（−）をショートさせないでください。

電池パックを本製品に接続するときは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると、破裂・火災・発熱の原因となります。また、うまく接続できないときは無理せず、接続部を十分に確認してから接続してください。

釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏み付けたりしないでください。発火や破損の原因となります。

持ち運ぶ際や保管するときは、金属片（ネックレスやヘアピンなど）などと接続端子が触れないようにしてください。ショートによる火災や故障の原因となる場合があります。

分解・改造をしたり、直接ハンダ付けをしたりしないでください。電池内部の液が飛び出し、目に入ったりして失明などの事故や、発熱・発火・破裂の原因となります。

落としたり、踏み付けたり、破損や液漏れした電池パックは使用しないでください。液漏れや異臭がするときは直ちに火気から遠ざけてください。漏れた液に引火し、発火・破裂の原因となります。

電池パックを水や海水・ペットの尿などで濡らさないでください。電池パックが濡れると発熱・破裂・発火の原因となります。誤って水などに落としたときは、直ちに電源を切り、電池パックを外して、auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。また、濡れた電池パックは充電をしないでください。

液漏れして皮膚や衣服に付着した場合は、傷害をおこすおそれがありますので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがありますのでこすらずに水で洗ったあと直ちに医師の診断を受けてください。機器に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

電池パックは消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめになり、指定の新しい電池パックをお買い求めください。発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。なお、寿命は使用状態などにより異なります。

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。電池パックの漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。

■充電用機器について

⚠警告 必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電などの原因となります。

- 卓上ホルダ：DC5.0V
- 共通ACアダプタ01（別売）：AC100V（日本国内家庭用）
  単相200Vでの充電あるいは海外旅行用変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 上記以外の海外で充電可能なACアダプタ（別売）：AC100V～240V
- DCアダプタ（別売）：DC12V・24V（マイナスアース車専用）

指定の充電用機器（別売）の電源プラグはコンセントまたはシガーライタソケットに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、感電や発熱・発火による火災の原因となります。指定の充電用機器（別売）が傷んでいるときや、コンセントまたはシガーライタソケットの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

共通DCアダプタ01／03（別売）のヒューズが切れたときは、指定（定格250V、1A）のヒューズと交換してください。指定以外のヒューズと交換すると、発熱・発火の原因となります。（ヒューズの交換は、共通DCアダプタ01／03（別売）の取扱説明書をよくご確認ください。）

指定の充電用機器（別売）のケーブルを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、傷んだケーブルは使用しないでください。感電・ショート・火災の原因となります。

接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

雷が鳴り出したら電源プラグに触れないでください。落雷による感電などの原因となります。

お手入れをするときは、指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、感電や回路のショートの原因となります。また、指定の充電用機器（別売）の電源プラグに付いたほこりは拭き取ってください。そのまま放置すると火災の原因となります。

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。火災、やけど、感電の原因となります。

車載機器などは、運転操作やエアーバッグなどの安全装置の妨げにならない位置に設置・配置してください。交通事故の原因となります。車載機器の取扱説明書に従って設置してください。

長時間使用しない場合はACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いておいてください。感電・火災・故障の原因となります。

水やペットの尿など液体が直接かからない場所でご使用ください。発熱・火災・感電・電子回路のショートによる故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちにACアダプタの電源プラグを抜いてください。

卓上ホルダを自動車内で使用しないでください。落下・運転の妨げにより故障の原因となります。卓上ホルダは室内の安定した場所での使用を前提としています。

⚠注意　必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

風呂場などの湿気の多い場所で使用したり、濡れた手でACアダプタを抜き差ししないでください。感電や故障の原因となります。

充電は安定した場所で行ってください。傾いたところやぐらついた台などに置くと、落下してけがや破損の原因となります。特にバイブレータ設定中はご注意ください。また、布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。火災や故障の原因となります。

指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。

共通DCアダプタ01 ／ 03（別売）は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。車のバッテリー消耗の原因となります。

本体から電池パックを外した状態で指定の充電用機器（別売）を差したまま放置しないでください。発火・感電の原因となります。

■au Micro IC Card(LTE)について

⚠警告 必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器にau Micro IC Card(LTE)を入れないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

⚠注意 必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

au Micro IC Card(LTE)の取り付け・取り外しの際にご注意ください。手や指を傷付ける可能性があります。

au Micro IC Card(LTE)を使用する機器は、当社が指定したものをご使用ください。指定品以外のものを使用した場合はデータの消失や故障の原因となります。
指定品については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

au Micro IC Card(LTE)を分解、改造しないでください。データの消失・故障の原因となります。

au Micro IC Card(LTE)を火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。溶損·発熱·発煙·データの消失・故障の原因となります。

au Micro IC Card(LTE)を火の中に入れたり、加熱したりしないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

au Micro IC Card(LTE)のIC（金属）部分を不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの消失・故障の原因となります。

au Micro IC Card(LTE)を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。

au Micro IC Card(LTE)を折ったり、曲げたり、重い物を載せたりしないでください。故障の原因となります。

au Micro IC Card(LTE)を濡らさないでください。故障の原因となります。

au Micro IC Card(LTE)のIC（金属）部分を傷付けないでください。故障の原因となります。

au Micro IC Card(LTE)はほこりの多い場所には保管しないでください。故障の原因となります。

au Micro IC Card(LTE)保管の際には、直射日光が当たる場所や高温多湿な場所には置かないでください。故障の原因となります。

au Micro IC Card(LTE)は、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込むと、窒息や傷害などの原因となります。

取り扱い上のお願い

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ 本体・au Micro IC Card(LTE)・電池パック・充電用機器・周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
  また、外部接続器を外部接続端子やイヤホン端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 本製品の防水性能(IPX5、IPX7相当)を発揮するために、電池フタ、外部接続端子カバー、イヤホン端子カバーをしっかりと取り付けた状態で、ご使用ください。
  ただし、すべてのご使用状況について保証するものではありません。本製品内部に水を侵入させたり、電池パックや充電用機器、オプション品に水をかけたりしないでください。雨の中や水滴がついたままでの電池フタの取り付け/取り外し、外部接続端子カバー、イヤホン端子カバーの開閉は行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。
  調査の結果、これらの水濡れの侵入による故障と判明した場合、保証対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度 5℃～ 35℃、湿度35% ～ 85%の範囲内でご使用ください。)
  - 充電用機器
  - 周辺機器
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度 5℃～ 35℃、湿度は35% ～ 90%の範囲内でご使用ください。ただし、36℃～ 40℃であれば一時的な利用は可能です。)
  - VEGA(PTL21)本体
  - 電池パック・au Micro IC Card(LTE)(VEGA(PTL21)本体に装着された状態)
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- 接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて接続端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、外装の印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 音声通話中、カメラ機能動作中および充電中など、ご使用状況によっては本体が温かくなることがありますが異常ではありません。ただし手や顔などが触れる場合はご注意ください。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が「取扱説明書」(本書)をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- 電池パックは電源を切ってから取り外してください。電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されたデータが変化・消失するおそれがあります。

■ 本体について

- 強く押す、たたくなど、故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や、破損の原因となることがあります。
- ボタンやディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。正しく動作しないだけでなく、ディスプレイへの傷の発生や、破損の原因となる場合があります。
- ご購入時はディスプレイに保護シートが貼られています。シート類（市販の保護シートなど）を貼る場合は、ご購入時に貼られていた保護シートは取り外してから貼付してください。なお、シールやシート類の製品によってはタッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- 爪先でタッチ操作をしないでください。爪が割れたり、突き指などけがの原因となる場合があります。
- ディスプレイ表面が汚れていたり、汗や水で濡れていると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でディスプレイ表面を乾拭きしてください。
- 電池パックを取り外したところに貼ってあるIMEIの印刷されたシールは、お客様が使用されている本製品および通信モジュールが電波法および電気通信事業法に適合したものであることを証明するものですので、はがさないでください。
- 改造されたau電話は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。

  本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク㊜」が本製品本体の銘板シールに表示されております。
  本製品本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 本製品は不正改造を防止するために容易に分解できない構造になっています。また、改造することは電波法で禁止されています。
- 本製品に登録された連絡先・メール・ブックマークなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に保存されたコンテンツデータ（有料・無料を問わない）などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- 撮影などした写真／動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。

  強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

- ポケットやカバンなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材がディスプレイに触れるストラップは、傷の発生や破損の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります（結露といいます）。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- ディスプレイを拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。濡らした布やガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。
- 外部接続端子に外部機器を接続するときは、外部接続端子に対して外部機器のコネクタがまっすぐになるように抜き差ししてください。
- 外部接続端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品の回収にご協力ください。auショップなどで本製品の回収をおこなっております。
- 本製品のmicroSDメモリカードスロットには、microSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。
- microSDメモリカードの取り付け・取り外しの際に、必要以上の力を入れないでください。手や指を傷付ける場合があります。
- microSDメモリカードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電池パックを取り外したり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 受話音声をお聞きになるときは、受話口が耳の中央にあたるようにしてお使いください。受話口（音声穴）が耳周囲にふさがれて音声が聞きづらくなる場合があります。
- 送話口をおおって相手の方に声が伝わらないようにしても、相手の方に声が伝わりますのでご注意ください。
- ハンズフリー通話をご使用の際はスピーカーから大きな音が出る場合があります。耳から十分に離すなど、注意してご使用ください。
- 電池フタ内側の黒いシートは、はがさないでください。シートをはがすと、FeliCaの読み書きができなくなる場合があります。
- 近接センサーの上にシールなどを貼ると、センサーが誤動作し着信中や通話中にディスプレイの表示が常に消え、操作が行えなくなる場合がありますのでご注意ください。

■ タッチパネルについて

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。正しく動作しないだけでなく、ディスプレイへの傷の発生や、破損の原因となる場合があります。
- ご購入時はディスプレイに保護シートが貼られています。シート類（市販の保護シートなど）を貼る場合は、ご購入時に貼られていた保護シートは取り外してから貼付してください。なお、シールやシート類の製品によってはタッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- 爪先でタッチ操作をしないでください。爪が割れたり、突き指などけがの原因となる場合があります。
- ディスプレイ表面が汚れていたり、汗や水で濡れていると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でディスプレイ表面を乾拭きしてください。
- ポケットやカバンなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。

■ 電池パックについて

- 夏期、閉めきった（自動車）車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では電池パックの容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、電池パックの寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
- 長時間使用しない場合は、本体から電池フタを外して電池パックを外し、高温多湿を避けて保管してください。
- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。
- 電池パックには寿命があります。充電しても機能が回復しない場合は寿命ですので、指定の電池パックをご購入ください。なお、寿命は使用状態などによって異なります。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった電池パックの回収にご協力ください。auショップなどで使用済み電池パックの回収を行っております。
- 電池パックは、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■ 充電用機器について

- ご使用にならないときは、指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから外してください。
- 指定の充電用機器（別売）の電源コードをアダプタ本体に巻きつけないでください。感電、発熱、火災の原因となります。
- 充電用機器のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。感電、発熱、火災の原因となります。

■ au Micro IC Card(LTE)について

- au Micro IC Card(LTE)は、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますのでご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。
- au Micro IC Card(LTE)の取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどに、au Micro IC Card(LTE)を挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au Micro IC Card(LTE)のIC（金属）部分はいつもきれいな状態でご使用ください。お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）などで拭いてください。
- au Micro IC Card(LTE)にシールなどを貼らないでください。
- 変換アダプタを取り付けたau Micro IC Card(LTE)を挿入しないでください。故障の原因になります。

■ カメラ機能について

- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえご使用ください。
- 本製品の故障・修理・その他の取り扱いによって、撮影した画像データが変化または消失することがあり、この場合、当社は変化または消失したデータの修復や、データの変化または消失によって生じた損害、逸失利益について一切の責任を負いません。
- 大切な撮影（結婚式など）をするときは、試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 販売されている書籍や、撮影の許可されていない情報の記録には使用しないでください。
- カメラのレンズに直射日光が当たる状態で放置しないでください。素子の退色・焼付けを起こすことがあります。

■ 音楽／動画／テレビ（ワンセグ）機能について

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画およびテレビ（ワンセグ）を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています（自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります）。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れにご注意ください。

■ 著作権・肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。

  また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。
  なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影したフォトなどをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

<本製品の記録内容の控え作成のお願い>

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控え※をお取りください。
  本製品のメモリは、静電気・故障など不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化することがあります。

※ 控え作成の手段

- 連絡先のデータや、音楽データ、撮影したフォトやムービーなど、重要なデータはmicroSDメモリカードに保存しておいてください。または、メールに添付して送信したり、パソコンに転送しておいてください。ただし、上記の手段でも控えが作成できないデータがあります。あらかじめご了承ください。

ご利用いただく各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。
ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

● 暗証番号

使用例	**① お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合**
	② お客さまセンター音声応答、au ホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

● ロック解除用暗証番号

使用例	画面ロックなどの設定／解除をする場合
初期値	1234

● PIN コード

使用例	第三者による au Micro IC Card(LTE) の無断使用を防ぐ場合
初期値	1234

● パスワード（NFC ／おサイフケータイロック設定）

使用例	「NFC ／おサイフケータイロック」を利用する場合
初期値	1234

プライバシーを守るための機能について

保存されているデータのプライバシーを守るために、本製品には次のような機能が用意されています。

機能	設定方法
画面のロック	設定方法は、「画面のロック」（▶ P.262）をご参照ください。
NFC ／おサイフケータイロック	設定方法は、「NFC ／おサイフケータイ®（FeliCa）をロック／解除する」（▶ P.226）をご参照ください。
テキストメモのパスワードロック	設定方法は、「ロック機能を利用する」（▶ P.237）をご参照ください。

PIN コードについて

■ PIN コード

第三者による au Micro IC Card(LTE) の無断使用を防ぐために、電源を入れるたびに PIN コードの入力を必要にすることができます。また、PIN コードの入力要否を設定する場合にも入力が必要となります。PIN コードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PIN ロック解除コードを利用して解除できます。

- お買い上げ時の PIN コードは「1234」、入力要否は入力不要な設定になっていますが、お客様の必要に応じて PIN コードは4～8桁のお好きな番号、入力要否は入力必要な設定に変更できます。

■PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au Micro IC Card(LTE)が取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・PiPitもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

memo

- 「PINコード」は「データの初期化」を行ってもリセットされません。

防水／防塵性能に関するご注意

本製品は外部接続端子カバー、イヤホン端子カバー、電池フタが完全に装着された状態でIPX5※1相当、IPX7※2相当の防水性能およびIP5X※3相当の防塵性能を有しております（当社試験方法による）。具体的には、雨（1時間の雨量が20mm未満）の中、傘をささずに濡れた手で持って通話したり、お風呂やキッチンなど水がある場所でもお使いいただけます。

正しくお使いいただくために、「ご使用にあたっての重要事項」「快適にお使いいただくために」の内容をよくお読みになってからご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障のおそれがあります。

※1 IPX5相当とは、内径6.3mmのノズルを用いて、約3mの距離から約12.5リットル／分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、電話機としての性能を保つことです。

※2 IPX7相当とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mの水槽に静かに本製品を沈めた状態で約30分間、水底に放置しても本体内部に浸水せず、電話機としての性能を保つことです。

※3 IP5X相当とは、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れて攪拌（かくはん）させ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全に維持することを意味します。

利用シーンは、上記条件で確認しており、実際の使用時、すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となります。

ご使用にあたっての重要事項

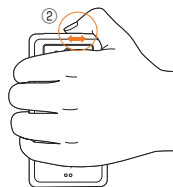
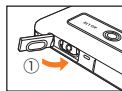
① 外部接続端子カバー、イヤホン端子カバーをしっかり閉じ、電池フタは完全に装着した状態にしてください。

- 完全に閉まっていることで防水・防塵性能が発揮されます。
- 接触面に微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかでも挟まると水や粉塵が浸入する原因となります。
- 手や本体が濡れている状態での外部接続端子カバー、イヤホン端子カバー、電池フタの開閉は絶対にしないでください。

外部接続端子カバー、イヤホン端子カバーの閉じかた

例：イヤホン端子カバーを閉じる場合

カバーのヒンジを収納してからイヤホン端子カバー①のカバー全体を指の腹で押し込んでください。

その後に②の矢印の方向になぞり、カバーが浮いていることのないように確実に閉じてください。

② 石けん、洗剤、入浴剤の入った水には浸けないでください。
③ 海水、プール、温泉の中に浸けないでください。
④ 水以外の液体（アルコールなど）に浸けないでください。
⑤ 砂浜などの上に直に置かないでください。受話口、送話口、スピーカーなどに砂などが入り音が小さくなったり、本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。
⑥ 水中で使用しないでください。
⑦ お風呂、台所など、湿気の多い場所には長時間放置しないでください。

石けん／洗剤／入浴剤

海水

温泉

砂／泥

快適にお使いいただくために

- 水濡れ後は本体の隙間に水がたまっている場合があります。
  よく振って水を抜いてください。特に電池フタおよびキー部内の水を抜いてください。
- 水抜き後も、水分が残っている場合があります。ご使用にはさしつかえありませんが、濡れては困るもののそばには置かないでください。また、服やかばんの中などを濡らすおそれがありますのでご注意ください。
- 送話口、受話口に水がたまり、一時的に音が聞こえにくくなった場合は水抜きを行ってください。（▶P.29「水に濡れたときの水抜きについて」）
- ディスプレイが汚れていたり汗や水で濡れていると、タッチパネルが誤動作する場合があります。その場合はディスプレイの表面をきれいに拭き取ってください。

■ 利用シーン別注意事項

『雨の中』

雨の中、傘をささずに濡れた手で持って通話できます。

- 雨とは、「やや強い雨」の場合。（1時間の雨量が20mm未満まで）
- ディスプレイに水滴が付着していると、タッチパネルが誤動作する場合があります。
- 雨がかかっている最中、または手が濡れている状態での外部接続端子カバー、イヤホン端子カバー、電池フタの開閉は絶対にしないでください。

『シャワー』

シャワーを浴びた濡れた手で持って通話できます。

- 耐水圧設計ではないので高い水圧が直接かかるようなご使用はしないでください。

『洗う』

やや弱めの水流（6リットル／分以下）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温（5℃～35℃）の水道水で洗えます。

- 耐水圧設計ではないので高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
- 洗うときは電池フタをしっかり閉じた状態で、外部接続端子カバーやイヤホン端子カバーが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- 石けん、洗剤などの水道水以外のものをかけたり浸けたりしないでください。

『お風呂』

お風呂で使用できます。濡れた手で通話できますが、湯船には浸けないでください。耐熱設計ではありません。

- お風呂場での長時間のご使用はおやめください。防湿仕様ではありません。
- 温泉や石けん、洗剤、入浴剤の入った水には浸けないでください。また、水中で使用しないでください。故障の原因となります。
- 急激な温度変化は、結露の原因となります。寒い場所から暖かいお風呂場などに本製品を持ち込むときは、本体が常温になってから持ち込んでください。
- ディスプレイの内側に結露が発生した場合、結露が取れるまで常温で放置してください。
- テレビ（ワンセグ）などを見るときは安定した場所に置いてご使用ください。
- 高温のお湯をかけないでください。耐熱設計ではありません。
- 卓上ホルダをお風呂場へ持ち込まないでください。

『キッチン』

キッチンなど水を使う場所でも使用できます。

- 石けん、洗剤、調味料、ジュースなど水道水以外のものをかけたり浸けたりしないでください。
- 熱湯に浸けたり、かけたりしないでください。耐熱設計ではありません。
- コンロのそばや冷蔵庫の中など、極端に高温・低温になる場所に置かないでください。
- テレビ（ワンセグ）などを見るときは安定した場所に置いてご使用ください。

■ 共通注意事項

- 外部接続端子カバー、イヤホン端子カバー、電池フタについて

  外部接続端子カバー、イヤホン端子カバーはしっかりと閉じ、電池フタは完全に装着した状態にしてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかでも挟まると水や粉塵が浸入する原因となります。外部接続端子カバーやイヤホン端子カバーを開閉したり、電池フタを取り外し、取り付ける際は手袋などをしたまま操作しないでください。接触面は微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかでも挟まると水や粉塵が浸入する原因となります。カバーを閉じる際、わずかでも水滴・汚れなどが付着している場合は、乾いた清潔な布で拭き取ってください。外部接続端子カバー、イヤホン端子カバー、電池フタに劣化･破損があるときは、防水･防塵性能を維持できません。これらのときは、お近くのauショップまでご連絡ください。

- 水以外が付着した場合

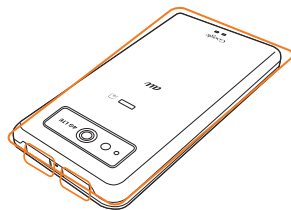
  万一、水以外（海水・洗剤・アルコールなど）が付着してしまった場合、すぐに水で洗い流してください。

  やや弱めの水流（6リットル／分以下）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温（5℃～35℃）の水道水で洗えます。汚れた場合、ブラシなどは使用せず、電池フタ、外部接続端子カバー、イヤホン端子カバーが開かないように押さえながら手で洗ってください。

- 水に濡れた後は

  水濡れ後は水抜きをし、電池フタを外さないで、本体、電池フタとも乾いた清潔な布で水を拭き取ってください。寒冷地では本体に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因となります。水滴が付着したまま放置しないでください。（本製品は、結露に関しては特別な対策を実施しておりません。）

- ゴムパッキンについて

  外部接続端子カバー、イヤホン端子カバー周囲のゴムパッキン、電池フタのゴムパッキンは、防水・防塵性能を維持するため大切な役割をしています。傷付けたり、はがしたりしないでください。外部接続端子カバー、イヤホン端子カバー、電池フタを閉める際はゴムパッキンを噛み込まないようご注意ください。

  噛み込んだまま無理に閉めようとすると、ゴムパッキンが傷付き、防水･防塵性能が維持できなくなる場合があります。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかでも挟まると水や粉塵が浸入する原因となります。水以外の液体（アルコールなど）が付着した場合は耐久性能を維持できなくなる場合があります。外部接続端子カバー、イヤホン端子カバー、電池フタの隙間に、先のとがったものを差し込まないでください。本体が破損・変形したり、ゴムパッキンが傷付くおそれがあり、水や粉塵が浸入する原因となります。防水･防塵性能を維持するための部品は、異常の有無にかかわらず2年（有償）ごとに交換することをおすすめします。部品の交換については､お近くのauショップまでご連絡ください。

- 充電について

  本体が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。付属品、オプション品は防水・防塵性能を有しておりません。

- 防水性能について

  耐水圧設計ではありませんので、高い水圧がかかる場所（蛇口・シャワーなど）でのご使用や、水中に長時間沈めることはおやめください。また、規定以上の強い水流（6リットル／分以上の水流：例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。本製品はIPX5相当の防水性能を有しておりますが､故障の原因となります。洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。本製品は水に浮きません。

- 耐熱性について

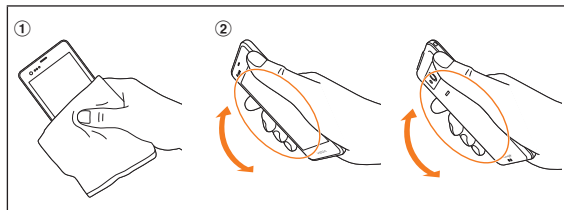
  熱湯・サウナ・熱風（ドライヤーなど）は使用しないでください。
  本製品は耐熱設計ではありません。
- 衝撃について

  本製品は耐衝撃性能を有しておりません。落下させたり、衝撃を与えないでください。また、受話口、送話口、スピーカーなどを綿棒やとがったものでつつかないでください。本体が破損・変形するおそれがあり、水や粉塵が浸入する原因となります。

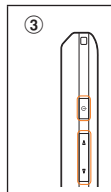
■水に濡れたときの水抜きについて

本製品を水に濡らした場合、非耐水エリアがありますので、そのまま使用すると衣服やかばんなどを濡らす場合や音が聞こえにくくなる場合があります。
下記手順で水抜きを行ってください。

① 本体に付着した水分を乾いたタオル・布などでよく拭き取ってください。

② 本製品をしっかり持ち、図のように矢印の方向に20回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。
本製品を振るときは、周囲の安全を確認し、落とさないようにしっかり握ってください。

③ 　および 　 をタオルや布などでおおい、各キーを2～3回押します。

④ 内部より出てきた水分を乾いた布などで拭き取ってください。

⑤ 乾いたタオル・布などを下に敷き、常温で放置して乾燥させてください。（1～2時間程度）
乾燥が不十分の場合、音が聞こえにくくなります。十分に放置して乾燥させてからご使用ください。

■充電のときは

付属品、オプション品は防水･防塵性能を有しておりません。充電時、および充電後には次の点をご確認ください。

- 本体が濡れている状態では絶対に充電しないでください。感電や電子回路のショートなどによる火災・故障の原因となります。
- 本体が濡れていないかご確認ください。水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから、卓上ホルダに差し込んだり、外部接続端子カバーを開いたりしてください。
- 外部接続端子カバーを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとカバーを閉じてください。外部接続端子カバーからの水や粉塵の浸入を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。
- 濡れた手で指定の充電用機器（別売）、卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。
- 指定の充電用機器（別売）、卓上ホルダは、水のかからない状態で使用し、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水まわりでは使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。また、充電しないときでも、お風呂場などに持ち込まないでください。火災・感電の原因となります。

Bluetooth® ／無線LAN（Wi-Fi®）機能について

- 本製品のBluetooth®機能および無線LAN（Wi-Fi®）機能は、日本国内規格、FCC ／ CE規格に準拠し、認証を取得しています。
- 無線LAN（Wi-Fi®）やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LAN（Wi-Fi®）アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 航空機内での使用はできません。Wi-Fi®対応の航空機内であっても、必ず電源をお切りください。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

2.4GHz帯ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能／無線LAN（Wi-Fi®）機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

① 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
② 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
③ ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

memo

- 本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）対応機器との動作を保証するものではありません。
- 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）によるデータ通信を行う際はご注意ください。
- 無線LAN（Wi-Fi®）は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

- Bluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- Bluetooth®と無線LAN（Wi-Fi®）は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LAN（Wi-Fi®）のいずれかの使用を中止してください。

本製品のBluetooth®機能および無線LAN（Wi-Fi®）機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。

2.4FH1/DS4/OF4/XX8

- Bluetooth®機能：2.4FH1/XX8

  本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。XX8はその他の方式を採用し、与干渉距離は約80m以下です。
- 無線LAN（Wi-Fi®）機能：2.4DS4/OF4

  本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。

全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。
利用可能なチャンネルは、国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

5GHz帯ご使用上の注意

本製品の無線LAN（Wi-Fi®）機能は5GHz帯を使用します。電波法により5.2GHz帯および5.3GHz帯の屋外利用は禁止されております。
本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。
W52 (5.2GHz帯 / 36, 40, 44, 48ch)
W53 (5.3GHz帯 / 52, 56, 60, 64ch)
W56 (5.6GHz帯 / 100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch)

IEEE802.11b/g/n		
IEEE802.11a/n		
W52	W53	W56

パケット通信料についてのご注意

- 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にパケット通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
- 本製品でのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、Eメールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、パケット通信料は有料となります。
  ※ Wi-Fi® 接続の場合はパケット通信料はかかりません。

Google Play ／ au Market ／アプリケーションについて

- アプリケーションのインストールは、安全であることをご確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウィルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより、お客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、microSD メモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。
- アプリケーションの中には動作中スリープモードに入らなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
- 本製品に搭載されているアプリケーションやインストールしたアプリケーションはアプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

ご利用の準備

各部の名称と機能

① **イヤホン端子**

② **外部接続端子**
共通ACアダプタ04（別売）やmicroUSBケーブル01（別売）、18芯-microUSB変換アダプタ01（別売）などの接続に使用します。本製品の外部接続端子は、USB Micro-B端子です。

③ **イヤホン端子カバー**

④ **外部接続端子カバー**

⑤ **ストラップ取付口**

⑥ **電源キー（ ）**
電源ON／OFFやスリープモードの起動／解除などに使用します。

⑦ **音量キー（ ）**
音量を調節します。

⑧ **ワンセグアンテナ**

⑨ **インカメラ（レンズ部）**

⑩ **ディスプレイ**

⑪ **充電ランプ／着信ランプ**
充電中は赤色で点灯します。
着信中は青色で点滅します。

⑫ **近接センサー／VEGA Motion用センサー**
通話中にタッチパネルの誤動作を防ぎます。また、VEGA Motionのモーション（動作）の認識にも使用します。

⑬ **受話口（レシーバー）**
通話中の相手の方の声がここから聞こえます。

⑭ **内蔵アンテナ部**
通話時、3G／LTEデータ通信利用時、Wi-Fi®機能利用時、Bluetooth®機能利用時、GPS情報を取得する場合は、内蔵アンテナ部を手でおおわないでください。
※ アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ部付近を手でおおうと品質に影響を及ぼす場合があります。

⑮ **送話口（マイク）**
通話中の相手にこちらの声を伝えます。また、音声を録音するときにも使用します。
通話中や録音中は、マイクを指などでおおわないようにご注意ください。

⑯ **スピーカー**
着信音やアラーム音、音楽や動画の再生音などが聞こえます。

⑰ **電池フタ**

⑱ **撮影LED**

⑲ **モバイルライト**

⑳ **アウトカメラ（レンズ部）**

㉑ **赤外線ポート**
赤外線通信中、データの送受信を行います。

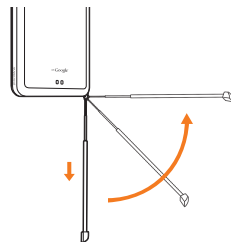
㉒ **FeliCaマーク**
NFC／おサイフケータイ®利用時にこのマークをリーダー／ライターにかざしてください。

㉓ **充電端子**
卓上ホルダを使用して充電するときの端子です。

㉔ **au Micro IC Card(LTE)**
au Micro IC Card(LTE)の取り扱いについては、「au Micro IC Card(LTE)について」（▶P.18）をご参照ください。

㉕ **microSDメモリカード**

ワンセグアンテナの引き出し方法

ワンセグアンテナは下図のように本体の下に向かって引き出してください。

memo

- ワンセグアンテナは最後まで引き出してから各方向へ曲げるようにしてください。途中で曲げようとすると、ワンセグアンテナが破損するおそれがあります。

電池パックを取り付ける／取り外す

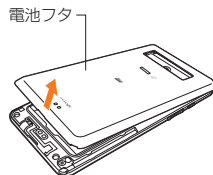
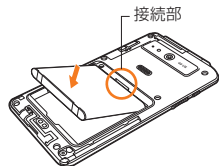
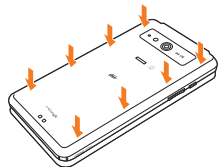
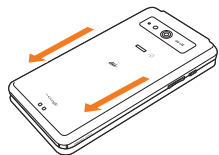
電池パックは、本製品専用のものを使用して正しく取り付けてください。

- 電池パックと電池フタの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。

memo

- 電池パックの注意事項については、「電池パックについて」（▶P.15）をご参照ください。

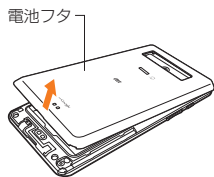
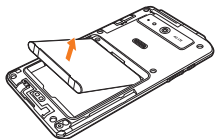
電池パックを取り付ける

1 本体の凹部に指先（爪など）をかけて、矢印の方向に持ち上げて、電池フタを取り外す

2 電池パックのラベル印刷面が上になるようにして、本製品本体と電池パックの接続部の位置を確かめて合わせ、電池パックを確実に押し込む

3 電池フタの８箇所を押す

4 電池フタの両サイドを指で図の方向になぞり、全体に隙間がないことを確認する

memo

- au Micro IC Card(LTE)が確実に装着されていることを確認してから電池パックを取り付けてください。
- 防水性能を保つために、電池フタが浮いていることがないように確実に閉じてください。
- 取り付け時に間違った取り付けかたをしますと、電池パックおよび電池フタ破損の原因となります。

電池パックを取り外す

電池パックを取り外すときは、本体の電源をOFFにしてください。

1 **本体の凹部に指先（爪など）をかけて、矢印の方向に持ち上げて、電池フタを取り外す**

2 **電池パック下部の「PULL」と印刷されている部分を持ち上げて、電池パックを取り外す**

memo

- 電池パックを取り外すときは、「PULL」以外の方向から持ち上げると、本体の接続部を破損するおそれがあります。

au Micro IC Card(LTE)を取り付ける／取り外す

au Micro IC Card(LTE)にはお客様の電話番号などが記録されています。
本製品はau Micro IC Card(LTE)にのみ対応しております。au Micro IC Card(LTE)以外のIC Cardはご利用できません。

au Micro IC Card(LTE)

memo

- au Micro IC Card(LTE)を取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
  - au Micro IC Card(LTE)のIC(金属)部分や、本製品本体のICカード用端子には触れないでください。
  - 正しい挿入方向をご確認ください。
  - 無理な取り付け、取り外しはしないでください。
- au Micro IC Card(LTE)着脱時は、必ず指定のACアダプタ（別売）などのプラグを本製品本体から抜いてください。
- au Micro IC Card(LTE)を正しく取り付けていない場合やau Micro IC Card(LTE)に異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。
- 取り外したau Micro IC Card(LTE)はなくさないようにご注意ください。

au Micro IC Card(LTE)が挿入されていない、もしくはau Micro IC Card(LTE)以外のカードが挿入されると…

au Micro IC Card(LTE)以外のカードを挿入して本製品を使用することはできません。
au Micro IC Card(LTE)が挿入されていない、もしくはau Micro IC Card(LTE)以外のカードが挿入された場合は、次の操作を行うことができません。また、 が表示されません。

- 電話をかける※／受ける
- Eメール／SMSの送受信
- 3G／LTEデータ通信
- 自局電話番号／自局メールアドレスの確認
- au Micro IC Cardロック設定

※ 110（警察）・119（消防機関）・118（海上保安本部）への緊急通報や157（お客さまセンター）への発信もできません。

上記以外でも、お客様の電話番号などが必要な機能をご利用できない場合があります。

PINコードによる制限設定

au Micro IC Card(LTE)をお使いになるうえで、お客様の貴重な個人情報を守るために、PINコードの変更やau Micro IC Cardロック設定により他人の使用を制限できます。（▶P.262「au Micro IC Cardロック設定」）

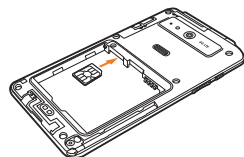
au Micro IC Card(LTE)を取り付ける

au Micro IC Card(LTE)の取り付けは、電源を切り、電池パックを取り外してから行います。

1 本体の電源を切り、電池パックを取り外す

（▶P.38「電池パックを取り外す」）

2 au Micro IC Card(LTE)のIC（金属）部分を上にして奥に差し込む

au Micro IC Card(LTE)の切り欠きの方向を電池パックを取り外したところに貼ってあるシールの記載と合わせてください。
正しい向きに差し込むと、まずau Micro IC Card(LTE)スロット内のガイドに軽く当たります。
そのまま、「カチッ」と音がするまで、奥に差し込んでください。

au Micro IC Card(LTE)を取り外す

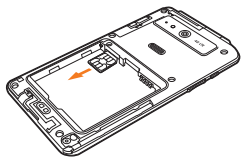
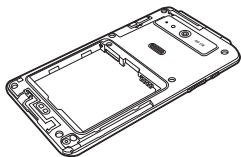
au Micro IC Card(LTE)の取り外しは、電源を切り、電池パックを取り外してから行います。

1 **本体の電源を切り、電池パックを取り外す**

(▶P.38「電池パックを取り外す」)

2 **指の爪でau Micro IC Card(LTE)を軽く押し込む**

au Micro IC Card(LTE)が少し飛び出します。

3 **au Micro IC Card(LTE)を図の向きにまっすぐ引き出す**

microSDメモリカードを取り付ける／取り外す

microSDメモリカード（microSDHCメモリカード、microSDXCメモリカードを含む）を本製品本体にセットすることにより、データを保存することができます。また、電話帳やEメールのデータなどをmicroSDメモリカードに控えておくことができます。

memo

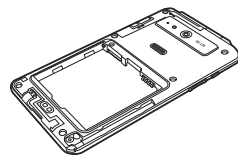
- アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。
- 本製品が対応するファイルサイズはmiroSDXCメモリカードで最大64GBです。
- 本製品が対応するファイルサイズはmicroSD ／ microSDHCメモリカードで最大32GB（1ファイルあたり最大4GB）です。
- 他の機器で初期化したmicroSDメモリカードは、本製品では正常に使用できない場合があります。本製品で初期化してください。初期化する方法については、「本製品を初期化する」（▶P.265）をご参照ください。

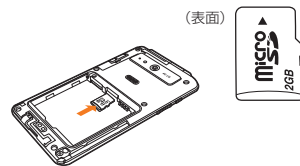
取扱上のご注意

- 読み込み中、書き込み中、再生中、保存中、データを移動／コピーしているときに、microSDメモリカードを外したり、電池パックを取り外したり、本製品本体や機器の電源を切らないでください。本製品本体やmicroSDメモリカードに記録したデータが壊れる（消去される）ことがあります。
- 本製品本体にmicroSDメモリカードをセットしている状態で、落下させたり振動・衝撃を与えないでください。記録したデータが壊れる（消去される）ことがあります。
- 本製品本体のmicroSDメモリカードスロットには、液体、金属片、燃えやすいものなどmicroSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本製品はmicroSD ／ microSDHC ／ microSDXCメモリカードに対応しています。対応のmicroSD ／ microSDHC ／ microSDXCメモリカードにつきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせいただくか、auホームページをご参照ください。

microSDメモリカードを取り付ける

1 **本体の電源を切り、電池パックを取り外す**

(▶P.38「電池パックを取り外す」)

2 **microSDメモリカードの挿入方向を確認し、カチッと音がするまでまっすぐにゆっくり差し込む**

挿入時はカチッと音がしてロックされていることをご確認ください。また、ロックされる前に指を離すとmicroSDメモリカードが飛び出す可能性があります。ご注意ください。

3 **電池パックを取り付け、電池フタを取り付ける**

memo

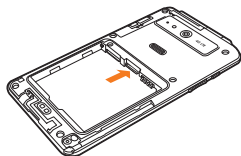
- microSDメモリカードの端子部には触れないでください。
- microSDメモリカードには、表裏／前後の区別があります。
  無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。

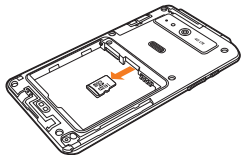
microSDメモリカードを取り外す

1 本体の電源を切り、電池パックを取り外す

(▶P.38「電池パックを取り外す」)

2 microSDメモリカードをカチッと音がするまで奥へゆっくり押し込む

カチッと音がしたら、microSDメモリカードに指を添えながら手前に戻してください。microSDメモリカードが少し出てきますのでそのまま指を添えておいてください。強く押し込んだ状態で指を離すと、勢いよく飛び出す可能性がありますのでご注意ください。

3 microSDメモリカードをゆっくり引き抜く

まっすぐにゆっくりと引き抜いてください。
microSDメモリカードによっては、ロック解除できず出てこない場合があります。その場合は指で軽く引き出して取り外してください。

4 電池パックを取り付け、電池フタを取り付ける

memo

- microSDメモリカードを無理に引き抜かないでください。故障・内部データ消失の原因となります。
- 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

充電する

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

■ ご利用可能時間

連続待受時間※1	約400時間（3G使用時）※2 約380時間（LTE使用時）※2
連続通話時間※1	約700分※2

※1　日本国内でご利用の場合の時間です。海外でご利用の場合の時間については、「主な仕様」（▶P.323）をご参照ください。
※2　Wi-Fi®を利用していないとき

充電時間	ACアダプタ※1：約90分 DCアダプタ※2：約370分

※1　共通ACアダプタ04（別売）使用時
※2　共通DCアダプタ03（別売）使用時

memo

- 充電中、本製品本体と電池パックが温かくなることがありますが異常ではありません。
- 電池パックは、「安全上のご注意（必ずお守りください）」（▶P.9）をよくお読みになってお取り扱いください。
- カメラ機能などを使用しながら充電した場合は、充電時間が長くなります。
- 指定の充電用機器（別売）を接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電／放電を繰り返す場合があります。頻繁に充電を繰り返すと、電池パックの寿命が短くなります。
- 本製品の充電ランプが赤色に点滅したときは、電池パックの取り付け、接続などが正しいかご確認ください。それでも点滅する場合は、充電を中止して、auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。
- 共通ACアダプタ01（別売）では日本国内家庭用AC100Vをご使用ください。単相200Vでの充電あるいは海外旅行用変圧器を使用して充電しないでください。
- 共通ACアダプタ01（別売）以外の、指定のACアダプタ（別売）を海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタを使用してください。海外旅行用変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 共通ACアダプタ01（別売）、共通ACアダプタ02（別売）を使用して充電する場合は、充電中に操作を行わないようにしてください。正常に充電されない場合があります。
- 電源端子・充電端子は、ときどき乾いた綿棒などで、端子が変形しないように注意して掃除してください。汚れていると正常に充電されない場合があります。
- 外部接続端子カバーは、充電後しっかりと閉めてください。また、強く引っ張ったり、ねじったりしないでください。
- 連続通話時間および連続待受時間は、電波を正常に受信できる移動状態と静止状態の組み合わせによるそれぞれの平均的な利用可能時間です。充電状態、気温などの使用環境、使用場所の電波状態、機能の設定などにより、次のような場合には、ご利用可能時間は半分以下になることもあります。
  - （圏外）が表示される場所での使用が多い場合
  - Wi-Fi®機能・Bluetooth®機能・メール機能・カメラ機能・ワンセグ機能・位置情報などの使用
  - バックグラウンドで動作するアプリケーションを使用した場合

指定のACアダプタ（別売）と卓上ホルダを使って充電する

指定のACアダプタ（別売）と卓上ホルダが必要です。指定のACアダプタ（別売）については、「周辺機器のご紹介」（▶P.316）をご参照ください。（お使いのACアダプタによりイラストと形状が異なることがあります。ご了承ください。）

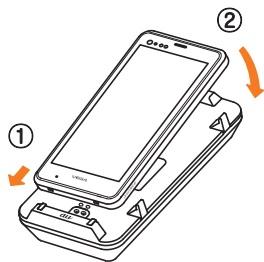
ここでは、共通ACアダプタ04（別売）を使用して充電する方法を説明します。

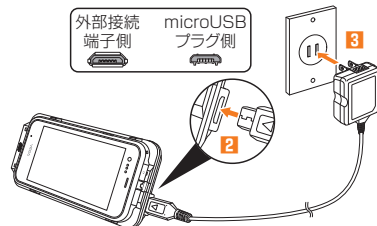
※ 共通ACアダプタ04（別売）を接続した場合の充電時間は、約90分です。

memo

- 卓上時計が設定されている場合、卓上ホルダに本製品を差し込むと卓上時計画面（▶P.239）が表示されます。卓上時計画面を表示しながら充電した場合は充電時間は長くなります。
- 共通ACアダプタ01（別売）、共通ACアダプタ02（別売）または共通ACアダプタ02と共通の仕様のACアダプタ（別売）を使用して充電する場合は、18芯-microUSB変換アダプタ01（別売）を使用して卓上ホルダと接続してください。
- 本製品の電源がOFFの状態で充電を開始すると、本製品の電源が自動的にONになり充電中の画面が表示されます。（充電中の画面表示のみで、他の操作はできません。）充電を終了すると本製品の電源は自動的にOFFになります。
- 電源OFFの状態で充電をした場合、電池残量が少ない状態で充電を終了すると充電不足のメッセージが表示される場合があります。
- 本製品を卓上ホルダに差し込んだまま発信したり、電話を受けたり、通話しないでください。
- 卓上ホルダは安定した場所に置いてご使用ください。転倒・落下・破損の原因となります。

1 本製品を卓上ホルダに差し込む

①充電端子の位置を合わせてセットし、
②ツメの位置に合わせ差し込みます。

2 卓上ホルダの接続端子に共通ACアダプタ04（別売）のmicroUSBプラグを接続する

コネクタ先端の形状を確認しまっすぐ差し込みます。

3 共通ACアダプタ04（別売）の電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む

本製品の充電ランプが赤色に点灯し、ディスプレイ上部の電池残量アイコンが充電中の表示になります。
充電が完了すると充電ランプが消灯します。

4 充電が終わったら卓上ホルダから本製品を取り外す

卓上ホルダを押さえながら本製品を前方向にまっすぐ取り外してください。

5 共通ACアダプタ04（別売）の電源プラグをコンセントから抜く

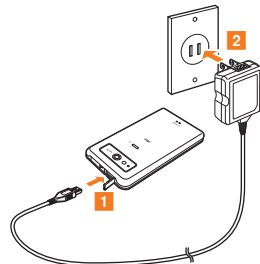
指定のACアダプタ（別売）を直接本製品に接続して充電する

指定のACアダプタ（別売）については、「周辺機器のご紹介」（▶P.316）をご参照ください。（お使いのACアダプタによりイラストと形状が異なることがあります。ご了承ください。）
ここでは、共通ACアダプタ04（別売）を使用して充電する方法を説明します。

memo

- 共通ACアダプタ01（別売）、共通ACアダプタ02（別売）または共通ACアダプタ02と共通の仕様のACアダプタ（別売）を使用して充電する場合は、18芯-microUSB変換アダプタ01（別売）を使用して本製品本体と接続してください。
- 本製品の電源がOFFの状態で充電を開始すると、本製品の電源が自動的にONになり充電中の画面が表示されます。（充電中の画面表示のみで、他の操作はできません。）充電を終了すると本製品の電源は自動的にOFFになります。
- 電源OFFの状態で充電をした場合、電池残量が少ない状態で充電を終了すると充電不足のメッセージが表示される場合があります。

1 本製品に共通ACアダプタ04（別売）のmicroUSBプラグを接続する

外部接続端子カバーを開け、コネクタ先端の形状を確認しまっすぐ差し込みます。

2 共通ACアダプタ04（別売）の電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む

本製品の充電ランプが赤色に点灯し、ディスプレイ上部の電池残量アイコンが充電中の表示になります。
充電が完了すると充電ランプが消灯します。

3 充電が終わったら本製品から共通ACアダプタ04（別売）のmicroUSBプラグをまっすぐ引き抜く

4 本製品の外部接続端子カバーを閉じる

5 共通ACアダプタ04（別売）の電源プラグをコンセントから抜く

パソコンを使って充電する

別途、microUSBケーブル（別売）が必要です。指定のmicroUSBケーブル（別売）については、「周辺機器のご紹介」（▶P.316）をご参照ください。

1 パソコンが完全に起動している状態で、microUSBケーブルをパソコンのUSBポートに接続する

2 microUSBケーブルを本製品の外部接続端子に接続する

外部接続端子カバーを開け、コネクタ先端の形状を確認しまっすぐ差し込みます。
本製品がパソコン側に自動で認識されます。
パソコン側でデバイスドライバのインストールを要求される場合がありますが、キャンセルしてください。
本製品の充電ランプが赤色に点灯し、ディスプレイ上部の電池残量アイコンが充電中の表示になります。
充電が完了すると充電ランプが消灯します。

memo

- 本製品の電源を入れたままでも充電できますが、充電時間は長くなります。
- USB充電を行った場合、指定のACアダプタで（別売）の充電と比べて、時間が長くかかる場合があります。
- 電池が切れた状態で充電すると、充電ランプが点灯しない場合があります。その場合は、指定のACアダプタ（別売）を使用して充電してください。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 ▯（1秒以上長押し）

ロゴが表示された後、しばらくするとロック解除画面が表示されます。
🔒をロングタッチしたときに右側に表示されるオレンジの点までドラッグすると、ロックが解除されます。
画面ロック（▶P.262）を設定している場合は、各画面ロックの指示に従って操作してください。
🔊／🔇をロングタッチしたときに左側に表示されるオレンジの点までドラッグすると、「バイブOn」／「バイブOff」に切り替えられます。
「電話」、「Eメール」、「SMS」、「カメラ」および「ブラウザ」をロングタッチしたときに右側に表示されるオレンジの点までドラッグすると、各アプリケーションを直接起動できます。

《ロック解除画面》

memo

- お買い上げ後、初めて本製品の電源を入れたときは、初期設定画面（▶P.47）が表示されます。初期設定については、同梱の『設定ガイド』をご参照ください。

電源を切る

1 （長押し）

2 ［電源を切る］→［OK］

スリープモードについて

本製品を一定時間操作しなかった場合、自動的にディスプレイの表示が消えて、スリープモードに移行します。
また、操作中に を押した場合もスリープモードに移行します。

スリープモードを解除する

1 スリープモード中に

ロック解除画面が表示されます。

memo

- スリープモードに移行するまでの時間は、「画面消灯までの時間」（▶P.259）で設定できます。

初期設定を行う

お買い上げ後、初めて本製品の電源を入れたときや初期化した後に再起動したときは、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って、各機能の設定を行います。

1 「ようこそ」画面で言語を設定して［開始］

2 「Googleを利用する」画面で「ログイン」／「アカウントを作成」／「今は設定しない」

3 画面の指示に従って操作し、Googleアカウントを設定

4 Google+を設定

5 バックアップを設定

6 Google位置情報の利用を設定

7 「セットアップ完了」画面で［完了］

auかんたん設定を利用してセットアップする

auかんたん設定を利用して、auの便利な機能やサービスをご利用いただくための設定を行います。

1 ホーム画面で［アプリ］→［auかんたん設定］→［次へ］

2 「au ID設定」画面で、au IDを設定して［次へ］

3 「バックアップ利用」画面で、バックアップの利用を設定して［次へ］

4 「au ウィジェット設定」画面で、au ウィジェットの利用を設定して［次へ］

5 「auかんたん設定完了」画面で［設定を終了］

au IDを設定する

au IDを設定するとau MarketやGoogle Playに掲載されているアプリケーションの購入ができる「au かんたん決済」の利用をはじめとする、au提供のさまざまなサービスがご利用になれます。

1 ホーム画面で［アプリ］→［au ID設定］

パケット通信の接続確認画面が表示されます。

2 内容を確認→［OK］

3 ［au IDの設定・保存］

4 画面の指示に従って操作し、au IDを設定

- au IDをすでにお持ちの場合は、お持ちのau IDを設定します。au IDをお持ちでない場合は、新規登録を行います。

Googleアカウントをセットアップする

Googleアカウントのセットアップ画面は、Googleアカウントが必要なアプリケーションを初めて起動したときなどに表示されます。

memo

- Googleアカウントを設定しない場合でも本製品をお使いになれますが、Googleトーク、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスがご利用になれません。
- サインインするためにはGoogleアカウントおよびパスワードが必要です。

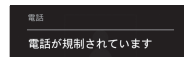
画面にこんな表示が出たら

■ が表示された場合

サービスエリア外か電波の弱い場所にいるため、ご利用になれません。
 が消える所まで移動してください。

■「充電してください」が表示された場合

電池残量が15%未満になったときに表示されます。「OK」をタップして充電するか、充電された電池パックと交換してください。
「電池使用量」をタップすると、電池の使用状況が確認できます。

■「電話が規制されています」が表示された場合

回線が非常に混みあっているなどで、電話がかかりにくくなっています。
しばらくたってからおかけ直しください。

■「au Micro IC Cardエラー」が表示された場合

- 「カードを挿入してください」と表示されているときは、au Micro IC Card(LTE)が挿入されていません。au Micro IC Card(LTE)を挿入し、もう一度電源を入れ直してください。
- 「カードが異なるためご利用できません(0051)」または「このカードではご利用できません（0054)」と表示されているときは、au Micro IC Card(LTE)以外のカードが挿入されています。au Micro IC Card(LTE)を挿入し、もう一度電源を入れ直してください。
- au Micro IC Card(LTE)以外のカードを挿入して本製品を使用することはできません。

基本操作

タッチパネル

タッチパネルの使いかた

本製品のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。正しく動作しないだけでなく、ディスプレイへの傷の発生や、破損の原因となる場合があります。
- ご購入時はディスプレイに保護シートが貼られています。シート類（市販の保護シートなど）を貼る場合は、ご購入時に貼られていた保護シートは取り外してから貼付してください。なお、シールやシート類の製品によってはタッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- 爪先でタッチ操作をしないでください。爪が割れたり、突き指などけがの原因となる場合があります。
- ディスプレイ表面が汚れていたり、汗や水で濡れていると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でディスプレイ表面を乾拭きしてください。

memo

- 本製品と映像機器（テレビ・モニター）をHDMIケーブル（市販品）で接続中は、映像機器側でタッチ操作の反応が遅くなる場合があります。

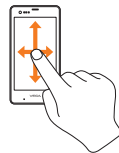
■タップ／ダブルタップ

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。

■ロングタッチ

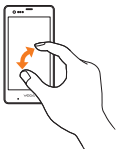
項目などに指を触れた状態を保ちます。

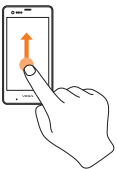
■スライド

画面内で表示しきれないときなど、画面に軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。

■フリック

画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。

■ピンチ

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり（ピンチアウト）、閉じたり（ピンチイン）します。

■ドラッグ／ドラッグしてドロップ

項目やアイコンを移動するときなど、画面に軽く触れたまま目的の位置までなぞります。
また、ドラッグした後、目的の位置で指を離す操作のことをドラッグしてドロップと呼びます。

機能利用中の操作

項目を選択する

表示された項目やアイコンを選択するには、画面を直接タップして選択します。

メニューを表示する

■オプションメニューについて

オプションメニューは、メニューを表示できる画面で ⋮ をタップすると表示されるメニューです。
例：電話帳画面のオプションメニュー

■コンテキストメニューについて

コンテキストメニューは、メニューを表示できる画面や項目をロングタッチすると表示されるメニューです。
例：電話帳画面のコンテキストメニュー

設定を切り替える

設定項目の横にラジオボタンが表示されているときは、ラジオボタンをタップすることで設定の有効／無効を切り替えることができます。
また、「ON」「OFF」のスライドスイッチで設定の有効／無効を切り替えたり、チェックボックスで設定項目を選択できる場合もあります。
この他にも、アプリケーションによって設定の切り替えかたが異なる場合があります。

画面表示	説明
◉（橙色）／◉（灰色）	設定が有効／無効の状態です。
ON ／ OFF	設定が有効／無効の状態です。
☑／☐	設定が選択済み／未選択の状態です。

基本操作

ホーム画面とランチャーメニュー

ホーム画面の見かた

ホーム画面では、本製品の状態や現在の設定を確認できます。

① **ステータスバー**
▶P.54「ステータスバーを利用する」

② **カスタマイズエリア**
▶P.59「ウィジェットを利用する」
▶P.59「ショートカットを利用する」
▶P.62「フォルダを利用する」

③ **ロケーター**
▶P.58「ホーム画面を切り替える」

④ **クイックメニュー**
▶P.52「項目を選択する」

⑤ **：戻るアイコン**
1つ前の操作に戻ります。

⑥ **：ホームアイコン**
ホーム画面を表示します。

⑦ **：履歴アイコン**
最近使用したアプリケーションを表示します。

⑧ **：メニューアイコン**
オプションメニューを表示します。

《ホーム画面》

ステータスバーを利用する

ステータスバーは、本製品の画面上部にあります。ステータスバーの左側には新着メールや不在着信を知らせる通知アイコンが表示されます。右側には電波の強さや電池残量など、本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。

■通知アイコンの例

アイコン	概要
	不在着信あり
	新着Eメールあり
	新着SMSあり
	緊急地震速報あり
	新着Exchangeメールあり
	新着Gmailメールあり
	新着Yahooメールあり
	新着Hotmailメールあり
	新着AOLメールあり
	その他アカウントの新着PCメールあり
（白色）	着信中（通話中、通話画面がバックグラウンド表示のとき）
（青色）	Bluetooth®ヘッドセットを接続して着信中（通話中、通話画面がバックグラウンド表示のとき）
	応答保留中
	利用可能なオープンネットワークあり
	カレンダーの予定通知あり
	アラーム鳴動中
	音楽再生中

アイコン	概要
	microSDメモリカード準備中
	microSDメモリカードマウント解除完了
	USB接続中
	USBデバッグ接続中
	データ・アプリケーションのダウンロード／インストール ダウンロード中／ダウンロード完了／インストール中 ダウンロード中のアイコンはアニメーション表示されます。 インストール完了
	データのアップロード中／アップロード完了 アップロード中のアイコンはアニメーション表示されます。
	アプリケーションのアップデートあり
	本製品のソフトウェアアップデートあり
	内部メモリ容量不足
	エラー／警告通知あり
	まとめられた複数の通知あり
	タイマー使用中
	GPS機能利用中 GPS測位中のアイコンはアニメーション表示されます。

■ステータスアイコンの例

アイコン	概要
11:00	時刻
	アラーム設定あり
	電池レベル状態（充電中） 十分／残量約80％／残量約60％／ 残量約40％／残量約20％／ 残量約10％／残量なし 充電中のアイコンはアニメーション表示されます。
	電波の強さ（受信電界） レベル4／レベル3／レベル2／レベル1／ レベル0／圏外
	3Gデータ通信状態 送受信中／送信中／受信中／待機中
	LTEデータ通信状態 送受信中／送信中／受信中／待機中
	CDMA 1Xデータ通信状態 送受信中／送信中／受信中／待機中
	Wi-Fi®の電波の強さ レベル4／レベル3／レベル2／レベル1／ レベル0
	ローミング中
	機内モード設定中
	マナーモード状態 通常マナー（バイブレータON）／ サイレントマナー（バイブレータOFF）
	通話音声ミュート中（通話中、通話画面がバックグラウンド表示のとき）
	スピーカーフォンモード中（通話中、通話画面がバックグラウンド表示のとき）

アイコン	概要
	Bluetooth®接続状態 接続中（青）／待機中（白）
	データ同期状態 同期中／同期失敗
あ	入力モード あ ひらがな漢字入力／カ 全角カタカナ入力／ ｶﾅ 半角カタカナ入力／A 全角英字入力／ AB 半角英字入力／1 全角数字入力／ 12 半角数字入力／音声入力／手書き入力
	省電力モード中

基本操作

通知／ステータスパネルを利用する

通知／ステータスパネルでは、通知アイコンやステータスアイコンの詳細を確認したり、アイコンに対応するアプリケーションを起動できます。
また、「かんたん設定」をタップしてマナーモードやWi-Fi®のON／OFFなどを簡単に切り替えることができます。

1 ステータスバーを下方向にスライド

通知／ステータスパネルが表示されます。

① **かんたん設定**
アイコンをタップして各機能のON／OFFを切り替えます。
左右にフリックすると隠れているアイコンを表示できます。

- ：マナーモードをON／OFFします。
- ：Wi-Fi®をON／OFFします。
- ：NFC／おサイフケータイロックをON／OFFします。
- ：明るさの段階を切り替えます。ディスプレイの照明の明るさを暗くすることで、電池の消費を軽減できます。
- ：VEGA MotionをON／OFFします。
- ：自動応答をON／OFFにします。
- ：画面の自動回転ロックをON／OFFします。
- ：GPS機能をON／OFFします。
- ：Bluetooth®機能をON／OFFします。
- ：かんたん設定の各アイコンをドラッグしてドロップすると表示順序を変更します。

《通知／ステータスパネル画面》

② **クリア**
タップすると通知がすべて消去されます。

③ **通知エリア**
通知内容を確認できます。通知の内容によっては、タップすると対応するアプリケーションを起動できます。

④ **通信事業者名**
接続中のネットワークの通信事業者名が表示されます。

⑤ **ステータスバー**
上にドラッグすると通知／ステータスパネルを閉じます。

⑥ **詳細設定**
アイコンをタップして各機能の設定画面を表示します。
左右にフリックすると隠れているアイコンを表示できます。

- ：サウンドの設定画面を表示します。
- ：Wi-Fi®の設定画面を表示します。
- ：テザリングの設定画面を表示します。
- ：省電力の設定画面を表示します。
- ：VEGA Motionの設定画面を表示します。
- ：ディスプレイの設定画面を表示します。
  ディスプレイの照明の明るさを暗く、点灯時間を短くすることで、電池の消費を軽減できます。
- ：画面ロックの設定画面を表示します。
- ：アプリマネージャーの設定画面を表示します。
- ：Bluetooth®の設定画面を表示します。
- ：詳細設定の各アイコンをドラッグしてドロップすると表示順序を変更します。

⑦ **設定メニュー画面表示**
タップすると設定メニュー画面が表示されます。

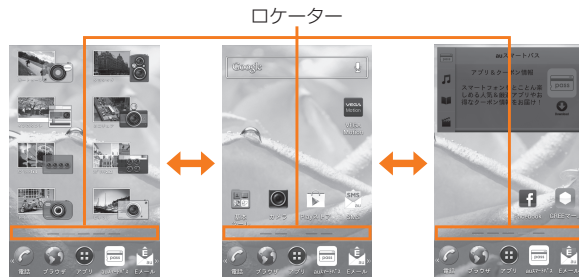
ホーム画面でできること

1 **ホーム画面で［ ］**

2 **以下の項目をタップ**

ウィジェット	ウィジェットまたはショートカットを追加します。 ▶P.59「ショートカットを追加する」 ▶P.59「ウィジェットを追加する」	
壁紙	**ライブ壁紙**	本製品にあらかじめ登録されているライブ壁紙から選択して設定します。
	壁紙	本製品にあらかじめ登録されている壁紙から選択して設定します。
	ギャラリー	内部メモリ内またはmicroSDメモリカード内のデータを選択して設定します。
	ダウンロード壁紙	ダウンロードした壁紙から選択して設定します。
ヘルプ	ホーム画面の使いかたのヒントを確認できます。	
設定	設定メニュー画面を表示します。 ▶P.254「設定メニューを表示する」	

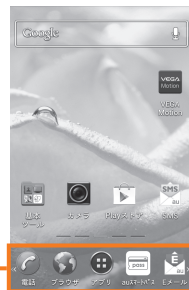
ホーム画面を切り替える

ホーム画面を左右にスライド／フリックすることで、ホーム画面を切り替えることができます。また、ロケーターをタップしても同様に操作ができます。
ホーム画面は5つあり、各ホーム画面にショートカットやウィジェット、フォルダを追加して利用できます。
画面上のロケーターで現在の表示位置を確認できます。

《ホーム画面の切り替えイメージ》

クイックメニューを利用する

ホーム画面の下部には、よく使うアプリケーションが、あらかじめクイックメニューとして登録されています。

1 ホーム画面でクイックメニューのアイコンをタップ

各アプリケーションが起動します。

memo

- クイックメニューは左右にフリックすることができます。
- クイックメニューにアプリケーションを追加することができます。ホーム画面上のアイコンを、クイックメニューの空いているエリアにドラッグして、ドロップしてください。
- クイックメニューからアプリケーションを削除することができます。クイックメニュー上のアイコンをロングタッチして、画面上部の までドラッグして、ドロップしてください。
- クイックメニューのアイコンを変更したいときは、アイコンを削除し、エリアを空けてから追加してください。
- クイックメニューにフォルダを作成することができます。ホーム画面上のアイコンを、クイックメニューの別のアイコンにドラッグして、ドロップしてください。

ホーム画面を追加／削除／移動する

■ホーム画面を追加する

1 ホーム画面をピンチイン

ホーム編集画面が表示されます。

2 [＋]

■ホーム画面を削除する

1 ホーム編集画面で削除するホーム画面をロングタッチ

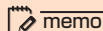
2 画面上部の 🗑 までドラッグして、ドロップする

ホーム画面のアイコンを移動する

ホーム画面に登録されているショートカットやウィジェット、フォルダのアイコンをロングタッチすることで、アイコンの移動ができます。

1 ホーム画面で移動するアイコンをロングタッチ

2 移動する位置までドラッグして、ドロップする

memo

- アイコンをホーム画面の左端または右端までドラッグすると、両側のホーム画面へ移動できます。

ホーム画面のアイコンを隠す

ホーム画面のアイコンをすべて消すことができます。壁紙に設定した写真を見たいときなどに便利です。

1 ホーム画面をピンチアウト

ホーム画面のアイコンがすべて消えます。
アイコンの表示を元に戻すときは、ホーム画面をピンチインします。

ショートカットを利用する

ホーム画面にプレイリスト、ブックマーク、連絡先などのショートカットを追加できます。

■ショートカットを追加する

1 ホーム画面で［ ⋮ ］→［ウィジェット］→［ショートカット］

2 追加するショートカットのアイコンをロングタッチ

3 配置する位置までドラッグして、ドロップする

■ショートカットを削除する

1 ホーム画面で削除するショートカットをロングタッチ

2 画面上部の 🗑 までドラッグして、ドロップする

ウィジェットを利用する

ウィジェットとは、ホーム画面上で実行できる簡易アプリケーションです。

■ウィジェットを追加する

1 ホーム画面で［ ⋮ ］→［ウィジェット］

2 追加するウィジェットをタップ

本製品のお買い上げ時は、以下のウィジェットを利用できます。

ウィジェット		概要
ショートカット		以下のような各種ショートカットをホーム画面に登録できます。 ・ VEGA ブックマーク ・ ブックマーク ・ プレイリスト ・ マルチ壁紙 ・ 経路とナビ ・ 設定 ・ 直接メッセージを送る ・ 直接発信 ・ 連絡先
mini Camera フォルダ	インスタント	ポラロイドフィルム効果や分割撮影など、特定モードのカメラを起動できます。ホーム画面上では、直前に撮影した画像のプレビューが表示されます。ウィジェットをタップすると、特定モードの撮影画面をすぐに起動できます。
	カートゥーン	
	クラシック	
	スプリット 1x4	
	スプリット 2x2	
	トイ	
	ビネット	
	ミニチュア	
VEGA ブックマーク		ブラウザのブックマークを表示します。
カレンダーフォルダ	月間 1	カレンダーに登録している予定を確認できます。
	月間 2	
	週間	
	日別	

ウィジェット		概要
タスクマネージャー		起動中のアプリケーション数をホーム画面に表示できます。
テキストメモ		テキストメモアプリのメモをホーム画面に表示します。ウィジェットをタップすると、テキストメモが起動します。
フォトフレームフォルダ	アルバム 1（2 × 2）	ギャラリーの画像をホーム画面上に置いておけます。 ウィジェットをタップすると、ギャラリーが起動します。
	アルバム 2（2 × 2）	
	アルバム 3（4 × 2）	
	アルバム 4（4 × 4）	
ミュージック		音楽を再生できます。
懐中電灯		ライトが点灯し、懐中電灯として利用できます。
時計フォルダ	アナログ 1	アナログ時計を表示できます。時計をタップするとアラームが設定できます。
	アナログ 2	
	デジタル 1	デジタル時計を表示できます。時計をタップするとアラームが設定できます。
	デジタル 2	
	デジタル 3	
	世界時刻	世界各地の時計を表示できます。
au Wi-Fi 接続ツール		au Wi-Fi 接続ツールを簡単に起動したり、au Wi-Fi SPOT への自動接続の ON ／ OFF を切り替えます。

ウィジェット		概要
auウィジェット（auおすすめ情報）		「auスマートパス」の人気アプリケーションやクーポンなど、auのおすすめ情報が表示され、手軽に利用できます。
auウィジェット（コミュニケーション）		事前に登録した友達から自分あてに届いた連絡状況が一覧で確認できます。
auウィジェット（ニュース）	（3×1）	全国の最新ニュースや注目ニュース、超速報ニュースを表示します。
	（4×1）	
auウィジェット（フレンズシェア）	（4×2）	友達から共有された「au Cloud」の写真やSNS（ソーシャルネットワークサービス）に投稿された写真、興味を示したニュースやおすすめの動画をまとめて確認することができ、友達の「イマ」を表示します。
	（4×3）	
auウィジェット（周辺情報）	（4×2）	現在地付近のレストランや人気スポットなどの情報を表示します。
	（4×1）	
	（4×4）	
auウィジェット（天気）	（1×1）	現在地の天気･雨雲レーダー･ウェザーリポートが表示されます。
	（4×1）	
	（4×3）	
	（4×2）	
auお客さまサポート	（L）（2×2）	auお客さまサポートの状況が表示されます。
	（M）（2×1）	
	（S）（1×1）	

ウィジェット		概要
Facebook		Facebookの、事前に登録した友達から自分あてに届いた連絡状況が一覧で確認できます。
Friends Note		Friends Noteの、事前に登録した友達から自分あてに届いた連絡状況が一覧で確認できます。
Gmail		Gmailアカウントの受信
Google Search		ウェブ、アプリケーション、電話帳、または、これらすべてのクイック検索ボックスを利用できます。
Google+投稿		Google+の写真や投稿を同期してホーム画面に表示できます。
LISMO Player	LISMO Player（小）	LISMOでダウンロードした曲などの楽曲を再生して楽しむことができます。
	LISMO Player（大）	
PCメール		PCメールアカウントの受信トレイを表示できます。
Playストア		Playストアを利用できます。
YouTube		YouTubeの動画を簡単に再生できます。
フォトギャラリー		さまざまな画像をホーム画面に表示できます。
ブックマーク		Google Chromeのブックマークを表示します。
交通状況		設定した目的地までの到達予測時間と渋滞状況（データ提供エリアのみ）が確認できます。

ウィジェット	概要
電源管理	アイコンをタップすると、Wi-Fi®、Bluetooth®、GPS機能、自動同期のON／OFFを切り替えたり、画面の明るさを調整できます。
連絡先	電話帳から特定の連絡先を選択してホーム画面に表示できます。ウィジェットをタップすると、連絡先の画面が表示され、電話をかけたりメールを送信したりできます。

memo

- 電源管理ウィジェットを利用すると、Wi-Fi®、Bluetooth®、GPS機能、自動同期のON／OFFを切り替えたり、画面の明るさを調整することができます。利用していない機能をこまめにOFFにしたり、画面の明るさを暗めに調整することで電池の消費を抑えることができます。

■ウィジェットを削除する

1 ホーム画面で削除するウィジェットをロングタッチ

2 画面上部の までドラッグして、ドロップする

フォルダを利用する

■フォルダを作成する

1 ホーム画面で任意のショートカットアイコンを別のショートカットアイコンにドラッグして重ねる

フォルダが自動的に作成されます。

memo

- ランチャーメニューの任意のグループタブをロングタッチしてホーム画面にドラッグすることで、フォルダを作成することもできます。

■フォルダにアプリ／ショートカットを格納する

1 ホーム画面でフォルダをタップ

2 [ ] → [アプリ] ／ [ショートカット]

3 アプリ／ショートカットを選択

memo

- フォルダの中にフォルダは格納できません。
- フォルダ内に12件以上登録されている場合、左にフリックすると、13件目以降が表示されます。

■フォルダ名を変更する

1 ホーム画面でフォルダをタップ

2 フォルダ上部のフォルダ名をタップ

3 フォルダ名を入力→ [OK]

memo

- ホーム画面の「基本ツール」フォルダの名称は、初期設定の言語の選択（▶P.47）によって異なります。言語の設定（▶P.263）で言語を変更してもフォルダ名は変更されません。フォルダ名は手動で変更してください。

■フォルダを削除する

1 ホーム画面で削除するフォルダをロングタッチ

2 画面上部の までドラッグして、ドロップする

ランチャーメニューを利用する

ランチャーメニューでは、インストールされているアプリケーションがアイコンで表示されます。アイコンをタップして、アプリケーションを起動できます。

ランチャーメニューを表示する

1 ホーム画面で［アプリ］

ランチャーメニューが表示されます。

ランチャーメニューは最大20画面まで表示できます。ランチャーメニュー画面を左右にスライド／フリックすることで、ランチャーメニュー画面を切り替えることができます。

左端のランチャーメニュー画面で右にフリックすると右端のランチャーメニュー画面に移動できます。右端のランチャーメニュー画面で左にフリックすると左端のランチャーメニュー画面に移動できます。

《ランチャーメニュー画面》

アイコン	アイコン名称	概要
	うたパス	多彩な音楽チャンネルから流れてくる音楽を一人で楽しめるだけでなく、離れた友達と一緒に聴くことができるサービスです。
	ビデオパス※	幅広いジャンルの映画やドラマ、アニメなどの人気作品がお楽しみいただけるアプリです。
	LISMO Book Store※	コミック・小説・写真集など多くの電子書籍を楽しむことができます。
	おはなしアシスタント※	スマートフォンに向かって話しかけることで、電話発信、メール作成、スケジュール管理、アラーム設定などが簡単に行えます。さらに、アシスタントキャラクターとの楽しい会話も可能です。
	LINE※	LINEは24時間、いつでも、どこでも、無料で好きなだけ通話やメールが楽しめるコミュニケーションアプリです。
	Friends Note	ケータイ電話のアドレス帳とFacebookやTwitterなど複数のSNSの友人やメッセージを管理、投稿できるサービスです。（▶P.221）
	VEGA Motion	VEGA Motionの使い方や設定画面を表示できます。（▶P.231）
	Cam Note	撮影した画像を加工、編集することができます。（▶P.176）
	Beam	インターネットまたは、無線ネットワークに連結された装置（ケータイ、パソコン、Blu-rayディスクなど）に保存されたコンテンツを検索して同一ネットワークに連結された装置で再生することができます。（▶P.201）
	電話	電話をかけたり、履歴を確認できます。（▶P.87）
	電話帳	電話帳に連絡先を登録したり、登録内容を利用できます。（▶P.98）

アイコン	アイコン名称	概要
	Eメール	Eメール（@ezweb.ne.jp）のアドレスを利用してメールの送受信ができます。絵文字やデコレーションメールに対応しています。（▶P.108）
	SMS	携帯電話同士で、電話番号を宛先としてメールのやりとりができます。（▶P.138）
	PCメール	普段パソコンなどで利用しているメールアカウントでメールを送受信できます。（▶P.145）
	ブラウザ	パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。（▶P.162）
	設定	設定メニューから各種機能を設定、管理します。（▶P.254）
	シンプルモード	シンプルモードに切り替えることができます。（▶P.247）
	アラーム／時計	世界時計やアラーム、ストップウォッチ、タイマーを利用できます。（▶P.239）
	マップ	現在地の表示や別の場所の検索、ルート検索などを行うことができます。（▶P.204）
	LISMO Player	LISMO Playerを利用して音楽を再生したり、音楽情報を調べたりできます。また、調べた曲の試聴・購入も可能なアプリです。（▶P.201）
	おサイフケータイ	おサイフケータイ®対応サービスを利用できます。（▶P.229）

アイコン	アイコン名称	概要
	赤外線	本製品と赤外線通信機能を持つ相手側の機器との間でデータを送受信できます。（▶P.283）
	電卓	電卓を利用できます。（▶P.242）
	カレンダー	カレンダーを利用できます。（▶P.210）
	カメラ	静止画／動画を撮影できます。（▶P.167）
	ギャラリー	画像や動画の共有や一覧表示、画像の編集などの操作ができます。（▶P.178）
	フォトスタジオ	画像を編集できます。
	au Cloud※	スマートフォンに保存されている写真や動画をau Cloudにアップロードするアプリです。アップロードは自動・手動どちらでもできます。ただし、自動アップロードは、Wi-FiまたはWiMaxエリアのみとなります。
	Photo Album※	au Cloudに保存した写真や動画を見たり、アルバムを作って整理するアプリです。また、作成したアルバムは友達や家族と共有することができます。
	TOLOTフォトブック※	スマートフォンで撮影した写真で、おしゃれなフォトブックが簡単に作れます！旅行や記念日の思い出に、家族や友人へのプレゼントにもおすすめ。
	YouTube	YouTubeを利用できます。（▶P.220）

アイコン	アイコン名称	概要
	Playムービー	Google Playから動画をレンタルしたり、ダウンロード・インストールした動画を視聴できます。(▶P.212)
	ワンセグ	モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービス(ワンセグ)を見ることができます。(▶P.189)
	auテレビ.Gガイド	テレビ番組表の閲覧や、番組検索ができます。さらにワンセグ連携や遠隔録画予約機能がご利用いただけます。(▶P.194)
	動画	ダウンロードした映像やカメラ(動画撮影)で撮影した動画を視聴できます。(▶P.180)
	ミュージック	音楽データを再生できます。(▶P.183)
	LISMO WAVE※	全国のFMラジオやミュージッククリップなどの映像が楽しめます。
	ネットメディア	DLNA(Digital Living Network Alliance)技術を用いたワイヤレスネットワークでデジタルコンテンツを共有できます。(▶P.198)
	タスクマネージャー	実行中のアプリを表示したり、すべて停止することができます。(▶P.222)
	テキストメモ	メモ帳を利用できます。(▶P.237)
	音声メモ	音声を録音できます。(▶P.235)
	ThinkFree Office	Microsoft WordやExcel、PowerPointなどのドキュメントを表示することができます。(▶P.243)

アイコン	アイコン名称	概要
	ナビ	現在地から目的地までのルートを検索できます。(▶P.209)
	Latitude	Google Latitudeを利用できます。(▶P.204)
	ローカル	現在地周辺の施設や店舗などをすばやく検索できます。(▶P.208)
	バーコードリーダー	進化するバーコードリーダー/アイコニット! QRコードやJANコードを読み取るだけで、動画・音声・画像・テキスト…などのさまざまなアクションがスマートフォンならではのクオリティで再生されます。
	NFCメニュー	NFCサービスに対応するアプリの一覧表示やNFCロックの設定などのほか、各種設定を行うことができます。(▶P.227)
	NFCタグリーダー※	NFCタグの読み込み/データ書き込みを実行するアプリです。またデータ読み取り後、その情報に応じた動作をします。(▶P.228)
	Suzy's Zoo＜auホームアレンジ＞※	auスマートパス会員なら、ポータルサイトで毎月紹介されるきせかえテーマが取り放題となるホームアプリです。
	GLOBAL PASSPORT※	海外でご利用の際、接続中の事業者と海外ダブル定額の適用有無、電話のかけ方などをチェックできるアプリです。
	じぶん銀行※	入出金明細や残高の確認、最寄りの提携ATM検索などを、スマートフォンに最適化した画面でご利用いただけます。

アイコン	アイコン名称	概要
	ダウンロード	ダウンロードしたデータの管理を行うことができます。
	Facebook	Facebookを利用できます。(▶P.221)
	Gmail	Gmailを利用できます。(▶P.157)
	Google+	Google+を利用できます。
	トーク	Googleトークを利用できます。(▶P.206)
	メッセンジャー	Google+のメッセンジャーを利用できます。
	Skype※	音声通話や、インスタントメッセージ(チャット)を利用できます。
	GREE※	2500万人以上がコミュニケーションや無料ゲームを楽しんでいるGREE公式アプリです。
	auスマートパス	月額390円で500以上のアプリが取り放題!その他にもお得なクーポンやプレゼント、写真のお預かりサービスやセキュリティソフトなど、安心・快適なスマホライフが楽しめるサービスです。(▶P.217)
	au Market	auスマートパスのアプリ取り放題に対応したAndroidアプリをインストールできます。(▶P.220)
	Playストア	Google Playからアプリケーションをダウンロード・インストールして利用できます。(▶P.218)

アイコン	アイコン名称	概要
	GREEマーケット	GREEで提供しているゲームや、コンテンツを探すことができるアプリです。サービスへのログインがなくても、手軽に探すことができます。(▶P.220)
	Chrome	パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。
	検索	本体内やウェブサイトの情報を検索できます。(▶P.69)
	Dolphin Browser for au※	Google Playで人気があるブラウザ!インターネットをサクサク快適に見ることができます。また、他のブラウザアプリにないジェスチャー機能やスピードダイヤル等の便利な機能もあります。
	お買い物サーチ※	人気モールなどいろいろなサイトの商品をまとめて検索できます。
	スマホカバー※	人気ファッションブランドのオリジナルデザインが選べるスマートフォンカバーをお買い求めいただけます。
	着メロ取り放題 for au※	3万曲の着メロが取り放題の、auスマートパス会員専用着メロアプリです。最新J-POPから定番ヒット曲まで幅広いジャンルを配信しています。ダウンロードした着メロは、着信音やアラームとして設定可能です。
	太鼓の達人※	ゲームセンターや家庭用ゲームでお馴染みの『太鼓の達人』です。リズムに乗って画面をタッチするだけの簡単操作で、誰でも気軽に太鼓を演奏することができます。

アイコン	アイコン名称	概要
	取扱説明書※	『取扱説明書（詳細版）』に記載されている内容を確認することができます。 目次、索引、検索機能を利用して、使いたい機能の説明を探すことができます。 また、よく確認する説明にしおりを付けて検索しやすくすることもできます。（▶P.ii）
	auかんたん設定	auかんたん設定は、auの便利な機能やサービスをご利用いただくための設定をサポートする設定アプリです。（▶P.47）
	au ID設定	au IDを設定します。 au ID 設定について詳しくは、『設定ガイド』をご参照ください。（▶P.48）
	au Wi-Fi接続ツール	au Wi-Fi SPOTの利用可能なスポットで簡単にWi-Fi®を利用できます。また、「かんたん接続」搭載の無線LANアクセスポイントと簡単に無線LAN（Wi-Fi®）設定できます。
	au災害対策	災害用伝言板や、緊急速報メール（緊急地震速報、災害・避難情報、津波警報）、災害用音声お届けサービスを利用することができます。（▶P.215）
	auお客さまサポート	auケータイの契約内容や月々の利用状況などを簡単に確認できるアプリです。（▶P.213）
	リモートサポート	スマートフォンの操作で困ったとき、お客様のスマートフォンの画面を共有し、お客様の操作をサポートするアプリです。（▶P.214）
	3LM Security	本製品を盗難・紛失された場合に、本製品を遠隔操作でロックすることができます。（▶P.214）
	ウィルスバスター※	不正アプリのインストールを防止したり、不適切なサイトへのアクセスをブロックできるアプリです。
	安心アクセス※	お子さまがスマートフォンを安心してご利用いただけるよう、不適切と思われるウェブページへのアクセスやアプリケーションのご利用を制限するフィルタリングアプリです。
	LAWSON※	ローソンのおトクな最新情報をいつでも手に入れられるアプリです。Ponta会員の方なら、ログインするだけで「Pontaポイント残高」「アプリ限定クーポン」無料公衆無線LANサービス「LAWSON Wi-Fi」をご利用いただけます。

※ 利用するにはダウンロード／インストールが必要です。

memo

- 各アプリケーションを利用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。
- アイコンなどのデザインは、予告なく変更する場合があります。

ランチャーメニューでできること

■表示の切り替え

1 ランチャーメニューで画面左下の表示オプションをタップ

2 以下の項目をタップ

グループ順	グループ別の表示に切り替えます。
名前順	名前順の表示に切り替えます。
ダウンロードアプリ	ダウンロード済みアプリケーションの表示に切り替えます。

■オプションメニュー

1 ランチャーメニューで［ ⋮ ］

2 以下の項目をタップ

検索	名前で検索できます。
共有	Bluetooth® やメール添付などで送信したり、Google+などにアップロードできます。
グループ編集	グループを新規追加したり、削除したりできます。
非表示アプリ確認	非表示となっているアプリケーションの一覧を表示します。
アイコン変更	「モダンアイコン」／「クラシックアイコン」のいずれかに変更できます。
壁紙の変更	壁紙を変更できます。
Playストア	Playストアを起動します。
ヘルプ	操作説明を表示します。

■アプリケーションを非表示にする

1 ランチャーメニューで［ ⚙ ］

2 アプリケーションをタップ

ポップアップメニューが表示されます。

3 ［非表示］

アプリケーションアイコンが消えます。

非表示のアプリケーションを見るには、右下の［ ⋮ ］→［非表示アプリ確認］

■アプリケーションのアンインストール

1 ランチャーメニューで［ ⚙ ］

2 アプリケーションをタップ

ポップアップメニューが表示されます。

3 ［アンインストール］→［OK］

memo

- お買い上げ時からインストールされているアプリケーションなど、アプリケーションによってはアンインストールができない場合があります。

Google検索を利用する

本製品内やブラウザの情報を検索できます。

1 **ホーム画面で[アプリ]→[検索]**

Google検索画面が表示されます。
ホーム画面にGoogle検索ウィジェットがある場合は、ウィジェットからも同様に操作できます。
⋮ をタップすると、検索対象一覧画面に表示させる検索対象を設定できます。

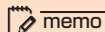
2 **入力欄にキーワードを入力**

入力した文字を含むアプリケーションや検索候補などが入力欄の下に一覧表示されます。

《Google検索画面》

3 **一覧表示から項目をタップ**

ブラウザが起動してGoogle検索の検索結果が表示されます。
一覧からアプリケーションを選択した場合は、アプリケーションが起動します。

memo

- 一覧表示された項目の ↖ をタップすると、選択した項目をキーワードにして再検索します。
- 一覧には、最近選択した検索候補が表示されます。検索候補を消去する方法は、「検索を設定する」（▶P.70）をご参照ください。

Google音声検索を利用する

検索するキーワードを音声で入力できます。

1 **Google検索ウィジェットで［ 🎤 ］**

Google音声検索画面が表示されます。

2 **送話口（マイク）に向かってキーワードを話す**

ブラウザが起動してGoogle検索の検索結果が表示されます。

検索を設定する

検索方法の設定や検索履歴の管理を行います。

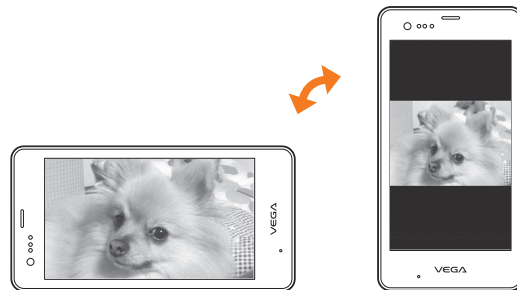
1 Google検索画面で［ ⋮ ］→［設定］

2 以下の項目をタップ

検索対象	Google検索で検索する対象を設定します。	
Google検索	ウェブ履歴を使用	Googleアカウントでカスタマイズされた検索履歴を表示するかどうかを設定します。
	ウェブ履歴の管理	Googleアカウントでカスタマイズされた検索履歴の管理を行います。
	端末上の検索履歴を消去する	最近選択した検索候補へのショートカットを消去します。
	現在地情報を使用	位置情報をGoogleサービスなどで使用するかどうかを設定します。
	google.comで検索	ローカルドメインを使用するかどうかを設定します。
	利用規約	Googleの利用規約が表示されます。
	オープンソースライセンス	オープンソースライセンスが表示されます。

共通の操作を覚える

縦横表示を切り替える

本製品の向きや動きを検知するセンサーにより、本製品の向きに合わせて縦横表示を自動的に切り替えます。

memo

- 本製品を垂直に立てた状態で操作してください。本製品を水平に寝かせると画面表示が切り替わらない場合があります。
- 縦横表示を切り替えるかどうかは、「画面の自動回転」（▶P.259）で設定できます。
- アプリケーションや画面によっては、縦横表示の切り替えができない場合があります。

操作するアプリケーションを切り替える

1 **ホーム画面で［ ］**

起動中、および過去に起動したアプリケーションのサムネイルのリストが表示されます。

2 **利用するアプリケーションをタップ**

memo

- 複数のアプリケーションを起動している場合、実行用メモリを効率的に使用するため、バックグラウンドのアプリケーションを自動的に終了する場合があります。
- 複数のアプリケーションを起動しているときなど、本体の実行用メモリが不足すると、サムネイルが表示されない場合があります。
- バックグラウンドのアプリケーションによっては、連続待受時間が短くなったり、動作が遅くなる場合があります。

ロックを解除する

「画面のロック」（▶P.262）を有効にしている場合に画面ロックを解除するときや、本製品を初期化するときなど重要な操作を行うときは、パターン／ PIN ／パスワードの入力を求められます。

■パターンを入力する

1 **パターンの入力が必要な操作をする**

パターン入力画面が表示されます。

2 **パターンを入力**

間違ったパターンを入力した場合には、エラーメッセージが表示されます。正しいパターンを再入力してください。

■PINを入力する

1 **PINの入力が必要な操作をする**

PIN入力画面が表示されます。

2 **PINを入力→［OK］**

間違ったPINを入力した場合には、エラーメッセージが表示されます。正しいPINを再入力してください。

■パスワードを入力する

1 **パスワードの入力が必要な操作をする**

パスワード入力画面が表示されます。

2 **パスワードを入力→［完了］**

間違ったパスワードを入力した場合は、エラーメッセージが表示されます。正しいパスワードを再入力してください。

memo

- パターン／PIN／パスワードロック中でも、パターン／PIN／パスワード入力画面で「緊急通報」をタップすると、110（警察)、118（海上保安本部)、119（消防機関）へ電話をかけることができます。
- パターン／PIN／パスワードの入力を5回連続して間違えると、メッセージが表示されて30秒間入力できない状態になります。「OK」をタップして、入力可能になったら再入力してください。
- パターン解除を5回連続して間違えた場合、「パターンを忘れた場合」をタップすると、本製品に登録されているGoogleアカウントとパスワードを入力することで、パターンを再設定できます。
- 「画面ロック」で「フェイスアンロック」を設定している場合、ロック解除の画面でインカメラに自分の顔を写すと、ロックを解除できます。顔が正確に認識されずロック解除できないときには、パターンやPINの入力が求められます。

データを複数選択する

データを移動／保存／削除などする際に、複数のデータを選択できる場合があります。
選択するデータをタップすると、データに枠が付き、データが選択された状態になります。
枠が付いたデータをタップすると、枠が外れて選択が解除されます。
アプリケーションによっては、複数選択の方法が異なる場合があります。

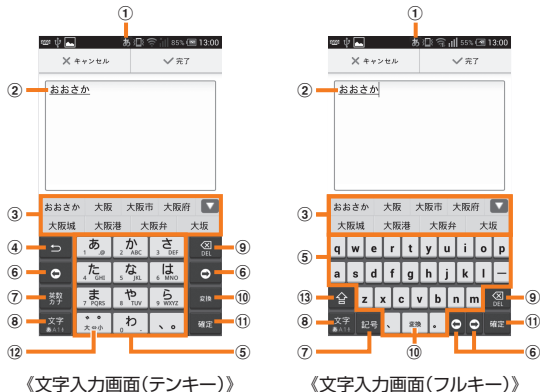
memo

- データを選択する画面で［ ⋮ ］→［アイテムを選択］→［X件選択済み］→［すべて選択］／［選択をすべて解除］と操作して、データを全件選択／データの選択を全件解除できる場合があります。

文字入力

文字入力の方法

文字入力には、ソフトウェアキーボードを使用します。
ソフトウェアキーボードは、連絡先の登録時やメール作成時などに表示される文字入力画面で入力欄をタップすると表示されます。
本製品には、「Androidキーボード」「DioPen 韓／中／葡 IME」「Google音声入力」「Inspirium 手書きIME」「iWnn IME」が用意されています。
ここでは、「iWnn IME」の操作方法を説明します。
「Inspirium 手書きIME」を利用した手書き入力の方法については、「手書き入力を利用する」（▶P.78）をご参照ください。
入力方法の切替については、「入力ソフトを切り替える」（▶P.79）をご参照ください。

《文字入力画面（テンキー）》　《文字入力画面（フルキー）》

① **入力モードアイコン**
あ：ひらがな漢字入力
カ：全角カタカナ入力
ｶﾅ：半角カタカナ入力
A：全角英字入力
AB：半角英字入力
1：全角数字入力
12：半角数字入力
🎤：音声入力

② **文字入力エリア**

③ **通常変換候補リスト／予測変換候補リスト／つながり予測候補リスト**
文字を入力して「変換」をタップすると、通常変換候補リストが表示されます。予測変換を有効にしている場合は、文字を入力すると予測変換候補リストが表示され、入力が確定されるとつながり予測候補リストが表示されます。
「▼」をタップすると変換候補リストの表示エリアを拡大できます。元の表示に戻すには「▲」をタップします。

④ **バックキー／Undoキー**
↩：キーに割り当てられている１つ前の文字を表示します。（バック機能）
Undo：文字入力確定後にタップすると未確定の状態に戻すことができます。

⑤ **ソフトウェアキーボード**
各キーに割り当てられた文字を入力できます。

⑥ **カーソルキー**
カーソルを左／右に移動したり、変換時の文字の区切りを変更したりします。ワイルドカード予測（▶P.77）の文字数を追加／削除するときにも使用します。

⑦ **記号・顔文字キー／英数・カナキー**
記号：記号・顔文字一覧を表示します。
英数カナ：入力した文字の変換候補を英数・カナに切り替えます。

⑧ **入力モード切替キー**
入力モードを切り替えます。
入力モードを切り替えると、表示が次のように変更されます。
：ひらがな漢字入力
：全角カタカナ入力
：半角カタカナ入力
：全角英字入力
：半角英字入力
：全角数字入力
：半角数字入力
：音声入力

⑨ **DELキー**
選択した文字やカーソルの左の文字を削除します。ロングタッチすると連続削除ができます。

⑩ **手書きキー／変換キー**
：手書き入力に切り替えます。
▶P.78「手書き入力を利用する」
：通常変換候補リストを表示します。

⑪ **確定キー／改行キー**
：入力中の文字を確定します。
：カーソルの位置で改行します。

⑫ **大文字／小文字切替キー**
：ひらがな／カタカナの入力時に拗音や促音に切り替えたり、濁点／半濁点を付けます。
A⇔a：英字入力時に大文字／小文字を切り替えます。

⑬ **シフトキー**
：小文字入力
：大文字入力
：大文字入力ロック

memo

- アプリケーションや画面により表示されるアイコンや使用できる機能が異なる場合があります。

入力する文字種を切り替える

1 **文字入力画面で入力モード切替キーをロングタッチ→［入力モード切替］**

2 **文字種を選択**

memo

- 入力モード切替キーをタップするたびに、「ひらがな漢字」→「半角英字」→「半角数字」→「音声入力」の順で入力する文字種を切り替えることができます。
- アプリケーションや画面によっては、入力できない文字種があります。

ソフトウェアキーボードを切り替える

ソフトウェアキーボードには、「テンキー」と「フルキー」の2種類があります。

テンキー（12Key）	一般的な携帯電話と同じ順序で文字が並んでいるキーボードです。
フルキー（QWERTY）	一般的なパソコンと同じ順序で文字が並んでいるキーボードです。

1 **文字入力画面で入力モード切替キーをロングタッチ→［テンキー⇔フルキー］**

ひらがな／漢字／カタカナ／英字／数字を入力する

■ひらがな／漢字／カタカナを入力する

入力モードを「ひらがな漢字」に切り替え、ソフトウェアキーボードが「テンキー」のときは、割り当てられたキーをタップして入力します。「フルキー」のときは、ローマ字入力で入力します。

■英字を入力する

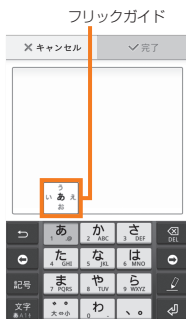
入力モードを「全角英字」または「半角英字」に切り替え、ソフトウェアキーボードが「テンキー」のときは、割り当てられたキーをタップして入力します。「フルキー」のときは、各キーをそのまま入力します。

■数字を入力する

入力モードを「全角数字」または「半角数字」に切り替え、ソフトウェアキーボードが「テンキー」のときも「フルキー」のときも各キーをそのまま入力します。「フルキー」のときにシフトキーをタップすると、入力できる記号を切り替えることができます。

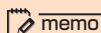
■フリック入力を利用する

ソフトウェアキーボードが「テンキー」のとき、キーを上下左右にフリックすることで、キーを繰り返してタップすることなく、入力したい文字を入力することができます。
キーをロングタッチすると、フリック入力で入力できる候補（フリックガイド）が表示されます。入力したい文字が表示されている方向にキーをフリックすると文字が入力できます。

例：「あ」を入力するときは、「あ」をタップします。「お」を入力するときは、「あ」を下にフリックします。

文字を修正する

■バック機能について

ソフトウェアキーボードが「テンキー」のとき、「 」をタップすると、文字入力時にキーをタップしすぎて入力したい文字を行きすぎた場合でも、前の文字に戻すことができます。

例：「き」を入力したかったのに「く」になってしまったとき、「 」をタップすると、「き」に戻ります。

> **memo**
>
> - フリック入力では、バック機能を利用できません。

■Undo機能について

ソフトウェアキーボードが「テンキー」のとき、文字入力確定後に「Undo」をタップすると、未確定の状態に戻すことができます。

予測変換機能を利用する

予測変換機能を利用すると、よく使う言葉や過去に変換・確定した文節を途中まで入力しただけで変換できます。

例：「か」と入力するだけで、「彼」などの予測変換の候補が予測変換候補リストに表示されます。候補をタップすると選択できます。
また、入力を確定すると、確定した文字に続くことが予測されるつながり予測候補も表示されます。

例：「私」と入力すると、つながり予測候補リストに「は」「の」「が」などが表示されます。候補をタップすると選択できます。

memo

- 入力モードが「ひらがな漢字」のとき「 変換 」をタップすると通常変換候補リストに切り替えられます。
- 表示される予測変換の候補は、過去に変換・確定を行った状況により異なります。
- 「予測変換」（▶P.84）を無効に設定すると、予測変換の候補が表示されなくなります。

ワイルドカード予測を利用する

ワイルドカード予測とは、読みの文字数から変換候補を表示する機能です。

例 ：「東海道新幹線」と入力したい場合、「と」を入力 して「 ○ 」を10回タップすると、「と○○○○○○○○○○」と表示され、予測変換候補リストに「東海道新幹線」が表示されます。

記号／顔文字を入力する

顔文字／記号一覧を表示して文字入力画面に入力します。
一覧の表示方法は文字入力画面に変換対象がない場合に「 記号 」をタップします。
一覧上部の「記号」「顔文字」タブをタップして記号／顔文字一覧を切り替えます。
戻る ：文字入力画面に戻ります。
▲ ／ ▼ ：前／次のページを表示します。
DEL ：選択した文字やカーソルの左側の文字を削除します。

memo

- アプリケーションや画面によっては、入力できない記号／顔文字があります。

絵文字を入力する

絵文字一覧を表示して文字入力画面に入力します。
一覧の表示方法は、文字入力画面で「絵文字」をタップします。
▲ ／ ▼ ：前／次のページを表示します。
⌫ ：選択した文字やカーソルの左側の文字を削除します。

memo

- 絵文字はEメール、SMSのみで使用できます。
- デコレーション絵文字は、Eメールのみで使用できます。入力方法については、「絵文字を利用する」（▶P.110）をご参照ください。

文字を切り取り／コピーしてから貼り付ける

1 文字入力画面で切り取り／コピーする文字をロングタッチ

「 」／「 」をドラッグして範囲を選択してください。
「 」をタップするとすべての文字を選択できます。

2 ［ ］／［ ］

：切り取りします。
：コピーします。

3 貼り付ける位置をタップ→［ ］→［貼り付け］

「 」をドラッグしてカーソルの位置を移動することができます。

音声入力を利用する

1 文字入力画面で入力モード切替キーをロングタッチ→［入力モード切替］→［音声入力］

2 ［音声入力開始］

音声入力が起動します。

3 送話口（マイク）に向かって入力したいキーワードを話す

処理が完了すると文字が入力されます。

手書き入力を利用する

「Inspirium 手書きIME」というソフトウェアキーボードを利用して手書き入力ができます。

1 文字入力画面で［ ］

手書き入力画面が表示されます。

① **カーソルキー**
カーソルを左／右に移動したり、変換時の文字の区切りを変更したりします。

② **Inspirium 手書きIMEの設定／入力方法の選択**
タップすると、iWnn IMEが表示されます。
ロングタッチすると、設定メニューが表示されます。

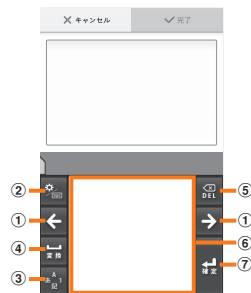
③ **入力モード切替キー**

④ **変換／スペースキー**
通常変換候補リストを表示します。／スペースを入力します。

⑤ **DELキー**
選択した文字やカーソルの左側の文字を削除します。ロングタッチすると連続削除ができます。

《手書き入力画面》

⑥ **文字入力フィールド**

⑦ **確定キー／改行キー**
入力中の文字を確定します。／カーソルの位置で改行します。

2 文字入力フィールドに入力したい文字を書く

入力ソフトを切り替える

1 文字入力画面で、ステータスバーを下方向にスライド

通知パネルが表示されます

2 [入力方法の選択]

3 以下の項目をタップ

Androidキーボード	主に英語や数字を入力する場合に使用する入力ソフトです。ポルトガル語などの多言語の入力もできます。 • 日本語の入力はできません。 • 設定方法については、「Androidキーボードの設定をする」(▶P.81)をご参照ください。
DioPen 韓/中/葡 IME	英語/韓国語/ポルトガル語/中国語(簡体字・繁体字)を入力する場合に使用する入力ソフトです。 • 日本語の入力はできません。 • [Ab / 가 / PO / 拼]をタップして入力言語を切り替えてください。 • 中国語の簡体字/繁体字は、ホーム画面で[⋮]→[設定]→[言語と入力]→[DioPen 韓/中/葡 IME]の右側にある[ ]→[入力言語の設定]→[中国語の詳細設定]→[中国語の言語設定]で設定してください。 • 設定方法については、「DioPen 韓/中/葡 IMEの設定をする」(▶P.82)をご参照ください。
Google音声入力	音声入力する場合に使用する入力ソフトです。56言語の音声入力ができます。 • 設定方法については、「Google音声入力」(▶P.263)をご参照ください。
Inspirium 手書き IME	日本語/英語が入力できる手書き入力ソフトです。 • 設定方法については、「Inspirium 手書き IMEの設定をする」(▶P.83)をご参照ください。
iWnn IME	主にひらがな/漢字/カタカナを入力する場合に使用する入力ソフトです。 • 設定方法については、「iWnn IMEの設定をする」(▶P.84)をご参照ください。

単語リストに単語を登録する

単語リストに登録する

1 ホーム画面で［ ⋮ ］→［設定］→［言語と入力］→［ユーザー辞書］
ユーザー辞書画面が表示されます。

2 ［+］

3 単語などを入力→［OK］

memo

- 登録した単語を編集する場合は、単語リスト画面で編集する単語をタップします。
- 登録した単語を削除する場合は、単語リスト画面で登録した単語の右側の赤い「×」アイコンをタップします。

日本語ユーザー辞書／英語ユーザー辞書に登録する

よく使う単語などの読みと表記を登録しておくと、効率的な変換が可能になります。文字の入力時に登録した単語などの読みを入力すると、変換候補リストに表示されます。
日本語と英語をそれぞれ500件まで登録できます。

1 ホーム画面で［ ⋮ ］→［設定］→［言語と入力］→［iWnn IME］の右側にある［ ⚙ ］→［日本語ユーザー辞書］／［英語ユーザー辞書］
日本語／英語ユーザー辞書の単語一覧画面が表示されます。

2 ［ ⋮ ］→［登録］
単語編集画面が表示されます。

3 読み／表記を入力→［保存］

memo

- 登録した単語などを編集／削除する場合は、日本語／英語ユーザー辞書の単語一覧画面で登録した単語などを選択→［ ⋮ ］→［編集］／［削除］と操作します。
- 日本語／英語ユーザー辞書の単語一覧画面で［ ⋮ ］→［ユーザー辞書全消去］→［OK］と操作すると、すべての単語を削除できます。

文字入力の設定をする

Androidキーボードの設定をする

Androidキーボードでのキー操作や入力候補表示機能などを設定できます。

1 **ホーム画面で［ ⋮ ］→［設定］→［言語と入力］→［Androidキーボード］の右側にある［ ］**

Androidキーボードの設定画面が表示されます。

2 **以下の項目をタップ**

入力言語	スペースキーをロングタッチして変更する言語を設定します。
自動大文字変換	英字入力時に、文頭の文字を自動的に大文字に変換するかどうかを設定します。
キー操作バイブ	キーをタップしたときにバイブレータで振動させるかどうかを設定します。
キー操作音	キーをタップしたときにキー操作音を鳴らすかどうかを設定します。
キー押下時ポップアップ	キーをタップしたときにキーを拡大表示させるかどうかを設定します。
設定キーを表示	キーボードに設定キーを表示するかどうかを設定します。
音声入力キー	音声入力キーの表示位置を設定します。
自動修正	誤入力を自動で修正するかどうかを設定します。
修正候補を表示する	修正候補を表示するかどうかを設定します。

詳細設定	キーのポップアップ時間	キーのポップアップをすぐに消去するかどうかを設定します。
	候補の連絡先名を表示	連絡先の名前を使用して候補表示や自動修正を行うかどうかを設定します。
	バイグラム入力候補表示	直前の単語から入力候補を予測するかどうかを設定します。
	再修正を有効にする	再修正の候補を挿入するかどうかを設定します。
	キー操作バイブの振動時間の設定	キー操作をしたときのバイブの振動時間を設定します。
	キー操作音の音量設定	キー操作をしたときの音量を設定します。

memo

- 操作する画面によっては、音声入力を利用できない場合があります。

DioPen 韓／中／葡 IMEの設定をする

1 **ホーム画面で［ ⋮ ］→［設定］→［言語と入力］→［DioPen 韓／中／葡 IME］の右側にある［ ］**

DioPen 韓／中／葡 IMEの設定画面が表示されます。

<table>
<tr><td>キー操作バイブ</td><td colspan="3">キーをタップしたときにバイブレータで振動させるかどうかを設定します。</td></tr>
<tr><td>キー操作音</td><td colspan="3">キーをタップしたときにキー操作音を鳴らすかどうかを設定します。</td></tr>
<tr><td>自動シンボル完成</td><td colspan="3">記号の入力時に、「""」「( )」などペアになっている記号を自動で入力するように設定します。</td></tr>
<tr><td>テーマ設定</td><td colspan="3">キーボードのデザインイメージを変更します。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">入力言語の設定</td><td colspan="3">キーボードから切り替え選択できる言語を設定します。（韓国語／中国語／ポルトガル語）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">中国語の詳細設定</td><td>中国語の言語設定</td><td>簡体字／繁体字のどちらか、または両方使用から言語を選択します。</td></tr>
<tr><td>ファジー使用</td><td>ピンインのファジー入力を有効にするかどうか設定します。</td></tr>
<tr><td>ファジー設定</td><td>ピンインのファジー入力の詳細を設定します。</td></tr>
<tr><td>推薦単語の表示</td><td colspan="3">文字入力時に、入力候補を表示するかどうかを設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">詳細設定</td><td>自動スペース</td><td colspan="2">入力候補から単語を選択したときに、単語の後ろに自動的にスペースを追加するかどうかを設定します。（英語のみ）</td></tr>
<tr><td>お気に入りの単語</td><td colspan="2">よく使う単語を優先的に表示するように設定します。（英語のみ）</td></tr>
<tr><td>ユーザワード</td><td colspan="2">ユーザワード（単語リスト）を登録します。</td></tr>
<tr><td>キャッシュの削除</td><td colspan="2">入力時に一時的に保存された単語のキャッシュを削除します。</td></tr>
<tr><td>履歴削除</td><td colspan="2">入力候補の選択履歴を削除します。</td></tr>
<tr><td>韓国語キーボード</td><td colspan="3">韓国語を入力する際のQwerty ／ SKY Ⅱを選択します。</td></tr>
<tr><td>情報</td><td colspan="3">DioPen 韓／中／葡 IMEのメーカー情報などが表示されます。</td></tr>
</table>

Inspirium 手書きIMEの設定をする

1 **ホーム画面で［ ］→［設定］→［言語と入力］→［Inspirium 手書きIME］の右側にある［ ］**

Inspirium 手書きIMEの設定画面が表示されます。

2 **以下の項目をタップ**

項目	説明
認識を開始するまでの時間	文字の認識を開始するまでの時間を設定します。
入力画面パターン	文字入力画面の種類を設定します。
文脈補正	入力した前後の文字から自動補正を行うかどうかを設定します。
アニメーションを使う	認識候補文字の表示にアニメーションを使用するかどうかを設定します。
英数字の入力を半角に固定する	英数字の入力を半角に固定するかどうかを設定します。
認識候補文字数の設定	認識候補文字の最大数を設定します。
認識候補文字種の説明表示	認識候補文字種の説明の表示方法を設定します。
予測結果表示行数	画面の向きごとに、予測変換候補などの変換候補リストを表示する行数を設定します。
1行に表示する予測結果の最大数	1行に表示する予測結果の最大数を設定します。
文字色の設定	認識結果の文字種の色を設定します。
ペンの設定	文字入力時のペンの色と太さを設定します。
自動字型学習	字型辞書への学習を行うかどうかを設定します。
字型辞書	字型辞書の文字を削除できます。
字型辞書リセット	字型辞書の内容をすべて削除します。
同じ文字学習数の上限	同じ文字学習数の上限を変更します。
日本語ユーザー辞書	ユーザー辞書に単語を登録します。
英語ユーザー辞書	
学習辞書リセット	学習辞書の学習内容をリセットします。
Inspirium 手書き文字認識IME	Inspirium IMEのバージョン情報などが表示されます。

iWnn IMEの設定をする

iWnn IMEでのキー操作や変換機能などを設定できます。

1 ホーム画面で［ ］→［設定］→［言語と入力］→［iWnn IME］の右側にある［ ］

iWnn IME設定画面が表示されます。

キー操作音	キーをタップしたときにキー操作音を鳴らすかどうかを設定します。
キー操作バイブ	キーをタップしたときにバイブレータで振動させるかどうかを設定します。
キーポップアップ	キーをタップしたときにタップしたキーを拡大表示させるかどうか、フリック入力時のフリックガイドを表示させるかどうかを設定します。
自動大文字変換	英字入力時に、文頭の文字を自動的に大文字に変換するかどうかを設定します。
自動スペース入力	英字入力で候補リストから文字を選択したときに、スペースを自動で入力するかどうかを設定します。
キーボードタイプ	画面の向き、入力モードごとにキーボードのタイプを設定します。
キーサイズ	キーボードの高さを設定します。
キーボードイメージ	キーボードのデザインイメージを変更します。
音声入力	音声入力機能を利用するかどうかを設定します。
フルスクリーンモード	フルスクリーンモードを有効にするかどうかを設定します。
フリック入力	フリック入力機能を利用するかどうかを設定します。 ▶P.76「フリック入力を利用する」
フリック感度	フリック入力時のフリック感度を設定します。
トグル入力	フリック入力が有効のとき、キーを繰り返しタップして入力する文字を切り替えるかどうかを設定します。
自動カーソル移動	文字入力後、自動でカーソルが移動するまでの間隔を設定します。
候補学習	変換で確定した語句を学習辞書に登録するかどうかを設定します。
予測変換	予測変換機能を利用するかどうかを設定します。 ▶P.76「予測変換機能を利用する」
入力ミス補正	入力間違いの修正候補を表示するかどうかを設定します。
ワイルドカード予測	ワイルドカード予測機能を利用するかどうか設定します。 ▶P.77「ワイルドカード予測を利用する」
候補表示行数	画面の向きごとに、予測変換候補などの変換候補リストを表示する行数を設定します。
マッシュルーム	マッシュルーム拡張機能を使用するかどうかを設定します。
日本語ユーザー辞書 **英語ユーザー辞書**	ユーザー辞書に単語を登録します。 ▶P.80「日本語ユーザー辞書／英語ユーザー辞書に登録する」
学習辞書リセット	学習辞書の学習内容をリセットします。
iWnn IME	iWnn IMEのバージョン情報などが表示されます。

memo

- マッシュルーム拡張機能を使用する場合、あらかじめアプリケーションをインストールしておく必要があります。アプリケーションのインストール方法については、「Playストア（Google Play）を利用する」（▶P.218）をご参照ください。
- マッシュルームアプリを起動するには、文字入力画面で「文字」をロングタッチ→［マッシュルーム］と操作し、アプリケーションを選択します。また、予測変換などの変換候補リストをロングタッチ→［Mashup］と操作し、アプリケーションを選択しても起動できます。

電話

電話をかける

1 ホーム画面で［電話］

電話番号入力画面が表示されます。

① 「電話」タブ
電話番号を入力して電話をかけます。

② 「通話履歴」タブ
▶P.93「履歴を利用して電話をかける」

③ 「お気に入り」タブ
▶P.101「お気に入りを利用する」

④ 電話番号入力欄

⑤ 訂正キー
入力した数字を1桁削除します。
ロングタッチすると、すべての数字を削除できます。

《電話番号入力画面》

⑥ 連絡先表示欄
電話番号を入力していない場合、よく連絡する連絡先または電話番号が表示されます。
連絡先表示欄をタップすると最大10件の連絡先が表示されます。
4桁以上の電話番号を入力すると、電話帳に登録されている連絡先から自動的に候補を検索して表示します。

複数候補がある場合は、連絡先表示欄をタップするとすべての検索結果を表示できます。

候補となる連絡先がない場合は「保存」ボタンになります。「保存」をタップすると、入力中の電話番号を連絡先に登録することができます。

⑦ メニューアイコン
設定メニューが表示されます。

⑧ ダイヤルキー

⑨ 0／+キー
ロングタッチすると、国際アクセスコードの「+」が追加されます。
（▶P.92「au電話から海外へかける（au国際電話サービス）」）

⑩ ＊／マナーキー
電話番号を入力していない状態でロングタッチすると、マナーモードを設定／解除できます。

⑪ 電話帳キー
電話帳画面が表示されます。

⑫ 発信キー
電話番号を入力した後にタップすると、その番号に発信します。
電話番号を入力していない状態でタップすると、通話履歴を表示できます。
電話番号を入力していない状態でロングタッチすると、最後にかけた電話にリダイヤル発信できます。

⑬ 特番キー
▶P.88「電話番号入力画面の特番キーを利用する」

2 電話番号を入力

一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力してください。

3 ［発信］→通話→［切断］

通話中に ▲ または ▼ を押すと、受話音量（相手の方の声の大きさ）を調節できます。
通話中は、通話中画面に通話時間の目安が表示されます。

電話

memo

- 「1401」を追加して電話をかけた場合の通話料は、auのぷりペイドカードを購入し、ご登録された残高から引かれます。
- 送話口をおおっても、相手の方には声が伝わりますのでご注意ください。
- 電話番号入力画面で電話番号を入力せずに「1」をロングタッチすると、お留守番サービスでお預かりしている伝言・ボイスメールを再生できます。伝言・ボイスメールについて詳しくは、「伝言・ボイスメールを聞く」（▶P.296）をご参照ください。
- 「機内モード」を設定中でも、緊急通報番号（110、119、118）へは電話をかけることができます。

■電話番号入力画面のメニューを利用する

1 電話番号入力画面で電話番号を入力→［⋮］

2 以下の項目をタップ

電話帳に追加	入力した電話番号を電話帳に追加します。
スピードダイヤル設定	スピードダイヤル設定画面に移動します。
SMS	入力した電話番号のSMSを作成します。
Eメール	入力した電話番号が登録されている連絡先のEメールを作成します。
着信拒否登録	入力した電話番号を指定番号拒否設定の一覧に登録します。
ダイヤルタイプ設定	ダイヤルタイプ設定画面に移動します。
通話設定	通話設定画面に移動します。

※ 使用できる項目は電話番号の入力の有無などにより異なります。

■電話番号入力画面の特番キーを利用する

1 電話番号入力画面で［特番］

184付加	「184（発信者番号非通知）」を付加します。
186付加	「186（発信者番号通知）」を付加します。
P付加	▶P.90「P（ポーズ）ダイヤルで電話をかける」
＋付加	「＋（国際アクセスコード）」を付加します。 ▶P.92「au電話から海外へかける（au国際電話サービス）」
国際電話	「＋（国際アクセスコード）」と各国の国際電話用の国番号を付加します。

※ 使用できる項目は電話番号の入力の有無などにより異なります。

memo

- 「184」と「186」は同時に付加できません。
- 「エリア設定」（▶P.306）を「日本」以外に設定している場合は、「184」および「186」は付加できません。

■通話中のメニューを利用する

1 通話中画面で

スピーカー	通話中に「スピーカー」をタップすると、相手の音声をスピーカーから聞くことができます。もう一度「スピーカー」をタップすると元に戻ります。
通話録音	通話中に「通話録音」をタップすると、録音が開始されます。録音を停止するには、「中止」をタップします。

Bluetooth	通話中に「Bluetooth」をタップすると、別売のBluetooth®ヘッドセットと接続し通話できます。もう一度「Bluetooth」をタップすると、別売のBluetooth®ヘッドセットとの接続を解除します。（ヘッドセットと接続状態のときのみ操作できます。）
ミュート	通話中に「ミュート」をタップすると、相手の方にこちらの声が聞こえないようになります。もう一度「ミュート」をタップすると元に戻ります。
キーパッド	通話中に「キーパッド」をタップすると、ダイヤルキーが表示されます。タップした番号のプッシュ信号を送信できます。もう一度「キーパッド」をタップすると、ダイヤルキーを非表示にできます。
通話	通話追加後に「通話」をタップすると、グループ通話に切り替わります。また、応答保留時に「通話」をタップすると通話を開始できます。
切断	通話中に「切断」をタップすると、通話を終了します。
通話追加	通話中に「通話追加」をタップすると、通話を追加できます。

memo

- 通話切断後、「発信」「メッセージ」「現在地送信」「電話帳に追加／電話帳」のメニューが表示されます。

緊急通報位置通知について

本製品は、警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際、お客様の現在地（GPS情報）が緊急通報先に通知されます。

memo

- 警察（110）・消防機関（119）・海上保安本部（118）について、ここでは緊急通報受理機関と記載します。
- 本機能は、一部の緊急通報受理機関でご利用いただけない場合もあります。
- 緊急通報番号（110、119、118）の前に「184」を付加した場合は、電話番号と同様にお客様の現在地を緊急通報受理機関に知らせることができません。
- GPS衛星または基地局の信号による電波を受信しづらい、地下街・建物内・ビルの陰では、実際の現在地と異なる位置が、緊急通報受理機関へ通知される場合があります。
- GPS測位方法で通知できない場合は、基地局信号により、通知されます。
- 警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際には、必ずお客様の所在地をご確認のうえ、口頭でも正確な住所をお伝えくださいますようお願いいたします。なお、おかけになった地域によっては、管轄の通報先に接続されない場合があります。
- 緊急通報した際は、通話中もしくは通話切断後一定の時間内であれば、緊急通報受理機関が、人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、発信者の位置情報を取得する場合があります。

P（ポーズ）ダイヤルで電話をかける

送信するプッシュ信号をあらかじめ入力しておき、通話中に「はい」をタップするとプッシュ信号を送信できます。各種の情報サービスや自動予約サービスを利用する際に便利です。

例 ：「03-0001-XXXX（銀行の電話番号）」に電話をかけて、店番号「22X」口座番号「123XX」を送信する場合

1 **電話番号入力画面で銀行の電話番号を入力→［★］→［P付加］**

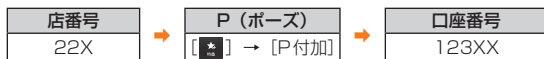
2 **送信する プッシュ信号を入力**

店番号
22X

➡

P（ポーズ）
［★］ → ［P付加］

➡

口座番号
123XX

※ P（ポーズ）を間に入力すれば、複数のプッシュ信号をつなげて入力できます。

3 **［ 発信 ］**

電話番号「030001XXXX」に電話がかかり、最初のプッシュ番号（22X）を送信するかどうかの確認画面が表示されます。

4 **［はい］**

最初のプッシュ信号（22X）が送信され、2番目のプッシュ信号（123XX）を送信するかどうかの確認画面が表示されます。

5 **［はい］**

2番目のプッシュ信号（123XX）が送信されます。

memo

- 電波の状態が悪いと、正しく送信できないことがあります。

電話を受ける

1 **着信中に を右にドラッグ**

2 **通話→［切断］**

■電話がかかってきた場合の表示について

着信すると、次の内容が表示されます。

- 相手の方から電話番号の通知があると、電話番号が表示されます。
- 電話番号と名前が電話帳に登録されている場合は、名前などの情報も表示されます。連絡先に画像が設定されているときは、画像がディスプレイに表示されます。
- 相手の方から電話番号の通知がないと、理由が表示されます。

「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能」※

※ 相手の方が通知できない電話からかけている場合です。

memo

かかってきた電話に出なかった場合は

- ステータスバーに が表示されます。通知／ステータスパネルを開くと、着信のあった時間や電話番号、または電話番号に登録されている名前などが表示されます。通知内容をタップすると通話履歴画面が表示されます。

着信時に着信音を消音にするには

- 着信中に または を押すと、着信音が消音になり、バイブレータが停止します。

他の機能をご利用中に着信した場合は

- 電話帳など他の機能をご利用中に着信した場合は、着信が優先されます。
- 動画を録画していた場合は、録画が中断され、録画終了後の画面になります。
- 音声メモなどで録音していた場合は、録音が中断されて録音していたデータは保存されます。

応答を保留する

1 着信中に［ メニュー ］→［応答保留］

保留状態になり、相手の方に保留中であることを音声ガイダンスでお知らせします。

2 保留中に［通話］

保留が解除され、電話がつながります。

memo

- 保留中も、かけてきた相手の方には通話料がかかります。
- 保留中に「切断」をタップすると、保留されていた電話を終了します。
- 一度保留を解除すると、もう一度保留にはできません。
- 「エリア設定」（▶P.306）を「日本」以外に設定しているときは、応答を保留できません。

着信を拒否する

1 着信中に を左にドラッグ

呼出音が止まって電話が切れます。相手の方には「こちらはauです。おかけになった電話をお呼びしましたが、お出になりません。」と音声ガイダンスでお知らせします。

memo

- お留守番サービス（▶P.292）を開始しているか、着信転送サービスを「無応答転送」（▶P.287）を設定している場合は、着信拒否をしても、お留守番サービスまたは着信転送サービスが優先されます。

着信を転送する

かかってきた電話に出ずに、(「手動で転送する(選択転送)」(▶P.288))で登録した転送先の電話番号へ転送します。

1 着信中に[メニュー]→[着信転送]

memo

- お留守番サービス(▶P.292)を開始していて、転送先が登録されていない場合はお留守番サービスに転送されます。
- お留守番サービス(▶P.292)を停止していて、転送先が登録されていない場合は「着信転送」をタップしても転送できません。
- 「エリア設定」(▶P.306)を「日本」以外に設定しているときは、選択転送はできません。

着信応答メッセージを送信する

1 着信中に を下にドラッグ

「着信応答メッセージ」画面が表示されます。

2 [新規作成]/[送信]

相手にSMSを送信したり、簡易留守メモを送信することができます。

国際電話を利用する

memo

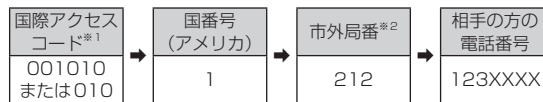
- 国際アクセス番号は国によって異なります。

au電話から海外へかける(au国際電話サービス)

本製品からは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

例:au電話からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 電話番号入力画面で国際アクセスコード、国番号、市外局番、相手の方の電話番号を入力→[発信]

国際アクセスコード※1	→	国番号(アメリカ)	→	市外局番※2	→	相手の方の電話番号
001010または010		1		212		123XXXX

※1 「0」をロングタッチすると、「+」が入力され、発信時に「001010」が自動で付加されます。

※2 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いてダイヤルしてください(イタリア・モスクワの固定電話など一部例外もあります)。

memo

- 電話番号入力画面で［★］→［国際電話］→国を選択すると、「+」と国番号が入力され、発信時に「001010」と国番号が自動で付加されます。
- au国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、au国際電話サービスをご利用いただけません。
- ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日からご利用を再開します。また、ご利用停止中も国内通話は通常通りご利用いただけます。
- 通話料は、auより毎月のご利用料金と一括してのご請求となります。ご利用を希望されない場合は、お申し込みによりau国際電話サービスを取り扱わないようにすることもできます。
  au国際電話サービスに関するお問い合わせ：
  au電話から（局番なしの）157番（通話料無料）
  一般電話から 0077-7-111（通話料無料）
  受付時間 毎日9：00～20：00
- 海外へ電話を転送できます。（▶P.289「海外の電話へ転送する」）

履歴を利用して電話をかける

着信履歴／発信履歴を呼び出して利用できます。

1 ホーム画面で［電話］→［通話履歴］

通話履歴画面が表示されます。

《通話履歴（全履歴）画面》

① **ソート切替メニュー**
タップすると全履歴／不在着信履歴／着信履歴／発信履歴でソートして履歴を表示できます。

② **電話番号**
電話番号と名前が電話帳に登録されている場合は、名前が表示されます。
発信番号が通知されなかった場合は、その理由が表示されます。
ネットワークサービスを利用した場合は、そのサービス内容が表示されます。

③ **発着信状態**
：通常着信
：不在着信
：着信拒否
：発信

④ **発信アイコン**
電話番号に発信します。

⑤ **発着信日時**

電話

2 電話をかける履歴をタップ

着信履歴／発信履歴詳細画面が表示されます。

① **連絡先に設定されている画像**

② **電話番号**

電話番号と名前が電話帳に登録されている場合は、名前が表示されます。
発信番号が通知されなかった場合は、その理由が表示されます。
ネットワークサービスを利用した場合は、そのサービス内容が表示されます。

③ **電話**

電話番号に発信します。

④ **メッセージ**

SMSを作成します。

《着信履歴（詳細）画面》

⑤ **発着信日時・通話時間**

⑥ **メニューアイコン**

⑦ **連絡先詳細情報表示／連絡先に追加**

3 ［電話］

memo

- 着信履歴（不在着信履歴含む）／発信履歴は、合計500件まで保存され、500件を超えると最も古い履歴から自動的に削除されます。空き容量によっては、保存件数が少なくなる場合があります。

通話履歴のメニューを利用する

■全履歴／不在着信履歴／着信履歴／発信履歴一覧画面の場合

■オプションメニューの場合

1 全履歴／不在着信履歴／着信履歴／発信履歴一覧画面で［⋮］

2 以下の項目をタップ

通話時間	通話時間画面が表示されます。最後の通話時間や全ての通話時間などを確認します。
通話履歴から削除	履歴を削除します。
通話設定	通話設定画面が表示されます。

■コンテキストメニューの場合

1 全履歴／不在着信履歴／着信履歴／発信履歴一覧画面で履歴をロングタッチ

2 以下の項目をタップ

発信	電話番号に発信します。
SMS送信	SMSを作成します。
Eメール送信	Eメール、GmailまたはPCメールを送信できます。
通話履歴から削除	選択した履歴を削除します。
同一番号の履歴削除	同一番号からの履歴をすべて削除します。
連絡先表示	連絡先の詳細情報を表示します。
連絡先を編集	電話帳の連絡先編集画面を表示します。
電話帳に追加	▶P.99「他の機能から電話帳に登録する」
着信拒否登録	指定番号拒否設定の一覧に登録します。 ▶P.256「着信を拒否する」
通話の前に電話番号編集	電話番号を編集して発信します。

※ 表示される項目は本製品の設定、履歴の種類、連絡先への登録の有無などにより異なります。

■履歴詳細画面の場合

1 履歴詳細画面で［ ⋮ ］

2 以下の項目をタップ

Eメール送信	Eメール、GmailまたはPCメールを送信できます。
連絡先表示	連絡先の詳細情報を表示します。
通話履歴から削除	選択した履歴を削除します。

※ 表示される項目は連絡先への登録の有無により異なります。

自分の連絡先を確認する

Myプロフィールを設定する

Myプロフィールの情報をあらかじめ登録する必要があります。

1 ホーム画面で［アプリ］→［電話帳］→［Myプロフィール設定］

ローカルプロフィール画面が表示され、設定ができます。
すでにローカルプロフィールの設定を行っている場合は、自分の名前をタップし、［ ］をタップます。

① 画像
② 電話番号
自局電話番号が表示されます。
③ Eメールアドレス
④ 住所
⑤ イベント
⑥ 入力欄追加
組織、IM、メモ、ニックネーム、Webサイトが追加できます。
⑦ 名前と名前のよみ
⑧ 項目を追加／削除アイコン

2 ［保存］

Myプロフィールが保存され、［Myプロフィール設定］の項目は表示されなくなります。

電話

Myプロフィールを確認する

あらかじめ登録されている電話番号などの他に、名前やEメールアドレスなどの情報を追加登録して、Eメールへの添付などに利用できます。

① **名前**
② **画像**
③ **アカウント名**
④ **名前のよみ**
⑤ **電話番号**

：電話番号に発信します。
：SMSを作成します。

⑥ **Eメールアドレス**
Eメールを作成します。
⑦ **編集アイコン**
編集できる項目を表示します。
⑧ **メニューアイコン**

⑨ **ライブ連絡先アップデート**
右にスライドすると、［全履歴］タブおよび［PCメール］タブが表示されます。 をタップすると、電話番号に発信したり、SMSを作成したりできます。

memo

- au Micro IC Card(LTE)が挿入されていない場合、またはau Micro IC Card(LTE)以外のカードが挿入されている場合にプロフィール確認操作を行うと、自局電話番号、マイアドレスは表示されません。au Micro IC Card(LTE)を挿入し、もう一度電源を入れ直してください。
- 自局電話番号は編集できません。

電話帳

電話帳に登録する

memo

- 電話帳に登録された電話番号や名前は、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。事故や故障が原因で電話帳が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 「アカウントと同期」（▶P.260）を利用して、サーバに保存されたGoogleアカウントの連絡先などと本製品の電話帳を同期できます。

1 ホーム画面で［アプリ］→［電話帳］

連絡先が登録されていない場合は「連絡先追加」、「アカウントにログイン」、「電話帳のインポート／エクスポート」が表示されます。

① **「全て」タブ**
登録されている連絡先を全て表示します。

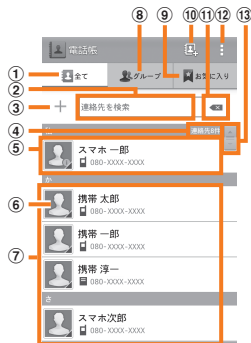
② **連絡先検索欄**
▶P.104「連絡先を検索する」

③ **追加アイコン**
連絡先を追加します。

④ **表示件数**
現在表示している連絡先の件数が表示されます。

⑤ **自分の連絡先**
自分の電話番号やメールアドレスなどを確認できます。

⑥ **画像**
連絡先に登録されている画像が表示されます。

⑦ **連絡先リスト**
登録されている連絡先の名前、電話番号などが表示されます。

《電話帳一覧画面》

⑧ **「グループ」タブ**
▶P.100「グループを利用する」

⑨ **「お気に入り」タブ**
▶P.101「お気に入りを利用する」

⑩ **追加アイコン**

⑪ **訂正アイコン**
電話帳検索欄に入力した文字を1文字削除します。
ロングタッチすると、すべての文字を削除できます。

⑫ **メニューアイコン**

⑬ **スクロールバー**
ロングタッチするとインデックスが表示されます。また、ドラッグすると、連絡先リストを上下にスクロールできます。

2 ［＋］

連絡先作成画面が表示されます。
複数のアカウントを設定している場合、アカウントを選択する画面が表示されます。連絡先を登録するアカウントを選択してください。

	カメラを起動して撮影した画像を登録するか、ギャラリーから画像を選択して登録します。
名前	名前を登録します。 • 名前を入力すると「ヨミ」が自動的に入力されます。「ヨミ」を修正することもできます。
ヨミ	
電話	電話番号を登録します。 • 1文字以上入力すると、[ ] が表示されます。[ ] をタップすると、スピードダイヤルに設定することができます。
Eメール	メールアドレスを登録します。
住所	住所を登録します。
イベント	誕生日や記念日などのイベントを入力します。
着信音	着信音を設定します。
グループ	グループを設定します。

※ 項目を追加して登録したい場合、「入力欄追加」をタップします。必要に応じて「組織」「IM」「メモ」「ニックネーム」「Webサイト」「関係」から選択できます。

3 ［保存］

memo

• 登録する電話番号が一般電話の場合は、市外局番から入力してください。
• 相手の方から電話番号の通知がない場合は、連絡先の画像、着信音の設定は有効になりません。
• 「 」／「 」をタップすると、項目内容を追加／削除できます。
• 項目によってはラベル（種別）を変更できる場合があります。項目の左側に表示されているラベルをタップして選択してください。ラベル変更時に「カスタム」を選択すると、ラベルを作成して登録できます。

他の機能から電話帳に登録する

通話履歴やメールなど他の機能で表示した電話番号やメールアドレスなどを電話帳に登録できます。
例：Eメールの受信メール内容表示画面から電話帳に登録する場合

1 **追加したい電話番号やメールアドレスをタップ→「アドレス帳登録」→「完了」**

「連絡先を選択」画面が表示されます。

■ 新しい連絡先として登録する場合

2 **［新規作成］**

連絡先作成画面が表示されます。
「電話帳に登録する」（▶P.98）

■ 既存の連絡先に追加登録する場合

2 **追加登録する連絡先をタップ**

追加登録する電話番号やメールアドレスが入力された連絡先編集画面が表示されます。連絡先を編集する場合は、「連絡先編集」（▶P.100）をご参照ください。

3 **［保存］**

連絡先を編集する

登録した連絡先を修正します。

1 電話帳一覧画面で編集する連絡先をロングタッチ → [連絡先を編集]

連絡先編集画面が表示されます。

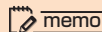
2 項目を選択して編集

項目については、「電話帳に登録する」（▶P.98）をご参照ください。

3 [保存]

グループを利用する

連絡先をグループに分けて管理することができます。
「アカウントと同期」（▶P.260）でGoogleアカウントと同期すると、自動的にグループが作成されます。

memo

・SNSなどのアカウントを本製品に設定し、「アカウントと同期」（▶P.260）で同期すると、設定したSNSなどにより連絡先グループが表示される場合があります。

グループの連絡先を確認する

1 電話帳一覧画面で［グループ］

グループ一覧画面が表示されます。
起動時は、すべてのアカウントのグループが表示されます。アカウント選択メニューでアカウントを選択すると、選択したアカウントに登録されているグループが表示されます。

2 グループ名を選択

グループ内の連絡先一覧画面が表示されます。[⋮]をタップすると、グループ編集、送信、グループ着信音設定、グループ移動などができます。

グループを追加する

1 グループ一覧画面で［ ］

2 グループ名を入力→［保存］

電話帳

お気に入りを利用する

「お気に入り」を利用すると、よく連絡する相手だけを一覧で表示することができます。

1 電話帳一覧画面で［お気に入り］

お気に入り一覧画面が表示されます。
お気に入りに登録された連絡先と、よく使う連絡先が表示されます。

memo

- 連絡先をお気に入りに追加するには、電話帳一覧画面／グループ内の連絡先一覧画面で連絡先をロングタッチ→［お気に入りに追加］と操作してください。
- 連絡先をタップ→［☆］をタップしてもお気に入りに追加することができます。
- よく使う連絡先は、利用回数が多い順に最大25件まで表示されます。

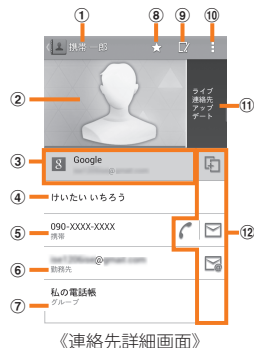
電話帳の登録内容を利用する

電話帳の登録内容を利用して、簡単に電話をかけたり、メールを送信したりできます。

1 電話帳一覧画面／グループ内の連絡先一覧画面／お気に入り一覧画面で連絡先を選択

連絡先詳細画面が表示されます。

《連絡先詳細画面》

① **名前**
② **画像**
③ **アカウント名**
④ **名前のよみ**
⑤ **電話番号**
⑥ **Eメールアドレス**
⑦ **グループ名**
⑧ **お気に入り**
☆（赤）：お気に入り登録状態
☆（白）：お気に入り解除状態
タップするとお気に入りに登録／解除できます。
⑨ **編集アイコン**
連絡先の登録内容を編集します。
⑩ **メニューアイコン**
「連絡先詳細画面のメニューを利用する」（▶P.106）
⑪ **ライブ連絡先アップデート**
右にスライドまたはタップすると、［通話履歴］タブおよび［PCメール］タブが表示されます。［⋮］をタップすると、電話番号に発信したり、SMSを作成したりできます。

⑫ アクションアイコン

：連絡先の統合／分離を管理する画面を表示します。
：電話番号に発信します。
：SMSを作成します。
：Eメールを作成します。

※ 連絡先に登録されている項目、本製品の設定などにより表示されるアイコンは異なります。

ライブ連絡先を利用する

対象の連絡先の履歴から電話やメールなどをかんたんに操作できます。

1 連絡先詳細画面で、画面を左にスライド

ライブ連絡先画面が表示されます。

■ 通話履歴から操作する

1 ライブ連絡先画面で［通話履歴］

2 ［ ］

3 ［発信］／［SMS送信］

■ PCメールから操作する

1 ライブ連絡先画面で［PCメール］

2 ［ ］

3 ［Eメール送信］／［新着問合せ］

スピードダイヤルを利用する

スピードダイヤルNo.2～99に登録した相手の方には、スピードダイヤルNo.を入力するだけで電話をかけることができます。
スピードダイヤルNo.1には、あらかじめボイスメールが登録されています。スピードダイヤルNo.1は、変更／削除できません。

連絡先をスピードダイヤルに登録する

1 電話帳一覧画面の［全て］タブで［ ］→［スピードダイヤル設定］

2 登録したいスピードダイヤルの番号を2～99から選択

すでにスピードダイヤルが登録されている番号は、水色で表示されます。番号をタップすると登録されている電話番号が表示されます。

3 ［追加］

電話帳一覧画面が表示されます。

4 登録する電話番号を選択

memo

- スピードダイヤルの登録を解除する場合は、電話帳一覧画面の［全て］タブで［ ］→［スピードダイヤル設定］→解除したいスピードダイヤルの番号を選択→［削除］→［OK］と操作してください。
- スピードダイヤルに登録されている電話番号を変更したい場合は、電話帳一覧画面の［全て］タブで［ ］→［スピードダイヤル設定］→変更したいスピードダイヤルの番号を選択→［変更］→登録する連絡先を選択してください。

電話帳

スピードダイヤルで電話をかける

1 ホーム画面で［電話］

電話番号入力画面が表示されます。

2 スピードダイヤルNo.（1 ～ 99）を入力

3 ［ 発信 ］

※ スピードダイヤルNo.が1桁の場合は、No.をロングタッチすると発信することができます。2桁の場合は、No.の1桁目をタップし、2桁目をロングタッチすると発信することができます。

クイックコンタクトを利用する

クイックコンタクト機能を利用すると、連絡先の一覧画面の画像をタップして、簡単に電話をかけたり、メールを送信したりできます。

1 電話帳一覧画面で連絡先の画像をタップ

クイックコンタクトアイコンが表示されます。

※ クイックコンタクトアイコンの例

：電話をかけたり、SMSを作成することができます。

：Eメール／ Gmailを作成します。

：Eメール／ PCメール／ Gmailを作成します。

：Googleマップで地図を表示します。

：ブラウザでウェブサイトを表示します。

2 クイックコンタクトアイコンをタップ

対応する連絡先の項目が表示されます。

3 電話番号やメールアドレス、アイコンなどをタップ

対応するアプリケーションが複数ある場合は選択画面が表示されます。

memo

- 表示されるクイックコンタクトアイコンは、インストールされているアプリケーションや連絡先に登録されている項目により異なります。
- 電話帳以外のアプリケーションでも、連絡先の画像をタップして、クイックコンタクト機能を利用できる場合があります。

連絡先を検索する

連絡先の名前または「ヨミ」やメールアドレス、組織名を元に検索ができます。

1 電話帳一覧画面の［連絡先を検索］欄に検索する文字列を入力

検索された連絡先が表示されます。

電話帳のメニューを利用する

電話帳一覧画面／お気に入り一覧画面のメニューを利用する

■オプションメニューの場合

1 電話帳一覧画面／お気に入り一覧画面で［ ⋮ ］

2 以下の項目をタップ

<table>
<tr><td>スピードダイヤル設定</td><td colspan="2">▶P.102「スピードダイヤルを利用する」</td></tr>
<tr><td>送信</td><td colspan="2">連絡先を選択してSMS／メールで送信します。</td></tr>
<tr><td>連絡先を共有</td><td colspan="2">連絡先を選択してBluetooth®やメール添付、赤外線などで送信します。</td></tr>
<tr><td>アカウント</td><td colspan="2">▶P.260「アカウントと同期の設定をする」</td></tr>
<tr><td rowspan="2">表示する連絡先</td><td>全ての連絡先</td><td>全ての連絡先を表示します。</td></tr>
<tr><td>カスタマイズ</td><td>アカウントごとに、電話帳に表示するグループを選択します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">インポート／エクスポート</td><td>電話帳インポート</td><td>内部メモリやmicroSDメモリカードに保存されている連絡先を読み込みます。</td></tr>
<tr><td>電話帳エクスポート</td><td>内部メモリやmicroSDメモリカードに連絡先を保存します。</td></tr>
<tr><td>削除</td><td colspan="2">連絡先を選択して削除します。</td></tr>
</table>

※ 表示される項目は画面により異なります。

■ コンテキストメニューの場合

1 電話帳一覧画面／お気に入り一覧画面で連絡先をロングタッチ

2 以下の項目をタップ

連絡先を編集	連絡先編集画面を表示します。
連絡先を共有	選択した連絡先をBluetooth®やメール添付、赤外線などで送信します。
連絡先を削除	選択した連絡先を削除します。
お気に入りに追加	お気に入りに追加します。 「お気に入りを利用する」(▶P.101)
お気に入りから削除	お気に入りから削除します。
スピードダイヤルに追加	スピードダイヤルに登録します。 「連絡先をスピードダイヤルに登録する」(▶P.102)

※ 表示される項目は画面と連絡先に登録されている項目、本製品の設定などにより異なります。

グループ一覧画面のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 グループ一覧画面で［ ⋮ ］

2 以下の項目をタップ

連絡先を共有	グループを選択して、選択したグループのすべての連絡先をBluetooth®やメール添付、赤外線などで送信します。
グループ削除	グループを選択して削除します。

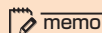
■ コンテキストメニューの場合

1 グループ一覧画面でグループをロングタッチ

2 以下の項目をタップ

グループ編集	グループ名の編集やグループメンバーの追加や削除ができます。
グループ着信音設定	グループ指定の着信音を設定できます。
グループ削除	選択したグループを削除します。 • グループ内の連絡先もすべて削除されますのでご注意ください。

※ 表示される項目はグループにより異なります。

memo

• Googleアカウントの「私の電話帳」「勤務先」「家族」「友達」では、グループを削除することはできません。

グループ内の連絡先一覧画面のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 グループ内の連絡先一覧画面で［ ⋮ ］

2 以下の項目をタップ

グループ編集	グループ名の変更やグループメンバーを追加することができます。
送信	SMSやEメールでグループを送信します。
グループ着信音設定	グループ指定の着信音を設定できます。
グループ移動	連絡先を選択して別のグループへ移動します。

※ 表示される項目は連絡先に登録されている項目、本製品の設定などにより異なります。

■ コンテキストメニューの場合

1 グループ内の連絡先一覧画面で連絡先をロングタッチ

2 以下の項目をタップ

連絡先を編集	連絡先編集画面を表示します。
連絡先を共有	選択した連絡先をBluetooth®やメール添付、赤外線などで送信します。
お気に入りに追加	お気に入りに追加します。 「お気に入りを利用する」（▶P.101）
お気に入りから削除	お気に入りから削除します。
スピードダイヤルに追加	スピードダイヤルに登録します。 「連絡先をスピードダイヤルに登録する」（▶P.102）

※ 表示される項目は連絡先に登録されている項目、本製品の設定などにより異なります。

連絡先詳細画面のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 連絡先詳細画面で［ ⋮ ］

2 以下の項目をタップ

連絡先を共有	選択した連絡先をBluetooth®やメール添付、赤外線などで送信します。
連絡先を削除	連絡先を削除します。
着信音設定	着信音を選択します。
着信拒否	チェックをつけると、該当連絡先からの電話にはボイスメールが自動転送されます。指定番号拒否設定には登録されません。

■ コンテキストメニューの場合

1 連絡先詳細画面で各項目をロングタッチ

2 以下の項目をタップ

クリップボードにコピー	クリップボードにコピーします。
発信	電話番号に発信します。
SMS送信	▶P.138「SMSを送信する」
デフォルトに設定	電話番号やEメールアドレスが複数ある場合、デフォルトで使用する電話番号／Eメールアドレスを設定します。
Eメール送信	▶P.108「Eメールを送信する」 ▶P.158「Gmailを送信する」 ▶P.148「PCメールを送信する」

※ 表示される項目は選択した項目、連絡帳に登録されている項目、本製品の設定などにより異なります。

メール

Eメールを利用する

Eメールについて

Eメール（@ezweb.ne.jp）のアドレスを利用してメールの送受信ができるサービスです。絵文字やデコレーションメールに対応し、文章の他、静止画や動画などのデータを送ることができます。

- Eメールアプリを利用するには、パケット通信接続が必要です。また、あらかじめ初期設定が必要です。詳しくは、『設定ガイド』および「Eメールを設定する」（▶P.129）をご参照ください。
- Eメールを利用するには、LTE NETのお申し込みが必要です。ご購入時にお申し込みにならなかった方は、auショップまたはお客さまセンターまでお問い合わせください。

memo

- Eメールは海外でもご利用になれます。詳しくは、「グローバルパスポート」（▶P.305）をご参照ください。
- Eメールの送受信には、データ量に応じて変わるパケット通信料がかかります。海外でのご利用は、通信料が高額となる可能性があります。詳しくは、au総合カタログおよびauホームページをご参照ください。
- 添付データが含まれている場合やご使用エリアの電波状態によって、Eメールの送受信に時間がかかる場合があります。
- Eメールの送受信は無線LAN（Wi-Fi®）通信で利用できますが、初期設定はLTE／3Gデータ通信にて行ってください。

Eメールを送信する

1 ホーム画面で［Eメール］→［新規作成］

送信メール作成画面が表示されます。

2 ［ ］

アドレス入力欄をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

《送信メール作成画面》

3 宛先を選択

アドレス帳引用	電話帳のEメールアドレスを宛先に入力します。
アドレス帳グループ引用	電話帳のグループに登録されている連絡先のEメールアドレスを宛先に入力します。 • グループに登録されているEメールアドレスが宛先の上限を越えている場合は、上限まで宛先に入力します。 • 「Friends Noteでグループ作成」を選択すると、グループを作成できます。Friends Noteアプリがインストールされていない場合もしくはバージョンが古い場合は、最新のFriends Noteアプリを「auスマートパス」→「アプリ」からダウンロードしてください。
メール受信履歴引用	受信メール履歴の一覧から選択して、Eメールアドレスを宛先に入力します。 • ［ ］→［削除］→Eメールアドレスにチェックを付ける→［削除］→［削除］と操作すると、履歴を削除できます。

メール

メール送信履歴引用	送信メール履歴の一覧から選択して、Eメールアドレスを宛先に入力します。 • ［ ］→［削除］→Eメールアドレスにチェックを付ける→［削除］→［削除］と操作すると、履歴を削除できます。
プロフィール引用	自分のEメールアドレスを宛先に入力します。
貼り付け	コピーしたEメールアドレスを貼り付けます。

4 件名入力欄をタップ→件名を入力

件名は、全角50／半角100文字まで入力できます。

5 本文入力欄をタップ→本文を入力→［完了］

本文は、全角5,000／半角10,000文字まで入力できます。

6 ［送信］→［送信］

memo

- デコレーションアニメには対応しておりません。
- 件名や本文には、半角カナおよび半角記号『ー（長音）゛（濁点）゜（半濁点）、。・「」』は入力できません。
- 1日に送信できるEメールの件数は、宛先数の合計で最大1,000通までです。
- 一度に送信できるEメールの宛先の件数は、最大30件（To／Cc／Bccを含む。1件につき半角64文字以内）までです。
- 絵文字を他通信事業者の携帯電話やパソコンなどに送信すると、一部他通信事業者の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。
また、auの異なる携帯電話に送信した場合は、auの旧絵文字に変換される場合があります。
- 送信メール作成画面で「保存」をタップすると、作成中のEメールを未送信ボックスに保存できます。
- 送信時確認表示は非表示に設定することもできます（▶P.132）。

宛先を追加・削除する

宛先を追加／削除したり、宛先の種類（To／Cc／Bcc）を変更したりできます。

■宛先を追加する場合

1 送信メール作成画面→［ ］

宛先の入力方法を選択するサブメニューが表示されます。「Eメールを送信する」（▶P.108）の操作3をご参照ください。
アドレス入力欄をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

■宛先を削除する場合

1 送信メール作成画面→削除したい宛先の［ ］→［削除］

■宛先の種類を変更する場合

1 送信メール作成画面→［To］／［CC］／［BCC］

2 以下の項目をタップ

To	選択した宛先の種類を「To」に変更します。
Cc	選択した宛先の種類を「Cc」に変更します。
Bcc	選択した宛先の種類を「Bcc」に変更します。

memo

- 一番上の宛先は種類を変更することはできません。

送信メール作成画面でできること

Eメールにデータを添付する

送信メールには、最大5件(合計2MB以下)のデータを添付できます。

1 送信メール作成画面→添付データ欄をタップ

2 以下の項目をタップ

ストレージ	ファイル種別を選択して、microSDメモリカードまたは内部メモリのデータを添付します。microSDメモリカードのデータを添付する場合は、「Up」を複数回タップして「external_sd」フォルダを選択してください。
ギャラリー(静止画)	静止画データを添付します。
ギャラリー(動画)	動画データを添付します。
カメラ(静止画)	静止画を撮影して添付します。
カメラ(動画)	動画を撮影して添付します。
その他	その他のデータを添付します。

memo

- 1件のデータあたり2MBまでのデータを添付できます。
- データを添付したあとに、添付データ欄をタップすると添付したデータを再生できます。

添付データを削除する

1 送信メール作成画面→削除したいデータの[×]

2 [削除]

絵文字を利用する

絵文字やデコレーション絵文字を入力することができます。Eメール作成中に、デコレーションメールの素材を簡単に探すことができます。

1 送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→[絵文字]

■一覧から入力する場合

2 [絵文字]/[D絵文字]/[ピクチャ]/[microSD]

3 絵文字/デコレーション絵文字を選択

■素材を探す場合

2 [D絵文字]/[ピクチャ]→[▲]

3 以下の項目をタップ

メニューリストから探す	auポータルに接続して、デコレーションメールアプリを検索できます。
お気に入りからコンテンツを探す	他のアプリケーションを利用して、デコレーションメールの素材を検索できます。

■ microSDメモリカードまたは内部メモリの絵文字を利用する場合

2 ［microSD］→［ダウンロード］

3 以下の項目をタップ

メニューリストから探す	auポータルに接続して、デコレーションメールアプリを検索できます。
お気に入りからコンテンツを探す	他のアプリケーションを利用して、デコレーションメールの素材を検索できます。
更新	microSDメモリカードまたは内部メモリに保存されているデコレーション絵文字を検索し表示します。

本文を装飾する

本文を装飾したEメールを送信できます（デコレーションメール）。

1 **送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→本文を入力→［装飾］**

デコレーションメニューが表示されます。

2 **装飾の開始位置をタップ→［選択開始］→［⇦］／［⇨］で終了位置を選択**

「全選択」をタップして、すべての文字を選択することもできます。

3 **以下の項目をタップ**

文字サイズ	文字の大きさを変更します。 「小さい」「標準」「大きい」
文字位置／効果	文字の位置や動きを指定します。 「左寄せ」「センタリング」「右寄せ」「点滅表示」「テロップ」「スウィング」
文字色	24色のカラーパレットから文字の色を選択します。
背景色※	24色のカラーパレットから背景の色を選択します。
挿入	microSDメモリカードやギャラリーに保存された画像、カメラで撮影した画像を挿入したり、行と行の間にラインを挿入したりします。 「画像挿入」「ライン挿入」

※「冒頭文」「署名」編集時は選択できません。

［⋮］→［装飾全解除］→［解除］と操作すると、装飾を解除できます。

メール

memo

- 本文を装飾する場合は、装飾情報を含めて約10KBの文字を入力できます。
- 本文には、最大20件（合計100KB以下）の画像／デコレーション絵文字を挿入できます。
  ※ 一度挿入した画像／デコレーション絵文字は、件数に関係なく繰り返し挿入できます。
  ※ 挿入できる画像／デコレーション絵文字は、拡張子が「.jpg」「.gif」のファイルです。
- 「Eメールにデータを添付する」（▶P.110）の操作でデータを添付した場合は、添付データと画像／デコレーション絵文字を合計して2MBまで添付できます。
- 装飾した文字を削除しても、装飾情報のみが残り、入力可能文字数が少なくなる場合があります。
- 異なる機種の携帯電話やパソコンなどの間で送受信したデコレーションメールは、受信側で一部正しく表示されないことがあります。
- デコレーションメール非対応機種やパソコンなどに送信すると、通常のEメールとして受信・表示される場合があります。
- 「サーバ転送」では、本文を装飾できません。

■速デコを利用する

本文を入力後に、自動的に絵文字を挿入したり、フォント／背景色を変更し、本文を装飾することができます。速デコを利用するには、あらかじめ「auポータル」の「メニューリスト」から対応するアプリケーションをダウンロードしてください。

1 送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→本文を入力→［速デコ］

装飾結果プレビュー画面が表示されます。
「次候補」をタップするたびに次の装飾候補が表示されます。

2 ［確定］

■テンプレートを利用する

テンプレートにメッセージを挿入することで、簡単に装飾メールを作成して送信することができます。

1 ホーム画面で［Eメール］→［テンプレート］

テンプレート一覧画面が表示されます。
［ ⋮ ］→［ストレージから読み込み］と操作すると、microSDメモリカード内のテンプレート一覧を表示できます。本体に読み込んでからご利用ください。

2 テンプレートをタップ→［メール作成］

送信メール作成画面のメニューを利用する

1 送信メール作成画面（▶P.108）→本文入力欄をタップ→［ ⋮ ］

2 以下の項目をタップ

アドレス帳引用	電話帳から、電話番号やEメールアドレスなどを呼び出して挿入します。
プロフィール引用	自分の電話番号やEメールアドレスを挿入します。
挿入	定型文／冒頭文／署名を挿入します。 • あらかじめ「冒頭文」「署名」を登録してください（▶P.132）。
装飾全解除	すべての装飾を解除します。
文字サイズ	文字サイズを一時的に切り替えます。 「特大」「大」「中」「小」「極小」
完了	本文の入力を完了します。

Eメールを受け取る

1 Eメールを受信すると

Eメールの受信が終了すると、ステータスバーに 🄴 が表示され、Eメール受信音が鳴ります。

• ステータスバーにEメールアドレス、名前、件名が表示されます。受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。Eメールアドレスが連絡先に登録されている場合は、連絡先に登録されている名前が優先して表示されます。

《受信完了画面》

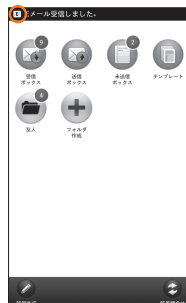
2 ステータスバーを下にスライド

3 [Eメール]

Eメールトップ画面が表示されます。

4 [受信ボックス]または、フォルダをタップ→受信したEメールをタップ

受信メール内容表示画面が表示されます。

memo

- Eメールやその他の機能を操作中でもバックグラウンドでEメールを受信します。ステータスバーに が表示され、Eメール受信音が鳴ります。ただし、「メール自動受信」（▶P.130）を無効に設定している場合は、バックグラウンド受信しません。
- 「メール自動受信」（▶P.130）を無効に設定している場合や、受信に失敗した場合は、Eメール受信音が鳴り が表示されます。「新着メールを問い合わせて受信する」（▶P.115）の操作を行い、Eメールを受信してください。
- 受信状態および受信データにより、正しく受信されなかった場合でもパケット通信料がかかる場合があります。
- 受信できる本文の最大データ量は、1件につき全角約5,000文字／半角約10,000文字（約10KB）までです。それを超える場合は、本文の最後に、以降の内容を受信できなかった旨のメッセージが表示されます。
- 受信したEメールの内容によっては、正しく表示されない場合があります。

添付データを利用する

1 受信メール一覧画面→受信メールをタップ

2 添付データをタップ

未受信の添付データを選択した場合は受信を開始します。再度、添付データを選択してください。

3 以下の項目をタップ

表示	添付データを表示します。
ストレージへ保存	添付データを明示的に保存できます。microSDメモリカードが挿入されている場合は、最初にmicroSDメモリカードの保存場所が表示されます。内部メモリに保存する場合は、「UP」を複数回タップして「sdcard」フォルダを選択してください。
保存場所をストレージに変更／保存場所を本体メモリに変更	添付データの保存場所を変更します。 •「保存場所をストレージに変更」をタップすると、ユーザーメモリに保存します。 •「保存場所を本体メモリに変更」をタップすると、システムメモリに保存します。 ※ 本操作の「添付データ」とは上記操作と異なり、メールデータベース上に登録されている添付データを指します。ファイル検索を行っても添付データを確認することはできません。詳細は「添付ファイル保存設定※」（▶P.129）をご覧ください。

memo

- 通常のEメール（テキストメール）では、添付データがメール内容表示画面にインライン再生される場合があります。再生されるデータの種類は、拡張子が「.png」「.jpg」「.gif」のファイルです。
※ データによっては、インライン再生されない場合があります。
- デコレーションメールの本文内に挿入されている画像は最大150KBまで受信できます。

新着メールを問い合わせて受信する

「メール自動受信」（▶P.130）を無効にした場合や、Eメールの受信に失敗した場合は、新着メールを問い合わせて受信することができます。

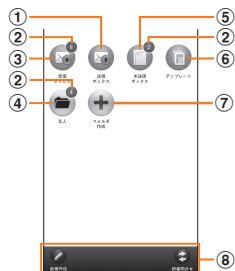
1 ホーム画面で［Eメール］→［新着問合せ］

新着のEメールがあるかどうかを確認します。

Eメールを確認する

受信したEメールは、受信ボックスに保存されます。送信済みのEメールは送信ボックスに保存されます。受信したEメールや送信したEメールが振分け条件に一致した場合は、設定したフォルダに保存されます。
送信せずに保存したEメール、送信に失敗したEメールは未送信ボックスに保存されます。

1 ホーム画面で［Eメール］

Eメールトップ画面が表示されます。
- 受信ボックスに新着メールがある場合は赤丸と件数が表示され、新着メールを確認すると青丸に変わります。
- 未送信ボックスにEメールがある場合は、青丸と件数が表示されます（送信に失敗したEメールがある場合は、赤丸に変わります）。

《Eメールトップ画面》

① 送信ボックス
② フォルダに未読メールや未送信メールがある場合は、アイコンの右上に合計の件数が表示されます。
③ 受信ボックス
④ フォルダ
⑤ 未送信ボックス
⑥ テンプレート
⑦ フォルダ作成
⑧ アクションバー

2 ボックスまたはフォルダを選択

■Eメール一覧画面の見かた

《メール一覧画面(受信ボックス)》

《メール一覧画面(送信ボックス)》

① ●:**未読のEメール**
○:本文を未受信のEメール
▲:サーバにメールがなく本文を受信できないEメール

② **件名**

③ **宛先/差出人の名前またはEメールアドレス**
Eメールアドレスが連絡先に登録されている場合は、連絡先に登録されている名前が表示されます。
受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。
連絡先に登録されていない場合で、差出人名称も設定されていない場合は、Eメールアドレスが表示されます。
※ 連絡先にEメールアドレスが登録されている場合は、連絡先に登録されている名前が優先して表示されます。

④ ←:返信のEメール
→:転送したEメール
⇄:返信/転送したEメール

⑤ **2行表示/本文プレビュー表示切替ボタン**

⑥ **添付データあり**

⑦ **保護されたEメール**

⑧ **フラグあり**

⑨ **アクションバー**

⑩ **本文**

⑪ ←:返信のEメール
→:転送のEメール/転送したEメール
⇄:返信/転送したEメール

《メール一覧画面（未送信ボックス）》

《メール一覧画面（フォルダ）》

⑫ **送信に失敗したEメール／サーバに元のメール（受信メール）がなく転送に失敗したEメール**

⑬ **受信／送信切替スライダー**
フォルダ内の受信メール一覧と、送信済みメール一覧を切り替えて表示できます。

3 Eメールを選択

《受信メール内容表示画面》　《送信メール内容表示画面》

① **送信メール**
To／CC／BCC：宛先の名前またはEメールアドレス
受信メール
From：差出人の名前またはEメールアドレス
To／CC：宛先の名前またはEメールアドレス
※ 宛先が複数ある場合は1件のみ表示されます。［ ］をタップすると、その他のEメールアドレスを表示できます。

② ○：本文を未受信のEメール
⚠：サーバにメールがなく本文を受信できないEメール

③ **送信メール**
：返信のEメール
：転送のEメール／転送したEメール
：返信／転送したEメール
受信メール
：返信したEメール
：転送したEメール
：返信／転送したEメール

メール

④ Sub：件名

⑤ ：添付データ（本体メモリ保存）
　：添付データ（ストレージ保存）
　：添付データ（ストレージ保存失敗）
　：インライン添付データ（本体メモリ保存）
　：インライン添付データ（ストレージ保存）
　：未受信の添付データ
　：受信に失敗した添付データ

⑥ 本文

⑦ 次のEメール／前のEメールを表示
※ 本文表示エリアを左右にフリックすることで、次のメール／前のメールを表示することもできます。

⑧ 添付データあり

⑨ フラグあり

⑩ 保護されたEメール

⑪ アクションバー
返信：返信のEメールを作成します。
転送：転送のEメールを作成します。
保護／保護解除：Eメールを保護／保護解除します。
フラグ／フラグ解除：Eメールにフラグ付加／フラグ解除します。
再送信：送信済みのEメールを再送信できます。
コピー編集：Eメールをコピーして編集します。
送信：Eメールを送信します。
編集：Eメールを編集します。

memo

- 宛先が不明で相手に届かなかったEメールは、送信ボックスに保存されます。この場合、エラーメッセージを受信します。
- Eメールトップ画面→［ ⋮ ］→［au one メール］→［au one メールTop］と操作すると、au one メールを利用できます。（▶P.155「au one メールを利用する」）
- 受信ボックスの容量を超えると、最も古い既読メールが自動的に削除されます。ただし、未読のEメール、保護されたEメール、本文を未受信のEメールは削除されません。
- 受信ボックスのすべてのメールが未読の状態で受信ボックスの容量を超えると、新着メールを受信できません。
- 送信ボックス・未送信ボックスの容量を超えると、最も古い送信済みメールが自動的に削除されます。削除できる送信済みメールがない場合は、サーバに元のメールがなく転送に失敗したEメール、送信失敗メール、未送信メールの順に削除されます。

Eメール一覧画面でできること

1 **受信メール一覧画面（▶P.116）／送信メール一覧画面（▶P.116）／未送信メール一覧画面（▶P.117）／検索結果一覧画面（▶P.128）**

■ オプションメニューの場合

2 **[⋮]**

3 **以下の項目をタップ**

検索	▶P.128「Eメールを検索する」
移動	Eメールを移動します。 **移動したいEメールにチェックを付ける→［移動］→移動先のフォルダを選択** • あらかじめフォルダを作成してください（▶P.125）。 •「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。
削除	Eメールを削除します。 **削除したいEメールにチェックを付ける→［削除］→［削除］** •「全選択」をタップすると、一覧表示している削除可能なEメールをすべて選択できます。 • 保護されたEメールは選択できません。
保護／解除	Eメールが自動的に削除されないように保護したり、保護を解除します。 **保護／解除したいEメールにチェックを付ける→［保護］／［解除］** 「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。 • 受信メールは、受信ボックス容量の50%または1,000件まで保護できます。 • 送信・未送信メールは、送信ボックス容量の50%または500件まで保護できます。
フラグ	Eメールにフラグを付けたり、フラグを外します。 **フラグを付けたい／外したいEメールにチェックを付ける→［つける］／［解除］** •「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。

その他	ストレージへ保存	Eメールをmicro SDメモリカード（microSDメモリカードが取り付けられていない場合は内部メモリ）に保存します。 **コピーしたいEメールにチェックを付ける→［保存］** ・「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。 ・保存したEメールは、Eメール設定メニューの「バックアップ・復元」で本製品に読み込むことができます（▶P.134）。
	フォルダ編集	受信ボックスや作成したフォルダを編集します。 ▶P.125「フォルダを作成／編集する」
	選択受信	未受信のEメール本文を取得します。 **本文を受信したいEメールにチェックを付ける→［受信］** ・「全選択」をタップすると、一覧表示している本文受信可能なEメールをすべて選択できます。
	Eメール設定	▶P.129「Eメールを設定する」

※ 画面により選択できる項目は異なります。

■ コンテキストメニューの場合

2 **Eメールをロングタッチ**

3 **以下の項目をタップ**

返信		Eメールに返信します。 ・送信メール作成画面（▶P.108）が表示されます。 ・件名には、元のEメールの件名に「Re:」を付けた件名が入力されます。 ・宛先には、差出人または返信先のEメールアドレスが入力されます。
全員に返信		同報されている全員に返信します。 ・送信メール作成画面（▶P.108）が表示されます。 ・宛先が複数ある場合のみ表示されます。
転送	本文転送	本文を転送するEメールを作成します。 ・送信メール作成画面（▶P.108）が表示されます。 ・件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。
	サーバ転送	サーバに保存されているEメールを本文の最後に引用して転送します。 ・送信メール作成画面（▶P.108）が表示されます。 ・件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 ・サーバにある元のEメール（受信メール）を転送するため、受信できなかった添付データもすべて転送されます。 ・デコレーションメールはサーバ転送できません。

送信	未送信のEメールを送信します。 • 宛先がないEメールでは表示されません。
編集	未送信のEメールを編集して送信します。 • 送信メール作成画面（▶P.108）が表示されます。
コピー編集	送信したEメールや保護されている未送信のEメールをコピーして編集し、送信します。 • 送信メール作成画面（▶P.108）表示されます。
保護／保護解除	Eメールを保護します。 • 保護されているEメールでは「保護解除」をタップして保護を解除します。
フラグ／フラグ解除	Eメールにフラグを付けます。 • フラグ付きのEメールでは「フラグ解除」をタップしてフラグを外します。
送信失敗理由	送信に失敗したEメールの送信失敗理由を表示します。
削除	Eメールを削除します。
移動	Eメールを移動します。 **移動先のフォルダを選択** • あらかじめフォルダを作成してください（▶P.125）。
拒否リスト登録	• 選択したEメールアドレスを迷惑メールフィルターの指定拒否リストに登録します。

※ 画面により選択できる項目は異なります。

Eメール内容表示画面でできること

Eメール内容表示画面のメニューを利用する

1 **受信メール内容表示画面（▶P.117）／送信メール内容表示画面（▶P.117）／未送信メール内容表示画面→［ ⋮ ］**

2 **以下の項目をタップ**

転送	本文転送	本文を転送するEメールを作成します。 • 送信メール作成画面（▶P.108）が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。
	サーバ転送	サーバに保存されているEメールを本文の最後に引用して転送します。 • 送信メール作成画面（▶P.108）が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 • サーバにある元のEメール（受信メール）を転送するため、受信できなかった添付データもすべて転送されます。 • デコレーションメールはサーバ転送できません。
移動		Eメールを移動します。 **移動先のフォルダを選択** • あらかじめフォルダを作成してください（▶P.125）。
削除		Eメールを削除します。

本文選択		Eメールの本文を選択してコピーします。 **本文をロングタッチ→［本文選択］と操作しても本文選択画面を表示できます。** • 「選択開始」／「←」／「→」で選択範囲を指定してコピーします。 • 本文選択画面をロングタッチ→「 」／「 」をドラッグして選択範囲を指定→［コピー］と操作することもできます。 • 「全選択」をタップすると、本文全体を選択できます。 • 絵文字やインライン画像もコピーできます。 • 一部の装飾（文字位置／効果、背景色）はコピーされません。
文字サイズ		本文の文字サイズを一時的に切り替えます。 「特大」「大」「中」「小」「極小」 • Eメール内容表示画面を閉じると、「受信・表示設定」で設定した文字サイズに戻ります。
その他	ストレージへ保存	Eメールに添付された画像をmicroSDメモリカードまたは内部メモリに保存できます。 • 保存したEメールは、「Eメール設定」の「バックアップ・復元」で本製品に読み込むことができます（▶P.134）。
	文字コード	本文を表示する文字コードを一時的に切り替えます。 「ISO-2022-JP」「Shift_JIS」「UTF-8」「EUC-JP」「ASCII」 • 変更した文字コードは、表示中のEメール内容表示画面でのみ一時的に適用されます。
	本文受信	本文未受信メールを表示した際、本文の受信を開始します。

※ 画面により選択できる項目は異なります。

差出人／宛先／件名／電話番号／Eメールアドレス／URLを利用する

1 受信メール内容表示画面（▶P.117）／送信メール内容表示画面（▶P.117）を表示

■ 差出人／宛先／本文中のEメールアドレスを利用する場合

2 差出人／宛先／本文中のEメールアドレスをタップ

3 以下の項目をタップ

Eメール作成	選択したEメールアドレスを宛先としたEメールを作成します。
アドレス帳登録	▶P.99「他の機能から電話帳に登録する」
アドレスコピー	選択したEメールアドレスをコピーします。
振分け条件に追加	選択したEメールアドレスをフォルダの振分け条件に登録します。 **［新規振分けフォルダ作成］／［「×××」（×××はフォルダ名）に追加］→［保存］** • ロックされたフォルダ（▶P.126）を選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。 • 「保存」をタップした後、すぐに再振分けを行う場合は「再振分けする」をタップします。 ▶P.125「フォルダを作成／編集する」
拒否リスト登録	選択したEメールアドレスを迷惑メールフィルターの指定拒否リストに登録します。 ▶P.135「迷惑メールフィルターを設定する」

■件名をコピーする場合

2 件名をタップ→［コピー］

■本文中の電話番号を利用する場合

2 本文中の電話番号をタップ

3 以下の項目をタップ

音声発信	選択した電話番号に電話をかけます。
特番付加 184	選択した電話番号に「184（発信者番号非通知）」を付加して電話をかけます。
特番付加 186	選択した電話番号に「186（発信者番号通知）」を付加して電話をかけます。
au国際電話サービス	選択した電話番号に国際電話の識別番号「010」を付加して国際電話をかけたり、SMSを作成します。▶P.138「SMSを送信する」 • au国際電話サービスを利用した国際電話のかけ方については、下記のホームページをご参照ください。 http://www.001.kddi.com/lineup/001mobile/au.html
SMS作成	選択した電話番号を宛先としたSMSを作成します。 ▶P.138「SMSを送信する」
アドレス帳登録	▶P.99「他の機能から電話帳に登録する」
電話番号コピー	選択した電話番号をコピーします。

■本文中のURLを利用する場合

2 本文中のURLをタップ

3 以下の項目をタップ

開く	選択したURLのページをブラウザで表示します。
URLをコピー	選択したURLをコピーします。

memo

• 本文中のEメールアドレス、電話番号、URLは、表記のしかたによって正しく認識されない場合があります。

添付画像を保存する

Eメールに添付された画像をmicroSDメモリカードまたは内部メモリに保存できます。

1 **受信メール内容表示画面（▶P.117）／送信メール内容表示画面（▶P.117）／未送信メール内容表示画面で本文をロングタッチ**

2 **［画像保存］**

3 **保存したい画像にチェックを付ける**

「全選択」をタップすると、表示されている画像をすべて選択できます。

4 **［保存先選択］**

保存先選択画面が表示されます。
microSDメモリカードに保存する場合は、「Up」を複数回タップして「external_sd」フォルダを選択してください。

5 **［保存］**

選択した画像がmicroSDメモリカードの「MyFolder」に保存されます。

memo

- 保存先選択画面で「Up」をタップすると、1つ上の階層のフォルダを選択できます。
- 未受信の添付画像は保存できません。サーバから画像を受信してから操作してください。

Eメールトップ画面でできること

Eメールトップ画面のメニューを利用する

1 **Eメールトップ画面（▶P.113）→［ ⋮ ］**

2 **以下の項目をタップ**

検索	▶P.128「Eメールを検索する」
フォルダ編集	▶P.125「フォルダを作成／編集する」
フォルダ削除	選択したフォルダとフォルダ内のメールをすべて削除します。 **削除したいフォルダにチェックを付ける→［削除］→［削除］** • ロックされたフォルダは選択できません。 • フォルダ内に保護されたEメールがある場合は、保護メールの削除を確認する画面が表示されます。「削除しない」をタップすると、保護メールが残り、フォルダは削除されません。
再振分け	現在設定されているフォルダの振分け条件で、Eメールの再振分けを行います。 • ロックされたフォルダがある場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

Eメール設定		▶P.129「Eメールを設定する」
au one メール	au one メール Top	▶P.155「au one メールを利用する」
	au one メールへ自動保存	Eメール（@ezweb.ne.jp）で送受信したEメールをau one メールに自動的に保存する設定をします。 **［次へ］→セキュリティパスワード入力欄をタップ→セキュリティパスワードを入力→［OK］→画面に従って設定する** • あらかじめau one メールの会員登録を行ってください（▶P.156）。

フォルダを作成／編集する

フォルダを作成して、フォルダごとにEメールの振分け条件や着信通知を設定したり、フォルダにロックをかけたりすることができます。最大20個のフォルダを作成できます。

1 Eメールトップ画面（▶P.113）→［フォルダ作成］

フォルダ編集画面が表示されます。

2 フォルダ名称欄をタップ→フォルダ名を入力

フォルダ名は、全角8／半角16文字まで入力できます。

3 各項目を設定→［保存］

《フォルダ編集画面》

■フォルダアイコンを変更する

1 フォルダ編集画面→画面左上のフォルダアイコンをタップ

■アイコンから設定する場合

2 アイコンを選択→カラーを選択→［OK］→［保存］

■画像から設定する場合

2 ［ギャラリーから写真を選択］

3 画像を選択→切り抜き範囲を指定→［切り抜き］→［OK］→［保存］

■フォルダにロックをかける

受信ボックスや作成したフォルダにロックをかけて、フォルダロック解除パスワードを入力しないとフォルダを開いたり編集や削除ができないように設定できます。
あらかじめEメール設定メニューの「パスワード設定」でフォルダロック解除パスワードを設定してください（▶P.130）。

1 Eメールトップ画面（▶P.113）→［ ⋮ ］→［フォルダ編集］→受信ボックス／作成したフォルダを選択

フォルダ編集画面が表示されます。

2 ［フォルダロック］→フォルダロック解除パスワードを入力→［OK］

「フォルダロック」にチェックが付きます。
フォルダ編集画面で「フォルダロック」のチェックを外すと、フォルダロック設定が解除されます。

3 ［保存］

■フォルダごとに着信通知を設定する

受信ボックスや作成したフォルダごとにEメール受信時の着信音やバイブレーションを設定できます。

1 Eメールトップ画面（▶P.113）→［ ⋮ ］→［フォルダ編集］→受信ボックス／フォルダを選択

フォルダ編集画面が表示されます。
ロックされた受信ボックス／フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

2 ［フォルダ別設定］

3 以下の項目をタップ

着信音	**OFF**	着信音が鳴りません。
	プリセット	Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。
	ストレージから探す	microSDメモリカードまたは内部メモリの音楽を着信音に設定します。
	その他	他のアプリケーションを利用して着信音を設定します。
バイブレーション		受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときのバイブレーションを設定します。 **［OFF］／パターンを選択→［OK］→［OK］→［保存］**
LED		着信ランプを設定します。
着信音鳴動時間		受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときの着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 • 「時間設定」を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。

■フォルダに振分け条件を設定する

作成したフォルダに「メールアドレス」「ドメイン」「件名」「アドレス帳登録外」「不正なメールアドレス」の振分け条件を設定できます。設定した振分け条件に該当するEメールを受信／送信すると、自動的に設定フォルダにEメールが振り分けられます。

1 Eメールトップ画面（▶P.113）→［ ⋮ ］→［フォルダ編集］→フォルダを選択

フォルダ編集画面が表示されます。
ロックされたフォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

■振分け条件を追加する場合

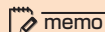
2 ［振分け条件追加］→［ ▾ ］

3 以下の項目をタップ

メールアドレス	Eメールアドレスを振分け条件に登録します。 **Eメールアドレスを入力→［OK］→［保存］** ・「 」をタップすると、「アドレス帳引用」「アドレス帳グループ引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」から入力方法を選択して、Eメールアドレスを登録できます。
ドメイン	ドメインを振分け条件に登録します。 **ドメインを入力→［OK］→［保存］** ・「 」をタップすると、「アドレス帳引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」から入力方法を選択して、ドメインを登録できます。
件名	件名を振分け条件に登録します。 **件名を入力→［OK］→［保存］** ・件名の一部が一致する場合も振り分けられます。

■アドレス帳登録外／不正なメールアドレスを振分け条件に設定する場合

2 ［アドレス帳登録外］／［不正なメールアドレス］にチェックを付ける→［保存］

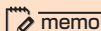
memo

- 振分け条件を設定／編集して「保存」をタップすると、フォルダの再振分けを行うかどうかの確認画面が表示されます。すぐに再振分けを行う場合は、「再振分けする」をタップします。
- 全フォルダで「メールアドレス」「ドメイン」「件名」を合わせて最大400件登録できます。
- 同一の振分け条件を複数のフォルダに設定することはできません。
- 振分け条件設定の一覧で、追加した条件の右横にある「 ✕ 」をタップして、条件を編集したり削除することができます。
- 振り分けの対象となるEメールアドレスは、受信メールの場合は差出人、送信メールの場合は宛先です。
- 一致する振分け条件が複数あるEメールの場合は、メールアドレス＞ドメイン＞件名＞その他の優先順位で振り分けられます。送信メールのメールアドレスは、To＞Cc＞Bccの優先順位で振り分けられ、先頭のメールアドレス／ドメイン＞2番目のメールアドレス／ドメイン＞・・・＞最後のメールアドレス／ドメインの優先順位で振り分けられます。

フォルダを並び替える

1 **Eメールトップ画面（▶P.113）→移動したいフォルダをロングタッチ**

画面上部に「選択したフォルダの場所を移動できます。」が表示されます。

2 **そのまま指を離さず、移動したい位置にドラッグしてドロップ**

memo

- 「受信ボックス」「送信ボックス」「未送信ボックス」「テンプレート」は移動できません。

Eメールを検索する

1 **Eメールトップ画面（▶P.113）→［ ⋮ ］→［検索］**

受信ボックス／送信ボックス／未送信ボックス／フォルダ内のEメールを検索するには、それぞれのEメール一覧画面→［ ⋮ ］→［検索］と操作します。

《検索結果一覧画面》

2 **キーワード入力欄をタップ→キーワードを入力**

半角と全角を区別して入力してください。

3 **［ 🔍 ］／［ 🔍 ］**

検索結果一覧画面が表示されます。

日時が新しいEメールから順に表示されます。

Eメールトップ画面から検索する場合、ロックされたフォルダ内のEメールは検索対象から外されます。

■ 検索結果を絞り込む場合

4 **［From］／［To］／［件名］／［本文］**

検索条件を差出人、宛先、件名、本文のいずれかに絞り込んで検索した結果が表示されます。

Eメールを設定する

Eメールを設定する

1 **Eメールトップ画面（▶P.113）／受信メール一覧画面（▶P.116）／送信メール一覧画面（▶P.116）／未送信メール一覧画面（▶P.117）／検索結果一覧画面（▶P.128）→［ ⋮ ］→（［その他］→）［Eメール設定］**

Eメール設定メニューが表示されます。

Eメールトップ画面では「その他」をタップする必要はありません。

Eメール設定
受信・表示設定
メール、添付ファイルの受信方法、表示の設定
送信・作成設定
返信先アドレスや冒頭文/署名などの設定
通知設定
メール着信/送信時などの通知設定
添付ファイル保存設定
メール送受信時の添付ファイル保存場所設定
パスワード設定
フォルダロック時のパスワード設定
アドレス変更・その他の設定
アドレス変更や迷惑メールフィルタ等の設定
設定更新
Eメールアドレスの再初期設定
バックアップ・復元
メールの一括読み込み/書き出し(ストレージ)

《Eメール設定メニュー》

2 **以下の項目をタップ**

受信・表示設定		▶P.130「受信・表示に関する設定をする」
送信・作成設定		▶P.132「送信・作成に関する設定をする」
通知設定		▶P.133「通知に関する設定をする」
添付ファイル保存設定※	**保存場所の設定**	メールにファイルが添付されているとき、添付ファイルが自動的に保存されるストレージを選択します。 **本体メモリに保存**：システムメモリに保存する。 **ストレージに保存**：ユーザーメモリに保存する。
	添付ファイル一括移動	自動的に保存された添付ファイルを別のストレージにまとめて移動します。 **ストレージへ一括移動**：システムメモリからユーザーメモリに移動する。 **本体メモリへ一括移動**：ユーザーメモリからシステムメモリに移動する。

パスワード設定	パスワード設定／パスワード変更	フォルダロック解除パスワードを設定／変更します。 **フォルダロック解除パスワード（4～16文字の英数字）を入力→［OK］→同じパスワードを再度入力→［OK］→ひみつの質問を選択→［OK］→ひみつの質問の回答を入力→［OK］** • パスワードを設定すると「パスワード変更」が表示されます。 • フォルダロック解除パスワードの入力を連続3回間違えるとひみつの質問画面が表示されます。［表示する］→回答を入力→［OK］と操作すると、新しいパスワードを設定できます。
	パスワードリセット	フォルダロック解除パスワードをリセットします。 **フォルダロック解除パスワードを入力→［OK］→［リセット］** • パスワード未設定の場合は選択できません。 • パスワードをリセットすると、フォルダロック設定も解除されます。
アドレス変更・その他の設定		▶P.133「Eメールアドレスを変更する」
設定更新		Eメールアドレスの再初期設定を行います。
バックアップ・復元		▶P.134「Eメールをバックアップ／復元する」

Eメール情報	自分のEメールアドレスやEメール保存件数／使用容量、ソフトウェアバージョンを表示します。 • Eメールアドレス欄をタップ→［アドレスコピー］と操作して、Eメールアドレスをコピーできます。

※ 本操作の「添付データ」はファイル検索を行ってもデータを確認することができません。

memo

添付ファイル保存設定

- 受信／送信／未送信メールに添付されているファイルの保存場所を設定します。設定によりシステムメモリの負担を軽減させることができます。
- 削除するメールにファイルが添付されている場合、添付ファイルも一緒に削除されます。残しておきたい添付ファイルの保存方法は、「添付データを利用する」（▶P.114）にてご確認ください。

受信・表示に関する設定をする

1 **Eメール設定メニュー→［受信・表示設定］**

2 **以下の項目をタップ**

メール自動受信		サーバに届いたEメールを自動的に受信するかどうかを設定します。チェックを外して無効に設定すると、受信せずに新しいEメールがサーバに到着したことをお知らせします。
メール受信方法	全受信	差出人・件名と本文を受信します。

メール

メール受信方法	指定全受信	指定したアドレスからのEメールは、差出人・件名と本文を受信します。指定していないアドレスからのEメールは、差出人・件名のみを受信します。 **アドレス帳**：連絡先に登録されているアドレスからのEメールは差出人・件名と本文を受信する。 **個別アドレスリスト**：「個別アドレスリスト編集」で登録したアドレスからのEメールは差出人・件名と本文を受信する。 **個別アドレスリスト編集**：個別アドレスを登録する • 「 」をタップすると、「アドレス帳引用」「アドレス帳グループ引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」「貼り付け」から入力方法を選択して、個別アドレスを登録できます。 ※「貼り付け」はクリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。 • 登録した個別アドレスを削除するには、削除したいアドレスの［ ］→［削除］と操作します。
	差出人・件名受信	差出人・件名のみを受信します。
添付自動受信		受信メールの添付データを自動的に受信するかどうかを設定します。チェックを付けて有効に設定すると、Eメールの受信と同時に添付データを受信します。無効に設定すると、添付データを別途取得します。

添付自動受信サイズ	自動受信する添付データの上限サイズを設定します。 「100KB」「500KB」「1MB」「2MB」
アドレス帳登録名表示	連絡先に登録された名前を表示するかどうかを設定します。
文字サイズ	Eメール内容表示画面／送信メール作成画面の本文の文字サイズを設定します。 「特大」「大」「中」「小」「極小」
テーマ設定	テーマを設定します。

memo

メール受信方法について

- 受信メール一覧画面（▶P.117）で本文が未受信のEメールをタップすると、本文を取得できます。本文未受信のままEメール内容表示画面が表示されたときは、［ ］→［その他］→［本文受信］と操作すると、本文を取得できます。本文受信は、電波状態の良いところで行ってください。

送信・作成に関する設定をする

1 Eメール設定メニュー→［送信・作成設定］

2 以下の項目をタップ

項目	説明
返信先アドレス	Eメールを受信した相手の方が返信する場合に、宛先に設定されるアドレスを設定します。 **［設定する］→返信先のEメールアドレス（半角64文字まで）を入力→［OK］**
差出人名称	送信先で表示される名前を設定します。 **［設定する］→差出人名称（全角12／半角24文字まで）を入力→［OK］**
冒頭文	本文の冒頭に挿入する文を設定します。 **［設定する］→冒頭文（全角1,250／半角2,500文字まで。装飾する場合は約2.5KBまで）を入力→［完了］→［設定］**
署名	本文の末尾に挿入する文を設定します。 **［設定する］→署名（全角1,250／半角2,500文字まで。装飾する場合は約2.5KBまで）を入力→［完了］→［設定］**
返信メール引用	返信時、受信メールの内容を本文に引用するかどうかを設定します。チェックを付けて有効に設定すると、受信メールの行頭に「>」を付けて引用します。受信メールがデコレーションメールの場合は、1行目の行頭のみ「>」を付けて引用します。
送信時確認表示	送信時に誤送信を防止のための確認画面を表示するかどうかを設定します。

冒頭文／署名について

- 冒頭文／署名には、最大10種類の画像／デコレーション絵文字を挿入できます。
- 冒頭文／署名を挿入しただけで、画像／デコレーション絵文字の制限（最大20種類、または合計100KB以下）に達した場合は、本文入力時に画像／デコレーション絵文字を挿入できません。
- 冒頭文と署名に同じ画像を挿入した場合でも、冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は異なるファイルとして扱われます。

通知に関する設定をする

1 Eメール設定メニュー→［通知設定］

2 以下の項目をタップ

着信音	OFF	着信音が鳴りません。
	プリセット	Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。
	ストレージから探す	microSDメモリカードまたは内部メモリの音楽を着信音に設定します。
	その他	他のアプリケーションを利用して着信音を設定します。
バイブレーション		Eメール受信時のバイブレーションを設定します。 ［OFF］／パターンを選択→［OK］
LED		着信ランプを設定します。
着信音鳴動時間		Eメール着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 • 「時間設定」を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。
ステータスバー通知		Eメール受信時、ステータスバーに通知アイコンと共に差出人・件名または差出人を表示するか、または通知アイコンのみ表示するかを設定します。 「差出人・件名」「差出人」「通知のみ」
送信失敗通知		Eメール送信失敗時にバイブレーションでお知らせするかどうかを設定します。

Eメールアドレスを変更する

EメールアドレスはEメールアドレスの初期設定を行うと自動的に決まりますが、変更できます。

1 Eメール設定メニュー→［アドレス変更・その他の設定］→［接続する］→［Eメールアドレスの変更］

2 暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→［送信］

3 ［承諾する］

4 Eメールアドレス入力欄をタップ→Eメールアドレスの「＠」の左側の部分（変更可能部分）を入力→［送信］→［OK］

memo

- 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
- Eメールアドレスの変更可能部分は、半角英数小文字、「.」「-」「_」を含め、半角30文字まで入力できます。ただし、「.」を連続して使用したり、最初と最後に使用したりすることはできません。また、最初に数字の「0」を使用することもできません。
- 変更直後は、しばらくの間Eメールを受信できないことがありますので、あらかじめご了承ください。
- 入力したEメールアドレスがすでに使用されている場合は、他のEメールアドレスの入力を求めるメッセージが表示されますので、再入力してください。
- Eメールアドレスの変更は1日3回まで可能です。

転送先を設定する

本製品で受信したEメールを自動的に転送するEメールアドレスを登録します。

1 Eメール設定メニュー→［アドレス変更・その他の設定］→［接続する］→［Eメールアドレスの変更］

2 暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→［送信］

3 入力欄をタップ→自動転送先のEメールアドレスを入力→［送信］→［終了］

memo

- 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
- 自動転送先のEメールアドレスは2件まで登録できます。
- 自動転送先の変更・登録は、1日3回まで可能です。
  ※ 設定をクリアする操作は、回数には含まれません。
- 「エラー！ Eメールアドレスを確認してください。」と表示された場合は、自動転送先のEメールアドレスとして使用できない文字を入力しているか、指定のEメールアドレスが規制されている可能性があります。
- Eメールアドレスを間違って設定すると、転送先の方に迷惑をかける場合がありますのでご注意ください。
- 自動転送メールが送信エラーとなった場合、自動転送先のEメールアドレスを含むエラーメッセージが送信元に返る場合がありますのでご注意ください。

Eメールをバックアップ／復元する

Eメールをバックアップする

EメールをフォルダごとにmicroSDメモリカードまたは内部メモリにバックアップすることができます。
バックアップしたデータは本製品へ読み込むことができます。

- バックアップしたデータ（復元できるデータ）はmicroSDメモリカード、内部メモリいずれからも読み込むことができます。

1 Eメール設定メニュー→［バックアップ・復元］

2 ［バックアップ］

3 バックアップしたいフォルダにチェックを付ける→［OK］

ロックされた受信ボックス／フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

memo

- 添付ファイルはバックアップされません。
- microSDメモリカードが挿入されていない場合は、内部メモリにバックアップされます。
  バックアップ先のディレクトリは
  - microSDメモリカードの場合：/mnt/external_sd/private/au/email/BU
  - 内部メモリの場合：/mnt/sdcard/private/au/email/BU

バックアップデータを復元する

microSDメモリカードまたは内部メモリに保存したバックアップデータを本製品へ読み込むことができます。

1 Eメール設定メニュー→［バックアップ・復元］

2 ［メールを復元］

3 ［受信メール］／［送信メール］／［未送信メール］／［ストレージから探す］→［OK］

4 復元したいバックアップデータにチェックを付ける→［OK］

「全選択」をタップすると、一覧表示しているデータをすべて選択できます。
「Up」をタップして1つ上の階層のフォルダを選択できます。
「MyFolder」をタップするとMyFolderを開くことができます。

5 ［追加保存］／［上書き保存］→［OK］

［上書き保存］を選択した場合は、確認画面で［OK］をタップします。

memo

- バックアップデータを復元する際に［上書き保存］を選択した場合は、保存されているすべてのEメールを削除して（保護されているEメールや未読メール、ロックされたフォルダ内のEメールも削除されます）、バックアップしたEメールを復元します。
- 復元したEメールから未受信の本文や添付ファイルを取得したり、復元したEメールを転送することはできません。

迷惑メールフィルターを設定する

迷惑メールフィルターには、特定のEメールを受信／拒否する機能と、携帯電話・PHSなどになりすましてくるEメールを拒否する機能があります。

1 Eメール設定メニュー→［アドレス変更・その他の設定］→［接続する］

■おすすめの設定にする場合

2 ［オススメの設定はこちら］→［登録］

なりすましメール・自動転送メールを拒否して、携帯電話・PHS・パソコンからのメールを受信する条件で迷惑メールフィルターが設定されます。

■ 詳細を設定する場合

2 ［迷惑メールフィルター］→暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→［送信］

迷惑メールフィルタ画面が表示されます。

3 以下の項目をタップ

カンタン設定	1.「携帯」「PHS」「PC」メールを受信	なりすましメール・自動転送メール・迷惑メールの疑いのあるメールを拒否して、携帯電話･PHS･パソコンからのメールを受信する条件に設定します。
	2.「携帯」「PHS」メールのみを受信	パソコンからのメール・なりすましメール・自動転送メール・迷惑メールの疑いのあるメールを拒否して、携帯電話・PHSからのメールを受信する条件に設定します。
個別設定	一括指定受信	インターネット、携帯電話からのメールを一括で受信／拒否します。
	迷惑メールおまかせ規制	メールサーバで受信したPCメールの中で、迷惑メールの疑いのあるメールを自動検知して規制します。
	なりすまし規制	送信元のアドレスを偽って送信してくるメールの受信を拒否します。（高）（中）（低）の3つの設定があります。
	HTMLメール規制	メール本文がHTML形式のEメールを拒否します。
	URLリンク規制	本文中にURLが含まれるEメールを拒否します。
	ウィルスメール規制	メールサーバで受信したメールの添付ファイルがウィルスに感染している場合に、受信規制します。
	拒否通知メール返信設定	迷惑メールフィルターで拒否されたEメールに対して、受信エラー（宛先不明）メールを返信するかどうかを設定します。
指定受信リスト設定		個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「＠」より前の部分を含むメールを優先受信します。 • 指定受信リストに登録したアドレス以外のEメールをブロックする場合は、「一括指定受信」をすべて無効にしてください。 • 「指定受信リスト設定（なりすまし・転送メール許可）」を設定すると、「なりすまし規制」を回避して、自動転送メールを受信します。
指定拒否リスト設定		個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「＠」より前の部分を含むメールの受信を拒否します。
アドレス帳受信設定		Friends Noteまたはauアドレス帳に登録したメールアドレスからのメールを受信します。
設定確認／設定解除		迷惑メールフィルター設定状態の確認と、設定の解除ができます。
PC設定用ワンタイムパスワード発行		▶P.137「パソコンから迷惑メールフィルターを設定するには」
設定にあたって		迷惑メールフィルターの設定を行う際の説明を表示します。

メール

memo

- 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
- 迷惑メールフィルターの設定により、受信しなかったEメールをもう一度受信することはできませんので、設定には十分ご注意ください。
- 迷惑メールフィルターは、以下の優先順位にて判定されます。
  指定受信リスト設定（なりすまし・転送メール許可）>なりすまし規制>指定拒否リスト設定>指定受信リスト設定>アドレス帳受信設定>HTMLメール規制>URLリンク規制>一括指定受信>迷惑メールおまかせ規制>ウィルスメール規制
- 「指定受信リスト設定（なりすまし・転送メール許可）」は、自動転送されてきたEメールが「なりすまし規制」の設定時に受信できなくなるのを回避する機能です。自動転送設定元のメールアドレスを指定受信リスト（なりすまし・転送メール許可）に登録することにより、そのメールアドレスがTo（宛先）もしくはCc（同報）に含まれているEメールについて、規制を受けることなく受信できます。
  ※ Bcc（隠し同報）のみに含まれていた場合（一部メルマガ含む）は、本機能の対象外となりますのでご注意ください。
- 「拒否通知メール返信設定」は、迷惑メールフィルター初回設定時に自動的に「返信する」に設定されます。なお、「返信する」に設定している場合でも、なりすましメールには返信されません。
- 「URLリンク規制」を設定すると、メールマガジンや情報提供メールなどの本文中にURLが記載されたEメールの受信や、一部のケータイサイトへの会員登録などができなくなる場合があります。
- 「HTMLメール規制」を設定すると、メールマガジンやパソコンから送られてくるEメールの中にHTML形式で記述されているEメールが含まれる場合、それらのEメールが受信できない場合があります。また、携帯電話・PHSからのデコレーションメールは「HTML規制」を設定している場合でも受信できます。
- 「なりすまし規制」は、送られてきたEメールが間違いなくそのドメインから送られてきたかを判定し、詐称されている可能性がある場合は規制するものです。
  この判定は、送られてきたEメールのヘッダー部分に書かれてあるドメインを管理しているプロバイダー、メール配信会社などが、ドメイン認証（SPFレコード記述）を設定している場合に限られます。ドメイン認証の設定状況につきましては、それぞれのプロバイダー、メール配信会社などにお問い合わせください。
  ※ パソコンなどで受け取ったEメールを転送させている場合、転送メールが正しいドメインから送られてきていないと判断され受信がブロックされてしまうことがあります。そのような場合は自動転送元のアドレスを「指定受信リスト設定（なりすまし･転送メール許可）」に登録してください。
  ※ 指定受信リスト設定（なりすまし・転送メール許可）でezweb.ne.jpやその一部を登録すると、すべてのメールを受信するためご注意ください。

■パソコンから迷惑メールフィルターを設定するには

迷惑メールフィルターは、お持ちのパソコンからも設定できます。
auのホームページ内の「迷惑メールでお困りの方へ」の画面内にある「PCからメールフィルター設定」にアクセスし、PC設定用ワンタイムパスワードを入力して設定を行ってください。
PC設定用ワンタイムパスワードは、迷惑メールフィルター画面の「PC設定用ワンタイムパスワード発行」で確認できます。
PC設定用ワンタイムパスワードが発行されてから15分以内にパソコンから「迷惑メールフィルター設定」に接続を行ってください。
15分を過ぎるとPC設定用ワンタイムパスワードは無効となります。

SMSを利用する

携帯電話同士で、電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。海外の現地携帯電話の電話番号を宛先にしてもメッセージが送れます。

SMSを送信する

漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・記号・絵文字・顔文字のメッセージ（メール本文）を送信できます。送信完了時には、相手の方にSMSが届いたかどうかが分かります。
海外へ送信する場合は、宛先には相手先電話番号の前に「010」と「国番号」を入力してください。

「010」＋「国番号」＋「相手先電話番号」

※ 電話帳などから相手先電話番号を引用した場合は、もう一度宛先をタップして「010」と「国番号」を入力してください。
※ 相手先携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いて入力してください。

1 ホーム画面で［SMS］→［新規作成］

送信メール作成画面が表示されます。

2 ［ ］

宛先入力欄をタップして電話番号を直接入力することもできます。

《SMS作成画面》

3 以下の項目をタップ

アドレス帳引用	電話帳の電話番号を宛先に入力します。
送信履歴引用	送信履歴の一覧から選択して、電話番号を宛先に入力します。
受信履歴引用	受信履歴の一覧から選択して、電話番号を宛先に入力します。

4 メッセージ入力欄をタップ→メッセージを入力

メッセージは、全角最大70／半角最大160文字まで入力できます。

5 ［送信］

送信が完了すると、相手の方にメールが届いた旨のメッセージか、メールが蓄積された旨のメッセージが表示されます。送信したメールは送信ボックスに保存されます。

memo

- 送信メール作成画面→［保存］、または送信メール作成画面→［ ］→［はい］と操作すると、メールを送信せずに送信ボックスへ保存できます。
- SMSセンターでは72時間までSMSをお預かり（蓄積）します。蓄積されてから72時間経過したSMSは、自動的に消去されます。なお、SMSのお預かり可能件数に制限はありません。
- 受信されるお客様のご利用状況、また、送信されるお客様の電話機の種類により、SMSセンターでお預かりできない場合があります。

- 蓄積されたSMSが配信されるタイミングは、次のとおりです。

SMS蓄積後すぐに配信	新しいSMSがSMSセンターに蓄積されるたびに、SMSセンターでお預かりしていたSMSがすべて配信されます。
リトライ機能による配信	相手の方が電波の届かない場所にいるときや、電源が入っていないなどの理由で、蓄積後すぐに配信できなかった場合は、最大72時間、相手先へSMSを繰り返し送信するリトライ機能によりSMSを配信します。
通話を終了したときに配信	蓄積後すぐに配信できなかった場合は、お客様が本製品で通話を終了したときに、SMSセンターにお預かりしていたSMSをすべて配信します。

※ 国際SMSの場合、配信タイミングが異なる場合があります。

- 発信者番号通知をせずにSMSを送信することはできません。
- 絵文字を他通信事業者の携帯電話に送信すると、一部他通信事業者の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。
  また、auの異なる携帯電話に送信した場合は、auの旧絵文字に変換される場合があります。
- SMSの送信が成功しても、電波の弱い場所などではまれに「送信できませんでした」と表示される場合があります。
- 国際SMSの詳細につきましては、auホームページをご確認ください。（http://www.au.kddi.com/service/kokusai/kokusai_sms/index.html）

SMSを受信する

1 SMSを受信すると

SMSの受信が終了すると、ステータスバーに SMS が表示され、メール受信音が鳴ります。

2 ステータスバーを下向きにスライド

3 電話番号または名前を選択

受信メール一覧画面が表示されます。
未読のSMSが複数あるときは「新着メッセージ（X件）」と表示されます。

4 受信したSMSを選択

受信メール内容表示画面が表示されます。

《受信完了画面》

memo

- SMSの受信料は、無料です。
- 受信したSMSでは、送信してきた相手の方の電話番号を確認できます。
- 受信したメールの内容によっては正しく表示されない場合があります。

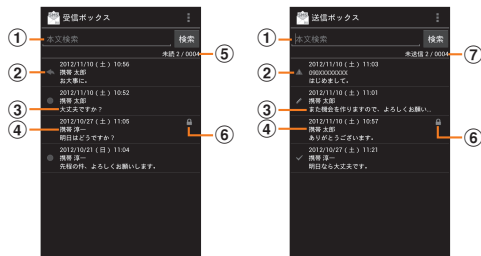
SMSを確認する

受信したSMSは、「受信ボックス」に保存されます。送信済みのSMSや送信せずに保存したSMSは、「送信ボックス」に保存されます。

1 ホーム画面で［SMS］

- 「受信ボックス」に未読メールがある場合は、右側に合計の件数が表示されます。
- 「送信ボックス」に未送信メールや送信に失敗したメールがある場合は、右側に合計の件数が表示されます。

《SMSトップ画面》

2 ［受信ボックス］／［送信ボックス］

《受信ボックス》　《送信ボックス》

①キーワード入力欄
キーワード入力欄について詳しくは、「SMSを検索する」（▶P.143）をご参照ください。

②SMSの状態
- ：未読のSMS
- ：返信したSMS
- ：送達確認済みのSMS
- ：未送信のSMS
- ：送信に失敗したSMS

③本文プレビュー

④宛先／差出人の名前または電話番号
電話番号が電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が表示されます。

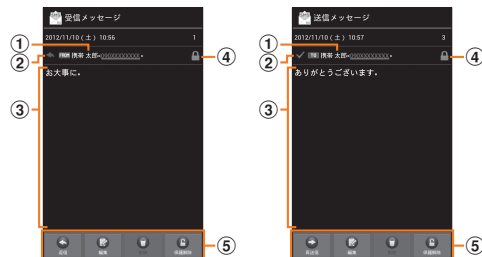
⑤未読メール件数／受信ボックス内のメール件数

⑥保護されたSMS

⑦未送信・送信失敗メール件数／送信ボックス内のメール件数

3 SMSを選択

《受信ボックス》　《送信ボックス》

メール

① 宛先／差出人の電話番号または名前と電話番号
電話番号が電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が表示されます。

② SMSの状態
：返信したSMS
：送達確認済みのSMS
：未送信のSMS
：送信に失敗したSMS

③ 本文
本文表示エリアを左右にフリックすることで、次のメール／前のメールを表示することができます。

④ 保護されたSMS

⑤ アクションバー

memo

- メール受信件数が上限（1,000件）を超えると、既読、未読の順で古いメールから自動的に削除されます。その際、保護メールは自動削除の対象外です。
  本体の空き容量が不足すると、上限に達していない場合でも自動的に削除されます。
- メール送信件数が上限（1,000件）を超えると、送信済み、送信失敗、未送信の順で古いメールから自動的に削除されます。その際、保護メールは自動削除の対象外です。

SMS一覧画面でできること

1 SMSトップ→受信ボックス／送信ボックス

■ オプションメニューの場合

2 [⋮]

3 以下の項目をタップ

設定	SMSの設定を変更できます。 • 詳しくは、「SMSを設定する」（▶P.143）をご参照ください。
削除	SMSを選択して削除、または全件削除します。

■ コンテキストメニューの場合

2 メッセージをロングタッチ

3 以下の項目をタップ

アドレス帳へ登録	連絡先に追加します。
音声電話	選択した電話番号に電話をかけます。
受信フィルター登録※1	選択した電話番号を「受信フィルター」の「指定番号リスト」に登録します。
送達結果情報表示※2	送達結果を表示します。

※1　受信ボックス画面のみ表示されます。
※2　送信ボックス画面のみ表示されます。

メール

SMS内容表示画面でできること

1 受信ボックス／送信ボックス画面→SMSをタップ

2 以下の項目をタップ

返信※1	返信のSMSを作成します。
送信※2	未送信のSMSを送信します。
再送信※2	送信済み／送信に失敗したSMSを再送信します。 • 送信済みのSMSを再送信した場合は、別のメールとして「送信ボックス」に保存されます。
編集	SMSを編集します。 • 受信メール、送信メールを選択している場合は、本文がコピーされ、新規の送信メールになります。
削除	SMSを削除します。
保護／保護解除	SMSを保護／保護解除します。 • 受信メール／送信・未送信メールは、500件まで保護できます。

※1 受信ボックス画面のみ表示されます。
※2 送信ボックス画面のみ表示されます。

差出人／宛先／電話番号／Eメールアドレス／URLを利用する

1 受信メッセージ／送信メッセージ画面

■ 差出人／宛先／本文中の電話番号に発信／ SMSを送信する場合

2 差出人／宛先／本文中の電話番号をタップ

3 SMSを作成／電話を発信

■ 差出人／宛先／本文中の電話番号を登録されている連絡先に追加する場合

2 差出人／宛先／本文中の電話番号をロングタッチ

3 追加する連絡先を選択

登録されている連絡先に、電話番号を追加します。

■ 差出人／宛先／本文中の電話番号で新しい連絡先を作成する場合

2 差出人／宛先／本文中の電話番号をロングタッチ

3 [新規作成]

新しい連絡先を作成します。

■ 本文中のEメールアドレスを利用する場合

2 本文中のEメールアドレスをタップ

3 アプリケーションを選択してEメールを作成

■ 本文中のURLを利用する場合

2 本文中のURLをタップ

3 アプリケーションを選択

ブラウザが起動して、選択したURLのページが表示されます。

memo

- 本文中に電話番号やURLを含むSMSを受信するには、SMS安心ブロック機能を解除する必要があります。（▶P.145「SMS安心ブロック機能を設定する」）
- アプリケーション選択画面で、「常にこの操作で使用する」にチェックを付けると、次回以降は選択したアプリケーションが自動で選択されます。

SMSを検索する

1 ホーム画面で［アプリ］→［SMS］→［受信ボックス］／［送信ボックス］→キーワード入力欄を選択→キーワードを入力

半角と全角を区別して入力してください。

2 ［検索］

日時が新しいSMSから順に表示されます。

《検索結果画面》

SMSを設定する

1 SMSトップ画面（▶P.140）→［SMS設定］

SMS設定メニューが表示されます。

《SMS設定メニュー》

メール

2 以下の項目をタップ

通知設定	SMS受信時、ステータスバーに通知アイコンを表示するかどうかを設定します。
着信音	SMS受信時の着信音を設定します。
バイブレーション	SMS受信時のバイブレーションを設定します。
LED	SMS受信時にLED点滅を行うかどうかを設定します。
文字サイズ	受信メッセージ／送信メッセージ／SMS作成画面の本文の文字サイズを設定します。
署名	署名を挿入するかどうかを設定します。
署名編集	署名を編集できます。
受信フィルター	▶P.144「受信フィルターを設定する」
送達確認	SMSが相手の方に届いた際、メッセージを表示させるかどうかを設定します。 •「確認する」を選択した場合は、確認方法を選択します。 「送信画面／送信ボックス」に設定すると、相手の方にメールが届いた旨のメッセージが表示されます。 「送信ボックス」に設定すると、「送信ボックス」のアイコンで送達結果を確認できます。 •「確認しない」に設定すると、メールが蓄積された旨のメッセージが表示されます。「送信ボックス」のアイコンは表示されません。

受信フィルターを設定する

1 SMSトップ画面（▶P.140）→［SMS設定］→［受信フィルター］

受信フィルターの設定画面が表示されます。

2 以下の項目をタップ

指定番号	指定した番号からのSMSを受信した場合、受信拒否するかどうかを設定します。
指定番号リスト	指定番号一覧が表示されます。 •「 」をタップすると、「アドレス帳引用」「送信履歴引用」「受信履歴引用」から入力方法を選択して受信を拒否する電話番号を登録できます。 •［削除］→登録済みの電話番号→［削除］→［はい］と操作すると電話番号を削除できます。 •電話番号は、最大10件まで登録できます。 •電話番号の先頭に「184（発信者番号非通知）」「186（発信者番号通知）」が付加されている「アドレス帳引用」を選択した場合は発信者の名前（アドレス帳に未登録の場合、「未登録」）が表示されます。手入力で「184」「186」を削除した電話番号を登録します。 •受信フィルターで受信を拒否しても、送信側は正常に送信されたことになります。送信料もかかります。
アドレス帳登録外	アドレス帳に登録されていない電話番号からのSMSを受信拒否するかどうかを設定します。

メール

SMS安心ブロック機能を設定する

SMS安心ブロック機能は、本文中にURLや電話番号を含むSMSを受信拒否する機能です。

memo

- SMS安心ブロック機能は、ご利用開始時から設定が有効となっています。
- ブロック対象のSMSは、通常のSMS（ぷりペイド送信含む）です。着信お知らせサービス、お留守番サービスEX（伝言お知らせ）※、待ちうた情報お知らせサービスは、対象外です。
  ※ お留守番サービスEXは有料オプションサービスです。

■SMS安心ブロック機能の設定方法

SMS安心ブロック機能の設定は、特定の電話番号にSMSを送信することで行います。

設定を解除する	本文に「解除」と入力して、09044440010にSMSを送信します。
設定を有効にする	本文に「有効」と入力して、09044440011にSMSを送信します。
設定を確認する	本文に「確認」と入力して、09044440012にSMSを送信します。

※ 設定時のSMS送信は無料です。
※ 設定完了の案内SMSは、「09044440012」の番号通知で届きます。

■SMS安心ブロック機能で受信拒否された場合

送信したSMSがSMS安心ブロック機能により受信拒否された場合は、「送信できませんでした」とエラーメッセージが表示され、送信されません。

PCメールを利用する

普段パソコンなどで利用しているメールアカウントを本製品に設定し、パソコンと同じようにメールを送受信できます。

- PCメールをご利用になるには、事前にPCメールのアカウントを設定する必要があります。（▶P.145「PCメールのアカウントを設定する」）
- PCメールでau oneメールをご利用になるには、事前にau oneメールの設定を行う必要があります。あらかじめau oneメールのメールアカウントの取得、IMAPを有効にする（初期値）、メールパスワードの設定を行ってください。（▶P.155「au oneメールについて」）

※ au oneメールのPOPダウンロードの設定を有効にして本製品のPCメールにPOP3サーバーで設定すると本製品本体内に保存されたメールが消失する場合があります。

PCメールのアカウントを設定する

au oneメールなど、いくつかのメールアドレスではメールサーバが自動的に設定され、簡単に設定することができます。
メールサーバが自動的に設定されない場合、または「手動セットアップ」を選択し設定値を手動設定したい場合は、ユーザー名やメールサーバを指定する操作を行います。
メールサーバの各設定値については、あらかじめご利用のプロバイダやメールアカウントの管理者にお問い合わせください。

1. **ホーム画面で［アプリ］→［PCメール］**
   PCメールにメールアカウントを1つも登録していない場合は、メールアカウントの登録画面が表示されます。
2. **アカウントを選択**
3. **メールアドレス欄を選択→メールアドレスを入力**
4. **パスワード欄を選択→パスワードを入力**

■ メールサーバを自動で設定する場合

5 [次へ]

メールサーバが自動的に設定され、アカウントの設定画面が表示されます。
メールアドレスによっては、メールサーバが自動的に設定されない場合があります。メールサーバが自動的に設定されない場合、または「手動セットアップ」を選択した場合は、ユーザー名やメールサーバを指定する操作を行います。詳しくは、「メールサーバが自動的に設定されない場合／手動で設定する場合」（▶P.146）をご参照ください。

受信トレイを確認する頻度	新着メールが届いているかサーバに確認する時間の間隔を設定します。
同期する日数	本製品本体内にメールを保存する期間を設定します。
いつもこのアカウントでメールを送信する	メールアカウントが複数設定されている場合に、PCメールを作成するときの優先アカウントを設定します。
メールの着信を通知する	新着PCメール受信時にステータスバーに通知アイコンを表示するかどうかを設定します。
このアカウントから連絡先を同期する	サーバに保存されている連絡先を同期するかどうかを設定します。
このアカウントからカレンダーを同期する	サーバに保存されているカレンダーを同期するかどうかを設定します。
このアカウントからタスクを同期する	サーバに保存されているタスクを同期するかどうかを設定します。
このアカウントからメールを同期する	サーバに保存されているメールを同期するかどうかを設定します。
Wi-Fiへの接続時に添付ファイルを自動的にダウンロードする	Wi-Fi® 接続でメールを受信したときに添付ファイルを自動でダウンロードするかどうかを設定します。
このアカウントからメモを同期する	サーバに保存されているメモを同期するかどうかを設定します。

※ 表示される項目はアカウントのタイプにより異なります。

6 必要な項目を設定→［▶］

7 アカウント名入力欄を選択→アカウント名を入力

複数のメールアカウントを登録した際に、メールアカウントを区別するための名前を設定します。省略した場合はメールアドレスがアカウント名として設定されます。

8 あなたの名前入力欄を選択→あなたの名前を入力

メールを送信したときに相手の方に差出人として表示される名前を設定します。

9 ［▶］

設定が完了すると受信トレイが表示されます。

■ メールサーバが自動的に設定されない場合／手動で設定する場合

5 [手動セットアップ]

アカウントのタイプを選択する画面が表示されます。
「Microsoft Exchange ActiveSync」を選択した場合は手順7に進みます。

6 [POP3] ／ [IMAP]

受信サーバの設定画面が表示されます。

7 以下の項目をタップ

ユーザー名／ドメイン¥ユーザー名	必要な項目を入力します。 ※ POP3サーバーで設定を行う場合、ご利用のプロバイダによっては本製品本体に保存されたメールが消失する場合があります。au oneメールを設定する場合は、IMAPサーバーで設定を行ってください。
パスワード	
POP3サーバー／IMAPサーバー／サーバー	
ポート	
セキュリティの種類	必要な場合に設定します。
サーバーからメールを削除	受信したメールをサーバに残すかどうかを設定します。
IMAPパスのプレフィックス	必要な場合に設定します。
安全な接続（SSL）を使用する	PCメールの受信時にSSLを使用するかどうかを設定します。
すべてのSSL証明書を承認	すべてのSSL証明書を承認する場合は有効にします。
クライアント証明書	認証情報ストレージを設定します。

※ 表示される項目はアカウントのタイプにより異なります。

8 [▶]

送信サーバの設定画面が表示されます。

SMTPサーバー	必要な項目を入力します。
ポート	
セキュリティの種類	必要な場合に設定します。
ログインが必要	必要な場合に設定します。 有効に設定した場合は「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。

※ 表示される項目はアカウントのタイプにより異なります。

9 [▶]

アカウントのオプション画面が表示されます。

受信トレイを確認する頻度	新着メールが届いているかサーバに確認する時間の間隔を設定します。
同期する日数	本製品本体内にメールを保存する期間を設定します。
いつもこのアカウントでメールを送信する	メールアカウントが複数設定されている場合に、PCメールを作成するときの優先アカウントを設定します。
メールの着信を通知する	新着PCメール受信時にステータスバーに通知アイコンを表示するかどうかを設定します。
このアカウントから連絡先を同期する	サーバに保存されている連絡先を同期するかどうかを設定します。
このアカウントからカレンダーを同期する	サーバに保存されているカレンダーを同期するかどうかを設定します。
このアカウントからタスクを同期する	サーバに保存されているタスクを同期するかどうかを設定します。
このアカウントからメールを同期する	サーバに保存されているメールを同期するかどうかを設定します。
Wi-Fiへの接続時に添付ファイルを自動的にダウンロードする	Wi-Fi® 接続でメールを受信したときに添付ファイルを自動でダウンロードするかどうかを設定します。
このアカウントからメモを同期する	サーバに保存されているメモを同期するかどうかを設定します。

※ 表示される項目はアカウントのタイプにより異なります。

10 必要な項目を設定→ [▶]

11 アカウント名入力欄を選択→アカウント名を入力

複数のメールアカウントを登録した際に、メールアカウントを区別するための名前を設定します。省略した場合はメールアドレスが設定されます。

12 あなたの名前入力欄を選択→あなたの名前を入力

メールを送信したときに相手の方に差出人として表示される名前を設定します。

設定が完了すると受信トレイが表示されます。

memo

- メールサーバが自動的に設定されない場合／手動で設定する場合の設定項目はアカウントのタイプなどにより異なります。
- 2つ目以降のメールアカウントを登録する場合は、操作1の後、［ ］→［アカウント］→［ ］と操作してください。
- PCメールにExchangeアカウントを登録する際、設定途中や設定完了後にセキュリティのリモート管理に関する確認／設定画面が表示されます。画面の指示に従って設定してください。
- 「アカウントと同期」（▶P.260）でExchangeアカウントを設定すると、自動的にPCメールにExchangeアカウントが設定されます。

PCメールを送信する

1 ホーム画面で［アプリ］→［PCメール］

受信トレイが表示されます。

PCメールにメールアカウントを1つも登録していない場合は、メールアカウントの登録画面（▶P.145）が表示されます。

複数のメールアカウントを登録している場合は、終了時に表示していたメールアカウントで表示されます。

2 ［ ］

メール作成画面が表示されます。

3 宛先入力欄を選択→宛先を入力

メールアドレスを途中まで入力すると、電話帳に登録されている連絡先から自動的に候補を検索して表示します。

「 」をタップすると、最近使用したメールアドレス、連絡先のメールアドレスやグループを選択できます。

Exchangeアカウントの場合は、Exchangeアカウントに保存されている連絡先のリストも表示されます。

4 件名入力欄を選択→件名を入力

5 本文入力欄を選択→本文を入力

6 ［ ］

memo

- 複数のメールアカウントを登録している場合は、メール作成画面で差出人欄をタップしてメールの差出人を変更できます。送信したメールは、差出人として選択したメールアカウントの「送信済み」に保存されます。
- 複数のメールアカウントを登録している場合は、統合受信トレイ画面で［ ］と操作すると優先アカウントに設定されているメールアカウントでPCメールを作成できます。

メール作成画面のメニューを利用する

1 メール作成画面で［ ⋮ ］

2 以下の項目をタップ

ファイルを添付	メールにデータを添付します。 ・添付したデータを削除する場合は、「 × 」をタップします。
CC ／ BCCを追加	CC ／ BCCの入力欄を追加します。
下書き保存	作成中のメールを「下書き」フォルダへ保存します。
破棄して終了	作成中のメールを破棄します。
カレンダーに保存ON	カレンダーを開いて、メールの内容を予定として保存します。
予約設定	送信日時を予約します。
セキュリティオプション	作成中のメールに対するセキュリティオプションを設定します。

※ 表示される項目はアカウントのタイプにより異なります。

PCメールを受信する

1 PCメールを受信する

PCメールを受信するとステータスバーに新着メールのアカウントアイコンが表示され、PCメール受信音が鳴ります。

2 ステータスバーを下へスライド

通知／ステータスパネルが表示されます。

3 PCメールの情報を選択

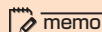
受信メール内容表示画面が表示されます。

新着メールを問い合わせて受信する

「受信トレイの確認頻度」／「同期スケジュール」を「設定しない」に設定した場合や、PCメールの受信に失敗した場合は、新着メールを問い合わせて受信することができます。

1 受信トレイ画面で［ ⋮ ］→［更新］

新着のPCメールがあるかどうかを確認します。

memo

・複数のメールアカウントを登録している場合は、メールを受信したいメールアカウントの受信トレイを表示して［ ⋮ ］→［更新］と操作してください。

PCメールを確認する

送信・受信したPCメール、送信せずに保存したPCメールなどは、各メールボックスに保存されます。

1 ホーム画面で［アプリ］→［PCメール］

受信トレイが表示されます。
PCメールにメールアカウントを1つも登録していない場合は、メールアカウントの登録画面（▶P.145）が表示されます。
複数のメールアカウントを登録している場合は、終了時に表示していたメールアカウントで表示されます。

① **メール**
スライドすると本製品で受信したすべてのメールを表示できます。
「さらにメールを読み込む」と表示されている場合は、タップするとメールを読み込み表示します。
既読のメールは、背景が白で表示されます。

② **アカウント名**
表示しているメール一覧画面のアカウント名を表示します。
複数のメールアカウントを登録している場合は、タップしてアカウントを変更することができます。また、統合受信トレイを選択すると、すべてメールアカウントの受信メールが表示されます。

③ **添付ファイルアイコン**
ファイルが添付されているメールに表示されます。

④ **差出人**

⑤ **件名**

⑥ **受信日**

⑦ **受信時間**

⑧ **スターアイコン**
スターが設定されている場合、赤色の表示になります。

《受信トレイのメール一覧画面》

※ 受信トレイのメール一覧画面を例に説明しています。表示される項目や内容は、アカウントにより異なります。

2 PCメールを選択

メール内容表示画面が表示されます。

① **一覧を表示**

② **前のメールを表示**

③ **次のメールを表示**

④ **メール返信（返信／全員に返信／転送）**

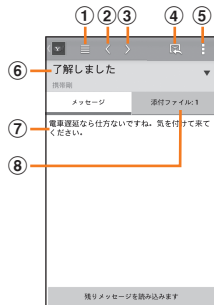
⑤ **メールメニュー（移動／削除／カレンダーに保存／未読にする）**

⑥ **件名**
件名の右の「▼」をタップすると、受信日時や差出人／To／CC、スターを付ける／外すなどの詳細が表示されます。

⑦ **本文**

⑧ **添付ファイル**
タップして「保存」／「表示」を選択すると添付ファイルを保存／表示することができます。

《受信メール内容表示画面》

※ 受信メール内容表示画面を例に説明しています。表示される項目や内容はメール内容表示画面により異なります。

memo

- 本文中のメールアドレスを選択すると選択したメールアドレスを宛先にしたEメール／PCメール／Gmailの送信、メールアドレスをコピー、電話帳に登録ができます。
- 本文中のURLを選択するとブラウザを起動しURLに接続／ブックマークに追加／URLをコピーができます。

PCメールのメニューを利用する

PCメール画面のメニューを利用する

受信トレイで［ ⋮ ］→［アカウント］と操作するとPCメール画面を表示できます。

■ オプションメニューの場合

1 PCメール画面

2 以下の項目をタップ

(作成アイコン)	▶P.148「PCメールを送信する」 • 複数のメールアカウントを登録している場合は、優先アカウントに設定されているアカウントからPCメールを作成できます。
(アカウント設定アイコン)	▶P.145「PCメールのアカウントを設定する」

■ コンテキストメニューの場合

1 PCメール画面でアカウントをロングタッチ

2 以下の項目をタップ

作成	▶P.148「PCメールを送信する」
更新	メールを更新します。
設定	▶P.145「PCメールのアカウントを設定する」
アカウントを削除	アカウントを削除します。

メールボックス画面のメニューを利用する

受信トレイで［ ⋮ ］→［フォルダ］と操作するとメールボックス画面を表示できます。

■ オプションメニューの場合

1 メールボックス画面

2 以下の項目をタップ

＋	フォルダを追加します。

■ コンテキストメニューの場合

1 メールボックス画面でフォルダをロングタッチ

2 以下の項目をタップ

開く	フォルダを表示します。
サブフォルダ追加	フォルダを追加します。
フォルダ名編集	フォルダ名を変更します。
フォルダ削除	フォルダを削除します。

※ 表示される項目はアカウントやフォルダのタイプにより異なります。

メール一覧画面のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 メール一覧画面で［⋮］

2 以下の項目をタップ

項目	説明
更新	メールを更新します。
検索	入力した文字列が件名と内容に含まれるメールを表示します。
アカウント	統合メールボックスと登録されているアカウントを表示します。
ソート	時間順／差出人順／添付ファイル順／件名順／未読順でメールを並び替えます。
表示モード	メール一覧画面の表示形式を通常モード／スレッドモードに設定します。
フォルダ	メールボックス画面を表示します。
タスク	Exchangeアカウントのタスクを利用できます。
メモ	Exchangeアカウントのメモを利用できます。
設定	▶P.145「PCメールのアカウントを設定する」

※ 表示される項目はアカウントのタイプなどにより異なります。

■ コンテキストメニューの場合

1 メール一覧画面でメールをロングタッチ

2 以下の項目をタップ

項目	説明
開く	選択したメールを開きます。
削除	選択したメールを削除します。
移動	他のフォルダに移動します。
転送	選択したメールを転送します。
全員に返信	同報されている全員宛に返信メールを作成します。
返信	返信メールを作成します。
未読にする／既読	選択したメールを未読／既読にします。

※ 表示される項目はアカウントやフォルダのタイプにより異なります。

メール内容表示画面のメニューを利用する

1 メール内容表示画面で［⋮］

2 以下の項目をタップ

項目	説明
移動	他のフォルダに移動します。
削除	メールを削除します。
カレンダーに保存	メールの内容をカレンダーに保存します。
未読にする	メールを未読にします。

PCメールの設定をする

■ 全般の設定をする

1 受信トレイで［ ⋮ ］→［設定］

2 以下の項目をタップ

画像の自動表示	添付画像を自動的に表示するかを設定します。
［画像を表示］をデフォルトに戻す	タップすると、送信者全員に対する設定をデフォルト（画像を自動的に表示にない）に戻します。
表示設定	受信トレイに件名を表示するか、差出人を表示するかを設定します。

■ アカウントの設定をする

1 受信トレイ画面で［ ⋮ ］→［設定］

2 アカウントをタップ

アカウントの設定画面が表示されます。

3 以下の項目をタップ

アカウント設定	アカウント名	アカウント名を設定します。
	名前	メールを送信したときに相手の方に差出人として表示される名前を設定します。
	署名	署名を自動で挿入するかどうかを設定します。
	署名編集	本文の末尾に挿入する文を作成します。
	受信トレイの確認頻度	新着メールが届いているかサーバに確認する時間の間隔を設定します。
	添付ファイルの保存先	添付ファイルを保存するストレージを設定します。
	優先アカウントにする	メールアカウントが複数設定されている場合に、PCメールを作成するときの優先アカウントを設定します。
	受信設定	受信メールサーバの設定をします。
	送信設定	送信メールサーバの設定をします。

Exchange ActiveSync設定	メールと同期	サーバに保存されているメールと同期するかどうかを設定します。
	連絡先と同期	サーバに保存されている連絡先を同期するかどうかを設定します。
	カレンダーと同期	サーバに保存されているカレンダーを同期するかどうかを設定します。
	メモと同期	サーバに保存されているメモを同期するかどうかを設定します。
	タスクと同期	サーバに保存されているタスクを同期するかどうかを設定します。
	スケジュール同期化範囲設定	スケジュールの同期化の範囲を設定します。
	同期スケジュール	受信トレイの確認頻度を設定します。
	フォルダの同期	受信ボックス内のフォルダを選択してスケジュールを同期します。
	GAL検索を変更	アドレス欄に表示されるGALの件数を変更します。
	社外時の同期	社外時にメールを送信する設定を行います。
	メール形式	テキストメールとHTMLメールを選択します。
	S/MIME設定	S/MIMEを設定します。
	セキュリティポリシーリスト	セキュリティポリシーを表示します。

詳細設定	メールのダウンロードサイズ	自動的にダウンロードするメールのサイズを設定します。
	過去のメールダウンロード	メールの同期化の範囲を設定します。
	添付ファイルのダウンロード	Wi-Fi® 接続時に最近のメールの添付ファイルを自動的にダウンロードするかの可否を設定します。
	返信先設定	返信先のアドレスを利用するかどうかを設定します。
	返信先編集	返信先のアドレスを指定します。
	自分のアドレスをCC/BCCに追加	送信メールに自分宛のCC/BCCを入れるかを設定します。
通知設定	メール受信通知	PCメール受信時にステータスバーに通知アイコンを表示するかどうかを設定します。
	着信音を選択	PCメール受信時の着信音を選択します。
	バイブレーション	PCメール受信時のバイブレータを設定します。
アカウントを削除		アカウントを削除します。

※ 表示される項目はアカウントのタイプなどにより異なります。

au oneメールを利用する

au oneメールについて

au oneメールは、情報料無料・大容量のWEBメールサービスです。高性能な検索機能や迷惑メールフィルターを利用したり、Eメール（@ezweb.ne.jp）で送受信したEメールをau oneメールに自動保存したりできます。
また、PCメールでau oneメールを利用することができます。
PCメールで利用する場合は、au oneメールの会員登録を行った後、次の設定を行う必要があります。

- ホーム画面で［Eメール］→［ ⋮ ］→［au oneメール］→［au oneメールTop］→［設定］→［メール転送とPOP／IMAP設定］と操作し、「IMAPを有効にする」に設定する。
- ホーム画面で［Eメール］→［ ⋮ ］→［au oneメール］→［au oneメールTop］→［設定］→［アカウント］→［Googleアカウントの設定］→［メールパスワード設定］→［次へ］と操作し、メールパスワードを設定する。

memo

- au oneメールの機能や設定については、ホーム画面で［アプリ］→［Eメール］→［ ⋮ ］→［au oneメール］→［au oneメールTop］と操作し、ヘルプの各項目をご参照ください。

■au oneメールの機能について

機能	説明
メール検索	入力されたキーワードをもとに、差出人名や件名、メール本文などから対象となるメールを検索できます。
メール送信	新規メールを作成して送信します。返信や転送もできます。
メール受信	受信したメールは、スレッド（最初のメールへの返信）単位で表示されます。重要なメールにスター（星印）を付けて保存したり、ラベルを付けることでメールやスレッドの分類ができます。
au oneメールへの自動保存機能	Eメール（@ezweb.ne.jp）で送受信したEメールをau oneメールに自動的に保存できます（▶P.125）。

会員登録する

au oneメールをご利用になるには、最初にau oneメールの会員登録を行い、au oneメールのメールアドレスを取得していただく必要があります。会員登録を行うことにより、「～@auone.jp」のアドレスを取得できます。
会員登録するにはau IDが必要です。「au IDを設定する」(▶P.48)をご参照ください。

1 **Eメールトップ画面→[⋮]→[au oneメール]→[au oneメールTop]**

2 **au IDとパスワードを入力→[ログイン]**

3 **[保存しない]/[保存]/[今は保存しない]**

会員登録画面が表示されます。
[保存しない]/[保存]を選択した場合、次回から確認画面が表示されなくなります。

4 **画面に従って必要項目を入力し、利用規約を読む**

5 **[規約に同意して登録する]**

登録内容の確認画面が表示されます。

6 **[上記の内容で登録する]**

会員登録が完了します。

memo

- 一定期間、お客様による本サービスの利用がまったくない場合、お客様が本サービスを利用して保存したデータファイルをすべて削除し、本サービスを解除することがあります。
- au oneメールを解約した場合や、携帯電話サービスを解約した場合などは、メールデータはすべて削除されます。

au oneメールを確認する

会員登録後は以下の操作でau oneメールを確認できます。

1 **Eメールトップ画面→[⋮]→[au oneメール]→[au oneメールTop]**

au oneメールのデスクトップ画面(受信トレイ)が表示されます。

2 **「au oneメール表示:」の[標準]**

受信トレイがau oneメールの表示形式で表示されます。
ホーム画面で[アプリ]→[ブラウザ]で表示されるauポータル画面で、[au oneメール]を選択してもau oneメールのデスクトップ画面(受信トレイ)が表示されます。

Gmailを利用する

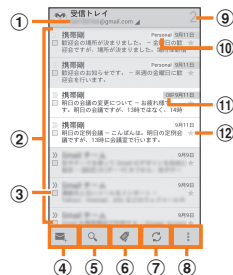
Gmailとは、Googleが提供するメールサービスです。本製品からGmailの確認･送受信などができます。
パソコンや本製品のブラウザからもGmailを利用し、メール情報を共有することができます。

- Gmailの利用にはGoogleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.48)をご参照ください。
- Gmailの連絡先は、本製品の連絡先と同期することができます。
- 利用方法などの詳細については、Googleのホームページをご参照ください。
- サービス内容は、予告なく変更される場合があります。

Gmailを起動する

1 ホーム画面で［アプリ］→［Gmail］

Gmailの受信トレイ画面が表示されます。

① **アカウント名**
② **メール**
既読のメールは、背景が灰色で表示されます。
③ **チェックボックス**
選択すると、アーカイブ／削除／ラベル／未読既読変更／スターの各メニューが利用できます。
④ **新規作成**
⑤ **検索**
⑥ **すべてのラベルを表示**
⑦ **更新**
⑧ **メニュー**
⑨ **未読メール件数**
⑩ **ラベル**
ラベルが設定されているメールに表示されます。
⑪ **添付ファイルアイコン**
ファイルが添付されているメールに表示されます。
⑫ **スターアイコン**
タップするとスター付きを設定／解除できます。スター付きを設定すると、受信トレイ画面→［スター付き］で設定したメールのみを表示することができます。

memo

- 受信トレイ画面→［ ⋮ ］→［設定］→［全般設定］→［チェックボックスを表示しない］でチェックボックスの表示／非表示を設定できます。

Gmailのアカウントを切り替える

1 受信トレイ画面→アカウント名をタップ

2 アカウントを選択

Gmailを送信する

1 受信トレイ画面→［ ］

2 宛先入力欄を選択→宛先を入力

Cc、Bccを追加する場合は、［ ］→「Cc ／ Bccを追加」をタップします。

3 件名入力欄を選択→件名を入力

4 メールを作成欄を選択→本文を入力

画像を添付する場合は、［ ］→［ファイルを添付］→画像を選択します。

5 ［ ］

Gmailを更新する

本製品の「Gmail」アプリケーションとサーバのGmailを同期して、新着メールを受信できます。

1 受信トレイ画面→［ ］

送信済みGmailを表示する

1 受信トレイ画面→［ ］→［送信済みメール］

Gmailを受信する

1 Gmailを受信する

Gmailを受信すると、ステータスバーに が表示され、メール受信音が鳴ります。

2 ステータスバーを下にスライド

3 メールの情報を選択

受信トレイ画面が表示されます。

4 受信したメールを選択

受信メール内容表示画面が表示されます。

スレッドを操作する

1 受信トレイで操作するスレッドをロングタッチ

2 必要な項目を選択

- ［ ］を選択すると、スレッドを保管します。保管されたスレッドは受信トレイに表示されません。
- ［ ］→［ミュート］を選択すると、スレッドを非表示にします。
- ［ ］→［迷惑メールを報告］を選択すると、スレッドをスパムとして報告します。

memo

- 「 」をタップすると、スレッドごと削除されます。スレッドの中の一部のメールだけを選択して削除することはできません。
- アーカイブまたはミュートにして受信トレイに表示されなくなったスレッドは、受信トレイで［ ］→［すべてのメール］をタップすると表示できます。アーカイブまたはミュートしたスレッドを受信トレイに戻すには、［すべてのメール］でスレッドをタップ→［ ］→［受信トレイ］→［OK］をタップします。
- 本製品ではラベルを作成できません。Gmailのウェブサイトで作成してください。

Gmailを検索する

メールアドレスやタイトルなどを入力し、本製品内やサーバ上のGmailアカウント内のメールを検索できます。検索の詳細についてはGmailサイトをご覧ください。

1 受信トレイ画面→［ ］

2 検索する文字列を入力→［ ］

Gmailを返信／転送する

1 受信メール内容表示画面→［ ］／［ ］→［全員に返信］／［転送］

Gmailを受信したときの動作を設定する

メールを受信したときに、通知アイコンの表示や着信音、バイブレータでお知らせするように設定できます。

1 受信トレイ画面→［ ］→［設定］→設定を変更するアカウントをタップ→［ラベルの管理］→［受信トレイ］

2 以下の項目をタップ

メールの同期	サーバーとの同期の設定を行います。
メール着信通知	メール受信時に通知アイコンを表示するかどうかを設定します。
着信音	メール受信時の音を設定します。
バイブレーション	メール受信時のバイブレータの動作を設定します。
最初の新着メールのみ通知	最初の新着メールのみ通知するかどうかを設定します。

署名を設定する

送信時の署名を設定できます。

1 受信トレイ画面→［ ］→［設定］→設定を変更するアカウントをタップ→［署名］

2 署名を入力→［OK］

インターネット

インターネットに接続する

パケット通信または無線LAN（Wi-Fi®）機能を使用してインターネットに接続できます。

memo

- LTE NETまたはLTE NET for DATAに加入していない場合は、パケット通信を利用することができません。

パケット通信を利用する

本製品は、「LTE NET」や「LTE NET for DATA」のご利用により、手軽にインターネットに接続してパケット通信を行うことができます。本製品にはあらかじめLTE NETでインターネットへ接続する設定が組み込まれており、インターネット接続を必要とするアプリケーションを起動すると自動的に接続されます。
LTE NET for DATAでインターネットへ接続するには、ホーム画面で［ ⋮ ］→［設定］→［その他］→［モバイルネットワーク］→［アクセスポイント名］→［LTE NET for DATA］を選択してください。

memo

- 最大通信速度受信75Mbps ／送信25Mbpsでのパケット通信によるインターネット接続やLAN接続を行うことができます。
  ※ ご使用の通信環境により、最大通信速度が低下する場合があります。
- LTEフラットなどのパケット通信料定額／割引サービスご加入でインターネット接続時の通信料を定額でご利用いただけます。LTE NET、LTE NET for DATA、パケット通信料定額／割引サービスについては、最新のau総合カタログ／ auのホームページをご参照ください。

■パケット通信ご利用上の注意

- 画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロード、通信を行うウィジェットやGoogleサービスなどのアプリケーションを使用するなど、データ量の多い通信を行うとパケット通信料が高額となるため、パケット通信料定額／割引サービスの加入をおすすめします。
- コンピュータウィルスなどの影響により、お客様が意図しない通信が継続的に発生するおそれがあります。ご利用にあたりましては、ウィルス予防・対処策を講じていただくと共に、ご利用方法につきましてもご配慮いただきますようお願い申し上げます。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限される場合があります。

■ご利用パケット通信料のご確認方法について

ご利用パケット通信料は、次のURLでご照会いただけます。
https://cs.kddi.com/（auお客さまサポート）
※ 初回のご利用の際は、お申し込みが必要です。

ブラウザを利用する

ブラウザでは、パソコン向けのウェブサイトを閲覧できます。サイトによっては、画面サイズなどがスマートフォン用に自動的に最適化されたり、スマートフォン専用サイトが用意されている場合があります。

サイトを表示する

1 ホーム画面で［ブラウザ］

お買い上げ時は、 Android 向けの au ホームページが表示されます。

① **アドレスバー**
▶P.162「アドレスバーを利用する」

② **再読み込み**
表示中のサイトを再読み込みします。

③ **オプションメニュー**
ブラウザ画面のメニューを表示します。

《ブラウザ画面》

> **memo**
>
> - 非常に大きなウェブページをブラウザで表示した場合など、アプリケーションが自動的に終了する場合があります。

アドレスバーを利用する

キーワードを入力してウェブサイトを検索したり、URL を直接入力してウェブサイトを表示することができます。

1 ブラウザ画面でアドレスバーを選択

2 キーワード／ URL を入力

アドレスバーの下に入力したキーワードを含む検索候補などのリストが表示されます。

3 検索候補などのリストから項目を選択

> **memo**
>
> - アドレスバーを選択後、右側の［ 🎤 ］をタップすると、Google 音声検索を利用できます。

ブラウザ画面のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 ブラウザ画面で［ ⋮ ］

2 以下の項目をタップ

次へ	現在のページから「 ↩ 」をタップして一回戻った場合、戻る前のページへ進みます。
ホームページへ移動	ホームページ設定で設定したサイトを表示します。
タブ管理	表示するタブの切り替え、タブの追加／削除をします。
新規シークレットタブ	閲覧履歴に残らないシークレットタブを追加します。
ブックマーク一覧	ブックマーク一覧を表示します。
ブックマークに追加	▶P.164「ブックマークに追加する」
ページを保存	表示しているページを保存します。
ページを共有	表示しているページのURLをBluetooth®やメール本文などで送信したり、Facebookなどにアップロードします。
ページ内を検索	表示しているページ内でテキストを検索します。
ページ情報	表示しているページの情報を表示します。
PC版サイトを表示	表示しているサイトのPC版のサイトを表示します。
明るさ	ブラウザの明るさを調整します。
設定	ブラウザのプライバシー、セキュリティなどを設定します。

■ コンテキストメニューの場合

1 ブラウザ画面でリンクをロングタッチ

2 以下の項目をタップ

開く	選択したリンク先を表示します。
新しいタブで開く	選択したリンク先を新しいタブで表示します。
リンクを保存	選択したリンク先を内部メモリに保存します。
URLをコピー	選択したリンク先のURLをコピーします。
テキストを選択してコピー	リンクのテキストを選択してコピーできます。

※ 表示される項目は選択した項目や本製品の設定などにより異なります。

memo

- 表示している画面や選択した項目によっては、操作できない項目があります。
- 壁紙に設定した画像は保存されないため、壁紙を別の画像に変更すると元に戻すことはできません。また、他の機能で画像を使用することもできません。

新しいタブで開く

1 ブラウザ画面の右上の［+］

新しいタブの画面が表示されます。

ブックマーク／履歴を利用する

ブックマークに追加する

1 ブラウザ画面で［ ⋮ ］→［ブックマークに追加］

ブックマークに追加画面が表示されます。
ラベルとアドレスを編集することができます。

2 ［OK］

ブックマーク／履歴を利用する

1 ブラウザ画面で［ ⋮ ］→［ブックマーク一覧］

ブックマーク画面が表示されます。

① **ブックマーク**
ブックマークの一覧が表示されます。

② **履歴**
ウェブページの閲覧履歴が表示されます。

③ **保存したページ**
［ページを保存］で保存したページの一覧が表示されます。

《ブックマーク／履歴／保存したページ画面》

2 ［ブックマーク］／［履歴］／［保存したページ］

ブックマーク／履歴／保存したページ一覧が表示されます。

3 ブックマーク／履歴を選択

選択したウェブページが表示されます。

ブックマーク／履歴／保存したページのメニューを利用する

1 ブックマーク／履歴／保存したページのタブでブックマーク／履歴／保存したページをロングタッチ

2 以下の項目をタップ

開く	選択したブックマーク／履歴のウェブサイトを表示します。
新しいタブで開く	選択したブックマーク／履歴のウェブサイトを新しいタブで表示します。
編集	選択したブックマークを編集します。
ホームにショートカットを追加	ホーム画面にブックマークのショートカットを作成します。
ブックマークに追加	▶P.164「ブックマークに追加する」
ブックマークから削除	選択した履歴をブックマークから削除します。選択した履歴のURLがブックマークに登録されている場合に表示されます。
リンクを共有	選択したブックマーク／履歴のURLをBluetooth®やメールの本文などで送信したり、Facebookなどにアップロードします。
URLをコピー	選択したブックマーク／履歴のURLをコピーします。
削除	選択したブックマークを削除します。

履歴から消去	選択した履歴を削除します。
ホームページとして設定	選択したブックマーク／履歴をホームページに設定します。 • ホームページは、ブラウザを起動したときや新しいウィンドウを開いたときに表示されます。
赤外線で送信	ブックマークを赤外線で送信します。
保存したページを削除	選択したページを削除します。

※ 表示される項目は画面や選択した項目により異なります。

マルチメディア

カメラを利用する

このカメラでできること

本製品は、有効画素数約800万画素のCMOSアウトカメラと約200万画素のCMOSインカメラを搭載し、写真や動画の撮影ができます。
撮影した写真や動画は本製品またはmicroSDメモリカードに保存されます。ギャラリー（▶P.178）で表示・再生したり、Bluetooth® やメール添付で送信したり、共有サイトにアップロードできます。

■撮影できる写真のサイズ

用途に合わせて画像サイズを選択できます。

解像度	容量（目安）
8M（3264x2448）	925KB程度
w6M（3200x1920）	624KB程度
5M（2560x1920）	475KB程度
w2.4M（2000x1200）	283KB程度
2M（1600x1200）	205KB程度
1.3M（1280x960）	130KB程度
w0.3M（800x480）	56KB程度
0.3M（640x480）	47KB程度

■録画できる動画のサイズ

用途に合わせて録画モードを選択できます。

解像度	録画可能時間
HD（1280×720）	最大約22分または2GB
WVGA（800×480）	最大約60分または2GB
VGA（640×480）	最大約60分または2GB
QVGA（320×240）	最大約60分または2GB

memo

- microSDメモリカードに保存する場合は、容量により録画時間が短くなる場合があります。
- 解像度や撮影環境によって録画中に端末の温度が上昇すると録画時間が短くなる場合があります。

■プリントできます

保存した画像をプリンターやDPEショップでプリントできます。

カメラをご利用になる前に

- レンズ部に直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して画像が変色することがあります。
- 本製品を暖かい場所に長時間置いていて画像を撮影したり、保存したときは画像が劣化することがあります。
- カメラは非常に精密な部品から構成されており、中には常時明るく見える画素や暗く見える画素もあります。また、非常に暗い場所での撮影では、青い点、赤い点、白い点などが出ますのでご了承ください。
- レンズに指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。強くこするとレンズを傷付けるおそれがあります。

- 撮影時にはレンズ部やライトに指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。ストラップが撮影の邪魔になる場合は、ストラップを手で固定してから撮影してください。
- 手ブレにご注意ください。画像がブレる原因となりますので、本体が動かないようにしっかりと持って撮影するか、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。

  特に室内など光量が十分でない場所では、手ブレが起きやすくなりますのでご注意ください。

  また、被写体が動いた場合もブレた画像になりますのでご注意ください。
- 蛍光灯照明の室内で撮影する場合、蛍光灯のフリッカー（人の目では感じられない、ごく微妙なちらつき）を感知してしまい、画面にうすい縞模様が出る場合がありますが、故障ではありません。
- 動画を録画する場合は、マイクを指などでおおわないようにご注意ください。また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。
- 本製品のカメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味が異なる場合があります。撮影する被写体や、撮影時の光線のあたり具合によっては、レンズの特性により、部分的に暗く写ったり明るく写ったりする場合があります。また、広角レンズを使用しているため被写体が一部ゆがんで写る場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- カメラ撮影時に衝撃を与えると、ピントがずれる場合があります。ピントがずれた場合はもう一度カメラを起動してください。
- 次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
  - 無地の壁などコントラストが少ない被写体
  - 強い逆光のもとにある被写体
  - 光沢のあるものなど明るく反射している被写体
  - ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
  - カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
  - 暗い場所にある被写体
  - 動きが速い被写体
- ライトを目に近付けて点灯させないでください。ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。また、他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。
- マナーモード設定中でも静止画撮影のシャッター音、動画撮影の開始音、終了音は鳴ります。音量は変更できません。
- カメラ起動時など、カメラ動作中に微小な連続音が聞こえる場合がありますが、異常ではありません。機器の内部部品の動作音で、異常ではありません。
- 写真撮影で写真モニター画面を長時間連続して表示し続けた場合や、動画撮影を繰り返し長時間連続動作させた場合、本体の一部分が温かくなり、長時間触れていると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。また、本体の温度が上昇し、カメラが使用できなくなることがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、画像が暗くなったり、画像が乱れたりすることがありますのでご注意ください。
- 動いている被写体を撮影するときや、明るい所から暗い所に移したときに、画面が一瞬白くなったり、暗くなったりすることがあります。また、一瞬乱れることなどもあります。
- 被写体によっては、うすい縞模様が入ることがありますが、保存する画像には影響ありません。
- 暗い場所での撮影では、ノイズが増え、ざらついた写真などになる可能性があります。
- 不安定な場所に本製品を置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどして本製品が落下するおそれがあります。
- プレビュー画面を表示したり、カメラを切り替えたり、カメラの設定を変更した直後は、明るさや色合いなどが最適に表示されるまで時間がかかることがあります。
- 電池残量が少ない場合、冬場の屋外での使用など極端に温度が低い場合、他のアプリケーションを起動している場合は、カメラが使用できないことがあります。
- お客様が本製品のカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。

静止画を撮影する

1 ホーム画面で［アプリ］→［カメラ］

写真モニター画面が表示されます。

2 ［ ］

自動でピントを合わせた後、シャッター音が鳴り、撮影したデータが自動的に保存されます。

memo

- 写真モニター画面で約２分間何も操作しないと、カメラが終了します。

動画を撮影する

1 ホーム画面で［アプリ］→［カメラ］→［ ］→［ ］

動画モニター画面が表示されます。

2 ［ ］

録画中画面が表示されます。

3 ［ ］

録画終了後は動画モニター画面へ戻ります。
録画したデータは自動的に保存されます。

memo

- 動画録画中に「 」をタップすると、録画をキャンセルします。
- 録画中に録画可能時間を超えた場合、電池残量が約５%以下になった場合は自動的に録画が停止しカメラを終了します。録画中に本製品本体の温度が高い場合は自動的に録画が停止します。この場合、停止前までの動画は保存されます。
- 着信などにより録画が中断された場合は、着信前までの動画が保存されます。通話などの終了後に動画プレビュー画面が表示されます。
- 動画モニター画面で約２分間何も操作しないと、カメラが終了します。

パノラマ写真を撮影する

1 ホーム画面で［アプリ］→［カメラ］→［ ］→［ ］

パノラマ写真モニター画面が表示されます。

2 ［ ］

インジケーターに合わせてカメラを移動すると撮影が開始されます。

3 ［ ］

撮影したデータは自動的に保存されます。

memo

- カメラを速く移動させると撮影できないことがあります。
- 一定方向にゆっくり撮影してください。
- 画面下部のプログレスバーがバーの終わりのところまで到達すると撮影は自動終了されます。

インカメラで撮影する

1 **ホーム画面で［アプリ］→［カメラ］→［ ］**

インカメラ写真モニター画面が表示されます。

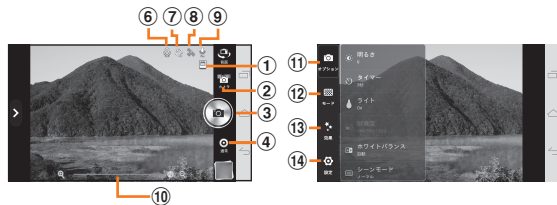
2 **［ ］**

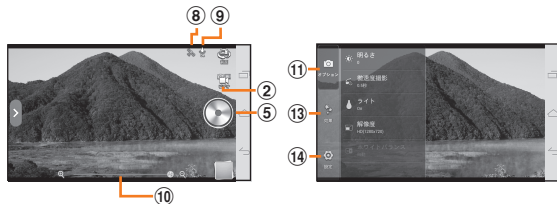
自動でピントを合わせた後、シャッター音が鳴り、撮影したデータが自動的に保存されます。

memo

- アウトカメラに切り替える場合は、「 」をタップします。
- パノラマ撮影では、インカメラを使用できません。

カメラ画面の見かた

画面の「 」をタップすると各種機能アイコンが表示されます。

《写真モニター画面》

《写真モニター画面》（機能アイコン表示中）

《動画モニター画面》

《動画モニター画面》（機能アイコン表示中）

① **モードアイコン：**
（連写）
（美白）※1
（笑顔）
（インスタント）
（分割）

② **カメラモード切替**
タップすると写真モード／動画モードを切り替えます。

③ **写真撮影**

④ **WDR ／左右反転：**
（通常撮影）
（WDR撮影）
（左右反転）※2
（反転 off）※2

⑤ **動画録画開始／録画停止：**
（録画開始）
（録画停止）

⑥ **音声認識アイコン：**
音声認識On
音声認識Off

⑦ **タイマーアイコン：**
（3秒）
（5秒）
（10秒）

⑧ **位置情報（GPS情報）アイコン：**
（取得中）
（取得成功）
（取得失敗）

⑨ **ライトアイコン：**
ライトOn
ライトOff

⑩ **ズーム**
▶P.172「ズームイン／ズームアウトする」

⑪ **オプション設定**
▶P.173「オプションを設定する」

⑫ **撮影モード設定**
▶P.172「連写／美白／笑顔／インスタント／分割撮影をする」

⑬ **効果設定**
▶P.174「撮影効果を設定する」

⑭ **設定**
▶P.175「カメラを設定する」

※1　インカメラのときのみ表示されます。
※2　モードを美白に設定したときのみ表示されます。

- 表示される項目はカメラモードや画像サイズ、カメラの設定などにより異なります。

モニター画面でできること

ズームイン／ズームアウトする

1 写真モニター画面／動画モニター画面のズームバーをスライド

明るさを調整する

1 写真モニター画面／動画モニター画面で［ ］→［オプション］→［明るさ］

2 明るさを選択

連写／美白／笑顔／インスタント／分割撮影をする

インスタント／分割撮影のときは画像サイズが固定されます。
連写撮影でサポートされていない画像サイズのときは解像度が5Mに変更されます。
美白撮影はインカメラでのみ撮影可能です。

1 写真モニター画面で画面をタップ→［ ］→［モード］
撮影モードメニューが表示されます。

■ 連写撮影をする場合

2 ［連写］→［ ］

3 ［ ］
自動でピントを合わせた後、シャッター音がなります。
をロングタッチするとタッチしている間中、連写されます。撮影したデータは自動的に保存されます。

■ 美白撮影をする場合

2 ［美白］→［ ］

3 ［ ］
自動でピントを合わせた後、シャッター音がなります。
人物を撮影するとき、顔を明るく表現することができます。
撮影したデータは自動的に保存されます。
［ ］／［ ］で、左右反転したり、解除できます。

■ 笑顔撮影をする場合

2 ［笑顔］→［ ］

3 ［ ］
被写体が笑顔になると自動でピントを合わせた後、シャッター音が鳴ります。
撮影したデータは自動的に保存されます。

■ インスタント撮影をする場合

2 ［インスタント］→［ ］

3 ［ ］
自動でピントを合わせた後、シャッター音が鳴ります。
インスタント写真のようにゆっくりと画像が表示されます。表示が完了するとバイブレータでお知らせします。
画像の表示が完了した後、［15桁以内で入力してください］をタップすると写真にタイトルをつけることができます。

4 ［保存］
撮影したデータが保存されます。

■ 分割撮影をする場合

2 ［分割］→［ ］

3 ［📷］

自動でピントを合わせた後、シャッター音が鳴り、分割撮影が開始されます。
自動的に４枚の写真が連写されます。
撮影したデータは自動的に保存されます。

memo

- 「インスタント」で写真を撮影後、本製品本体を振ると早く画像が表示されます。振るときに本製品本体を落としたり、人や物に当てたりしないようにご注意ください。
- 「インスタント」で写真を撮影後、画面をタップするとすぐに画像が表示されます。

オプションを設定する

1 **写真モニター画面／動画モニター画面で［ ⌄ ］→［オプション］**

2 **以下の項目をタップ**

明るさ		▶P.172「明るさを調整する」
タイマー	Off	セルフタイマーをOFFにします。
	3秒	「📷」をタップしてから３秒後に撮影開始します。
	5秒	「📷」をタップしてから５秒後に撮影開始します。
	10秒	「📷」をタップしてから10秒後に撮影開始します。
微速度撮影		微速度撮影の時間間隔を設定します。
ライト		ライトを使用するかどうかを設定します。
解像度		解像度を設定します。
ホワイトバランス	自動	ホワイトバランスを自動に設定します。
	太陽光	太陽光下での撮影に適したホワイトバランスに設定します。
	曇りの日	曇りの日の屋外での撮影に適したホワイトバランスに設定します。
	蛍光灯	蛍光灯下での撮影に適したホワイトバランスに設定します。
	白熱灯	白熱灯下での撮影に適したホワイトバランスに設定します。
シーンモード	ノーマル	シーンモードをノーマルな状態に設定します。
	人物	人物の撮影に適したシーンモードに設定します。
	風景	風景の撮影に適したシーンモードに設定します。
	屋内	屋内の撮影に適したシーンモードに設定します。
	スポーツ	スポーツの撮影に適したシーンモードに設定します。
	夜景	夜景の撮影に適したシーンモードに設定します。
	浜辺	浜辺の撮影に適したシーンモードに設定します。
	雪	雪景色の撮影に適したシーンモードに設定します。
	夕焼け	夕焼けの撮影に適したシーンモードに設定します。
	テキスト	テキストの撮影に適したシーンモードに設定します。

シーンモード	花火	花火の撮影に適したシーンモードに設定します。

※ 表示される項目はカメラモードにより異なります。

3 **画面をタップ**

設定が完了します。

memo

- 微速度撮影とは、時間間隔をとって撮影し連続して再生することで、実際よりも速く見せることができる撮影方法です。

撮影効果を設定する

1 **写真モニター画面／動画モニター画面で［ ］→［効果］**

2 **以下の項目をタップ**

カラー効果	なし	カラーエフェクトを無効にします。
	モノクロ	白黒写真が撮影できます。
	セピア	セピア写真が撮影できます。
	アクア	アクア調の写真が撮影できます。
微速度撮影効果	なし	微速度撮影効果をOFFにします。
	ミニチュア	ミニチュア効果を設定すると、自動的にミニチュア風の微速度撮影が設定されます。
顔効果	なし	フェイスエフェクトを無効にします。
	スクイーズ	顔を細く撮影できます。
	目を大きく	目を大きく撮影できます。
	目を小さく	目を小さく撮影できます。
	口を大きく	口を大きく撮影できます。
	口を小さく	口を小さく撮影できます。
	鼻を大きく	鼻を大きく撮影できます。
背景合成	なし	背景合成をしません。
	日没	日没の背景と合成して撮影できます。
	ディスコ	ディスコの背景と合成して撮影できます。
	直接選択	ギャラリーから選択した背景と合成して撮影できます。

※ 表示される項目はカメラモードにより異なります。

写真に位置情報を付加して撮影する

1 **写真モニター画面で［ ］→［設定］→GPSを［On］**

GPSの設定が「On」になり、写真に現在地の位置情報（GPS情報）を付加する機能が有効になります。
GPS情報の取得中は「 」（白）が表示されます。
GPS情報の取得が完了すると「 」（緑）が表示されます。
GPS情報の取得に失敗すると「 」（橙）が表示されます。

2 **「 」（緑）が表示されている状態で［ ］**

自動でピントを合わせた後、シャッター音が鳴り、写真プレビュー画面が表示されます。
GPS情報が付加された撮影データが自動的に保存されます。

マルチメディア

WDR撮影を行う

WDRとは、ワイドダイナミックレンジのことで、明るいところを見えるレベルに保ちながら、暗いところを明るく補正し、全体が見えるように調整する機能です。

1 **写真モニター画面で［ ］**

カメラを設定する

1 **写真モニター画面／動画モニター画面で［ ］→［設定］**

2 **以下の項目をタップ**

撮影後表示	撮影後のプレビューを表示するかどうかを設定します。
測光	測光方法を設定します。 「ワイド」「中央」
音声録音	動画に音声を録音するかどうかを設定します。
手ぶれ防止	手ぶれを防いで撮影するかどうかを設定します。
Voice Shot	音声で撮影を開始するかどうかを設定します。
周波数補正	蛍光灯の近くなどで撮影する場合、現在の地域の周波数を設定して、画面のちらつき（フリッカー）などを軽減することができます。 「自動」「50hz」「60hz」
GPS	写真に位置情報を付加するかどうかを設定します。 ▶P.174「写真に位置情報を付加して撮影する」
グリッド	モニター画面にグリッドを表示します。
保存先	保存先を設定します。

※ 表示される項目はカメラモードにより異なります。

プレビュー画面でできること

写真プレビュー画面でできること

① **ファイル名**

② **編集**
撮影した写真を編集できます。

③ **共有**
撮影した写真をBluetooth®やメール添付などで送信したり、共有サイトにアップロードできます。

④ **削除**
撮影した写真を削除します。

《写真プレビュー画面》

動画プレビュー画面でできること

① ファイル名

② 共有
撮影した動画をBluetooth® やメール添付などで送信したり、共有サイトにアップロードできます。

③ 削除
撮影した動画を削除します。

④ 再生
撮影した動画を再生します。

《動画プレビュー画面》

memo

- 写真プレビュー画面では、ピンチイン／ピンチアウトで縮小／拡大ができます。
- 使用できる機能は本製品の設定などにより異なります。
- 写真や動画のサイズにより、Bluetooth® やメール添付などでの送信、共有サイトへのアップロードができない場合があります。

Cam Noteを利用する

撮影した画像をキャプチャする

1 ホーム画面で［アプリ］→［Cam Note］

Cam Noteについての説明文が表示された場合は、［確認］をタップします。

2 ［ ］

3 ［ ］

撮影した写真を保存します。

画像を編集する

1 Cam Note画面で［ギャラリー］

2 フォルダを選択→編集する写真を選択

3 ［ ］→［編集］

4 以下の項目で編集

ペン	ペンの種類、色を選択します。
付箋	付箋のサイズ、色を選択します。
飾り付け	貼り付けるイラストのサイズ、種類を選択します。
テキスト	テキストのサイズ、文字種、色を選択します。テキストを選択すると、文字を編集できます。
消しゴム	編集した内容を削除します。
1回キャンセル	操作を戻します。
再実行	操作をやり直します。
初期化	編集したすべての内容を削除します。

ズーム	ピンチイン／ピンチアウトや右側の[+]、[－]で縮小／拡大ができます。

5 [ ]

編集した写真を保存します。

画像を移動／管理する

1 Cam Note画面で［ギャラリー］

2 フォルダを選択

3 [ ]

4 以下の項目をタップ

新規撮影	Cam Note画面を表示します。
削除	選択した写真を削除します。
移動	選択した写真を別のフォルダに移動します。
共有	選択した写真をBluetooth®やメール添付などで送信したり、共有サイトにアップロードできます。
ソート	フォルダ内の写真を［時間順］／［名前順］でソートします。

Cam Noteを設定する

1 Cam Note画面で［設定］

2 以下の項目をタップ

撮影モード	Cam Noteの撮影方法を選択できます。
保存先	Cam Noteの保存先を内蔵またはSDから選択できます。
フォルダ名	Cam Noteの保存フォルダを選択できます。

ギャラリーを利用する

ギャラリーでは、画像や動画の表示や再生、共有、画像の編集などができます。

ギャラリーで画像や動画を表示／再生する

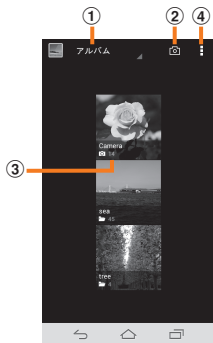
1 ホーム画面で［アプリ］→［ギャラリー］

アルバム選択画面が表示されます。

① **アルバム名**

② **カメラ**
タップするとカメラを起動します。

③ **アルバム内のデータ数**

④ **メニュー**
▶P.179「アルバム選択画面のメニューを利用する」

《アルバム選択画面》

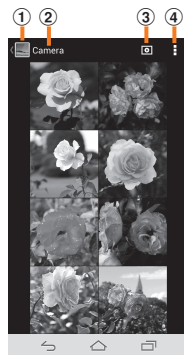
2 アルバムを選択

サムネイル表示画面が表示されます。

① **ギャラリー**
タップするとアルバム選択画面に戻ります。

② **アルバム名**

③ **スライドショー**
タップするとスライドショーが開始します。

④ **メニュー**
▶P.179「サムネイル表示画面のメニューを利用する」

《サムネイル表示画面》

3 画像／動画を選択

画像を選択した場合は、画像１件表示画面が表示されます。
動画を選択した場合は、ビデオプレーヤー（▶P.180）が起動し、動画が再生されます。ただし、初期起動の場合、「アプリケーションを選択」画面が表示されます。

① **ギャラリー**
タップするとサムネイル表示画面に戻ります。

② **画像名**

③ **共有**
画像や動画をBluetooth®やメール添付などで送信したり、共有サイトにアップロードできます。

《画像１件表示画面》

マルチメディア

④ **削除**
選択した画像／動画を削除できます。
⑤ **メニュー**
▶P.180「画像1件表示画面のメニューを利用する」
⑥ **画像**
左右にフリックすると次の画像／前の画像を表示できます。
⑦ **サムネイル**
タップすると、表示する画像を切り替えます。
▶P.180「画像1件表示画面のメニューを利用する」
※ 画面をタップすると①～⑤、⑦のアイコン／メニューを表示／非表示にできます。

画像をスライドショー表示する

1 画像1件表示画面で［ ⋮ ］→［スライドショー］

選択した画像からアルバム内の最後の画像まで、順番にスライドショーで表示されます。
スライドショー表示中に画面をタップするとスライドショーを途中で停止できます。

ギャラリーのメニューを利用する

アルバム選択画面のメニューを利用する

1 アルバム選択画面で［ ⋮ ］→［アルバムを選択］→アルバムをタップ

複数のアルバムを選択することもできます。

2 以下の項目をタップ

共有アイコン	選択したアルバムをBluetooth®やメール添付などで送信したり、共有サイトにアップロードできます。
削除アイコン	選択したアルバムを削除します。
⋮※	［詳細情報］をタップすると選択したアルバム名が表示されます。

※ アルバムを1件選択したときのみ表示されます。

サムネイル表示画面のメニューを利用する

1 サムネイル表示画面で［ ⋮ ］→［アイテムを選択］→画像／動画をタップ

複数のデータを選択することもできます。
※ サムネイル表示画面で［ ⋮ ］→［グループ化］→項目を選択すると、サムネイル表示をグループ化できます。

2 以下の項目をタップ

共有アイコン	選択した画像／動画をBluetooth®やメール添付などで送信したり、共有サイトにアップロードできます。
削除アイコン	選択した画像／動画を削除します。
⋮	「編集」「左に回転」「右に回転」「トリミング」「登録」「詳細情報」「地図に表示」が選択できます。

※ 表示される項目はご利用になる機能や条件などにより異なります。

画像1件表示画面のメニューを利用する

1 画像1件表示画面で［ ⋮ ］

2 以下の項目をタップ

スライドショー	アルバム内の最後の画像まで、順番にスライドショーで表示されます。
編集	表示している画像を編集できます。
左に回転	表示している画像を左に回転します。
右に回転	表示している画像を右に回転します。
トリミング	表示している画像をトリミングします。
登録	表示している画像をホーム画面の壁紙や電話帳の連絡先の画像に設定できます。
詳細情報	表示している画像／動画の詳細情報を表示します。
地図に表示	撮影した場所を中心にGoogleマップが表示されます。

※ 表示される項目はご利用になる機能や条件などにより異なります。

ビデオプレーヤーを利用する

ビデオプレーヤーでは、本製品の内部メモリまたはmicroSDメモリカードに保存した動画の再生ができます。
ビデオプレーヤーで再生できるファイル形式は、avi、divx、mp4、wmv、3gp、mkv、asf、3g2、m4v、webmです。

memo

- ウェブサイトやメール本文中の動画へのリンクをタップすると、ネットワーク上の動画をストリーミング再生することもできます。
- データによっては再生できない場合があります。

動画を再生する

1 ホーム画面で［アプリ］→［動画］

動画画面が表示されます。
ミニ動画を利用する画面が表示された場合は、［OK］をタップします。

① **全体**
すべての動画一覧画面を表示します。

② **フォルダ**
フォルダ一覧画面を表示します。
フォルダ一覧画面で各フォルダをタップするとフォルダ内の動画一覧画面を表示します。

③ **ファイル名**

④ **サムネイル**

⑤ **再生時間**

《動画一覧画面》
（全体）

2 **動画を選択**

動画が再生されます。
動画の再生中に画面をタップするとコントローラーが表示されます。
動画が1件だけのときは再生が完了すると動画一覧画面に戻ります。
動画が複数件あるときは再生が完了すると次の動画が自動再生され、全ての動画が1回ずつ再生されてから動画一覧画面に戻ります。

《動画再生画面》
（コントローラー表示中）

① **ファイル名**

② **画面ロック**

- ：画面をロックします。
- ：画面ロックを解除します。

③ **コントローラー**

④ **プログレスバー**
動画の再生位置が表示されます。
タップ／ドラッグして再生位置を指定できます。

⑤ **mini Window**
タップすると、再生中の動画がmini Windowに表示されます。
mini Windowの詳細については「mini Window機能を利用する」（▶P.245）をご参照ください。

⑥ **前の動画／巻き戻し**
タップ：動画の先頭／前の動画に移動します。
ロングタッチ：巻き戻しします。

⑦ **再生／一時停止**

⑧ **次の動画／早送り**
タップ：次の動画に移動します。
ロングタッチ：早送りします。

⑨ **表示サイズ切替**
表示サイズを切り替えます。
：オリジナルサイズ
：縦横比を保持して画面幅に合わせる
：全画面表示

⑩ **現在の時刻**

⑪ **バッテリー残量**

memo

- 動画再生画面は、横表示と縦表示両方対応しています。
- ブックマークの表示は[ ]をタップしてください。
- ヘッドホン使用時に3Dサラウンドを有効にするには[ ]をタップしてください。
- 再生音量の調整は［ ］をタップして操作してください。
- 前回再生時に途中で停止したファイルを選択した場合、続きから再生できます。
- 字幕付きの動画の場合、自動的に字幕が表示されます。[ ]→[字幕設定]→「Off」をタップすると字幕を非表示にできます。[ ]→［字幕設定］→「同期」をタップすると字幕の表示タイミングを調節できます。
- ネットワーク上の動画のストリーミング再生中は、プログレスバーにデータのダウンロード状況も表示されます。

ビデオプレーヤーのメニューを利用する

動画一覧画面のメニューを利用する

■ **オプションメニューの場合**

1 **全体一覧画面で［ ］**

2 以下の項目をタップ

選択再生	データを選択して再生します。複数の動画を選択することもできます。
削除	データを選択して削除します。
共有	データを選択してBluetooth®、メール添付などで送信したり、YouTubeなどにアップロードします。
ソート	動画を名前順／日付順／サイズ順に並び替えることができます。
DivX® VOD	DivXビデオオンデマンド（VOD）コンテンツを再生するための製品登録コードと、登録解除コードを表示します。
ガイド	mini Window機能の使い方を表示します。

■ コンテキストメニューの場合

1 動画一覧画面で動画をロングタッチ

2 以下の項目をタップ

削除	選択したデータを削除します。
共有	選択したデータをBluetooth®、メール添付などで送信したり、YouTubeなどにアップロードします。
検索	ファイル名で該当動画をChrome/YouTube/インターネットなどで検索できます。
属性	動画ファイルの詳細情報を表示します。

フォルダ一覧画面のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 フォルダ一覧画面で［ ⋮ ］

2 以下の項目をタップ

選択再生	フォルダを選択してデータを再生します。複数のフォルダを選択することもできます。
削除	フォルダを選択して削除します。
共有	フォルダを選択してデータをBluetooth®、メール添付などで送信したり、YouTubeなどにアップロードします。
ソート	動画を名前順／日付順／サイズ順に並び替えることができます。
DivX® VOD	DivXビデオオンデマンド（VOD）コンテンツを再生するための製品登録コードと、登録解除コードを表示します。
ガイド	mini Window機能の使い方を表示します。

■ コンテキストメニューの場合

1 フォルダ一覧画面でフォルダをロングタッチ

2 以下の項目をタップ

再生	選択したフォルダのデータを再生します。
削除	選択したフォルダを削除します。
共有	選択したフォルダのデータをBluetooth®、メール添付などで送信したり、YouTubeなどにアップロードします。
属性	ファイルの詳細情報を表示します。

動画再生画面のメニューを利用する

1 動画再生画面で［ ⋮ ］

2 以下の項目をタップ

項目			説明
ブックマーク			一定間隔の再生時間のサムネイルを表示します。サムネイルをタップすると、その時間から再生することができます。
再生中リスト			再生可能な動画一覧を表示します。一覧上の動画をタップすると、その動画を再生することができます。
共有			再生中のデータをBluetooth®、メール添付などで送信したり、YouTubeなどにアップロードします。
属性			ファイルの詳細情報を表示します。
設定	常に横モードに表示		ONに設定すると、常に横モードで表示されます。
	リピート	OFF	リピート再生を無効にします。
		シングルリピート	選択した動画／再生中の動画をリピート再生します。
		全リピート	すべての動画／フォルダ内のすべての動画をリピート再生します。
	プリセット（ヘッドホン使用時のみ）		適用する音響効果を選択します。
	最大音響出力（スピーカー使用時のみ）		音圧を上げて、聞き取りにくい小さな音を拾い上げることができます。

※ 表示される項目はディスプレイの表示モードにより異なります。

ミュージックプレーヤーを利用する

ミュージックでは、本製品の内部メモリまたはmicroSDメモリカードに保存した音楽を再生できます。アルバム別、アーティスト別、ジャンル別、自分で作成したプレイリストなどの再生方法が選べます。
ミュージックで再生できるファイル形式は、mp3、m4a、wav、amr、awb、wma、ogg、aac、qcp、mid、imy、flacです。

memo

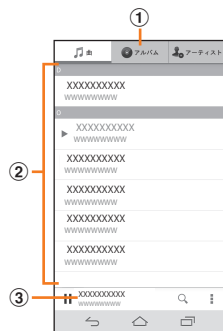
- データによっては再生できない場合があります。

音楽を再生する

1 ホーム画面で［アプリ］→［ミュージック］

すべての曲の再生リスト画面が表示されます。

① **ソート切替タブ**
タップすると曲／アルバム／アーティスト／ジャンル／フォルダ／プレイリスト／ランキングで楽曲をソートして再生リストを表示できます。
▶P.185「再生リストを切り替える」

② **楽曲情報**
楽曲名、アーティスト名、アルバム名が表示されます。

《再生リスト画面》（すべての曲）

③ **現在再生中**
タップすると現在再生中の楽曲の楽曲再生画面が表示されます。

※ すべての曲の再生リスト画面を例に説明しています。表示される項目や内容はソート方法や楽曲により異なります。

2 楽曲を選択

楽曲が再生されます。

《楽曲再生画面》

① **ランキング**
タップして楽曲のランキング（お気に入り度）を設定します。
ランキングごとの再生リストを利用できます。

② **ジャケット表示**
アルバムジャケットを表示します。
左右にフリックするとアルバムを切り替えます。

③ **楽曲情報**
楽曲名、アーティスト名、アルバム名が表示されます。

④ **プログレスバー**
楽曲の再生位置が表示されます。
タップ／スライドして再生位置を指定できます。

⑤ **シャッフル再生**
：シャッフル再生を無効にします。
：再生リスト中の楽曲をシャッフル再生します。

⑥ **前の楽曲／巻き戻し**
タップ：曲の先頭／前の楽曲に移動します。
ロングタッチ：巻き戻しします。

⑦ **再生／一時停止**

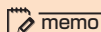
⑧ **次の楽曲／早送り**
タップ：次の楽曲に移動します。
ロングタッチ：早送りします。

⑨ **リピート再生**
：リピート再生を無効にします。
：再生リスト中の全曲をリピート再生します。
：再生中の1曲をリピート再生します。

⑩ **メニューキー**

⑪ **曲を検索**

⑫ **イコライザー設定**

⑬ **アクションアイコン**
：タップすると、再生中リストに移動します。
：タップすると、再生中の音楽に関連した映像をYouTubeから検索し、SNSやメールで共有します。
：タップすると、再生中の曲の詳細情報が表示されます。

memo

- 再生音量の調整は をタップして操作してください。

BGMとして音楽を再生する

BGMとして音楽の再生を続けたまま、別のアプリケーションを使用できます。

1 楽曲再生画面で楽曲を再生中に［ ］

楽曲が再生されたままホーム画面が表示されます。ステータスバーには が表示されたままになります。
この状態で別のアプリケーションを起動することができます。
ミュージックを再度表示するには、ホーム画面で［アプリ］→［ミュージック］と操作してください。

マルチメディア

memo

- 楽曲再生画面で ⮌ を数回タップしてホーム画面に戻った場合も音楽をBGM再生できます。
- 音楽をBGM再生中にステータスバーを下へスライド→通知／ステータスパネルが表示され、BGM再生を操作できます。
- ホーム画面にミュージックウィジェットを追加すると、ホーム画面でBGM再生を操作できます。
- スイッチ付きのステレオイヤホン（別売）を接続して再生の操作を行うと楽曲がBGM再生されます。ステレオイヤホン（別売）によっては、操作できない場合があります。
- 起動するアプリケーションによっては、BGM再生が停止する場合があります。

楽曲を検索する

アーティスト名／アルバム名／楽曲名を指定して、microSDメモリカードに保存されている楽曲やYouTube、インターネット上などの情報を検索できます。

1 音楽を検索する

楽曲再生画面で上の[🔍]→[ミュージック]→音楽検索欄にアーティスト名／アルバム名／楽曲名を指定すると、検索結果が表示されます。

再生リストを切り替える

再生リスト画面上部のタブをスライドすると、再生リストの表示内容を切り替えることができます。曲／アルバム／アーティスト／ジャンル／フォルダ／プレイリスト／ランキングで絞り込んで楽曲を再生することができます。

1 再生リスト画面で項目タブを左右にフリック

曲	すべての曲が再生リストに表示されます。
アルバム	アルバム一覧画面が表示されます。アルバムを選択するとアルバム内の楽曲のみが再生リストに表示されます。
アーティスト	アーティスト一覧画面が表示されます。アーティストを選択すると同一アーティストの楽曲のみが再生リストに表示されます。
ジャンル	ジャンル一覧画面が表示されます。ジャンルを選択すると同一ジャンルの楽曲のみが再生リストに表示されます。
フォルダ	フォルダ一覧画面が表示されます。フォルダを選択すると同一フォルダの楽曲のみが再生リストに表示されます。
プレイリスト	プレイリスト一覧画面が表示されます。プレイリストを選択するとプレイリストに登録した楽曲のみが再生リストに表示されます。 • プレイリストの作成などの方法については「プレイリストを利用する」（▶P.186）をご参照ください。
ランキング	ランキング一覧画面が表示されます。ランキングを選択すると同一ランキングレベルの楽曲のみが再生リストに表示されます。

プレイリストを利用する

自分で選んだ曲を組み合わせてオリジナルのプレイリストを作成できます。

新しいプレイリストを作成する

1 再生リスト画面で[プレイリスト]タブをタップ
プレイリスト一覧画面が表示されます。

2 [⋮] → [新規プレイリスト]

3 新規プレイリスト名を入力→ [確認]

4 プレイリストに追加する楽曲を選択→ [✓]

■プレイリストに楽曲を追加する

1 プレイリスト一覧画面でプレイリストをロングタッチ

2 [トラック追加]

3 プレイリストに追加する楽曲を選択→ [✓]

■プレイリストから楽曲を削除する

1 プレイリスト一覧画面でプレイリストをロングタッチ

2 [トラック削除]

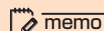
3 プレイリストから削除する楽曲を選択→ [🗑]

プレイリストを削除する

1 プレイリスト一覧画面で [⋮] → [削除]

2 削除したいプレイリストをタップ

3 [🗑]

memo

- プレイリスト一覧画面で削除したいプレイリストをロングタッチ→[削除] でも削除できます。
- アルバム／アーティスト／ジャンル／フォルダ／ランキングを選択してプレイリストに追加した場合は、これらに含まれるすべての曲がプレイリストに追加されます。
- プレイリストから楽曲を削除したり、プレイリストを削除しても、microSD メモリカード内の楽曲データは削除されません。

ミュージックのメニューを利用する

曲／アルバム／アーティスト／ジャンル／フォルダ／ランキングの一覧画面のメニューを利用する

■オプションメニューの場合

1 曲／アルバム／アーティスト／ジャンル／フォルダ／ランキングの一覧画面で [⋮]

2 以下の項目をタップ

すべて再生	すべての曲を再生します。
削除	項目を選択して削除します。
設定	▶P.188「ミュージックを設定する」

※ 表示される項目は画面により異なります。

■ コンテキストメニューの場合

1 曲／アルバム／アーティスト／ジャンル／フォルダ／ランキングの一覧画面で項目をロングタッチ

2 以下の項目をタップ

着信音に設定	選択した項目を着信音に設定します。
プレイリストに追加	選択した項目をプレイリストに追加します。
プレーヤーに追加	選択した項目をプレーヤーに追加します。
削除	選択した項目を削除します。
送信	Bluetooth®やメール添付などで送信します。
属性	選択した項目の詳細情報を表示します。
再生	選択した項目を全曲再生します。

※ 表示される項目は画面により異なります。

プレイリスト一覧画面のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 プレイリスト一覧画面で［ ⋮ ］

2 以下の項目をタップ

新規プレイリスト	▶P.186「新しいプレイリストを作成する」
削除	プレイリストを選択して削除します。
設定	▶P.188「ミュージックを設定する」

■ コンテキストメニューの場合

1 プレイリスト一覧画面でプレイリストをロングタッチ

2 以下の項目をタップ

再生	選択したプレイリストを全曲再生します。
トラック追加	選択したプレイリストに曲を追加します。
トラック削除	選択したプレイリストから曲を削除します。
削除	選択したプレイリストを削除します。
変更	選択したプレイリスト名を変更します。

プレイリストの再生リスト画面のメニューを利用する

■オプションメニューの場合

1 プレイリストの再生リスト画面で［ ⋮ ］

2 以下の項目をタップ

トラック追加	選択しているプレイリストに楽曲を選択して追加します。
トラック削除	選択しているプレイリストから楽曲を選択して削除します。
プレイリスト変更	選択しているプレイリストの名前を変更します。
並び替え	選択しているプレイリストの楽曲を並び替えます。
設定	▶P.188「ミュージックを設定する」

■コンテキストメニューの場合

1 プレイリストの再生リスト画面で楽曲をロングタッチ

2 以下の項目をタップ

着信音に設定	選択した楽曲を着信音に設定します。
プレイリストに追加	選択した楽曲をプレイリストに追加します。
プレーヤーに追加	選択した楽曲をプレーヤーに追加します。
プレイリストから削除	選択した楽曲をプレイリストから削除します。
削除	選択した楽曲を削除します。
送信	Bluetooth® やメール添付などで送信します。
属性	選択した楽曲の詳細情報を表示します。

楽曲再生画面のメニューを利用する

1 楽曲再生画面で［ ⋮ ］

2 以下の項目をタップ

プレイリストに追加	再生中の楽曲をプレイリストに追加します。
着信音に設定	再生中の楽曲を着信音に設定します。
スリープモード	再生終了時刻を設定します。
設定	▶P.188「ミュージックを設定する」

ミュージックを設定する

1 再生リスト画面／楽曲再生画面で［ ⋮ ］→［設定］

2 以下の項目をタップ

サウンド効果	サウンド効果を設定します。
タブ構成項目	再生リスト画面に表示するタブ項目を選択します。
ヘッドホン自動再生	ヘッドホン接続時に自動的に再生するかどうかを設定します。
データネットワーク接続通知	ネットワーク接続時に通知メッセージを表示するかどうかを設定します。

memo

- 再生リスト画面で［ ⋮ ］→［設定］と操作しても設定画面を表示できます。

ワンセグを利用する

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声とともにデータ放送を受信することができます。

ワンセグでできること

■ ワンセグを見る

日本国内で放送している地上デジタルテレビ放送の「ワンセグ」サービスを見ることができます。

■ データ放送を見る

ワンセグでは、放送番組に関連した情報などをお知らせするデータ放送を見ることができます。

ワンセグをご利用になる前に

■ ワンセグ利用時のご注意

- ワンセグの利用には、通話料やパケット通信料はかかりません。ただし、通信を利用したデータ放送の付加サービスなどを利用する場合はパケット通信料がかかります。
- ワンセグは日本国内の地上波デジタルテレビ放送ワンセグ専用です。海外では、放送方式や放送の周波数が異なるため使用できません。また、BS・110度CSデジタル放送を見ることはできません。
- ワンセグ画面表示中は、本製品が温かくなり、長時間肌に触れたまま使用していると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩行中はワンセグを利用しないでください。周囲の音が聞こえにくく、映像や音声に気をとられ、交通事故の原因となります。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて視聴すると、聴力に悪い影響を与えることがありますので、ご注意ください。

■ 地上デジタルテレビ放送の「ワンセグ」サービスについて

「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。

社団法人デジタル放送推進協会

http://www.dpa.or.jp/

■ 電池残量による動作

- 電池残量が少なくなった場合は、ワンセグを起動できません。
- ワンセグ起動中に電池残量が少なくなると、自動的にワンセグが終了します。

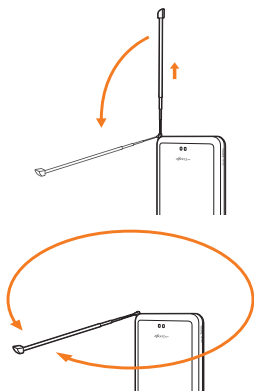
■ 連続視聴可能時間について

ワンセグ	約4時間20分

※ 使用条件により連続視聴可能時間は変わります。

ワンセグアンテナについて

ワンセグを視聴および録画する際は、放送波を十分に受信できるようにワンセグアンテナを伸ばしてご利用ください。
ワンセグアンテナは固定されるまで十分に引き出してください。

また、ワンセグアンテナは、360度回転します。受信感度の良い方向に向けてお使いください。

■ 電波について

次のような場所では、電波の受信状態が悪く、画質や音質が劣化する場合や受信できない場合があります。

- 放送局から遠い地域または極端に近い地域
- 移動中の電車・車、地下街、トンネルの中、室内など
- 山間部やビルの陰
- 高圧線、ネオン、無線局、線路、高速道路の近くなど
- その他、妨害電波が多かったり、電波が遮断されたりする場所

電波の受信状態を改善するためには、次のことをお試しください。

- 室内で視聴する場合は、窓のそばの方がより受信状態が改善されます。

ワンセグの初期設定をする

ワンセグを初めて起動したときは、視聴するエリアを設定します。設定が完了すると、ワンセグを見ることができます。

1 **ホーム画面で［アプリ］→［ワンセグ］→［同意する］**

2 **［手動設定］／［自動設定］を選択**

■ 手動設定の場合

3 **地域（広域）を選択**

4 **都道府県を選択→地域を選択**

放送局の検索が開始されます。

5 **［OK］**

ワンセグ視聴画面が表示されます。

■ 自動設定の場合

3 **［OK］**

ワンセグ視聴画面が表示されます。

放送エリアを登録／変更する

1 ホーム画面で［アプリ］→［ワンセグ］

2 画面をタップ→［ ⋮ ］→［設定］→［チャンネル設定］

■ 放送エリアを登録する場合

3 ［チャンネルリスト編集］→［新規作成］

4 ［手動設定］／［自動設定］を選択

以降の操作は、「ワンセグの初期設定をする」（▶P.190）の操作3をご参照ください。

■ 放送エリアを変更する場合

3 ［チャンネルリスト切替］

4 チャンネルリストを選択

ワンセグを見る

1 ホーム画面で［アプリ］→［ワンセグ］

ワンセグ視聴画面が表示されます。

① 映像
② 字幕
③ データ放送
④ データ放送操作パネル

《ワンセグ視聴画面》

memo

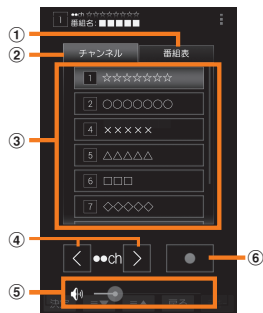
- ワンセグを起動したり、チャンネルを変更したときは、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。
- 電波状態によって映像や音声が途切れたり、止まったりする場合があります。

ワンセグ視聴画面の操作

■ 縦表示時の操作

映像を左右にスライド／フリック：チャンネルの切り替え
映像をタップ：番組情報、ワンセグ操作パネルを表示

■ ワンセグ操作パネル

①番組表を表示
②チャンネル一覧を表示
③チャンネル一覧／番組表
④チャンネルの切り替え
⑤音量
⑥録画

■ 横表示時の操作

ワンセグの視聴画面、ワンセグ操作パネルの操作は縦表示のときと同じです。
また、データ放送の操作は行えません。

■ チャンネル一覧表示時の操作

放送局名を選択：選択した放送局に切り替え

■ ワンセグ視聴画面のメニューを利用する

1 ホーム画面で［アプリ］→［ワンセグ］→画面をタップ→［ ⋮ ］

2 以下の項目をタップ

録画リスト	▶P.197「録画した放送を再生／削除する」
視聴予約／録画予約	▶P.195「テレビ番組を視聴予約／録画予約する」
番組表	▶P.194「番組表を利用する」
TV リンク	▶P.193「テレビリンクを利用する」
画面向き固定	画面の向きを固定します。
バックライト調整	画面の明るさを調整します。
設定	▶P.197「ワンセグの設定をする」

データ放送を見る

データ放送では、画面に表示される説明などに従って操作することで、いろいろな情報を見ることができます。

memo

- データ放送を見る場合は、通話料やパケット通信料はかかりません。ただし、データ放送で取得した情報からの関連サイトへのアクセスや追加情報の取得には、パケット通信料がかかります。

テレビリンクを利用する

データ放送によっては、関連サイトへのリンク情報（テレビリンク）が表示される場合があります。テレビリンクを登録すると、後で関連サイトに接続できます。

テレビリンクを登録する

1 **ワンセグ視聴画面で登録するテレビリンクを選択**

テレビリンクを表示する

1 **ワンセグ視聴画面→画面をタップ→［ ⋮ ］→［TV リンク］**

テレビリンクリスト画面が表示されます。

2 **テレビリンクを選択**

登録されたサイトに接続します。

テレビリンクリスト画面のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 **テレビリンクリスト画面→［ ⋮ ］**

2 **以下の項目をタップ**

全件削除	テレビリンクをすべて削除します。

■ コンテキストメニューの場合

1 **テレビリンクリスト画面→テレビリンクをロングタッチ**

2 **以下の項目をタップ**

接続	リンク先を表示します。
詳細	選択したテレビリンクの詳細を表示します。
削除	テレビリンクを削除します。

番組表を利用する

au テレビ.Gガイドを利用できます。番組表からワンセグ視聴画面の表示や視聴の予約ができます。

- 視聴や予約ができるのは地上デジタル放送の番組のみです。

1 ワンセグ視聴画面→画面をタップ→［ ⋮ ］→［番組表］

番組表画面が表示されます。
ホーム画面で［アプリ］→［auテレビ.Gガイド］→［番組表］でも同様に操作できます。
番組表を初めて起動したときは、年齢、性別、利用規約、視聴地域の選択、au one ID設定画面が表示されます。画面に従って操作してください。

2 番組を選択

番組詳細画面が表示されます。

3 以下の項目をタップ

リモート録画予約		Panasonic製の録画機器を選択して、リモート録画予約することができます。
ワンセグ連携	ワンセグ起動	選択した番組のチャンネルでワンセク視聴画面が表示されます。 ▶P.191「ワンセグを見る」
	ワンセグ録画予約	ワンセグの録画予約ができます。
	ワンセグ視聴予約	ワンセグの視聴予約ができます。
	録画予約一覧	録画予約の一覧を確認できます。
Myページ登録		好きなタレントやお気に入りの番組を登録しておくと、放送前に番組情報をメールでお知らせすることができます。 ※ ご利用には「au テレビ.Gガイドプレミアム（有料）」に登録する必要があります。
SNS連携		お気に入りの番組をTwitterやFacebook、mixi、GREEを通じて友達と共有できます。

番組表のメニューを利用する

1 番組表画面／番組詳細画面→［ ⋮ ］

2 以下の項目をタップ

日付		番組表を表示する日付を変更します。
Search Words		設定した地域の番組表から番組を検索します。
地デジ		地上デジタル放送の番組表を表示します。
BS		BSデジタル放送の番組表を表示します。
その他の設定	地域設定	番組表を表示する地域を設定します。
	視聴チャンネル設定	番組表に表示するチャンネルを設定します。
	ワンセグ録画の予約一覧	視聴予約画面が表示されます。 ▶P.195「テレビ番組を視聴予約／録画予約する」
	リモート録画予約	リモート録画予約画面が表示されます。
	番組詳細情報を表示する	番組表に番組詳細情報を表示させるかどうかを設定します。
	再読み込み	番組表の内容を再取得します。
	ヘルプ	番組表アプリの使い方を説明します。

memo

・番組表のメニューでは、上記以外にバージョン情報の確認ができます。

テレビ番組を視聴予約／録画予約する

テレビ番組の視聴／録画の予約ができます。

番組表から予約する

1 ワンセグ視聴画面→画面をタップ→［ ⋮ ］→［視聴予約／録画予約］

録画予約リスト画面が表示されます。

2 「録画予約」タブ／「視聴予約」タブ→［ ⋮ ］→［新規予約］→［番組表から予約］

3 予約したい番組を選択

4 ［ワンセグ連携］→［ワンセグ録画予約］／［ワンセグ視聴予約］→［完了］→［はい］

録画予約リスト／視聴予約リストに設定した予約が表示されます。予約をタップすると、予約内容を確認できます。

手動で予約する

1 **ワンセグ視聴画面→画面をタップ→［ ⋮ ］→［視聴予約／録画予約］**

録画予約リスト画面が表示されます。

2 **「録画予約」タブ／「視聴予約」タブ→［ ⋮ ］→［新規予約］→［手動で予約］**

3 **以下の項目をタップ**

開始日	開始日を設定します。
開始時刻	開始時刻を設定します。
終了時刻	終了時刻を設定します。
チャンネル	チャンネルを設定します。
番組名	番組名を登録します。
繰り返し	予約の繰り返しを設定します。

4 **［完了］→［はい］**

録画予約リスト／視聴予約リストに設定した予約が表示されます。
予約をタップすると、予約内容を確認できます。

■ 録画予約した時刻になると

「予約アラーム設定」（▶P.198）で設定した時刻になると、アラーム通知音が鳴り、録画予約した時刻になると録画されます。

■ 視聴予約した時刻になると

「予約アラーム設定」（▶P.198）で設定した時刻になると、アラーム通知音が鳴り、「予約開始」ウィンドウが表示されます。［はい］をタップすると、予約開始画面が表示されます。予約開始画面が表示された状態で、視聴予約した時刻になるとワンセグが起動し、予約した番組を視聴できます。

視聴予約画面のメニューを利用する

■ コンテキストメニューの場合

1 **視聴予約リスト画面→予約をロングタッチ**

2 **以下の項目をタップ**

予約の詳細	選択した予約内容の詳細を表示します。
予約を編集	選択した予約内容を編集します。
予約を削除	選択した予約を削除します。

放送を録画する

1 ワンセグ視聴画面→画面をタップ

2 [●] → [はい]

memo

- 受信状態の安定した場所で録画してください。受信状態が不安定な場合、録画されないことがあります。
- 録画中にデータ通信サービスを行うと、ワンセグの電波状態が悪くなり、正常に録画できなくなる場合があります。
- 録画しているテレビ番組が有料放送やコピー制御されている場合や、放送エリアが変わった場合は、録画が途中で終了する場合があります。
- microSDメモリカードを本製品にセットしていないときは、録画できません。
- 録画を開始するにはmicroSDメモリカードの空き容量が10MB以上、電池残量が20%以上必要です。
- 録画中に以下のいずれかの状態になると、録画が自動で停止します。
  - microSDメモリカードの空き容量が2MB以下
  - 電池残量が10%以下
  - 録画開始から6時間経過

録画した放送を再生／削除する

1 ワンセグ視聴画面→画面をタップ→ [⋮] → [録画リスト]

2 録画ファイルをロングタッチ

3 以下の項目をタップ

再生	録画した放送を再生します。
削除	録画した放送を削除します。
保護	録画した放送を保護します。
タイトル名変更	録画した放送のタイトル名を変更します。
詳細情報	録画した放送の詳細情報を表示します。

ワンセグの設定をする

1 ワンセグ視聴画面→画面をタップ→ [⋮] → [設定]

2 以下の項目をタップ

字幕表示	字幕の表示／非表示を切り替えます。
字幕言語切替	複数の字幕がある番組で、どの字幕を表示するかを設定します。
主・副音声切替	副音声を放送している番組で、主音声と副音声を切り替えます。
音声切替	複数の音声を放送している番組で、どの音声を聞くかを設定します。
左右音声切替	左右どちらの音声を聞くか設定します。
チャンネル設定	チャンネルリストの切り替えや編集などを行います。

予約アラーム設定	予約番組の開始時のアラーム音、アラーム時間などの設定を行います。
放送用メモリ初期化	データ放送で登録した情報やテレビリンクなどを消去します。
バージョン情報	バージョン情報を表示します。

チャンネルリストを設定する

お使いの地域（視聴エリア）によって受信チャンネルは異なります。視聴エリアは3件まで登録できます。

1 ワンセグ視聴画面→画面をタップ→［ ⋮ ］→［設定］→［チャンネル設定］→［チャンネルリスト切替］

2 チャンネルリストを選択

チャンネルリストが設定されます。

■ チャンネル設定画面のメニューを利用する

1 ワンセグ視聴画面→画面をタップ→［ ⋮ ］→［設定］→［チャンネル設定］

2 以下の項目をタップ

チャンネルリスト切替	視聴エリアを切り替えます。
チャンネルリスト編集	チャンネルリストを編集します。
チャンネル追加	現在視聴中の放送局をチャンネルリストに登録します。
チャンネルリスト初期化	チャンネルリストを初期化します。

ネットメディアを利用する

ネットメディアは、DLNA（Digital Living Network Alliance）技術を用いたワイヤレスネットワークでデジタルコンテンツを共有できます。
この機能を利用するには、DLNA認証されたDLNA対応機器が必要です。DLNA対応機器は、映像や音楽を蓄積可能なサーバと再生機器を持つプレーヤーがあります。
このアプリを利用するには、ご使用のDLNA対応機器がWi-Fi®で本製品と等しいホームネットワークと接続していることを確認してください。

ネットメディアを起動しコンテンツを共有する

1 ホーム画面で［アプリ］→［ネットメディア］

2 ［ ⚙ ］

3 以下の項目を操作

デバイス名	他のDLNA対応機器に表示されるデバイス名を設定できます。
ネットワーク情報	本製品が接続しているネットワーク情報が表示されます。
ネットメディアサーバー ON	他のDLNA対応機器から検索可能な状態にするかどうかを設定します。
コンテンツ共有	他のDLNA対応機器からのコンテンツ共有を許容するかどうかを設定します。
コンテンツ共有デバイス	本製品のコンテンツ共有フォルダへのアクセスを許容するデバイスを管理します。
コンテンツ位置	本製品のコンテンツのストレージを設定します。

コンテンツ共有フォルダ	本製品のコンテンツを共有するフォルダを設定します。
ダウンロードディレクトリー	本製品にコンテンツをダウンロードするときのディレクトリを設定します。
アップロードディレクトリー	他の機器から本製品にコンテンツをアップロードするときのディレクトリを設定します。

コンテンツをサーバからプレーヤーへ共有する

サーバ（PCなど）にあるコンテンツをプレーヤー（TVなど）で再生します。

- ご利用の機器のDLNA機能が正しく設定されたことを確認してください。

1 ホーム画面で［アプリ］→［ネットメディア］

2 「インポートするデバイスを選択」欄でサーバとして使用するデバイスをタップ

3 「再生するデバイスを選択」欄でプレーヤーとして使用するデバイスをタップ

4 ［次へ］

5 フォルダを選択→コンテンツを選択

memo

- このアプリを利用するには、ご使用のDLNA対応機器がWi-Fi®で本製品と等しいホームネットワークと接続していることを確認してください。

本製品からプレーヤーへコンテンツを共有する

- ご利用の機器のDLNA機能が正しく設定されたことを確認してください。

1 ホーム画面で［アプリ］→［ネットメディア］

2 「インポートするデバイスを選択」欄で本製品をタップ

3 「再生するデバイスを選択」欄でプレーヤーとして使用するデバイスをタップ

4 ［次へ］

5 フォルダを選択→コンテンツを選択

memo

- 本製品ではDLNAのDMR機能が提供されないため、他のDLNA対応機器のプレーヤーの一覧画面には表示されません。
- また、一部のプレーヤーではコンテンツを再生することができない場合があります。
- ［ギャラリー］でファイル共有を選択することにより、ネットメディアのプレーヤーへの共有機能を利用できます。

コンテンツをリモートコンテンツライブラリから本製品にダウンロードする

1 ホーム画面で［アプリ］→［ネットメディア］
2 「インポートするデバイスを選択」欄でサーバとして使用するデバイスをタップ
3 「再生するデバイスを選択」欄でプレーヤーとして使用するデバイスをタップ
4 ［次へ］
5 フォルダを選択→コンテンツをロングタッチ→［ダウンロード］

memo

- 一部のコンテンツは対応していません。

本製品のコンテンツをサーバーにアップロードする

- ご利用の機器のDLNA 機能が正しく設定されたことを確認してください。

1 ホーム画面で［アプリ］→［ネットメディア］
2 「インポートするデバイスを選択」欄でサーバとして使用するデバイスをタップ
3 「再生するデバイスを選択」欄でプレーヤーとして使用するデバイスをタップ
4 ［次へ］
5 フォルダを選択→コンテンツをロングタッチ→［アップロード］

memo

- DLNAが使用可能のDLNA対応機器はDMSアップロード機能に対応しない場合があります。一部のコンテンツに対応していません。
- ［ギャラリー］でファイル共有を選択することにより、ネットメディアのサーバーへのアップロード機能を利用できます。

TwonkyBeamを利用する

インターネットまたは、無線ネットワークに連結された装置（ケータイ、パソコン、Blu-rayディスクなど）に保存されたコンテンツを検索して同一ネットワークに連結された装置で再生することができます。

1 ホーム画面で［アプリ］→［Beam］

TwonkyBeamのホームページが表示されます。
初回起動時は、利用規約の内容をご確認のうえ、「OK」をタップしてください。

■インターネット上の動画をワイヤレス再生する場合

2 動画サイトへのリンクをタップする

3 動画サイト上で、ワイヤレス再生したい動画を選択する

4 ［Beam］

■本体やホームネットワーク上のファイルをワイヤレス再生する場合

2 ［ ］

3 本体／ホームネットワーク上のデバイスをタップする

4 フォルダを選択→再生するファイルをタップする

memo

- TwonkyBeamを使うためには、Wi-Fi® 機能をONにする必要があります。

LISMO Playerを利用する

音楽を再生したり、再生中の音楽に関する情報を調べることができます。

1 ホーム画面で［アプリ］→［LISMO Player］

- 初回起動時には許可画面の内容を確認して［閉じる］をタップします。続けて、サービス利用確認設定画面の内容を確認し、お客様の音楽再生情報／位置情報をサービス提供元に送信することを許可するかどうかを選択してください。
- 起動時にガイド画面が表示されたときは、［閉じる］をタップします。

2 いずれかの曲や動画をタップ

再生画面が表示されます。

memo

- LISMO Portを使うと、パソコンに読み込んだ音楽CDなどの曲を転送できます。LISMO Portは、auホームページからダウンロードできます。
- 楽曲情報を持っていない曲が見つかった場合は、Gracenote® 音楽認識サービスを利用して楽曲情報を自動的に取得します。
- 通信できない場合は、楽曲情報は取得できません。また、曲によっては楽曲情報が取得できない場合があります。
- 音楽認識技術と関連情報はGracenote® 社によって提供されています。
Gracenote® は、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。
詳細は、Gracenote® 社のホームページ www.gracenote.com をご覧ください。

外部機器を利用する

MHL接続を利用する

MHL（Mobile High-definition Link）は、非圧縮デジタル形式の音声や映像を伝送する携帯機器向けの通信インターフェースの標準規格です。本製品をHDMIケーブル（市販品）で映像機器（テレビ・モニター）に接続すると、本製品のギャラリーやビデオプレーヤーの音声や映像を映像機器で再生することができます。

memo

- 本製品に接続されている映像機器によっては、音声や映像の再生に時間がかかる場合があります。HDMI認証を取得していないケーブル、また製品を使用した場合、音声や映像が正しく表示できない可能性があります。音声や映像は、本製品と同じ方向で映像機器に表示されます。

アプリケーション

Googleマップを利用する

Googleマップで現在地の表示や別の場所の検索、ルート検索などを行うことができます。

- 利用方法などの詳細についてはGoogleのホームページや、Googleマップ画面で［ ⋮ ］→［ヘルプ］を選択して、Googleマップのヘルプをご参照ください。
- サービス内容は、予告なく変更される場合があります。

1 ホーム画面で［アプリ］→［マップ］

Googleマップ画面が表示されます。
本製品の「位置情報サービス」で「Googleの位置情報サービス」や「GPS機能」が無効に設定されていたり、「Wi-Fi」が無効に設定されていると、「現在地機能を改善」画面が表示されます。できるだけ正確な現在位置を取得するためには［設定］をタップしてください。「位置情報サービス」（▶P.261）または「無線LAN（Wi-Fi®）機能を利用する」（▶P.269）が表示されます。

memo

- 「GPS機能」を有効にすると、電池の消耗が激しくなります。Googleマップなど GPS機能を利用するアプリケーションを終えたら、無効に設定し直すことをおすすめします。

Google Latitudeを利用する

Google Latitudeを利用すると、地図上で友だちと位置を確認しあうことができます。

- Google Latitudeを利用するには、Googleアカウントが必要です。（▶P.261「アカウントを追加する」）
- Google Latitudeを利用するには、「位置情報サービス」で「Googleの位置情報サービス」や「GPS機能」を有効にする必要があります。（▶P.261）
- 位置情報を共有するには、Latitudeに参加して自分の位置情報を提供する友だちを招待するか、友だちからの招待を受ける必要があります。
- サービス内容は、予告なく変更される場合があります。

Latitudeに参加する

1 ホーム画面で［アプリ］→［Latitude］

Latitude画面が表示されます。
現在地の共有を許可するかどうかのリクエスト通知があった場合は、通知をタップして共有リクエスト画面を表示させ、項目を選択します。
Latitude起動時にGoogleマップ画面が表示された場合は、［ ◩ ］→［Latitude］を選択すると、Latitude画面が表示されます。

友だちを招待する

現在地情報を共有する友だちを招待します。自分が招待した友だち、または自分を招待した友だちとのみ、現在地情報の共有ができます。

1 Latitude画面で［ ］

■ 連絡先から選択して追加する場合

2 ［連絡先から選択］→相手を選択→［はい］

■ メールアドレスを入力して追加する場合

2 ［メールアドレスから追加］→メールアドレスを入力→［送信］→［はい］

招待に応じる

友だちからLatitudeで現在地情報を共有する招待を受けたときには、共有方法を設定できます。

受け入れて自分の現在地も教える	お互いの現在地情報を地図上に表示して確認できるように設定します。
受け入れるが自分の所在地は教えない	自分の現在地情報は共有せず、友だちの現在地情報のみ確認できるように設定します。
承認しない	招待を辞退し、お互いの現在地情報を共有しません。
拒否	共有リクエストの通知を削除します。「承認しない」を選択していると表示されます。

友だちの現在地情報を確認する

■友だちの詳細情報／接続オプションを表示する

1 Latitude画面で友だちを選択

友だちのプロフィール画面が表示されます。

■友だちの位置を地図に表示する

1 Latitude画面で友だちを選択→［地図］

共有情報などを管理する

1 Latitude画面で自分を選択

2 以下の項目をタップ

チェックイン	チェックインする場所を一覧から選択したり、自分で検索できます。
ロケーション履歴	前日までのロケーション履歴を1日単位で表示します。左右にスライドすると、表示する日付を変更できます。
現在地を他のユーザーに送信する	現在地をBluetooth®やメールなどで送信します。
プライバシー設定を編集	現在地の設定方法や、ロケーション履歴の有効／無効、チェックインの各種設定を行います。またLatitudeからログアウトできます。
写真を変更	自分の写真を撮影したり、ギャラリーから選択して変更します。
現在地設定	現在地の自動送信や、友人との現在地共有、ロケーション履歴、チェックインなどの各種設定ができます。

Google トークを利用する

Google トークは、Googleのインスタントメッセージサービスです。Google トークを使用して、メンバーとチャットを楽しむことができます。

- Google トークの利用にはGoogleアカウントが必要です。（▶P.261「アカウントを追加する」）
- 利用方法などの詳細についてはGoogleのホームページをご参照ください。
- サービス内容は、予告なく変更される場合があります。

1 **ホーム画面で［アプリ］→［トーク］**

トーク画面が表示されます。

memo

- 自分のGmailアドレスをタップすると、自分のステータス画面が表示されます。自分のステータス（オンライン／取り込み中／非表示）を変更できます。

友だちを追加する

■友だちを招待する

Googleアカウントを持っている相手を招待し、友だちとして追加します。

1 **トーク画面で［ ］→「チャットへの招待状の送信先」に招待状を送る友だちのGmailアドレスを入力**

2 **［完了］**

■招待状を表示／承認する

招待状を受信すると、ステータスバーにお知らせアイコンが表示されます。

1 **ステータスバーを下にスライド→招待状を選択**

招待状が表示されます。

2 **［承諾］**

memo

- トーク画面で「チャットへの招待」をタップしても、未返信の招待状が表示されます。
- 「招待を辞退」をタップすると招待を断ることができます。「ブロック」をタップすると相手を拒否できます。

アプリケーション

チャットする

■チャットを開始する

1 **トーク画面でチャットする友だちを選択**

チャット画面が表示されます。

2 **メッセージを入力→［ ➤ ］**

■チャットを終了する

1 **チャット画面で［ ⋮ ］→［チャット終了］**

Google トークの設定を変更する

1 **トーク画面で［ ⋮ ］→［設定］**

2 **設定を変更するアカウント名をタップ**

3 **以下の項目をタップ**

全般	モバイルインジケーター	相手の方にモバイルで送信していることを通知するかどうかを設定します。
	画面OFF 時は不在と表示	画面がOFFになっている場合、または画面が消灯されている場合に、ステータスを不在と表示するかどうかを設定します。
	招待通知	招待状受信時に、ステータスバーに通知アイコンを表示するかどうかを設定します。
チャットの通知	チャットの通知	チャットのメッセージ受信時の通知設定を行います。
	通知音	チャットのメッセージ受信時の音を設定します。
	バイブレーション	チャットのメッセージ受信時のバイブレータの動作を設定します。
ボイス&ビデオチャット	ビデオチャットの通知	ビデオチャットのメッセージ受信時の通知設定を行います。
	ビデオチャットの着信音	ビデオチャットのメッセージ受信時の音を設定します。
	バイブレーション	ビデオチャットのメッセージ受信時のバイブレータの動作を設定します。
	デフォルトの動画効果	手振れ補正の設定を行います。
アカウント	ブロック中の友だち	ブロック中の友だち一覧が表示されます。友だちをタップ→［OK］と操作するとブロックを解除できます。
	検索履歴を消去	チャット検索の履歴を検索ボックスから消去します。
	アカウントを管理	アカウントと同期を行ったり、アカウントを追加したりします。
概要	利用規約とプライバシー	Googleの利用規約を表示します。

Googleプレイスを利用する

現在地周辺の施設や店舗などをすばやく検索できます。

- Googleプレイスを利用するには、Googleアカウントが必要です。（▶P.261「アカウントを追加する」）
- Googleプレイスを利用するには、「位置情報サービス」で「Googleの位置情報サービス」や「GPS機能」を有効にする必要があります。（▶P.261）
- 利用方法などの詳細についてはGoogleのホームページをご参照ください。
- サービス内容は、予告なく変更される場合があります。

ジャンルから周辺の施設を検索する

1 ホーム画面で［アプリ］→［ローカル］

検索画面が表示されます。

2 ジャンルを選択

検索結果一覧画面が表示されます。

3 検索候補を選択

詳細画面が表示されます。

memo

- 検索結果一覧画面で［地図表示］を選択すると、検索結果一覧を地図上に表示します。

検索するジャンルを追加する

検索画面に、ジャンルを追加することができます。

1 検索画面で［ ⋮ ］→［検索を追加］

2 ジャンルを入力→［ + ］

追加したジャンルでの検索が可能になります。

キーワードで検索する

お店の名前や施設名などを入力して、検索できます。

1 ［🔍］

2 キーワードを入力→［🔍］

検索結果一覧画面が表示されます。

3 検索候補を選択

詳細画面が表示されます。

Googleマップ ナビを利用する

Googleが提供する、「Googleマップ」と連携した音声ガイダンス付きのオンラインナビゲーションサービスです。現在地から設定した目的地までのカーナビゲーションを利用できます。

- Googleマップ ナビを利用するには、Googleアカウントが必要です。（▶P.261「アカウントを追加する」）
- Googleマップ ナビを利用するには、「位置情報サービス」で「Googleの位置情報サービス」や「GPS機能」を有効にする必要があります。（▶P.261）
- 利用方法などの詳細についてはGoogleのホームページをご参照ください。
- サービス内容は、予告なく変更される場合があります。

ルートを検索する

1 **ホーム画面で［アプリ］→［ナビ］**

初めて利用する場合は、利用上の注意・確認画面が表示されます。「同意する」をタップしてください。
ナビ画面が表示されます。

2 **以下の項目をタップ**

スター付き	
スター付きの場所	Googleマップなどでスターを付けた場所の一覧から、目的地を選択します。
ショートカット	
目的地を音声入力	目的地を送話口（マイク）に向かって話します。音声認識結果が正しい場合は「開始」をタップすると、運転経路の検索を開始します。
目的地をキーボードで入力	キーワードを入力します。複数候補がある場合は、一覧から選択すると、運転経路の検索を開始します。
自宅に戻る	現在地の設定を自宅に戻します。
地図表示	運転経路を地図上に表示します。
連絡先	
連絡先	住所が登録されている連絡先を選択して、目的地を選択します。

memo

- お客様が自動車、原動機付自転車、自転車などを運転中は、大変危険を伴いますので、携帯電話の操作（注視を含む。以下同じ）をしないでください。携帯電話の操作を行う場合は、安全な場所に自動車などを停止してから行ってください。
- 自動車または原動機付自転車の運転中に携帯電話の操作をしたり画面を注視することは法律で禁止されています。
- お客様がau電話操作中に事故を起こした場合であっても、当社は一切の責任を負いかねます。
- スター付きの場所は、GoogleマップやGoogleプレイスで場所や施設の情報表示時に、☆をタップするとスター付きの場所として登録できます。

Googleカレンダーを利用する

Googleが提供するオンラインカレンダーサービスです。スケジュールの管理ができます。
ホーム画面にカレンダーウィジェットとして表示することもできます（▶P.59「ウィジェットを利用する」）。ウィジェット設定時に、カレンダーのスタイルを月間１／月間２／週間／日別の４タイプから選択できます。

- 「アカウントと同期」（▶P.260）を利用して、サーバに保存されたカレンダーと本製品のカレンダーを同期してスケジュール管理ができます。
- 利用方法などの詳細についてはGoogleのホームページをご参照ください。
- サービス内容は、予告なく変更される場合があります。

カレンダーを表示する

1 ホーム画面で［アプリ］→［カレンダー］

カレンダー画面が表示されます。

１ヶ月表示の場合	画面を左／右にスライドさせると、次の月／前の月を表示します。
１週間／１日表示の場合	画面を左／右にスライドさせると、次の週／前の週または次の日／前の日を表示します。

■カレンダーの内容について

① **今日の日付**
本日の日付が太字で表示されます。

② **選択されている日付**
枠が付いていない水色で表示されます。

③ **予定が登録されている日付**
登録した予定がある場合、予定日に点が表示されます。

④ **祝日**
国の祝日が表示されます。

memo

- １週間／１日表示の場合、現在時刻が青色の線で表示され、予定の時間帯にタイトルが表示されます。

■表示単位を変更する

1 カレンダー画面で［ 2012年11月 ］

2 ［日］／［週］／［月］／［予定リスト］

アプリケーション

予定を登録する

1 カレンダー画面で登録したい日付／時間をロングタッチ

予定作成画面が表示されます。

2 以下の項目をタップ

イベント名	予定のタイトルを入力します。
場所	予定の場所を入力します。
開始	開始日時を設定します。
終了	終了日時を設定します。（初期値は開始時の1時間後に設定されます。）
終日	チェックを付けると、予定を終日にします。
タイムゾーン	タイムゾーンを選択できます。
ゲスト	予定に参加するゲストのメールアドレスを登録します。ゲストには通知が送られます。
説明	予定の詳細内容を入力します。
繰り返し	予定の繰り返しを設定します。
リマインド	開始日時のどれくらい前にアラーム音やステータスバー（通知／ステータスパネル）で予定を通知するかを設定します。[＋] をタップすると複数設定できます。[✕] をタップすると通知設定を削除できます。

3 ［完了］

memo

- カレンダー画面で［＋］をタップしても、予定を登録できます。
- 予定の登録画面で「マイカレンダー」以外のアカウントを選択すると、外部向け表示（予定あり／予定なし）、プライバシー（デフォルト／限定公開／一般公開）の設定ができます。

登録した予定を確認／編集する

1 カレンダー画面で［2012年11月］→［予定リスト］

予定リスト※が表示されます。

※ 予定リストとは、カレンダーに登録されている全ての予定リストです。

2 予定をロングタッチ

イベント表示	予定の詳細内容を表示します。
イベント編集	登録した予定を編集します。
イベント削除	登録した予定を削除します。
新規イベント	新規イベント予定作成画面を表示します。

memo

- 1ヶ月表示カレンダー画面で、予定が登録されている日付をタップすると当日のイベント名が表示されます。
- 1週間／1日表示カレンダーでは、予定をタップするだけで、予定の詳細画面が表示されます。

カレンダーの設定をする

通知音などの設定変更ができます。

1 カレンダー画面で［ ⋮ ］→［設定］→［設定］

2 以下の項目をタップ

カレンダー表示設定	辞退した予定を非表示	辞退した予定を非表示にします。
	第何週かを表示	チェックを付けると、1ヶ月表示カレンダー画面の左側に第何週かを表示します。
	カレンダーの開始曜日	週の開始日を選択します。
	自宅タイムゾーン	海外旅行中も自宅のタイムゾーンで予定日時を表示します。
	自宅タイムゾーン	上の「自宅タイムゾーン」が有効の場合、自宅のタイムゾーンを設定します。
	電話帳日程表示	電話帳に入力されたイベントの日程を表示するかどうかを設定します。
	検索履歴クリア	検索履歴を消去します。
通知設定	通知	予定の通知方法を選択します。
	アラーム音選択	予定通知時のアラーム音を設定します。
	バイブ	予定通知時のバイブレータの動作条件を設定します。
	ポップアップ通知	チェックを付けると、ポップアップ画面で通知します。
	通知時間	「通知」設定・追加時のデフォルトの時間を設定します。

Playムービーを利用する

1 ホーム画面で［アプリ］→［Playムービー］

2 「映画」から映画を選択

3 ［○○でレンタル］

■ クレジットカードで支払う場合

4 ［カードを追加］→［次へ］

5 クレジットカードの情報を入力→［保存］

■ au利用料金と一緒に支払いの場合

4 ［au利用料金と一緒に支払い］→［次へ］

5 ［同意する］

memo

- ［ ］をタップするとGoogle Playの映画画面に移動します。
  ［ ⋮ ］をタップすると、［マイ動画］［アカウント］［設定］［ヘルプ］の項目が表示されます。
- 「個人の動画」からは撮影したビデオを表示します。

auお客さまサポートを利用する

au電話の契約内容や月々の利用状況などを簡単に確認できるほか、auお客さまサポートウェブサイトへアクセスして料金プランやオプションサービスなどの申込変更手続きができます。
利用方法などの詳細については、auお客さまサポートアプリ起動中に［MENU］→［ヘルプ］とタップしてauお客さまサポートのヘルプをご参照ください。

1 ホーム画面で［アプリ］→［auお客さまサポート］

初回起動時には、利用規約が表示されますので「同意します」をタップしてください。設定メニューが表示され、アカウント設定および自動更新設定が行えます。アカウントを設定せずに利用する場合は、「「サポートID」を設定せずに利用する」を選択します。
サポートIDの新規取得は、auお客さまサポートウェブサイト（https://cs.kddi.com/）にて行えます。
利用規約が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

2 以下の項目をタップ

確認する	au電話の契約内容や月々の利用状況などを簡単に確認できます。
変更する	au電話の契約内容を変更できます。
サポート&サービス	▶P.213「安心セキュリティパックを利用する」
調べる	よくあるご質問の確認やauお客さまサポートウェブサイトへの接続などができます。

画面下部の「MENU」をタップすると、各種お問い合わせ先窓口や、設定メニューなどが表示されます。「MENU」が表示されていない場合は［ ⋮ ］をタップします。

安心セキュリティパックを利用する

安心セキュリティパックでできること

「3LM Security」「リモートサポート」「ウイルスバスター ™ モバイル for au」の3種類のアプリケーションを利用して、さまざまなセキュリ ティ機能とサポートサービスをご利用になれます。

- 安心セキュリティパックは有料サービスです。

memo

- 安心セキュリティパックをお申し込みいただいた場合、「3LM Security」と「ウイルスバスター ™ モバイル for au」のセットアップを行ってください。

安心セキュリティパックの位置検索をご利用いただくにあたって

当社では、提供したGPS情報に起因する損害については、その原因の内容に関わらず一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■ ご利用上のご注意

- サービスエリア内でも地下街など、GPS衛星と基地局からの電波の受信状況が悪い場所では、正確な位置情報が取得できない場合があります。
- 「GPS機能」（▶P.261）をオフにしていると、位置情報は通知されません。
- ご契約いただいているau Micro IC Card(LTE) 情報と利用開始設定時のau Micro IC Card(LTE) 情報が一致している端末の検索ができます。

- auご契約者とご利用者が異なる場合は、必要に応じてauお客さまサポートから利用者認証番号を設定してください。
  - 利用者認証番号はauお客さまサポートからのみ設定解除が可能です。
  - 利用者認証番号を設定された際は必ずお忘れにならないようにご注意ください。
  - 利用者認証番号を忘れた場合、サービスをご利用になれませんのでご注意ください。
    また、お客さまのau携帯電話より操作しない限り、番号の再設定などが行えません。

3LMSecurityを利用する

- 本製品を盗難・紛失された場合に、本製品を遠隔操作でロックすることができます。
- 画面ロックの暗証番号を忘れてしまった場合に、遠隔操作で暗証番号の変更、初期化ができます。
- 本製品を盗難・紛失された場合に、本製品内のデータを削除する 場合には、お客さまセンターにご連絡ください。
- 「3LM Security」を起動したときや本製品が遠隔操作でロックされたときなどは、端末の位置情報がサーバーに送信されます。また、常に位置情報を送信するように設定することもできます。
- 定期的に本製品の端末情報をサーバーに送信します。

リモートサポートを利用する

- 携帯電話の操作についてお問い合わせいただいた際に、オペレータがお客様の本製品の画面を共有し、お客様の操作をサポートすることで、直接問題を解決します。

1 お客さまセンターまでお問い合わせ

2 ホーム画面で［アプリ］→［auお客さまサポート］→［サポート&サービス］→［安心セキュリティパック］→［リモートサポート］

- 起動時は、使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認のうえ、［同意する］をタップしてください。

ウイルスバスター™モバイル for auを利用する

- 不正アプリ対策：
  アプリのインストール時にファイルをスキャンして、不正アプリのインストールを防止します。また、インストール済みアプリを手動でスキャンして削除することもできます。
- Webフィルタ：
  ギャンブルや出会い系サイトなど、青少年に不適切なサイトへのアクセスをブロックします。
- Web脅威対策：
  ウイルス、不正アプリの配布元サイトや、フィッシング詐欺サイトなど不正サイトへのアクセスを未然にブロックします。
- 着信ブロック／SMSブロック：
  迷惑電話やＳＭＳの着信拒否だけでなく、特定のキーワードを含むメッセージをブロックすることもできます。

1 ホーム画面で［アプリ］→［auお客さまサポート］→［サポート&サービス］→［安心セキュリティパック］→［ウイルスバスター モバイル for au］

- 初回起動時は、使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認のうえ、［同意する］をタップしてください。

au災害対策アプリを利用する

au災害対策アプリは、災害用伝言板や、緊急速報メール（緊急地震速報、災害・避難情報、津波警報）、災害用音声お届けサービスを利用することができるアプリです。

1 ホーム画面で［アプリ］→［au災害対策］

au災害対策メニューが表示されます。

災害用伝言板を利用する

災害用伝言板とは、震度6弱程度以上の地震などの大規模災害発生時に、被災地域のお客様がLTE NET上から自己の安否情報を登録することが可能となるサービスです。登録された安否情報はau電話をお使いの方の他、他社携帯電話やパソコンなどからも確認していただくことが可能です。

詳しくは、auホームページの「災害用伝言板サービス」をご覧ください。

1 au災害対策メニュー画面→［災害用伝言板］

画面に従って、登録／確認を行ってください。

memo

- 安否情報の登録を行うには、Eメールアドレス（～ezweb.ne.jp）が必要です。あらかじめ、メールアドレスを設定しておいてください。メールアドレスの設定について、詳しくは「Eメールアドレスを変更する」（▶P.133）をご参照ください。
- 無線LAN（Wi-Fi®）接続中は、削除および安否お知らせメールの設定変更はご利用いただけません。
- 当社は、本サービスの品質を保証するものではありません。本サービスへのアクセスの集中や設備障害に伴う安否情報の登録にかかわる不具合、安否情報の破損、滅失などによる損害または登録された安否情報に起因する損害につきましては原因の如何によらず、一切の責任を負いかねます点、ご了解のうえご利用ください。

緊急速報メールを利用する

緊急速報メールとは、気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、国や地方公共団体が配信する災害・避難情報を、特定エリアのau電話に一斉にお知らせするサービスです。

※ お買い上げ時は、緊急速報メール（緊急地震速報および災害･避難情報）の「受信設定」は「受信する」に設定されています。津波警報の受信設定は、災害・避難情報の設定にてご利用いただけます。

緊急地震速報を受信した場合は、周囲の状況に応じて身の安全を確保し、状況に応じた、落ち着きのある行動をお願いいたします。

津波警報を受信した時は、直ちに海岸から離れ、高台や頑丈な高いビルなど安全な場所に避難してください。

1 au災害対策メニュー画面→［緊急速報メール］

受信ボックスが表示されます。

確認したいメールを選択するとメールの詳細を確認できます。

削除		受信したメールを削除します。
設定	受信設定	緊急地震速報：緊急地震速報を受信するかどうかを設定します。 災害・避難情報：災害・避難情報および津波警報を受信するかどうかを設定します。
	通知設定	音量：受信時の音量を設定します。 バイブ：受信時にバイブレータが動作するかどうかを設定します。 マナー時の鳴動：マナーモード設定中は、マナーモードの設定でお知らせするかどうかを設定します。
	受信音／バイブ確認	緊急地震速報：緊急地震速報の受信音やバイブレータの動作を確認します。 災害・避難情報：災害・避難情報および津波警報の受信音やバイブレータの動作を確認します。

memo

- 緊急速報メール受信時は、専用の警報音が鳴動します。警報音は変更できません。
- 緊急地震速報とは、最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ（震度4以上）が予測される地域をお知らせするものです。
- 地震の発生直後に、震源近くで地震（P波、初期微動）をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算し、地震による強い揺れ（S波、主要動）が始まる数秒〜数十秒前に、可能な限り素早くお知らせします。
- 震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。
- 津波警報とは、気象庁から配信される津波警報（大津波、津波）を、対象沿岸を含む地域へお知らせするものです。
- 災害・避難情報とは、国や自治体から配信される避難勧告や避難指示、各種警報などの住民の安全にかかわる情報をお知らせするものです。
- 日本国内のみのサービスです（海外ではご利用になれません）。
- 緊急速報メールは、情報料・通信料とも無料です。
- 当社は、本サービスに関して、通信障害やシステム障害による情報の不達・遅延、および情報の内容、その他当社の責に帰すべからざる事由に起因して発生したお客様の損害について責任を負いません。
- 気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報の詳細については、気象庁ホームページをご参照ください。
http://www.jma.go.jp/
- 電源を切っている時や通話中は、緊急速報メールを受信できません。
- SMS／Eメール送受信時やブラウザ利用時などの通信中であったり、サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル、地下など）や電波状態の悪い場所では、緊急速報メールを受信できない場合があります。
- 受信に失敗した緊急速報メールを、再度受信することはできません。
- テレビやラジオ、その他伝達手段により提供される緊急地震速報とは配信するシステムが異なるため、緊急地震速報の到達時刻に差異が生じる場合があります。
- お客様の現在地と異なる地域に関する情報を受信する場合があります。

災害用音声お届けサービスを利用する

災害用音声お届けサービスとは、大規模災害時にスマートフォンで音声を録音し、安否を届けたい方へ音声メッセージとしてお届けするサービスです。

1 au災害対策メニュー画面→［災害用音声お届けサービス］

■ 音声を送る（送信）

［声をお届け］を選択し、［①お届け先を選択］※→［②お届けしたい声を録音］の順で操作してください。

※ お届け先は、電話帳からも選択可能です。

■ 音声を受け取る（受信）

音声メッセージが届いたことが、ポップアップ画面、もしくは、SMSで通知されます。音声メッセージを受信（ダウンロード）し、再生することで、聞くことができます。

- 受け取る相手が災害用音声お届けサービスに対応したau災害対策アプリを立ち上げていないスマートフォンや、au携帯電話の場合、SMSでお知らせします。
- SMSで通知された場合、au災害対策アプリに情報は保存されません。

memo

- 音声メッセージの送受信は、LTE ／ 3Gネットワークのみで利用可能です。無線LAN（Wi-Fi®）通信などは無効にしてご利用ください。
- 音声メッセージは最大30秒の録音が可能です。
- au携帯電話間のみ、音声メッセージのやりとりが可能です（他通信事業者の携帯電話との相互利用は2013年春以降を予定しています）。
- メディアの音量を小さくしている、もしくはマナーモードに設定している場合、音声を聞き取れない場合があります。
- 本体（メモリ）に空き容量が無い場合は、音声メッセージが保存・再生できない場合があります。
- 音声メッセージの受信に対応していない端末があります。詳しくはauホームページをご覧ください。

auスマートパスを利用する

auスマートパスは、月額390円（税込）で、500本以上のアプリケーション取り放題、auスマートパス会員様限定のお得なクーポンやプレゼント、大切な写真や動画･電話帳のお預かりサービス、セキュリティアプリなど、スマートフォンを安心・快適にご利用いただけるサービスです。

- 利用方法などの詳細については、auスマートパスのトップページから「ヘルプ」をタップしてヘルプをご参照ください。
- ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。

1 ホーム画面で［アプリ］→［auスマートパス］

- auスマートパスにご登録いただいてない場合は、ページトップにある「非会員の方　新規登録」を選択し、au IDとパスワードを入力後、利用規約の内容をご確認のうえ、「利用規約に同意」をタップしてください。au IDをお持ちでない場合は、au IDを取得してください。

2 以下の項目をタップ

アプリ取り放題	500本以上のアプリケーションからお好きなアプリケーションを好きなだけダウンロードいただくことができるサービスです。
クーポン＆プレゼント	auスマートパス会員様限定のお得なクーポンやプレゼントなどを紹介しています。
データお預かり	大切な写真や動画、電話帳を簡単・安心に預けることができるサービスです。
安心・セキュリティ	大切な情報をしっかりガードする、安心の強力セキュリティアプリです。

memo

- 画面下部の「お問い合わせ」をタップすると、各種お問い合わせ先窓口を表示できます。
- サービスを解約された場合、すべてのサービスが利用できなくなります。ダウンロードしたアプリケーションについてはサービス解約後、自動的に消去されます。解約後はご利用いただけません。
- アプリケーションなどによりお客様が操作していない場合でも自動的にパケット通信が行われる場合があります。
- ご利用になれるコンテンツは機種によって異なる場合があります。
- 各コンテンツは予告なく終了、または内容が変更になる場合があります。

Playストア（Google Play）を利用する

Googleが運営するアプリケーションの配信サービスです。本製品で動作するアプリケーションを有料または無料でダウンロードできます。

- Google Playを利用するには、Googleアカウントが必要です。「アカウントを追加する」（▶P.261）
- 利用方法などの詳細についてはGoogleのホームページや、Google Play画面で［⋮］→［ヘルプ］と操作して、Google Playのヘルプをご参照ください。
- サービス内容は、予告なく変更される場合があります。

1 ホーム画面で［アプリ］→［Playストア］

Google Play画面が表示されます。
初回起動時には、利用規約が表示されますので「同意する」をタップしてください。

memo

- microSDメモリカードをセットしていないと利用できないアプリケーションもあります。
- アプリケーションの中には、動作中、スリープ状態に入らなくなったり、バックグラウンドで動作し電池の消耗が激しくなるものがあります。
- アプリケーションが不要になったときは、アンインストールすることができます。（▶P.260「アプリケーションの管理について」）

アプリケーションを検索する

Google Play画面には、注目のアプリケーション一覧、「アプリ」「ゲーム」「映画」カテゴリへのリンクが表示されます。
注目のアプリケーション一覧は、上下方向にスクロールして確認できます。「アプリ」「ゲーム」を選択したときは、「カテゴリ」、「おすすめ」、「人気（有料）」、「人気（無料）」、「売上トップ」、「人気の新着（有料）」、「人気の新着（無料）」、「最新」から選択します。

無料アプリケーションをインストールする

1 **Google Play画面でダウンロードするアプリケーションを選択**

2 **アプリケーションの情報を確認→［インストール］→［同意してダウンロード］**

アプリケーションのダウンロードとインストールが開始されます。ステータスバーを下にスライドさせると、ダウンロード／インストールの状況が確認できます。

memo

- インストールに承諾すると、アプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションをインストールするときは、特にご注意ください。
- インストールが完了すると、ランチャーメニューにインストールしたアプリケーションのアイコンが表示されます。

アプリケーションを購入する

有料のアプリケーションをダウンロードするには、Googleウォレットアカウントを作成する必要があります。

1 **Google Play画面で購入するアプリケーションを選択→価格をタップ→［次へ］**

アプリケーションの初回購入時には、Googleウォレット支払い請求サービスにログインする必要があります。画面の指示に従って操作してください。

- 購入するアプリケーションによって、操作方法が異なる場合があります。

memo

- アプリケーションに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードした後にアンインストールしたアプリケーションの再ダウンロードには料金はかかりません。
- 本製品にはGoogleウォレットパスワードが記憶されます。画面ロック（▶P.262）を設定し、本製品のセキュリティを確保してください。

■返金を請求する

購入後、一定時間内であれば返金を請求することができます。クレジットカードには課金されず、アプリケーションは本製品からアンインストールされます。

- 詳細については、Google Play画面で［ ⋮ ］→［ヘルプ］と操作して、Androidアプリをご参照ください。
- サービス内容は、予告なく変更される場合があります。

memo

- 返金請求は、各アプリケーションに対して最初の一度のみ有効です。過去に一度購入したアプリケーションに対して返金請求をし、同じアプリケーションを再度購入した場合には、返金請求はできません。

au Marketを利用する

au Marketは、auのサービスです。auスマートパスのアプリ取り放題に対応したAndroidアプリをインストールできます。

- 一部の機能を利用するには、au IDを設定する必要があります。（▶P.48「au IDを設定する」）

1 ホーム画面で［アプリ］→［au Market］

auスマートパスのページが表示されます。
初回起動時には「ご利用にあたっての注意点」が表示されますので、「OK」をタップしてください。

memo

- auスマートパスに対応していないアプリをダウンロードする場合には、「auポータル」→「メニューリスト」よりダウンロード してください。
- au Marketを利用する際は、利用規約に従ってご使用ください。アプリケーションのダウンロード方法、有料アプリの決済方法は各アプリケーションの配信元によって異なります。
- microSDメモリカードをセットしていないと利用できないアプリケーションもあります。

GREEマーケットを利用する

GREEマーケットでは、au one GREEやGREEの無料ゲームなどを簡単に探すことができます。

1 ホーム画面で［アプリ］→［GREEマーケット］

GREEマーケットのトップ画面が表示されます。
画面内のコーナーから利用したいゲームなどを探すことができます。

memo

- GREEマーケットで探したゲームを利用するには、au one GREEの会員登録が必要となる場合があります。

YouTubeを利用する

YouTubeは、Googleの動画共有サービスです。動画の再生、検索、アップロードなどを行うことができます。

- 動画をアップロードする場合など、一部の機能を利用するにはYouTube用アカウントを設定する必要があります。

1 ホーム画面で［アプリ］→［YouTube］

YouTube画面が表示されます。
初回起動時には、利用規約が表示されますので「同意する」をタップしてください。

2 再生する動画を選択

Facebookを利用する

Facebookは実名登録が原則のソーシャルネットワークサービスです。友だちの近況をチェックしたり、同じ趣味の人を見つけたり、同級生や同僚などの知り合いと連絡を取り合うことができます。

- Facebookの利用には、メールアドレスが必要です。

Facebookのアカウントを取得する

1 ホーム画面で［アプリ］→［Facebook］

ログイン画面が表示されます。

2 ［Facebookに登録］

3 各項目を入力→［アカウント登録］

登録したメールアドレスに、Facebookからメールが届きます。

4 メール内のリンクをタップ

画面の指示に従って操作してください。

Facebookにログインする

1 ホーム画面で［アプリ］→［Facebook］

ログイン画面が表示されます。

2 メールアドレス、パスワードを入力→［ログイン］

Facebook画面が表示されます。

Friends Noteを利用する

Friends Noteを利用して、電話帳の連絡先やFacebook・Twitterなどの SNSの友達リストをまとめて管理することができます。
また、電話、メール、SNSなどの連絡方法を簡単に選択できたり、複数のSNSやブログにまとめて投稿することができます。

- Friends Noteの利用には、au IDが必要です。au IDについては「au IDを設定する」（▶P.48）をご参照ください。

1 ホーム画面で［アプリ］→［Friends Note］

初回起動時には、許可画面と利用規約が表示されますので［同意する］→［同意する］と操作してください。

2 ［au IDを設定］

3 au IDとパスワードを入力→［ログイン］

パスワードの保存確認画面が表示されます。

4 ［今は保存しない］／［保存］／［保存しない］

ご利用の注意画面が表示されます。

5 ［同意する］

タスクマネージャーを利用する

1 ホーム画面で［アプリ］→［タスクマネージャー］

「実行中アプリ」画面が表示されます。「実行中アプリ」画面では、現在実行されているアプリケーションと利用されているメインメモリの大きさが表示されます。

■ アプリケーションの終了を保護する

2 アプリケーションをタップ→「アプリ終了のとき保護する」を「ON」にする

■ 実行中のアプリケーションを管理する

2 以下の項目をタップ

終了	該当のアプリケーションが停止します。
全て終了する	全てのアプリケーションが停止します。
(アイコン)	表示順を「実行順」／「名前順」／「メインメモリ使用量順」／「保護」から選択します。
(アイコン)	タスクマネージャーに関する説明文が表示されます。

■ 保護されたアプリケーションを管理する

2 ［実行中アプリ］→［保護されたアプリ］

3 以下の項目をタップ

保護を解除	アプリケーションの停止の保護を解除します。
(アイコン)	表示順を「名前順」／「実行中」から選択します。
(アイコン)	タスクマネージャーに関する説明文が表示されます。

■ システムの状態を表示する

2 ［実行中アプリ］→［システム］

「CPU」「メインメモリ」「内部メモリ」「SDカード」「ネットワーク」の各容量が表示されます。

3 以下の項目をタップ

(アイコン)	タスクマネージャーに関する説明文が表示されます。

NFC ／おサイフケータイ®（FeliCa）を利用する

■NFCとは

NFCとはNear Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。非接触ICカード機能やリーダー／ライター機能（R/W）、機器間通信機能などが本製品でご利用いただけます。
NFCを利用したサービスによっては、ご利用になりたいサービスプロバイダのNFC対応アプリをダウンロードする必要があります。
NFCを使っての各サービスご利用にあたっては、NFC機能をサポートしているau電話並びにau電話に挿入されたau Micro IC Card（LTE）へ、サービスのご利用に必要となるデータ（以下、NFCデータといいます）を書き込む場合があります。
なお、ご利用にあたっては、「NFCサービスご利用上の注意」（▶P.330）をあわせてご参照ください。

■おサイフケータイ®（FeliCa）とは

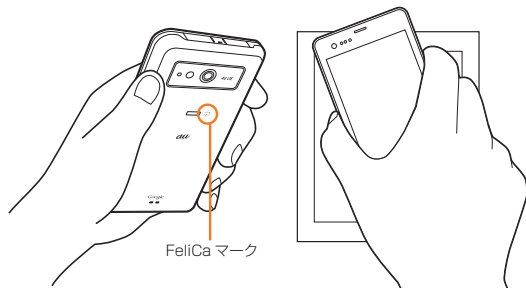
おサイフケータイ®とは、FeliCaと呼ばれる非接触ICカード技術を搭載した携帯電話でご利用いただけるサービスです。本製品をリーダ／ライター（店舗のレジなどにあるFeliCaチップ内のデータをやりとりする装置）にかざすだけで、電子マネーでのショッピングや、クーポン情報の取得などにご利用いただけます。
おサイフケータイ®をご利用になるには、サービスによってはおサイフケータイ対応アプリをダウンロードする必要があります。
なお、ご利用にあたっては、「おサイフケータイ®対応サービスご利用上の注意」（▶P.328）をあわせてご参照ください。

NFC ／おサイフケータイ®（FeliCa）ご利用にあたって

- 本製品本体の紛失には、ご注意ください。ご利用いただいていたNFCサービス／おサイフケータイ®対応サービスに関する内容は、サービス提供会社などにお問い合わせください。
- 本製品を紛失してしまった場合は、安心セキュリティパックの「3LMSecurity」により、遠隔操作でロックをかけることができます。詳しくは、「3LMSecurityを利用する」（▶P.214）をご参照ください。遠隔操作でロックをかけた場合、「NFC ／おサイフケータイ設定」からは解除できません。お客さまセンターにお問い合わせください。
- 紛失・盗難などに備え、「NFC ／おサイフケータイロック」の設定をおすすめします。
- 紛失・盗難・故障などによるデータの損失につきましては、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 各種暗証番号およびパスワードにつきましては、お客様にて十分ご留意のうえ管理をお願いいたします。
- ガソリンスタンド構内などの引火性ガスが発生する場所でNFC ／おサイフケータイ®をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。「NFC ／おサイフケータイロック」を設定されている場合はロックを解除したうえで電源をお切りください。
- おサイフケータイ®対応アプリを削除するときは、各サービスの提供画面からサービスを解除してから削除してください。
- FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ®の修理を行うことはできません。携帯電話の故障・修理の場合は、あらかじめお客様にFeliCaチップ内のデータを消去していただくか、当社または当社代理店がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。データの消去の結果、お客様に損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- NFCデータ／ FeliCaチップ内のデータが消失してしまっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。万一消失してしまった場合の対応は、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- NFCサービス／おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件などについては、各サービス提供会社にご確認、お問い合わせください。
- 各サービスの提供内容や対応機種は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 対応機種によって、NFCサービス／おサイフケータイ®対応サービスの一部がご利用いただけない場合があります。詳しくは、各サービス提供会社にお問い合わせください。

- 電話がかかってきた場合や、アラームの時刻になるとおサイフケータイ®対応アプリからFeliCaチップへのデータの読み書きが中断され、読み書きがされていない場合があります。
- 電池パックを取り外した場合は、NFCサービス／おサイフケータイ®をご利用いただけません。
- au Micro IC Card (LTE)を取り外した場合は、NFCサービス／おサイフケータイ®をご利用いただけません。
- 電池残量がなくなった場合、NFCサービス／おサイフケータイ®がご利用いただけない場合があります。
- おサイフケータイ®対応アプリ起動中は、おサイフケータイ®によるリーダー／ライターとのデータの読み書きができない場合があります。
- 機内モード設定中は、NFCサービス／おサイフケータイ®をご利用になれません。ただし、リーダー／ライターにかざしてのデータのやりとりは可能です。
- 充電中、microUSBケーブル01（別売）を接続中、またはイヤホンなどのケーブル類を接続中の状態で、一度も電波を受けていない場合は、NFC Card Emulation（カード決済）のみ使用できず､その他のNFC機能は使用可能です。

リーダー／ライターとデータを送受信する

FeliCaマークをリーダー／ライターにかざすだけで、NFCデータ／FeliCaチップ内のデータのやりとりができます。

- FeliCaマークをリーダー／ライターにかざす際に強くぶつけないようにご注意ください。
- FeliCaマークをリーダー／ライターの中心に平行になるようにかざしてください。
- FeliCaマークをリーダー／ライターにかざす際はゆっくり近付けてください。
- FeliCaマークをリーダー／ライターの中心にかざしても読み取れない場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらしてかざしてください。
- FeliCaマークとリーダー／ライターの間に金属物があると読み取れないことがあります。また、FeliCaマークの付近にシールなどを貼り付けると通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

memo

- 電池フタを取り外した本製品背面のコンタクト部分は、強い力で押さないでください。NFC通信に障害が発生するおそれがあります。
- コンタクト部分とリーダー／ライターの間に金属物があると読み取れないことがあります。また、コンタクト部分の付近にシールなどを貼り付けると、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。
- NFCの決済機能は、本製品の電源を切った状態でもご利用いただけます。
- おサイフケータイ対応アプリを起動せずに、リーダー／ライターとのデータの読み書きができます。
- 本体の電源を切っていてもご利用いただけます。ただし、「NFC／おサイフケータイロック」ご利用中はご利用いただけません。
- 電池フタ裏のシールをはがさないでください。リーダー／ライターとのデータの読み書きができなくなる場合があります。

他の携帯電話とデータを送受信する

NFC機能（Androidビーム）を搭載した携帯電話との間で、データを送受信できます。

- 2台の携帯電話を平行にしてFeliCaマークを重ね合わせ、送受信が終了するまで動かさないようにしてください。
- 送受信の操作や送受信されるデータについては、対応するアプリケーションの動作に依存します。画面に従って操作してください。
- FeliCaマークを重ね合わせても、送受信を失敗する場合があります。失敗した場合は、送受信の操作を再度行ってください。
- NFC機能を利用した送受信を行う場合は、「Androidビーム」を有効にしてください。
- FeliCaマークをゆっくりと重ね合わせると送受信を失敗することがあります。

■ データを送信する

例：電話帳（顔写真なし）を1件送信する場合

1 ホーム画面で［アプリ］→［電話帳］→連絡先を選択

2 受信側の端末と、FeliCaマークを向い合わせる

■ データを受信する

1 送信側の端末と、FeliCaマークを向い合わせる

memo

- アプリケーションによってはAndroidビームをご利用になれません。
- 通信に失敗した場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらしてもう一度かざしてください。

NFC ／おサイフケータイ®（FeliCa）を設定する

1 ホーム画面で［ ⋮ ］→［設定］→［その他］→［NFC／おサイフケータイ設定］

2 以下の項目をタップ

項目	説明
NFC ／おサイフケータイロック	NFC ／おサイフケータイ®の機能をロック／解除します。ロック／解除するには［次へ］をタップしてロックNo.を入力します。
NFC R/W P2P	NFC機能を有効／無効にします。 詳しくは、「NFC機能を有効にする」（▶P.227）をご参照ください。
Androidビーム	NFC機能が有効になっているときに、Androidビームを利用した高速データ通信ができます。 詳しくは、「Androidビームを有効にする」（▶P.227）をご参照ください。
NFC ／おサイフケータイロックNo.変更	NFC ／おサイフケータイ®のロックNo.を変更できます。 詳しくは、「NFC ／おサイフケータイ®（FeliCa）のロックNo.を変更する」（▶P.226）をご参照ください。
NFC ／おサイフケータイロックNo.初期化	NFC ／おサイフケータイ®のロックが解除できない場合に、PINロック解除コードを利用してロックNo.を再設定します。 詳しくは、「NFC ／おサイフケータイ®のロックNo.を初期化する」（▶P.226）をご参照ください。

NFC ／おサイフケータイ®（FeliCa）をロック／解除する

1 ホーム画面で［ ⋮ ］→［設定］→［その他］→［NFC ／おサイフケータイ設定］→［NFC ／おサイフケータイロック］

2 ［次へ］→ロックNo.を入力→［OK］

NFC ／おサイフケータイ®がロック／解除されます。

- NFC ／おサイフケータイ®のロックNo.はau Micro IC Card（LTE）に保存されており、初期値は「1234」に設定されています。初めてNFC ／おサイフケータイ®のロックNo.を入力する場合は「1234」を入力してください。
- NFC ／おサイフケータイ®をロックすると、ステータスバーに が表示されます。
- ロック中に電池が切れると、ロックが解除できなくなります。電池残量にご注意ください。電池が切れた場合は、充電後にロックを解除してください。

memo

- 以下の操作でも同様に操作できます。
  ① ホーム画面で［アプリ］→［おサイフケータイ］
  ② ［ロック設定］→［NFC ／おサイフケータイロック］→［次へ］→ロックNo.を入力→［OK］

NFC ／おサイフケータイ®（FeliCa）のロックNo.を変更する

1 ホーム画面で［ ⋮ ］→［設定］→［その他］→［NFC ／おサイフケータイ設定］→［NFC ／おサイフケータイ ロックNo.変更］

2 現在のNFC ／おサイフケータイ®のロックNo.を入力→［OK］

3 新しいNFC ／おサイフケータイ®のロックNo.を入力→［次へ］

4 もう一度新しいNFC ／おサイフケータイ®のロックNo.を入力→［OK］

- NFC ／おサイフケータイ®のロックNo.について詳しくは、「ご利用いただく各種暗証番号について」（▶P.24）をご参照ください。

NFC ／おサイフケータイ®のロックNo.を初期化する

1 ホーム画面で［ ⋮ ］→［設定］→［その他］→［NFC ／おサイフケータイ設定］→［NFC ／おサイフケータイ ロックNo.初期化］

2 ［次へ］

3 NFC ／おサイフケータイ®のロックNo.初期化PINを入力→［OK］

- NFC ／おサイフケータイ®のロックNo.初期化PINについて詳しくは、「PINロック解除コード」（▶P.25）をご参照ください。

4 新しいNFC ／おサイフケータイ®のロックNo.を入力→［次へ］

5 もう一度新しいNFC ／おサイフケータイ®のロックNo.を入力→［OK］

Androidビームを有効にする

1 ホーム画面で［ ⋮ ］→［設定］→［その他］→［NFC／おサイフケータイ設定］→［NFC R/W P2P］

Androidビームが有効になります。

- NFC機能を搭載した携帯電話との間でデータを送受信できます。
- 「NFC／おサイフケータイロック」を有効にしている場合は、Androidビームをご利用できません。
- 「Androidビーム」のチェックを外すと、Androidビームを無効にできます。
- すべてのNFC機能を搭載した携帯電話との通信を保証するものではありません。

NFCを利用する

NFC機能を有効にする

1 ホーム画面で［ ⋮ ］→［設定］→［その他］→［NFC／おサイフケータイ設定］→［NFC R/W P2P］

- 非接触ICカード機能は、NFC機能の有効／無効にかかわらず利用できます。

NFCメニューを利用する

NFCメニューは、NFCサービスに対応するアプリの一覧表示やNFCロックの設定などのほか、各種設定を行うことができるアプリケーションです。

1 ホーム画面で［アプリ］→［NFCメニュー］

NFCメニュー画面が表示され、NFCサービスに対応したアプリアイコンの一覧が表示されます。

初回機能時には許可画面が表示されます。「OK」をタップし、利用規約画面で内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

- 「表示タイプ変更」（▶P.228）を「カテゴリー別」に設定した場合は、画面上部に次のカテゴリーが表示され、アプリアイコンが各カテゴリー内に表示されます。

  Money：電子マネーやクレジットカードのアプリ
  Coupon／Point：クーポンやポイントカードのアプリ
  Transport：電車やバスなど交通系のアプリ
  Communication：他のNFC対応機器とのやりとりに関するアプリ
  Others：上記4つのカテゴリーに属さないアプリ

2 アプリを起動

起動したいアプリアイコンをタップします。

■ NFCの各種設定と操作を行う

1 NFCメニュー画面で［ ］

2 以下の項目をタップ

項目		説明
サービス一覧更新		本製品に登録しているサービスの情報を更新します。
NFCポータルサイト		ブラウザを起動してNFCポータルサイトを表示します。
NFCロック		NFC機能をロック／解除する設定をします。
ヘルプ		NFCメニューのヘルプ画面を表示します。
設定	表示タイプ変更	NFCメニュー画面の表示タイプを変更します。
	カテゴリータイプ変更	カテゴリーの表示方法を横方向／縦方向に切り替えます。
	配色変更	NFCメニュー画面の配色を設定します。
	アニメーション	NFCメニューのアニメーションを有効／無効に設定します。
	利用規約	NFCメニューの利用規約を表示します。
決済カード設定		決済するカードを設定します。

NFCタグリーダーを利用する

NFCタグの読み込み／データ書き込みを実行するアプリです。またデータ読み取り後、その情報に応じた動作をします。
NFCタグリーダーを利用するには、あらかじめアプリケーションをダウンロードしてください。

1 ホーム画面で［アプリ］→［NFCタグリーダー］

初回起動時は、許可画面が表示されます。「OK」をタップし、利用規約画面で内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

- 「NFCを有効にしてください」の確認画面が表示された場合は「YES」→「NFC R/W P2P」にチェックを入れ、NFCを有効に設定してください。

2 各機能操作を行う

Share： 電話帳など、NFCケータイ同士をかざすことで各種データを授受します。
Writing： 編集画面で書き込むデータを設定し、タグにかざすことで書き込みます。
History： Reading、Writing、Shareの履歴を表示します。
Setting： NFC SettingやApp Settingを行います。

- NFC Settingを選択すると、NFC／おサイフケータイロック、NFC R／W P2P、Androidビーム機能ON／OFFができます。
- お買い上げ時のNFCロックNo.は「1234」に設定されています。
- App Settingを選択すると、自動起動、メインカラー選択、効果音、NFCタグ認識音、NFCタグ書き込み音の設定や、利用規約の確認ができます。

NFCデータをやりとりする

本製品背面のFeliCaマークをNFC機能をサポートしているリーダー／ライターにかざしたり、NFC機能をサポートしている機器同士で端末のFeliCaマークを向かい合わせることで、NFCデータのやりとりができます。

おサイフケータイ®（FeliCa）を利用する

1 **ホーム画面で［アプリ］→［おサイフケータイ］**

初回起動時は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。初期設定が完了すると、対応したサービスがご利用になれます。

2 **［ ⋮ ］**

3 **以下の項目をタップ**

項目		説明
表示形式切替		表示モードを切り替えます。
サービス表示情報更新		サービス表示情報を最新の状態に更新します。
メモリ使用状況		おサイフケータイ®のメモリ使用状況を確認します。
サポートメニュー	**おサイフケータイ アプリ ご利用規約**	おサイフケータイアプリのご利用規約を表示します。
	電子マネー残高表示機能 ご利用条件	電子マネー残高表示機能のご利用条件を表示します。
	バージョン情報	利用中のバージョンを確認します。
	操作ガイド	おサイフケータイアプリ操作ガイドを表示します。
	設定リセット	サービス表示情報をリセットします。おサイフケータイ®のアプリケーションおよびデータは削除されません。

便利な機能

マナーモードを設定する

ドライブ中や公共の場所では、着信音やメール受信音が鳴らないようにマナーモードを設定してください。
マナーモードを有効にすると、音楽や動画などのメディア音、アラーム音以外の音量が0となります。マナーモードには､｢バイブレーション」と「ミュート」の2種類があります。「バイブレーション」の場合、音量は0になりますが、振動による通知が可能です。「ミュート」の場合、音量は0になり振動もしません。

1 **（長押し）**

携帯電話オプション画面が表示されます。

2 **［ ］／［ ］**

解除するには、もう一度、携帯電話オプション画面が表示されるまで を長押しし［ ］をタップします。

memo

- 自動車を運転中の携帯電話の使用は、交通事故の原因となり、危険なため法律で禁止されています。運転中はマナーモードに設定してください。
- 以下のいずれかの操作でも、マナーモードを設定できます。
  - ホーム画面で［ ］→［設定］→［サウンド］→［マナーモード］
  - ホーム画面で［電話］→「 ＊ 」をロングタッチ
  - ステータスバーを下にスライド→かんたん設定で「 」をタップ

VEGA Motionを利用する

例えば、手袋をしていて画面のタッチ操作がしにくい場合などに、VEGA Motion機能を使うと便利です。
センサー上に手をかざしたり左右に手を動かしたりすることで、画面にタッチせずにさまざまな操作ができます。
ミュージック、ギャラリー、電話などのアプリケーションでVEGA Motionを使えます。
手は、VEGA Motion用センサーの近くで動かしてください。
手袋などをするときは、明るめの色にすることをおすすめします。黒に近い色の場合はセンサーの特性上、認識の精度が低くなる場合があります。
詳しくは､同梱の『VEGA Motion はじめてガイド』をご覧ください。

VEGA Motionでできること

ギャラリー	前後の画像への移動	手を左右に動かすことで、前後の画像に切り替えることができます。
	スライドショーの設定／解除	手を1秒間おおうと、スライドショーの実行／停止ができます。
	ギャラリーの終了	手を約3秒間おおうと、ギャラリーを終了します。
ミュージック	前後の曲への移動	手を左右に動かすことで、プレイリストの前／次の曲に切り替えることができます。
	音量調節	手を上下に動かすことで、音量を調節することができます。
	再生／一時停止	手を1秒間おおうと、曲の再生／一時停止ができます。
	ミュージックの終了	手を約3秒間おおうと、ミュージックを終了します。

動画	巻き戻し／早送り	手を左右に動かすことで、巻き戻し／早送りができます。
	音量調節	手を上下に動かすことで、音量を調節することができます。
	再生／一時停止	手を１秒間おおうと、動画の再生／一時停止ができます。
	動画の終了	手を約３秒間おおうと、動画を終了します。
電話着信	電話の着信	着信中に手を左右または上下に１往復動かすことで、電話に出ることができます。
	スピーカーフォン	VEGA Motionによる電話着信時、スピーカーフォンが使用できます。
	音量調節	手を上下に動かすことで、音量を調節することができます。スピーカーフォンを使用時のみ操作できます。
	通話終了	手を３ 秒間おおうと、電話を終了します。スピーカーフォンを使用時のみ操作できます。

カレンダー	前後の移動	手を左右に動かすことで、月別、週別、日別の前後に移動することができます。
	上下スクロール	週、日、予定リストで手を上下に動かすことで、上下スクロールすることができます。
	今日の表示	月、週、日、予定リストで手を１秒間おおうと、該当画面の今日が表示されます。
	カレンダーの終了	月、週、日、予定リストで手を約３秒間おおうと、カレンダーを終了します。
ThinkFree Office	上下のページ移動	• Wordファイルの場合 手を上下に動かすことで、上下のページへ移動することができます。
	左右のページ移動	• PPT、PDFファイルの場合 手を左右／上下に動かすことで、左右のページへ移動することができます。 • 上記以外のファイルの場合 手を左右に動かすことで、左右のページへ移動することができます。
	Think Free Officeアプリの終了	手を約３秒間おおうと、Think Free Officeアプリを終了します。

PCメール	前後の移動	手を左右に動かすことで、前後のメッセージに切り替えることができます。
	履歴と詳細表示のスクロール	手を上下に動かすことで、上下スクロールができます。 • 詳細表示画面では、コンテンツが画面の横幅より大きい場合には、手を左右に動かすことで、左右スクロールできます。また、左右の端までスクロールすると前後のメッセージに切り替えることができます。
	PCメールの終了	手を約3秒間おおうと、PCメールを終了します。
ロック画面でのメール確認	メール受信確認	手を左右または上下に1往復動かすことで、メール受信確認ができます。 • 画面ロックの設定が、ビジュアル／モダン／スライドのみメール受信確認ができます。 • 新着メール着信後、10秒間のみモーションが有効です。
ブラウザ	ページの左右移動	手を左右に動かすことで、ページの左右を切り替えることができます。
	ページの上下移動	手を上下に動かすことで、ページの上下スクロールができます。
	タブ／ブラウザの終了	手を約3秒間おおうと、タブを閉じます。タブが1つの場合は、ブラウザーを終了します。

ワンセグ	前後のチャンネル変更	手を左右に動かすことで、前後のチャンネルに変更することができます。
	音量調節	手を上下に動かすことで、音量を調節することができます。
	ワンセグの終了	手を約3秒間おおうと、ワンセグを終了します。
ホーム画面	おはなしアシスタント呼び出し	ホーム画面で手を左右または上下に1往復動かすことで、おはなしアシスタントを起動します。

利用対象の機能を設定する

1 ホーム画面で［ ⋮ ］→［設定］→［VEGA Motion］

2 項目をタップしてチェックマークを付ける

VEGA Motionのご紹介	VEGA Motionの使い方を学習することができます。
モーションフィードバック設定	VEGA Motionを利用したときに、音を鳴らしたり振動で通知したりすることができます
電話着信	利用する場合はチェックマークを付けます。
スピーカーフォン	利用する場合はチェックマークを付けます。電話着信にチェックマークがついているときに有効になります。
Eメール着信	利用する場合はチェックマークを付けます。
SMS着信	利用する場合はチェックマークを付けます。
PCメール着信	利用する場合はチェックマークを付けます。
PCメールスクロール	利用する場合はチェックマークを付けます。
おはなしアシスタント	利用する場合はチェックマークを付けます。
ブラウザ	利用する場合はチェックマークを付けます。
ワンセグ	利用する場合はチェックマークを付けます。
動画	利用する場合はチェックマークを付けます。
ミュージック	利用する場合はチェックマークを付けます。
ギャラリー	利用する場合はチェックマークを付けます。
ThinkFree Office	利用する場合はチェックマークを付けます。
カレンダー	利用する場合はチェックマークを付けます。

利用できるように設定する

VEGA Motion機能を利用するために、機能を有効に設定する必要があります。

1 ステータスバーを下にスライド→かんたん設定画面で［VEGA Motion］

memo

以下の操作でも同様に操作できます。
ホーム画面で［ ⋮ ］→［設定］→［VEGA Motion］→VEGA MotionをONにする

通話中の音声を録音する

通話中に相手の声や自分の声を録音できます。

通話を録音する

1 **通話中に［通話録音］**

録音を開始します。

2 **［中止］／［切断］**

録音のみを終了し通話を続ける場合は「中止」をタップし、録音と通話を同時に終了する場合は「切断」をタップします。

「 」をタップするとmini Windowが表示され、録音が終了します。

memo

- 録音できる時間や件数は、内部メモリの空き容量に依存します。

通話録音を再生する

録音した音声は、「ミュージック」（▶P.183）または「音声メモ」（▶P.235）で再生します。

memo

- 「ミュージック」ではファイル名が曲名として表示されます。

音声メモを利用する

自分の声などを録音できます。録音した音は、内部メモリまたはmicroSDメモリカードに保存され、着信音として設定することもできます。

音声などを録音する

1 **ホーム画面で［アプリ］→［音声メモ］**

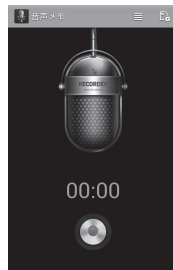
音声メモの起動画面が表示されます。

2 **［ ］**

録音が開始されます。最大60分まで録音できます。

3 **［ ］**

録音が終了し、自動保存します。

再生ボタンをタップすると、録音した音を再生します。

《音声メモ起動画面》

memo

- 録音開始から60分が経過したり、内部メモリやmicroSDメモリカードの容量がいっぱいになると、それまでに録音したファイルを自動保存し、録音を終了します。

音声メモを再生する

1 ホーム画面で［アプリ］→［音声メモ］

2 ［ ］

音声メモファイルの一覧が表示されます。

3 再生するファイルを選択→［ ］

一覧画面のメニューを利用する

1 音声メモファイルの一覧画面を表示

2 以下の項目をタップ

［ ］	録音画面を表示します。
［ ］	音声メモファイルを選択して削除します。 ［ ］→削除する音声メモファイルを選択→［ ］

再生ファイル選択後のメニューを利用する

1 再生ファイルをロングタッチ

2 以下の項目をタップ

タイトル変更	タイトルを変更します。
送信	選択した音声メモファイルをBluetooth®やメール添付などで送信します。
受信音に設定	選択した音声メモファイルを着信音に設定します。
削除	選択した音声メモファイルを削除します。

保存先を設定する

1 音声メモの起動画面で［ ］

2 ［内部メモリ］／［SDカード］→［保存］

テキストメモを利用する

テキストメモを簡単に作成できます。
作成したメモはPantechウィジェットとしてホーム画面に表示しておくことができます。

テキストメモを新規作成する

テキストメモを新規作成する

最大10,000文字のメモを作成できます。

1 ホーム画面で［アプリ］→［テキストメモ］→［+］
テキストメモの新規作成画面が表示されます。

2 テキストを入力→［完了］
テキストメモが保存され、保存されたテキストメモが表示されます。
保存済みテキストメモが複数ある場合は、左右にフリックすると、保存されているテキストメモが順次表示されます。

フォルダを新規作成する

1 テキストメモ画面で［ ⋮ ］→［設定］
設定画面が表示されます。

2 ［+］→フォルダのタイトルを入力

3 ［完了］

ロック機能を利用する

自分で作成したフォルダにパスワードをかけると、フォルダをロックすることができます。新規フォルダの作成について▶P.237「フォルダを新規作成する」をご参照ください。

■ 新規フォルダが作成されていない場合

1 テキストメモ画面で［ ⋮ ］→［ロック&同期］→［パスワード設定］→新規パスワードを入力→確認用パスワードを入力→［完了］
ロック&同期画面が表示されます。初回設定時のみ、「パスワードロック」が自動的に「ON」になります。

2 ロックしたいフォルダを作成
新規フォルダの作成について▶P.237「フォルダを新規作成する」をご参照ください。

3 手順2で作成したフォルダをロングタッチ→［編集］
新規フォルダ作成画面が表示されます。

4 ［ロック］を「ON」にする

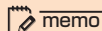
5 「完了」
選択したフォルダがロックされます。

■ 新規フォルダが作成された場合

1 テキストメモ画面でロックしたいフォルダをロングタッチ→［編集］
新規フォルダ作成画面が表示されます。

2 ［ロック］を「ON」にする

3 「完了」
選択したフォルダがロックされます。

memo

- 基本フォルダはロックすることができませんのでご注意ください。

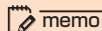
テキストメモを閲覧する

1 **ホーム画面で［アプリ］→［テキストメモ］→［All］**

保存されているテキストメモの一覧が表示されます。

2 **閲覧するテキストメモを選択**

選択したテキストメモが表示されます。

memo

- 保存されたテキストメモが複数存在する場合に、テキストメモを表示中に左右フリックをすると、テキストメモを順次閲覧できます。
- テキストメモの閲覧中に、画面をタップすると、そのテキストメモの編集ができます。

一覧画面のメニューを利用する

■オプションメニューの場合

1 **テキストメモの一覧画面を表示→［ ⋮ ］**

削除	保存されているテキストメモを選択して削除します。
ソート	日付順／アルファベット順、昇順／降順を指定して並び替えます。
移動	選択したテキストメモを別のフォルダに移動します。

■コンテキストメニューの場合

1 **テキストメモの一覧画面を表示→テキストメモをロングタッチ**

編集	文字を編集します。
共有	ロングタッチしたテキストメモをBluetooth®やメール添付などで送信したり、共有サイトにアップロードします。
移動	選択したテキストメモを別のフォルダに移動します。
削除	ロングタッチしたテキストメモを削除します。

■テキストメモ閲覧時のメニューを利用する

1 **閲覧するテキストメモを選択**

	表示中のテキストメモをBluetooth®やメール添付などで送信したり、共有サイトにアップロードします。
	表示中のテキストメモを削除します。

アラーム／時計を利用する

アラーム、世界の時刻、タイマー、ストップウォッチを利用できます。

卓上時計を利用する

1 ホーム画面で［ ⋮ ］→［設定］→［卓上ホルダ］→［卓上時計］にチェック

2 卓上ホルダに本製品を差し込む

卓上時計画面が表示されます。

■卓上時計画面について

① 時刻
② 日付

memo

- 画面をタップすると、画面の明るさを変えることができます。約5分経過すると、時刻および日付の色が青くなり、ステータスバーが非表示になります。
- 本製品を卓上ホルダに差し込んだまま発信したり、電話を受けたり、通話をしないでください。

アラーム／時計を利用する

1 ホーム画面で［アプリ］→［アラーム／時計］

アラーム一覧画面が表示されます。

アラームを追加する

指定した時刻をアラーム音でお知らせします。アラームは継続して保存できます。

1 **アラーム一覧画面で［アラーム追加］**

時刻設定画面が表示されます。時刻を設定します。

2 **［設定］→以下の項目を設定**

時刻	設定時刻を変更します。
繰り返し	曜日ごとに繰り返し同じ時刻にアラームがなるように設定します。
スヌーズ時間	スヌーズ時間を設定します。
アラーム音	アラーム音を設定します。
バイブ	「ON」にすると、アラーム音と同時にバイブレータが動作します。
タイトル	任意の名前を設定します。

3 **［保存］**

アラームが自動的にONになります。

memo

アラームを設定した時刻になると

- アラーム音が鳴ります。「解除」をタップするか、指定時間が経過すると鳴り止みます。
- アラームを設定した時刻に電源がOFFの場合は鳴りません。
- 通話中にアラームが動作する場合、すぐスヌーズになります。スヌーズ間隔に応じて再度アラームが動作します。

アラームON／OFFの設定

- 曜日が指定されていない限り、一度鳴ると翌日に鳴りません。
- アラーム一覧画面で、「 」／「 」をタップすると、アラームの有効／無効が設定できます。

アラームを設定する

アラームの動作を設定できます。

1 **アラーム一覧画面で［ ］**

2 **以下の項目を設定**

マナーモード中アラーム	マナーモード中にアラームを鳴らすかどうかを設定します。
アラームの音量	アラームの音量を設定します。
自動消音	自動でアラームを消音する時間を設定します。
サイドキーの動作	アラームが鳴っている時のサイドキーの動作を設定します。
アラーム音の設定	アラーム音を設定します。

世界各地の時刻を表示する

世界各地の都市の時刻を表示できます。

都市を追加する

1 ホーム画面で［アプリ］→［アラーム／時計］→［世界の時刻］

世界の時計の画面が表示されます。タイマーやストップウォッチ画面が表示されているときは、「世界の時刻」をタップしてください。

2 ［都市追加］→表示する都市を選択

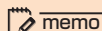
「都市名を入力してください」欄に全角カタカナ／漢字を1文字以上入力すると、都市・国を絞り込むことができます。

表示順を変更する

表示している都市の並び替えを行います。

1 移動したい都市の左側の「 」をロングタッチ

都市欄が赤くなったら任意の位置までドラッグしてドロップします。

memo

- 世界の時計の画面で［ ］→削除したい都市をタップ→［ ］をタップすると、世界の時計から都市を削除することができます。

Googleマップにアクセスする

1 世界の時計の画面で都市をタップ

該当の都市のGoogleマップ画面が表示されます。

タイマーで時間を計る

23時間59分59秒までのタイマーが設定できます。

1 ホーム画面で［アプリ］→［アラーム／時計］→［タイマー］

タイマー画面が表示されます。

2 ［開始］以外のエリアをタップ→時・分・秒を設定→［設定］

タイマー画面に戻ります。

3 ［開始］

カウントダウンを開始します。
カウントダウン中に「停止」をタップするとカウントを中断し、「開始」をタップすると中断したカウントダウンを再開します。「リセット」をタップすると、カウントダウンを最初からやり直すことができます。
カウンターが00:00:00になると、アラーム音が鳴ります。

4 ［OK］

タイマー画面が表示されます。

ストップウォッチで時間を計る

1/10秒単位で9時間59分59秒9まで計測できます。
最大で100件のラップ／スプリットタイムを表示することができます。

1 ホーム画面で［アプリ］→［アラーム／時計］→［ストップウォッチ］

ストップウォッチ画面が表示されます。

2 ［開始／ラップ］

計測を開始します。
スプリットタイムを計測したいときは「ラップ」をタップするたびにラップ／スプリットタイムを表示します。

3 ［停止／リセット］

計測を終了（中断）、リセットします。

memo

- 「停止」をタップ後、「開始」をタップすると、中断した計測を再開します。
- 「停止」をタップ後、「リセット」をタップすると、ストップウォッチの初期画面（0:00:00.0）に戻ります。
- スプリットタイムの表示は、1/100秒単位となります。

電卓で計算する

入力・結果ともに15桁までの四則計算ができます。計算式や結果は名前を付けて保存でき、編集も可能です。

1 ホーム画面で［アプリ］→［電卓］

「00」／「0」～「9」：数字を入力します。
「.」：小数点を入力します。
「C」：1文字を削除します。ロングタッチですべてを削除します。
「÷」／「×」／「－」／「＋」：式中では、足し算、引き算より、割り算、掛け算を先に計算します。
「%」：百分率計算をします。例：500［＋］5［%］…525が表示されます。
「＝」：計算結果を表示します。

memo

- 「＝」「%」がタップされるまでは計算結果を表示せず、四則演算の優先順位に従って計算を行います。
- 「＝」や「%」をタップした後に、「÷」／「×」／「－」／「＋」をタップすると、計算結果を使った計算を継続します。数字をタップすると、新たに計算を開始します。
- 画面を横表示にすると、関数電卓として使用することができます。

計算式や計算結果を保存／表示する

リスト	保存したタイトルと計算結果を一覧表示します。 選択すると計算式／計算結果の詳細画面が表示され、詳細画面をタップすると、その計算式／計算結果が電卓画面の入力式／計算結果欄に取り込まれます。演算記号をタップすると、追加計算が可能です。
保存	計算式や計算結果にタイトルを付けて保存します。

保存した計算式や計算結果を表示／編集する

1 電卓画面で［リスト］

2 計算式／計算結果をロングタッチ

タイトル変更	ロングタッチした計算式／計算結果のタイトルを変更します。
再編集	ロングタッチした計算式／計算結果を電卓画面の入力式／計算結果欄に取り込みます。演算記号をタップして、追加計算ができます。
削除	ロングタッチした計算式／計算結果を削除します。

ThinkFree Officeで文書を閲覧する

microSDメモリカード内の拡張子がdoc／docx（MS-Wordの文書ファイル）、xls／xlsx（MS-Excelのブック）、txt（テキストファイル）、pdf（PDFファイル）の文書の閲覧ができます。
例：PDFを閲覧する場合

1 ホーム画面で［アプリ］→［ThinkFree Office］

初回起動時は、使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

■本端末の文書を閲覧する場合

2 ［マイ文書］

3 フォルダを選択→文書ファイルを選択

文書の基本画面が表示されます。

■最近使った文書を閲覧する場合

2 ［最近使った文書］

3 文書ファイルを選択

文書の基本画面が表示されます。

■テンプレートを使用する場合

2 ［テンプレート］

3 使用するドキュメントの種類を選択

■オンライン上に保存した文書を閲覧する場合

2 ［オンライン］

3 サービスを選択→文書ファイルを選択

サービスにサインインする必要があります。
文書の基本画面が表示されます。

4 画面をタップ

① **ファイル名**
ファイル名が表示されます。

②
四角形、丸、線、矢印などのツールを利用して文書に注釈を付けたり、テキストを挿入します。

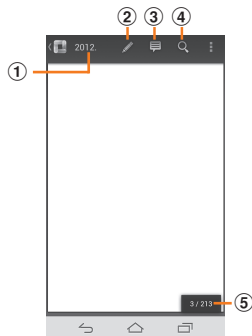
③
注釈のリストを表示します。

④
キーワードを入力するとテキスト内でキーワードを検索し、その単語を含めた文章を表示します。

⑤ 3 / 213
現在のページ／総ページ数を示しています。

※ 閲覧する文書ファイルによって表示される項目が異なる場合があります。

memo

- 画面をタップすると、サムネイルが表示されます。文書をタップすると、サムネイルは消えます。
- 画面をピンチイン／ピンチアウト（▶P.52）すると、拡大／縮小ができます。
- 本製品本体の向きを変えると、文書の向き（縦／横モード）も自動的に変わります。
- 画面を上下にスライドすると前／次のページに移動します。

新規に文書を作成する

1 ホーム画面で［アプリ］→［ThinkFree Office］

2 ［＋］

3 文書ファイルの種類を選択
基本画面が表示されるので、文書を編集します。

ThinkFree Officeのメニューを利用する

■オプションメニュー（PDFの閲覧）の場合

1 文書の基本画面で［ ⋮ ］

2 以下の項目をタップ

ファイル	ファイルを保存、送信します。またファイルのプロパティを表示します。
ズーム	画面の幅に合わせて、また画面を25％、50％、75％、100％でズームします。
ページを水平スクロール	ページを左右に移動します。
ページを垂直スクロール	ページを上下に移動します。
読み取りビュー	小さな画面で読みやすいように最適化して表示します。
ページビュー	ファイルの見た目どおりに表示します。
指定のページへ移動	指定したページに移動します。
ブックマーク	ページをブックマークします。

■コンテキストメニュー（PDFの閲覧）の場合

1 文書の一覧画面で文書のチェックボックスにチェックを付ける

2 以下の項目をタップ

名前の変更	ファイルの名前を変更します。
コピー	ファイルをほかのフォルダにコピーします。
移動	ファイルをほかのフォルダに移動します。
送信	Bluetooth®やメール、VEGAビームなどに送信します。
アップロード	ThinkFree OnlineやBox.netにアップロードします。
削除	ファイルを削除します。

mini Window機能を利用する

ミュージック、テキストメモ、ビデオプレーヤー、通話を、他の操作よりも優先させる機能です。
mini Windowを実行すると、該当機能のmini Windowがディスプレイ上の最上位に表示されます。
この状態で他のアプリを起動するなどの操作を行うと、mini Windowが半透明状態で表示され続けます。この半透明のmini Windowをタップすると、すぐにmini Windowの機能（ミュージックやテキストメモなど）を利用できるようになります。

■ミュージック、動画、テキストメモをmini Windowで利用する

1 ［ ］をロングタッチ

2 ［ミュージック］／［動画］／［テキストメモ］

選択した機能のmini Windowが表示されます。

3 mini Window上で、音楽の再生やメモの入力などの操作を行います。

■mini Window通話を利用する

通話状態を維持したまま、他の操作を行うことができます。

1 通話中に［ ］

mini Windowが表示されます。

■mini Windowの移動

1 mini Windowのタイトル部分をドラッグ

mini Windowの位置を移動できます。

■mini Windowの最小化／最大化（テキストメモの場合のみ）

1 mini Window上部の［ ］

■該当アプリの起動

1 mini Window上部の［ ］

便利な機能

パソコンと接続する

本製品とパソコンをmicroUSBケーブルで接続すると、本製品に装着したmicroSDメモリカードの読み書きをパソコンで行うことができます。
接続に利用できるケーブルは次の通りです。

- 「microUSBケーブル01」(別売)
- 「microUSBケーブル01 ネイビー」(別売)
- 「microUSBケーブル01 グリーン」(別売)
- 「microUSBケーブル01 ピンク」(別売)
- 「microUSBケーブル01 ブルー」(別売)

microSDメモリカードの内容をパソコンで表示する

本製品とパソコンをmicroUSBケーブルで接続して、パソコンのハードディスクと同じように、本製品に装着したmicroSDメモリカード内のデータや内部メモリ内のデータをパソコンで読み書きできます。
本製品とパソコンを接続する前に、USBドライバのインストールが必要です。USBドライバおよびインストールマニュアルについては、下記のホームページでご確認ください。
auのホームページ：
http://www.au.kddi.com/seihin/shuhenkiki/kiki/usb_driver.html
PANTECH SUPPORTページ：
http://jp.pantech.com/support/download.html

1 **パソコンが完全に起動している状態で、microUSBケーブルをパソコンのUSBポートに接続**

2 **microUSBケーブルを本製品の外部接続端子に接続**

- 本端末がパソコン側に自動で認識されます。
- パソコン側でデバイスドライバのインストールを要求される場合がありますが、キャンセルしてください。
- ステータスバーに が表示されます。
- 本端末に「USB接続の設定」画面が表示されます。
「USB接続の設定」画面が表示されない場合は、ステータスバーを下にドラッグまたはスライドして通知パネルを開き、「メディアデバイス(MTP)」「カメラ(PTP)」「SDカード」「PCデータモード」をタップしてください。
- 「USB接続の設定」画面では、以下を選択できます。

便利な機能

メディアデバイス(MTP)	内部メモリやmicroSDメモリカードのファイルをパソコンにインポート／エクスポートしたり、パソコンとメディアファイルを同期する場合に選択します。
カメラ（PTP）	撮影した画像をパソコンに転送する場合に選択します。
SDカード	microSDメモリカードを外部メモリとして読み込み、パソコンなどからファイルを転送する場合に選択します。
PCデータモード	PCツールでファイルを管理する場合に選択します。

memo

- USBストレージとして利用している間は、microSDメモリカードを利用するアプリケーションは使用できません。
- Windows® XP ／ Windows Vista® ／ Windows® 7以外のOSでの動作は、保証していません。
- パソコンとデータの読み書きをしている間にmicroUSBケーブルを取り外すと、データを破損するおそれがあります。取り外さないでください。
- 通信中に電池パックやmicroSDメモリカードを取り外さないでください。
- USBストレージとして利用している間は、パソコンの電源を切ったり、休止状態にしないでください。再度パソコンを起動しても、通信できない場合があります。
- 電池残量には十分ご注意ください。電池残量が少なくなると、パソコンのエラーやデータの破損などの原因となります。
- 必要なパソコン側の動作環境については、ホーム画面で［ ⋮ ］→［設定］→［USB接続の設定］→［ヘルプ］を参照してください。

シンプルモードを利用する

本製品には、よく使う機能だけを簡単な操作で利用できる「シンプルモード」が用意されています。
シンプルモードでは、スマートフォンを初めて使用するユーザー、あるいは単純に使用したい人のために、以前のフィーチャーフォンの使用経験を維持した新しい概念のロック、ホーム、メニュー画面を提供しています。
単純な動作性、直感的なアイコン、フォントサイズの向上によりユーザーの利便性を最大化させたPantech自慢の特別なモードでスマートフォンをより快適に使用することができます。
また、従来の携帯電話と同様な使い勝手のメインメニューも用意されています。

《メインメニュー画面》

シンプルモードにする

通常モードからシンプルモードに切り替えます。

1 ホーム画面で［ ⋮ ］→［設定］→［モード切替］→［シンプルモード］→［OK］

便利な機能

memo

- シンプルモードに切り替えると、設定が無効や変更になったり、一時解除される場合があります。
- シンプルモードに切り替えると、「画面のロック」が「シンプル」に変更されます。「シンプル」のロックを解除するには、レバーを上方向にドラッグします。

■ホーム画面の見かた

① **ステータスバー**
不在着信やメール受信などがあったとき、通知アイコンが表示されます。また、電波状態や電池残量など本製品の状態や設定を確認できるステータスアイコンが表示されます。
ステータスバーを下にスライドさせると、通知／ステータスパネルが開き、通知アイコンの詳細内容とかんたん設定（▶P.249）アイコンが表示されます。

《シンプルモードのホーム画面》

② **情報パネル**
日常生活に密着したウィジェットが表示されます。時刻、カレンダー、天気のウィジェットがあります。
天気には、現在地の天気／最低気温／最高気温、明日の天気／最低気温／最高気温が表示されます。地域が設定されていない場合、タップすると現在地情報を取得し、現在地の天気情報が表示されます。ローミング時には天気情報を取得できません。

③ **ブラウザ**
ウェブサイト一覧画面を表示できます。

④ **クイックダイヤル**
よく利用する相手を最大8件、写真とともに登録でき、かんたんに電話をかけることができます。（▶P.250）

⑤ **ショートカット**
お好きなアプリケーションのショートカットを登録できます。

⑥ **クイックメニュー**
電話、メールを表示・起動します。

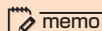
⑦ **メインメニュー**
各種機能を利用するためのメインメニュー（▶P.250）を表示します。

通常モードに戻す

すべての機能を使いたい場合や、詳細な設定をしたい場合は、通常モードに切り替えます。

1 シンプルモードのホーム画面で［メニュー］

2 ［設定］→［モード切替］→［通常モード］→［OK］

memo

- 通常モードに切り替えると、設定が無効や変更になったり、一時解除される場合があります。

シンプルモードで利用できる機能

シンプルモードでは、ほとんどの機能が簡易版になり、簡単な操作でご利用いただけますが、一部の機能が利用できなくなります。シンプルモードの各機能は、次のメニュー階層に従って操作してください。

■かんたん設定

ステータスバーを下にスライドさせると、かんたん設定アイコンが表示されます。

マナー	マナーモードをON／OFFします。
Wi-Fi	Wi-Fi®機能をON／OFFします。
明るさ	画面の明るさを調整します。
VEGA Motion	VEGA Motion機能をON／OFFします。
テザリング	テザリングをON／OFF します。
省電力	省電力機能をON／OFF します。

■クイックメニュー

クイックダイヤル	
ブラウザ	
ショートカット	
通話	電話
	通話履歴
	お気に入り
メール	Eメール
	SMS
	PCメール
	Gmail

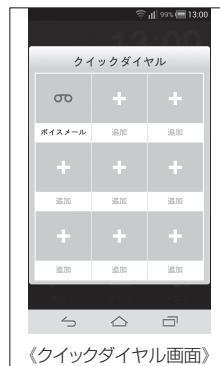
■ウィジェット

時刻	タップすると、アラーム／時計が表示されます。
日付	タップすると、カレンダーが表示されます。
天気	天気の情報が表示されます。

■メインメニュー

電話帳	電話帳画面を表示します。
メール	Eメール、SMS、PCメール、Gmailを利用できます。
カメラ	カメラ画面を表示します。
メディア	ギャラリー、ミュージック、動画などを利用できます。
ブラウザ	ブラウザ画面を表示します。
アプリケーション	アプリケーションの一覧画面を表示します。
ツール	アラーム/時計、テキストメモなどを利用できます。
設定	設定画面を表示します。

クイックダイヤルを利用する

クイックダイヤルには、よく利用する連絡先を8件まで写真とともに登録できます。
クイックダイヤルの連絡先電話番号は、1件ずつとなります。

《クイックダイヤル画面》

電話帳からクイックダイヤルに登録する

1 ホーム画面で［クイックダイヤル］

クイックダイヤル画面が表示されます。

2 ［追加］

電話帳が表示されます。

3 登録する連絡先を選択

登録が完了します。
電話帳に連絡先の電話番号が2件以上登録されている場合は、クイックダイヤルに登録する電話番号をタップします。

電話帳にない連絡先をクイックダイヤルに登録する

1 **ホーム画面で［クイックダイヤル］**
クイックダイヤル画面が表示されます。

2 **［追加］**
電話帳登録画面が表示されます。

3 **［新規作成］**

4 **新しい連絡先を登録する（****▶P.98「電話帳に登録する」****）**

5 **登録した連絡先を選択**

memo

- 写真登録のない連絡先は、クイックダイヤル画面にはアイコンが表示されます。名前が登録されていない連絡先は、電話番号が表示されます。
- 電話番号が1件も登録されていない連絡先は、クイックダイヤルに登録できません。

クイックダイヤルを使用する

1 **ホーム画面で［クイックダイヤル］**
クイックダイヤル画面が表示されます。

2 **連絡先を選択**
連絡先に発信します。

memo

- 写真の追加や電話番号の変更など、クイックダイヤルに登録した情報の一部分を変更したい場合は、「電話帳」を編集します。ホーム画面で［メニュー］→［電話帳］→連絡先をロングタッチ→［連絡先を編集］と操作すると、電話帳の編集が可能です。

ブラウザを利用する

シンプルモードのブラウザには、ブックマークの中から8件までよくアクセスするウェブサイトを登録することができます。ブラウザを起動したときにウェブサイトを選択すると、アクセスすることができます。
アドレスバーにキーワードを入力してウェブサイトを検索したり、URLを直接入力してウェブサイトを表示することもできます。

ブラウザにウェブサイトを登録する

1 ホーム画面で［ブラウザ］

ウェブサイト一覧画面が表示されます。

2 ［追加］

ブックマークの一覧が表示されます。

3 登録するブックマークを選択

登録が完了します。

登録されたウェブサイトにアクセスする

1 ホーム画面で［ブラウザ］

ウェブサイト一覧画面が表示されます。

2 ウェブサイトを選択

ウェブサイトにアクセスします。

ショートカットを追加する

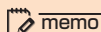
シンプルホームでショートカットを追加したり、削除したりできます。

1 シンプルモードのホーム画面で［ショートカット］

お気に入り画面が表示されます。

2 ［追加］→ショートカットを選択

選択したショートカットが追加されます。

memo

- お気に入り画面で［編集］をタップすると、ショートカットを削除することができます。
- ショートカットを追加する場合、すでにショートカットに追加されたショートカットは表示されません。

機能設定

設定メニューを表示する

設定メニューから各種機能を設定、管理します。壁紙や着信音のカスタマイズや、セキュリティの設定、データの初期化などをすることができます。

1 ホーム画面で［ ⋮ ］→［設定］

設定メニュー画面が表示されます。

PANTECH設定	モード切替	「シンプルモード」／「通常モード」に切り替えます。
	ユーザーオリジナル設定	画面ロック、ダイヤル、壁紙などの設定を行います。
	デフォルトのプログラム	アプリケーション選択画面で、「常にこの操作で使用する」にチェックを付けたプログラム（デフォルトのプログラム）を解除します。
モバイルネットワーク	Wi-Fi	▶P.270「無線LAN（Wi-Fi®）機能をオンにする」
	Bluetooth	▶P.278「Bluetooth®機能をオンにする」
	データ使用	モバイルデータ通信の設定や、通信量の確認などを行います。
	通話設定	▶P.256「通話に関する設定をする」
	その他	機内モード、モバイルネットワーク設定など通信に関する設定を行います。
端末	サウンド	▶P.258「音の設定をする」
	ディスプレイ	▶P.259「表示の設定をする」
	メモリ	▶P.259「メモリ」
端末	USB接続の設定	端末をUSBでパソコンに接続する時の設定を行います。
	電池	電池残量に関する設定を行います。
	アプリ	▶P.260「アプリの設定をする」
	省電力モード	省電力に関する設定を行います。
	VEGA Motion	▶P.231「VEGA Motionを利用する」
個人設定	アカウントと同期	▶P.260「アカウントと同期の設定をする」
	位置情報サービス	▶P.261「位置情報サービスの設定をする」
	セキュリティ	▶P.262「セキュリティの設定をする」
	言語と入力	▶P.263「使用する言語やソフトウェアキーボードの設定をする」
	バックアップとリセット	▶P.265「バックアップとリセットの設定をする」
システム	卓上ホルダ	本製品を卓上ホルダに接続すると卓上時計を表示するかどうかを設定します。
	日付と時刻	▶P.266「日付と時刻を設定する」
	ユーザー補助	▶P.266「ユーザー補助の設定をする」
	開発者向けオプション	開発者向けの機能設定を行います。
	端末情報	▶P.267「端末情報に関する設定をする」

PANTECH設定

モードを切り替える

簡単な操作で使用できる「シンプルモード」と、すべての機能を使える「通常モード」からホームスクリーンを選ぶことができます。

1 設定メニュー画面→［モード切替］

2 以下の項目をタップ

シンプルモード	▶P.247「シンプルモードを利用する」
通常モード	▶P.249「通常モードに戻す」

ユーザーオリジナル設定

画面ロック、ダイヤル、壁紙などの設定ができます。

1 設定メニュー画面→［ユーザーオリジナル設定］

2 以下の項目をタップ

画面ロック	「なし」「ビジュアル」「モダン」「スライド」「フェイスアンロック」「パターン」「PIN」「パスワード」のいずれかを選択します。
ダイヤル	ダイヤル画面を設定します。
壁紙	壁紙を設定します。
着信音	着信音を設定します。
通知音	通知音を設定します。
ナビゲーションバー	ナビゲーションバーを設定します。

デフォルトのプログラム

「ホーム」「検索」「ブラウザ」「Eメール」「マルチメディア」「ダイヤル」「その他」のデフォルトのアプリケーションを解除します。

1 設定メニュー画面→［デフォルトのプログラム］

2 解除したいデフォルトプログラムの［解除］

モバイルネットワーク

通話に関する設定をする

留守番電話、着信転送などネットワークサービスを設定します。

1 設定メニュー画面→［通話設定］

2 以下の項目をタップ

ボイスメール	▶P.292「お留守番サービスEXを利用する（オプションサービス）」
通話中オプション	通話中に「⌂」を選択したときに通話状態画面を表示するかどうかを設定します。
着信転送	▶P.287「着信転送サービスを利用する（標準サービス）」
その他	「ガイダンス変更」「割込電話開始」「割込電話停止」「お客さまセンター」を設定します。
番号付加設定	市外局番を設定します。
着信／拒否設定	着信拒否に関する設定を行います。
簡易留守メモ	簡易留守メモに関する設定を行います。

memo

通話時間について

- 通話が途切れるなど正常に終了できなかった場合や国際電話をかけた場合など、通話時間が更新されない場合があります。

着信を拒否する

自動的に着信を拒否する条件を設定できます。着信を拒否した場合は、着信音・バイブレータの鳴動は行われません。

1 設定メニュー画面→［通話設定］→［着信／拒否設定］→［着信拒否設定］

2 「着信／拒否」にチェックする→［着信／拒否（指定番号着信）］

3 以下の項目をタップ

指定番号着信	指定した番号のみ着信します。
全ての番号拒否	全ての番号の着信を拒否します。
指定番号拒否設定	指定した番号のみ着信拒否します。

memo

- 着信転送サービスのフル転送を設定している場合は、着信拒否に設定しても着信転送サービスに転送されます。
- 割込通話サービスの割込通話は、着信拒否できません。

着信／拒否する指定番号を登録する

特定の電話番号を指定して、その番号からの着信を許可／拒否します。

1 **設定メニュー画面→［通話設定］→［着信／拒否設定］→［指定番号着信設定］／［指定番号拒否設定］**

2 **［+］**

電話帳	連絡先から着信／拒否する電話番号を選択して登録します。
通話履歴	通話履歴から着信／拒否する電話番号を選択して登録します。
番号入力	着信／拒否する電話番号を入力して登録します。

機内モードを設定する

機内モードを設定すると、ワイヤレス機能（電話、パケット通信、Wi-Fi® 機能、Bluetooth® 機能）がすべてオフになります。

1 **設定メニュー画面→［その他］**

2 **［機内モード］**

memo

- 携帯電話の使用が禁止されている場所（航空機内、医療機器や電子機器のそばなど）では、電源を切ってください。
- 機内モードを有効に設定すると、電話を受けることはできません。また、メールの送受信、無線LAN（Wi-Fi®）機能、Bluetooth® 機能による通信などもご利用になれません。ただし、無線LAN（Wi-Fi®）機能、Bluetooth® 機能については機内モード設定中に再び有効にすることができます。

端末

音の設定をする

マナーモードの設定、音声着信音、メール通知音、操作音、バイブレータ（振動）、メディア再生音量などを変更できます。

1 設定メニュー画面→［サウンド］

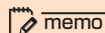
2 以下の項目をタップ

マナーモード	▶P.258「マナーモードを設定する」
バイブ	バイブレータのオン／オフを設定します。
音量	着信音や音楽、動画再生時などの音量を設定します。
着信音	音声着信音に設定するデータを選択して登録します。
通知音	メール通知音に設定するデータを選択して登録します。
ダイヤルパッド操作音	電話をかけるときのタップ操作音を鳴らすかどうかを設定します。
タップ操作音	タップするときの音の設定を行います。
画面ロック音	画面のロック／ロック解除時に音を鳴らすかどうかを設定します。
タップバイブ	ナビゲーションバーを選択するとバイブ操作できます。

マナーモードを設定する

マナーモードを選択するだけで、公共の場所で周囲の迷惑とならないように設定できます。

1 設定メニュー画面→［サウンド］→［マナーモード］→［OFF ／バイブ／ミュート］

memo

- 自動車または原動機付自転車を運転中の携帯電話の使用は、交通事故の原因となり、危険なため法律で禁止されています。
- 「バイブ」や「ミュート」を設定中でもカメラのシャッター音や録画開始／終了音は鳴動します。
- 「バイブ」や「ミュート」を設定中でもムービーやミュージックの再生では消音されません。
- ▯を長押し→［ ］／［ ］でも同様に操作できます。

表示の設定をする

アニメーション表示、画面の向き（縦横表示の切り替え）、画面消灯など、画面表示に関する設定を行います。

1 設定メニュー画面→［ディスプレイ］

2 以下の項目をタップ

画面の明るさ	画面の明るさを設定します。
壁紙	壁紙を設定します。
画面の自動回転	本製品の向きに合わせて、自動的に縦表示／横表示を切り替えるかどうかを設定します。
画面消灯までの時間	操作が行われない状態で画面が切れる時間を設定します。
文字タイプ	文字タイプを設定します。
フォントサイズ	フォントサイズを設定します。
お知らせLED	不在着信、未読のメールやメッセージがある場合にLEDが点滅するかどうかを設定します。

memo

- ディスプレイの照明の明るさを暗く、点灯時間を短くすることで、電池の消費を軽減できます。

メモリ

メモリの空き容量を確認したり、microSDメモリカードのマウントの解除や、microSDメモリカード内データを消去したりできます。

接続の設定をする

外部機器と接続するための設定を行います。

1 設定メニュー画面→［USB接続の設定］

2 以下の項目をタップ

メディアデバイス（MTP）	内部メモリやmicroSDメモリカードのファイルをパソコンにインポート／エクスポートしたり、パソコンとメディアファイルを同期する場合に選択します。 必要なパソコン側の動作環境は次のとおりです。 • Windows PC - Windows XP Service Pack 2 or later. - Windows Media player 10 or later. • Mac PC - Mac OS X 10.5 or later • Linux PC - GMtp tool
カメラ（PTP）	撮影した画像をパソコンに転送する場合に選択します。
SDカード	microSDメモリカードを外部メモリとして読み込み、パソコンなどからファイルを転送する場合に選択します。
PCデータモード	PCツールでファイルを管理する場合に選択します。
USB接続時に設定を表示します	本製品にmicroUSBケーブルを接続したときに設定の画面を表示するかどうかを設定します。

アプリの設定をする

アプリケーションに関する設定を行います。また、インストール済みのアプリケーションの管理をします。

1 **設定メニュー画面→［アプリ］**

2 **以下の項目をタップ**

ダウンロード済み	インストールされているアプリケーションに関して、アンインストールやキャッシュの消去、強制終了などができます。
実行中	実行中のサービスを表示します。 • サービスを選択→［停止］と操作すると、実行中のサービスを停止することができます。
すべて	すべてのアプリケーションに関して、アンインストールやキャッシュの消去、強制終了などができます。

memo

アプリケーションの管理について

- Google Playなどからインストールしたアプリケーションを選択すると「アンインストール」が表示されます。アンインストールを実行するとアプリケーションは削除されます。

個人設定

アカウントと同期の設定をする

オンラインサービスのアカウント管理や、データ同期に関する基本設定を行います。

自動同期を設定する

本製品とGoogleオンラインサービスの連絡先、カレンダー、Gmailなどの自動同期を設定します。

1 **設定メニュー画面→［アカウントと同期］**

2 **［ ON ］**

3 **同期するアカウントを選択**

4 **同期する項目にチェックを付ける**

手動で同期する

アカウントと同期の設定が［ OFF ］のときに、登録されたアカウントを同期します。

1 **設定メニュー画面→［アカウントと同期］**

2 **同期するアカウントを選択**

3 **同期する項目を選択**

アカウントを追加する

1 設定メニュー画面→［アカウントと同期］→［アカウントを追加］

2 追加するアカウントを選択

3 画面の指示に従って操作する

アカウントを削除する

1 設定メニュー画面→［アカウントと同期］→削除するアカウントを選択

2 ［ ⋮ ］→［アカウントを削除］→［アカウントを削除］

memo

- 他のアプリケーションで使用されているアカウントは削除できません。削除するには、「データの初期化」が必要です。

位置情報サービスの設定をする

GPS機能のオン／オフなどの位置情報に関する設定を行います。

1 設定メニュー画面→［位置情報サービス］

2 以下の項目をタップ

Googleの位置情報サービス	Wi-Fi® やモバイルネットワークなどのデータを利用して、おおよその現在地を特定することをアプリに許可します。
GPS機能	アプリケーションがGPS機能を利用することを許可するかどうかを設定します。
位置情報とGoogle検索	Googleが検索結果や位置情報を使用することを許可するかどうかを設定します。

memo

GPS機能の使用について

- 電池の消費を節約する場合は、無効に設定してください。
- 電波が良好な場所でご利用ください。

セキュリティの設定をする

各種パスワードなどの設定を行います。

1 **設定メニュー画面→［セキュリティ］**

2 **以下の項目をタップ**

画面のロック	「なし」「ビジュアル」「モダン」「スライド」「フェイスアンロック」「パターン」「PIN」「パスワード」のいずれかを選択します。
ロック詳細設定	ロック画面に表示する壁紙やショートカットを設定します。
顔認識の精度を改善	顔写真を追加で撮影し、認識の精度を高めます。
パターンを表示する	パターン操作時に、緑の○を表示するかどうかを設定します。
自動ロック	何秒間操作されないと、ロックがかかるかを設定します。
電源ボタンでロックする	電源ボタンを押したとき、ロックがかかるかを設定します。
タップバイブ	画面をタップしたときに、振動で通知するかどうかを設定します。
テキスト表示	ロック画面にテキストを表示するかどうかを設定します。また、表示する内容を編集することもできます。

au Micro IC Cardロック設定	au Micro IC Cardをロック	起動時にPINコードを入力するかどうかを設定します。 **PINコードを入力→［OK］**
	au Micro IC Card PINの変更	PINコードを変更します。au Micro IC Card PINを変更する場合は、「au Micro IC Cardをロック」を有効に設定してください。 **1.古いPINコードを入力→［OK］** **2.新しいPINコードを入力→［OK］** **3.確認のためもう一度新しいPINコードを入力→［OK］**
パスワードを表示する	ロック解除時に文字を表示するかどうかを設定します。	
端末管理者	端末管理者を表示または無効にします。	
提供元不明のアプリ	Google Playで提供されるアプリケーション以外のアプリケーションのインストールを許可するかどうかを設定します。	
信頼できる認証情報	安全な証明書と他の認証情報へのアクセスをアプリケーションに許可するかどうかを設定します。	
SDカードからインストール	証明書をmicroSDメモリカードからインストールします。	
認証ストレージの消去	認証情報ストレージのすべてのコンテンツをクリアして、パスワードをリセットします。	

※ 表示される項目は「画面のロック」の設定により異なります。

memo

ロック設定について

- 画面ロック中､ロックを解除していない状態でも「緊急通報」をタップして､110番(警察)､119番(消防機関)､118番(海上保安本部)､157番（お客さまセンター）への電話はかけられます。画面ロックに｢ビジュアル｣／｢モダン｣／｢スライド｣が設定されている場合､「緊急通報」は表示されません。
- ロック解除方法をパターンに設定している場合、画面ロック解除時に入力に5回失敗すると､｢パターンを忘れた場合」が表示されます。「パターンを忘れた場合」をタップし、Googleアカウントでログインしてロックを解除すると、新しいパターンを設定できます。

ロック解除方法について

- パスワードは、4～16桁のお好みの英数字・記号に設定できます。

au Micro IC Cardロック設定について

- PINコードについては､｢PINコードについて｣（▶P.24）をご参照ください。

使用する言語やソフトウェアキーボードの設定をする

表示言語の設定、文字入力関連の設定を行います。

1 設定メニュー画面→［言語と入力］

2 以下の項目をタップ

言語	日本語、英語、韓国語、中文（簡体）、中文（繁体）、ポルトガル語の表示を切り替えます。
スペルチェッカー	スペルチェッカーの利用有無、および言語等を設定します。
ユーザー辞書	ユーザー辞書を表示します。 ・［+］→単語などを入力→［OK］と操作すると、単語リストに単語などを登録できます。 ・登録した単語などを編集する場合は単語を選択し、削除する場合は［ ✖ ］と操作します。
デフォルト	デフォルトのキーボードと入力方法を選択します。
Android キーボード	▶P.81「文字入力の設定をする」
DioPen韓／中／葡 IME	▶P.82「DioPen 韓／中／葡 IMEの設定をする」
Google音声入力	使用する場合はタップしてチェックマークを付けます。また、各種設定を行います。
Inspirium 手書きIME	▶P.83「Inspirium 手書きIMEの設定をする」
iWnn IME	▶P.84「iWnn IMEの設定をする」

音声入出力の設定をする

Google音声認識を設定したり、テキスト読み上げの設定をします。

1 設定メニュー画面→［言語と入力］

2 以下の項目をタップ

音声検索	言語	音声入力する言語を設定します。
	セーフサーチ	音声入力で検索する場合に、青少年に不適切なカテゴリに属する出会い系サイトやアダルトサイトなどのウェブページを規制するレベルを設定します。
	不適切な語句をブロック	音声認識の不適切な語句をブロックするかどうかを設定します。
テキスト読み上げの出力	優先するエンジン	Googleテキスト読み上げエンジンを設定します。 Google Playからデータをインストールすることができます。
	音声の速度	テキストを読み上げる速度を設定します。
	サンプルを再生	音声合成の短いサンプルを再生します。

memo

- 音声入力する言語により､｢セーフサーチ｣｢不適切な語句をブロック｣が利用できない場合があります。
- テキスト読み上げを利用する場合は、あらかじめ音声データをインストールする必要があります。また、テキスト読み上げは「言語」が「日本語」の場合には利用できないことがあります。
- microSDメモリカードに音声データをインストールした状態で、ケータイアップデートなどのソフトウェアの更新を実行すると、テキスト読み上げの動作が不安定になる場合があります。ソフトウェアの更新を実行した場合は、microSDメモリカードにインストールされている音声データを削除し、再度音声データのインストールを行ってください。
- インストールした音声データを削除するには、「データの初期化」が必要です。

マウス／トラックパッドの設定をする

Bluetooth®デバイス（マウスやトラックパッド）のポインタ速度の設定を行います。

1 設定メニュー画面→［言語と入力］→［ポインタの速度］

2 ポインタ速度の設定を行い、［OK］

バックアップとリセットの設定をする

データのバックアップ／復元を行ったり、お買い上げ時の状態に戻します。

1 **設定メニュー画面→［バックアップとリセット］**

2 **以下の項目をタップ**

データのバックアップ	本体の設定とアプリケーションデータのバックアップを行います。
バックアップアカウント	バックアップ用のアカウントを設定します
自動復元	アプリケーションの再インストール時にバックアップした設定やそのほかのデータを復元します。
データの初期化	▶P.265「本製品を初期化する」

本製品を初期化する

本製品をお買い上げ時の状態に戻します（リセット）。この操作を行うと、ご購入後に本製品にお客様がインストールしたアプリケーションや登録したデータはすべて削除されます。

1 **設定メニュー画面→［バックアップとリセット］→［データの初期化］**

2 **［携帯端末をリセット］**

3 **［すべて消去］**

memo

- データの初期化を実行すると本体内のすべてのデータが消去されます。
- データの初期化を実行する前に本体内のデータをバックアップすることをおすすめします。
- 「SDカード内データを消去」を選択するとmicroSDメモリカード内のデータも消去されます。
- 以下の項目は、データの初期化を実行してもリセットされません。
  - au Micro IC Cardロック設定

システム

日付と時刻を設定する

日付と時刻の表示形式の設定などをします。

1 設定メニュー画面→［日付と時刻］

2 以下の項目をタップ

日付と時刻の自動設定	ネットワークから日付・時刻情報を取得して自動的に設定します。
タイムゾーンを自動設定	ネットワークを介してタイムゾーンの情報を取得し、自動的に設定します。
日付設定	日付の設定を行います。
時刻設定	時刻を設定します。
タイムゾーンの選択	タイムゾーンの設定を行います。
24時間表示	時刻の表示方法を、24時間表示にするかどうかを設定します。
日付形式	日付の表示形式を設定します。

ユーザー補助の設定をする

通話終了時の動作や、ユーザー補助サービスを設定します。
お買い上げ時はオプションが登録されていません。ユーザー補助オプションを利用する場合は、あらかじめオプションをGoogle Playからダウンロードして登録する必要があります。
オプションを登録後、以下の操作でオプションを設定します。

1 設定メニュー画面→［ユーザー補助］

ユーザー補助アプリケーションをインストールするかどうかの確認画面が表示された場合は、「OK」を選択してユーザー補助アプリケーションをインストールしてください。

2 以下の項目をタップ

TalkBack	ユーザー補助オプションを利用するかどうかを設定します。
大きい文字サイズ	文字サイズを大きくします。
電源ボタンで通話を終了	通話中に を押した場合に通話を終了するかどうかを設定します。
画面の自動回転	本端末を回転した場合、画面表示の縦横を自動的に切り替えるかどうかを設定します。
パスワードの音声出力	入力したパスワードを音声で読み上げるかどうかを設定します。
押し続ける時間	タッチの感度を「短め」、「中」、「長め」から選択します。
ウェブスクリプトをインストール	アプリからWebコンテンツへのアクセスを容易にするスクリプトをGoogleからインストールするかどうかを設定します。

端末情報に関する設定をする

電話番号や電波状態などの情報を確認できます。ソフトウェア更新もここから行います。

1 設定メニュー画面→［端末情報］

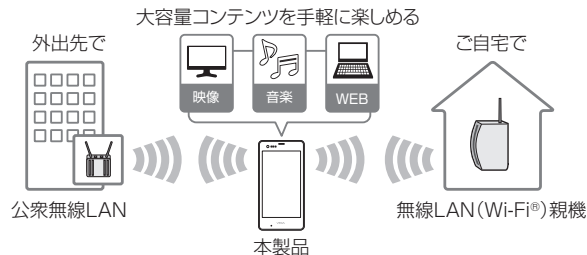
2 以下の項目をタップ

ソフトウェアアップデート	▶P.319「ソフトウェアを更新する」
PANTECHアプリのアップデート	PANTECHアプリのアップデートの実行やネットワーク設定ができます。
端末の状態	電池残量や電話番号などの、端末の状態を確認できます。
法的情報	オープンソースライセンスやGoogle利用規約を表示します。
モデル番号	本端末のモデル番号（機種名）を表示します。
Androidバージョン	本端末で稼働中のAndroidバージョンを表示します。
ベースバンドバージョン	本端末で稼働中のベースバンドバージョンを表示します。
カーネルバージョン	本端末で稼働中のAndroid で使用されているカーネルのバージョンを表示します。
ビルド番号	本端末で稼働中のAndroid のビルド番号を表示します。

データ通信

無線LAN（Wi-Fi®）機能を利用する

無線LAN（Wi-Fi®）機能を利用するには

家庭内で構築した無線LAN（Wi-Fi®）環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。
無線LAN（Wi-Fi®）環境を利用してインターネット接続するには、あらかじめ接続するアクセスポイント（無線LAN（Wi-Fi®）親機）の登録が必要です。

memo

- 無線LAN（Wi-Fi®）ご利用中は、電池の消耗が増加します。ご利用の際は電池残量にご注意ください。
- Bluetooth®と無線LAN（Wi-Fi®）は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下や、ネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LAN（Wi-Fi®）のいずれかの使用を中止してください。
- 無線LAN（Wi-Fi®）は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- すべての公衆無線LANサービスとの接続を保証するものではありません。

■ご用意いただくもの

■ご自宅などでご利用になる場合

インターネット回線と無線LAN（Wi-Fi®）対応のアクセスポイント（無線LAN（Wi-Fi®）親機）が必要です。また、登録には、アクセスポイント側で設定したネットワークSSID（ネットワーク名、SSID、ESS-ID）とパスワード（WEPキー、WPAキー、事前共有キー、暗号化キー）が必要です。

■外出先などでご利用になる場合

外出先で公衆無線LANをご利用になる場合は、あらかじめ外出先のアクセスポイント設置状況を、公衆無線LANサービス提供者のホームページなどでご確認ください。また、サービス提供者との契約、認証用のIDとパスワードなどが必要となる場合があります。

無線LAN（Wi-Fi®）機能をオンにする

1 ホーム画面で［ ］→［設定］→［Wi-FiをONにする］

Wi-Fi®機能をONにすると、本製品は利用可能な無線ネットワークのスキャンを開始し、以前に接続したことのあるネットワークSSIDが見つかると、そのネットワークに接続します。
接続が完了すると、ステータスバーにある［ ］が表示されます。

memo

- Wi-Fi®機能を利用するには、上記の操作の前に、アクセスポイント（無線LAN（Wi-Fi®）親機）を登録し、一度は接続する必要があります。（▶P.271「アクセスポイント（無線LAN（Wi-Fi®）親機）を登録し、接続する」）
- Wi-Fi®機能のON／OFFは、かんたん設定（▶P.249）でも行うことができます。
- Wi-Fi®機能を利用しないときは、Wi-Fi®機能を無効にしてください。これにより、電池を長持ちさせることができます。
- 機内モードを有効にすると、「Wi-Fi」が自動的に無効になります。ただし、機内モード中でも手動で「Wi-Fi」を有効にできます。

アクセスポイント（無線LAN（Wi-Fi®）親機）を登録し、接続する

1 ホーム画面で［ ］→［設定］

2 ［Wi-Fi］

3 「Wi-Fi」をONにする

無線LAN（Wi-Fi®）圏内のネットワークSSIDが一覧表示されます。

4 ネットワークSSIDを選択

ネットワークSSIDは、アクセスポイント（無線LAN（Wi-Fi®）親機）によっては、ネットワーク名、SSID、ESS-IDなどと呼ばれています。

《SSID一覧画面》

■ セキュリティなしの場合

5 ［接続］

接続が完了すると、ステータスバーにある［ ］が表示されます。

■ セキュリティが設定されている場合

5 パスワードを入力

パスワードは、アクセスポイントや認証・暗号化方式によっては、WEPキー、WPAキー、事前共有キー、暗号化キーなどと呼ばれています。

6 ［接続］

接続が完了すると、ステータスバーにある［ ］が表示されます。

memo

- Wi-Fi®設定画面で接続中のネットワークSSIDをタップすると、接続状況、セキュリティ、電波強度、リンク速度、IPアドレスなどの詳細情報が表示されます。
- 「パスワードを表示する」にチェックを付けると、入力したパスワードを画面で確認できます。

アクセスポイント（無線LAN（Wi-Fi®）親機）を手動で登録する

アクセスポイント（無線LAN（Wi-Fi®）親機）側の設定で、「無線ネットワーク名の隠ぺい」（ANY 接続拒否、SSIDの隠ぺい、SSIDステルス）が有効になっていると、Wi-Fi®設定画面にそのネットワークSSID名が表示されません。手動で登録します。
また、Wi-Fi®ネットワークの圏外にあるアクセスポイントの情報を保存する場合にも、手動で登録します。

1 Wi-Fi®画面で［ネットワークを追加］

2 ネットワークSSIDを入力

ネットワークSSIDは、アクセスポイントによっては、ネットワーク名、SSID、ESS-IDなどとも呼ばれています。

3 セキュリティ方式を選択

項目	説明
なし	セキュリティを設定していないネットワークSSIDを登録する場合です。
WEP	パスワード欄が表示されるので、WEPキー（暗号化キー）を入力します。
WPA/WPA2 PSK	パスワード欄が表示されるので、事前共有キー（WPAキー）を入力します。
802.1x EAP	EAP方式、フェーズ2認証、CA証明書、ユーザー証明書、ID、匿名ID、パスワードを入力します。

4 [保存]

Wi-Fi® ネットワークを簡単に設定する

AOSS™またはWPSに対応した無線LAN（Wi-Fi®）のアクセスポイントを利用して接続する場合は、簡単な操作で接続できます。

1 ホーム画面で［ ］→［設定］→［Wi-Fi］→［Wi-Fiかんたん設定］

■ AOSS™方式の場合

2 [AOSS方式]

- 初回起動時は、使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

3 [AOSS™ボタン]

4 アクセスポイント側でAOSS™ボタンを押す→［OK］

■ WPS方式の場合

2 [WPS方式］→登録方法を選択

- 「APボタンで接続」を選択した場合は、アクセスポイント側で専用ボタンを押します。
- 「PINで接続」を選択した場合は、本製品に表示されたPINコードをアクセスポイント側で入力→[OK]と操作します。
- AOSS™方式は2.4GHz帯のみに対応しています。
- Wi-Fi®対応機器によっては、AOSS™方式での接続ができない場合があります。接続できない場合はWPS方式または手動で接続してください。

無線LAN（Wi-Fi®）の詳細を設定する

オープンネットワークの通知を設定する

Wi-Fi®がONのとき、本製品がセキュリティなしのWi-Fi®ネットワークの圏内に入ったとき、ステータスバーに通知アイコンを表示するかしないかを設定します。お買い上げ時には、ONに設定されています。

1 Wi-Fi®画面で［ ］→［詳細設定］→［ネットワークの通知］

Wi-Fi®を一時停止するタイミングを設定する

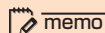
Wi-Fi®通信が行われなくなってから、どれくらいの時間でWi-Fi®機能をOFFにするかを設定します。

1 Wi-Fi®画面で［ ］→［詳細設定］

2 ［スリープ時にWi-Fi接続を維持］

3 以下の項目をタップ

項目	説明
常に使用する	Wi-Fi®のスリープを無効にします。
電源接続時にのみ使用する	ACアダプタやDCアダプタなどを接続して充電しているときは、Wi-Fi®機能をスリープさせません。
使用しない（データ使用量が増加）	アクセスポイント接続中には、バックライトが消灯してから15分後にWi-Fi®機能をOFFにします。アクセスポイントに接続していない場合は、バックライトが消灯してから2分後にWi-Fi®機能をOFFにします。

memo

・ スリープを無効にすると、電池の消費量が増加します。

Wi-Fiの詳細設定をする

1 Wi-Fi®画面で［ ］→［詳細設定］

2 以下の項目をタップ

項目	説明
ネットワークの通知	オープンネットワークを検出した場合に通知するかどうかを設定します。
スリープ時にWi-Fi接続を維持	スリープ状態のときにWi-Fi®接続状態を維持するかどうかを設定します。
Wi-Fi周波数帯域	Wi-Fi®接続時に使用する周波数帯域を設定します。［自動］、［5 GHzのみ］、［2.4 GHzのみ］を選択できます。
MACアドレス	MACアドレスが表示されます。
IPアドレス	本製品が使用するIPアドレスが表示されます。

テザリング機能を利用する

テザリングについて

テザリングとは一般的に、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使い、3G／LTEデータ通信や無線LAN（Wi-Fi®）通信、WiMAXネットワークを通じて無線LAN（Wi-Fi®）対応機器、USB対応機器をインターネットに接続させることをいいます。
テザリング機能について詳しくは、ホーム画面で［ ⋮ ］→［設定］→［その他］→［テザリングとポータブルアクセスポイント］→［ヘルプ］でヘルプをご参照ください。

memo

- 海外のネットワークを利用中は、テザリング機能を利用できません。
- テザリング機能のご利用には別途契約が必要です。

USBテザリング機能を利用する

本製品とパソコンをmicroUSBケーブル01（別売）で接続し、本製品を介してパソコンをインターネットに接続することができます。

- あらかじめパソコンと本製品を接続しておいてください。パソコンとの接続方法については、「パソコンを使って充電する」（▶P.46）をご参照ください。

1 **ホーム画面で［ ⋮ ］→［設定］→［その他］→［テザリングとポータブルアクセスポイント］**

2 **［USBテザリング］**

memo

- Windows® XP／Windows® Vista／Windows® 7以外のOSでの動作は、保証していません。

Wi-Fi® テザリング機能を利用する

本製品をモバイルWi-Fi®ルーターとして利用できるよう設定します。

1 **ホーム画面で［ ⋮ ］→［設定］→［その他］→［テザリングとポータブルアクセスポイント］**

2 **［ポータブルWi-Fiアクセスポイント］**

memo

- Wi-Fi®テザリング機能利用中は、Wi-Fi®接続でインターネットに接続できません。
- Wi-Fi®テザリング機能利用中は、電池の消耗が激しくなります。充電しながらご利用になることをおすすめします。

■Wi-Fi®テザリング機能の設定をする

無線LAN（Wi-Fi®）機能対応機器から本製品に接続するための設定を行います。

1 **ホーム画面で［ ⋮ ］→［設定］→［その他］→［テザリングとポータブルアクセスポイント］**

2 **［ポータブルWi-Fiホットスポットの設定］→［Wi-Fiアクセスポイントを設定］**

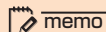
3 **以下の項目をタップ**

項目	説明
ネットワークSSID	他の無線LAN（Wi-Fi®）機能対応機器に表示される名前（ネットワークSSID）を入力します。
セキュリティ	セキュリティを設定します。 [Open]、[WPA PSK]、[WPA2 PSK]から選択可能です。

データ通信

項目	説明
パスワード	セキュリティのパスワードを設定します。

4 [保存]

memo

- セキュリティを「Open」に設定した場合、意図しない機器からの接続のおそれがありますので、ご注意ください。
- 「パスワードを表示する」を有効にすると、入力中のパスワードを表示できます。

Bluetooth® テザリング機能を利用する

1 ホーム画面で[⋮]→[設定]→[その他]→[テザリングとポータブルアクセスポイント]

2 [Bluetoothテザリング]

Bluetooth® 機能を利用する

Bluetooth® 機能は、パソコンやハンズフリー機器などのBluetooth® デバイスとワイヤレス接続できる技術です。

Bluetooth® SMART READY

※ Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、Pantechは、これら商標を使用する許可を受けています。

Bluetooth® 機能でできること

■オーディオ出力

ワイヤレスで音楽やテレビ放送を聴くことができます。

■ハンズフリー通話

Bluetooth® 対応のハンズフリー機器やヘッドセット製品とBluetooth® 接続を行い、ハンズフリー通話をすることができます。

■データ送受信

電話帳、ギャラリーに表示されるデータなどをBluetooth® 対応機器と送受信できます。

memo

- 本製品はすべてのBluetooth®機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®機器との接続を保証するものではありません。
- 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分ではない場合が考えられます。Bluetooth®通信を行う際はご注意ください。
- Bluetooth®通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- USBケーブル（別売）などが接続されている場合は、Bluetooth®機能を使用できないことがあります。

Bluetooth®通信中の動作について

Bluetooth®通信中とは、「Bluetooth®機器の新規登録中」、「データ送受信中」、「Bluetooth®機器のスキャン中や接続相手との接続中」のいずれかの状態です。
オーディオ機器と本製品の間に障害物（身体、金属、壁など）があると電波が届きにくくなり、音楽などを再生時に音の途切れや雑音の原因となることがあります。その際には、オーディオ機器と本製品の間になるべく障害物がない状態でご利用ください。

- 着信があった場合は、応答することができます。
- アラームなど設定した時刻と重なった場合は、アラームが起動し、Bluetooth®通信を継続します。
- Bluetooth®と無線LAN（Wi-Fi®）は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下や、音声の途切れや中断、ネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）のいずれかの使用を中止してください。

Bluetooth®機能の取り扱いについて

- 本製品のBluetooth®機能は日本国内およびFCC／CE規格に準拠し、認定を取得しています。
- 無線LAN（Wi-Fi®）やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのため、Bluetooth®機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、Bluetooth®機器により、通信速度や通信距離は異なります。

主な仕様

通信方式	Bluetooth®標準規格Ver.4.0 LE＋EDR準拠
出力	Bluetooth®標準規格Power Class1
通信距離※1	見通しの良い状態で30m以内
対応Bluetooth®プロファイル※2	HSP（Headset Profile） HFP（Hands-Free Profile） HID（Human Interface Device Profile） A2DP（Advanced Audio Distribution Profile） AVRCP（Audio／Video Remote Control Profile） PBAP（Phone Book Access Profile） FTP（File Transfer Profile） OPP（Object Push Profile） SPP（Serial Port Profile） BPP（Basic Printing Profile） PAN（Personal Area Networking Profile） DUN（Dialup Networking Profile）※3
使用周波数帯	2.4GHz帯（2.402GHz～2.480GHz）

※1　通信機器間の障害物や電波状態により変化します。

データ通信

※2　Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。
※3　ご利用いただくには「カーナビデータ通信設定」アプリが必要です。「カーナビデータ通信設定」アプリは「auポータル」→「メニューリスト」からダウンロードしてください。一部のカーナビゲーションシステムのみに対応しています。ご利用にあたっては、au総合カタログおよびauホームページをご参照ください。

周波数帯について

本製品のBluetooth®機能は、2.4GHz帯の2.402GHz～2.480GHzまでの周波数を使用します。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあるので、他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

■Bluetooth®ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能の使用周波数帯は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

① 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
② 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
③ ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

2.4FH1/XX8

本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10m以下です。XX8はその他の方式を採用し、与干渉距離は約80m以下です。全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

■Bluetooth®機能使用時のご注意

良好な接続を行うために、以下の点にご注意ください。

① 本製品とほかのBluetooth®対応機器とは、見通し距離10m以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）や建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。
② ほかの機器（電気製品、AV機器、OA機器など）から2m以上離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください。近づいていると、ほかの機器の電源が入っているときに正常に接続できないことがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。

■無線LAN（Wi-Fi®）との電波干渉について

Bluetooth®機能と無線LAN（Wi-Fi®）（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用しています。そのため、本製品のBluetooth®機能と無線LAN（Wi-Fi®）機能を同時に使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがありますので、同時には使用しないでください。
また、本製品のBluetooth®機能のみ使用している場合でも、無線LAN（Wi-Fi®）機能を搭載した機器が近辺で使用されていると、同様の現象が発生します。このようなときは、以下の対策を行ってください。

① 本製品と無線LAN（Wi-Fi®）機能を搭載した機器は、10m以上離してください。
② 10m以内で使用する場合は、無線LAN（Wi-Fi®）機能を搭載した機器の電源を切ってください。

Bluetooth® 機能の関連用語について

用語	説明
機器アドレス	機器が最初から持つそれぞれ固有のアドレス（12桁の英数字）です。 登録機器一覧に登録した通信相手に機器情報として送信されます。機器アドレスは、変更することができません。
HSP (Headset Profile)	ヘッドセット機器を使用した通話のためのプロファイルです。
HFP (Hands-Free Profile)	カーナビ、ハンズフリー機器などを使用したハンズフリー通話のためのプロファイルです。
HID (Human Interface Device Profile)	キーボードやマウス、ジョイスティックなどを接続するためのプロファイルです。
A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)	オーディオ出力対応アプリの音を転送するためのプロファイルです。
AVRCP (Audio／Video Remote Control Profile)	オーディオ機器をリモート制御するためのプロファイルです。
PBAP (Phone Book Access Profile)	電話帳のデータを転送するためのプロファイルです。
FTP (File Transfer Profile)	パソコンなどとデータ転送するためのプロファイルです。
OPP (Object Push Profile)	カーナビ、パソコンなどと電話帳データ、スケジュールデータなどを送受信するためのプロファイルです。
SPP (Serial Port Profile)	仮想的なシリアルケーブル接続を設定し機器間を相互接続するためのプロファイルです。
PAN (Personal Area Networking Profile)	PCまたは携帯電話などとネットワークを共有するためのプロファイルです。
BPP（Basic Print Profile）	Bluetoothプロファイルのひとつで、携帯電話やPDAなどからプリンターと通信して印刷するためのプロファイルです。
DUN（Dialup Networking Profile）	Wireless Modemに電話接続ネットワークが可能なプロファイルです。 （ただし、本製品ではアプリを利用した一部のカーナビゲーションのシステムのみ対応しています。）
認証パスワード	接続する機器からOBEX認証の要求があった場合に入力するパスワードです。 本製品では、1～16桁の数字を入力できます。
パスキー	▶P.279「パスキーについて」
オーディオ機器	A2DPに対応したBluetooth®機器です。

Bluetooth® 機能をオンにする

1 **ホーム画面で［ ］→［設定］→［Bluetooth］をONにする**

Bluetooth®機能が有効になると、本製品はスキャンを開始します。
Bluetooth®機能が有効な登録済みのヘッドセットやハンズフリー機器、オーディオ機器などが見つかると接続します。
本製品のBluetooth®機能が有効になると、ステータスバーに［ ］（白）が表示され、接続中はアイコンが［ ］（青）に変わります。

memo

- Bluetooth®機能を利用するには、上記の操作の前に、あらかじめ相手のBluetooth®機器を登録する必要があります。（▶P.279「Bluetooth®機器を登録する」）
- Bluetooth®機能のON／OFFは、かんたん設定（▶P.249）でも行うことができます。
- Bluetooth®機能を利用しないときは、Bluetooth®機能を無効にしてください。これにより、電池を長持ちさせることができます。
- 機内モードを有効にすると、「Bluetooth」が自動的に無効になります。ただし、機内モード中でも手動で「Bluetooth」を有効にできます。

Bluetooth®機器を登録する

本製品からBluetooth®機器に接続する場合は、あらかじめ次の操作でBluetooth®機器をBluetooth®端末一覧に登録します。

1 登録するBluetooth®機器のBluetooth®機能を有効にする

Bluetooth®機器によっては、「ペアリング設定」と呼ばれるモードにします。

2 本製品のホーム画面で［ ］→［設定］

3 ［Bluetooth］→「Bluetooth」をONにする

本製品はスキャンを開始し、接続可能なすべてのBluetooth®機器が「使用可能な機器」に表示されます。
対象のデバイスが「使用可能な機器」に表示されない場合は、［デバイスの検索］をタップしてください。再度スキャンを開始します。

4 登録するBluetooth®機器を選択

5 画面の指示に従って操作し、Bluetooth®機器を認証

同じパスキーが表示されていることを確認する旨のメッセージが表示された場合、接続するBluetooth®機器にも同じパスキーが表示されていることをご確認ください。
パスキーの入力画面が表示された場合は、本製品とBluetooth®機器で同じパスキー(1～16桁の数字)を入力します。認証に成功すると、Bluetooth®機器がBluetooth®端末一覧に登録されます。
Bluetooth®機器がオーディオ機器／ハンズフリー機器や、HIDプロファイル対応のキーボード／マウス／ジョイスティックなどの場合は、登録完了後、Bluetooth®機器と接続されます。それ以外の機器の場合は、ペアリングされたデバイスに表示され、登録が完了します。

memo

- Bluetooth®機器が探索拒否する設定になっている場合は、機器選択画面に表示されません。設定の変更などについてはBluetooth®機器の取扱説明書などをご参照ください。
- 本製品は、ペアリングの相手機器には「本製品」と表示されます（お買い上げ時の設定）。Bluetooth®画面で［ ］→［端末の名前を変更］で変更できます。

■パスキーについて

パスキーは、Bluetooth®機器同士が初めて通信するときに、お互いに接続を許可するために、本製品およびBluetooth®機器で入力する暗証番号です。本製品では、1～16桁の数字を入力できます。

memo

- パスキー入力は、セキュリティ確保のために30秒の制限時間が設けられています。
- Bluetooth®端末一覧から接続相手を削除すると、次に同じ機器と接続するときに、再度登録する必要があります。

ペアを解除する

登録したBluetooth®機器とのペアを解除して、ペア設定の情報を消去できます。

1 「Bluetooth」の一覧からペア解除したい機器の［ ］

2 ［ペアを解除］

登録したヘッドセット機器などから音楽を鑑賞する

プロファイル「A2DP」に対応したヘッドセット／ハンズフリー／オーディオ機器へ、本製品のミュージックや動画の音などのメディア音を出力します。

1 登録したヘッドセット機器などの電源を入れる

2 ホーム画面で［ ］→［設定］

■ Bluetooth®機能をOFFにしたときに接続中の場合

3 「Bluetooth」をONにする

Bluetooth®機能が有効になると、登録したヘッドセット／ハンズフリー／オーディオ機器が接続されます。本製品のメディア音が、ヘッドセット／ハンズフリー／オーディオ機器から出力されます。

■ Bluetooth®機能をOFFにしたときに切断中の場合

3 「Bluetooth」をONにする→利用する機器を選択

登録したヘッドセット／ハンズフリー／オーディオ機器が接続されます。本製品のメディア音が、ヘッドセット／ハンズフリー／オーディオ機器から出力されます。

memo

- Bluetooth®機能のON／OFFは、かんたん設定（▶P.249）からも行うことができます。
- ホーム画面で［ ］→［設定］→［Bluetooth］→利用する機器を選択、と操作しても、ヘッドセット／ハンズフリー／オーディオ機器などを接続できます。
- ミュージックは、Bluetooth®機能を有効にする前や有効にした後で起動します。ヘッドセットによっては、ヘッドセット側の再生ボタンで本製品のミュージックを起動できるものがあります。
- Bluetooth®機能が無効になると、ミュージックの再生も中止されます。
- ヘッドセット／ハンズフリー／オーディオ機器と、他のBluetooth®機能を同時に利用すると、一方の接続が切断される場合があります。

登録したキーボードやマウスなどを利用する

プロファイル「HID」に対応したキーボード／マウス／ジョイスティックなどを、本製品の入力機器として利用できます。

1 登録したキーボードなどの電源を入れる

2 ホーム画面で［ ］→［設定］

3 「Bluetooth」をONにする

Bluetooth®機能が有効になり、登録したキーボード／マウス／ジョイスティックが接続されます。

memo

- Bluetooth®機能を有効にすると、電源が入っている登録済みのキーボード／マウス／ジョイスティックが検索されると、自動的に接続されます。Bluetooth®機能のON／OFFは、かんたん設定（▶P.249）からも行うことができます。
- ホーム画面で［ ］→［設定］→［Bluetooth］→利用する機器を選択、と操作しても、キーボード／マウス／ジョイスティックなどを接続できます。
- キーボード／マウス／ジョイスティックと、他のBluetooth®機能を同時に利用すると、一方の接続が切断される場合があります。

Bluetooth®でデータを送受信する

電話帳やギャラリーに表示されたデータをBluetooth®送受信することができます。また、Google Latitude、音声メモなどのさまざまなアプリケーションからもBluetooth®送受信ができます。

Bluetooth®でデータを送信する

1 Bluetooth®機能を有効にする（▶P.278）

2 各アプリケーションの操作

- アプリケーションによって、共有する操作が異なります。
データの選択画面が表示された場合は、送信するデータを選択します。

3 [Bluetooth]

Bluetooth®端末の選択画面が表示されます。

4 送信先の機器を選択

データが送信されます。受信先で操作が必要な場合は、受信操作を行います。

memo

- 接続する機器によっては、認証パスワードが必要な場合もあります。
- 送信結果は、通知／ステータスパネル（▶P.56）に表示されます。
- 電話帳のデータは、vCard（.vcf）形式に変換されて送信されます。

Bluetooth®でデータを受信する

1 Bluetooth®機能を有効にする（▶P.278）

2 相手機器からデータを送信する

本製品にファイルが送信されたことを知らせるメッセージが表示されます。

3 通知／ステータスパネルの受信通知をタップします。

本製品にファイル転送の許諾画面が表示されます。

4 [承諾]

データの受信が開始されます。

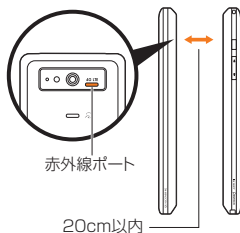
memo

- 接続する機器によっては、認証パスワードが必要な場合もあります。
- 受信結果は、通知／ステータスパネル（▶P.56）に表示されます。
- 受信したデータは、「bluetooth」フォルダに保存されます。写真は「ギャラリー」（▶P.178）、動画は「ギャラリー」や「動画」で閲覧・再生できます。vCard（.vcf）形式の電話帳データは、通知／ステータスパネル（▶P.56）の［Bluetooth共有：受信したファイル］→vCardデータをタップと操作すると、電話帳に登録されます。

赤外線通信でデータを送受信する

本製品と赤外線通信機能を持つau電話との間で、プロフィールの送信、電話帳データ、カレンダーデータ、ブックマークの送受信ができます。

赤外線の利用について

赤外線の通信距離は20cm以内でご利用ください。
また、データの送受信が終わるまで、赤外線ポート部分を、相手側の赤外線ポート部分に向けたまま動かさないでください。
赤外線通信を行うには、送る側と受ける側がそれぞれ準備する必要があります。受ける側が受信状態になっていることを確認してから送信してください。

memo

- 赤外線通信中に指などで赤外線ポートをおおわないようにしてください。
- 本製品の赤外線通信は、IrMCバージョン1.1に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMCバージョン1.1に準拠していても、機能によって正しく送受信できないデータがあります。
- 直射日光があたる場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。
- 赤外線ポートが汚れていると、正常に通信できない場合があります。柔らかな布で赤外線ポートを拭いてください。
- 送受信時に認証パスワードの入力が必要になる場合があります。認証パスワードは、送受信を行う前にあらかじめ通信相手と取り決めた4桁の数字です。送る側と受ける側で同じ番号を入力します。受信時の認証パスワード入力画面で、入力画面が消えるまでに入力しないと赤外線通信は受信失敗となります。
- 赤外線通信中に電話がかかってきたり、アラームなど他のアプリケーションが起動した場合、赤外線通信は終了します。

■送受信できるデータについて

- プロフィール
- 電話帳
- カレンダー
- ブックマーク

memo

- プロフィールデータを受信すると、電話帳データとして受信します。
- 相手の機器やデータの種類、容量によっては再生できない場合があります。

赤外線でデータを受信する

1 ホーム画面で［アプリ］→［赤外線］

2 ［赤外線受信］

3 受信完了→［OK］

電話帳データの場合は、vCardを電話帳に登録するかどうかを選択します。
カレンダーデータの場合は、保存するカレンダーを選択します。
ブックマークの場合は、ブックマークに登録するかどうかを選択します。

memo

- プロフィールデータは、電話帳データとして受信します。
- 受信したデータは、電話帳／カレンダー／ブックマークに追加されます。
- 受信した電話帳データが登録済の連絡先と名前や電話番号、メールアドレスが同じ場合でも、別の連絡先として登録されます。

赤外線でデータを送信する

1 ホーム画面で［アプリ］→［赤外線］

2 ［赤外線送信］

3 以下の項目をタップ

プロフィール	プロフィールを送信します。
電話帳	電話帳データを選択して送信します。 「全件選択」／「全件解除」をタップすると電話帳データを全件まとめて、選択／解除できます。
カレンダー	カレンダーデータを選択して送信します。 「全件選択」／「全件解除」をタップするとカレンダーデータを全件まとめて、選択／解除できます。
ブックマーク	ブックマークを送信します。

各機能のサブメニューから赤外線で送信する

電話帳のオプションメニューから［連絡先を共有］をタップすると「連絡先一覧」が表示されますので、送信したい連絡先を選択し、［ ］から［赤外線］をタップすると、電話帳データを赤外線送信できます。
また、電話帳のコンテキストメニューの［連絡先を共有］から［赤外線］をタップすることでも、電話帳データを赤外線送信できます。
カレンダーのオプションメニューの［ ］から［赤外線］をタップすると、カレンダーデータを赤外線送信できます。
ブックマークのコンテキストメニューの［赤外線で送信］をタップすると、ブックマークのURLを赤外線送信できます。

auのネットワークサービス

auのネットワークサービスを利用する

auでは、次のような便利なサービスを提供しています。

サービス		参照先
標準サービス	SMS	P.138
	着信お知らせサービス	P.286
	着信転送サービス	P.287
	割込通話サービス	P.290
	発信番号表示サービス	P.300
	番号通知リクエストサービス	P.301
有料オプションサービス※	お留守番サービスEX	P.292
	三者通話サービス	P.299
	迷惑電話撃退サービス	P.302
	通話明細分計サービス	P.303

※ 有料オプションサービスは、別途ご契約が必要になります。
お申し込みやお問い合わせの際は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。
各サービスのご利用料金や詳細については、auホームページ（http://www.au.kddi.com/）でご確認ください。

着信お知らせサービスを利用する（標準サービス）

着信お知らせサービスは、au電話の電源を切っていた場合や機内モード中の場合、または電波の届かない場所にいた場合、着信があったことをSMSでお知らせするサービスです。電話をかけてきた相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に、着信があった時間と、相手の方の電話番号をお知らせします。

memo

- 電話番号通知がない着信についてはお知らせしません。ただし、番号通知があっても番号の桁数が20桁以上の場合もお知らせしません。
- お留守番サービスセンターが保持できる着信お知らせは、最大4件です。
- 着信があってから約6時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから着信お知らせは自動的に消去されます。
- ご契約時の設定は、着信お知らせサービスで相手の方の電話番号をお知らせします。お留守番サービス総合案内（▶P.293）で着信お知らせサービス（着信通知）を停止することができます。
- 通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

着信転送サービスを利用する（標準サービス）

電話がかかってきたときに、登録した別の電話番号に転送するサービスです。
電波が届かない地域にいるときや、通話中にかかってきた電話などを転送する際の条件を、無応答転送、話中転送、フル転送、選択転送、転送停止の5つから選択できます。

memo

- 緊急通報番号（110、119、118）、時報（117）、天気予報（177）など一般に転送先として望ましくないと思われる番号には転送できません。
- 着信転送サービスとお留守番サービス（▶P.292）は同時に開始することはできません。着信転送サービスの設定中にお留守番サービスを開始すると、着信転送サービスは自動的に停止されます。
- 着信転送サービスと番号通知リクエストサービス（▶P.301）を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスを優先します。
- 無応答転送、話中転送、選択転送は同時に設定が可能です。同時に開始している場合の優先順位は、次の通りです。
  ① 話中転送　② 選択転送　③ 無応答転送
- 無応答転送、話中転送、選択転送を開始した後でフル転送を開始すると、フル転送のみ有効となります。

ご利用料金について

月額使用料	無料
サービス開始「1422」～「1425」	無料
サービス停止「1420」	無料
相手先から本製品までの通話料	有料 ※ 電話をかけてきた相手の方のご負担となります。
本製品から転送先までの通話料	有料 ※ お客様のご負担となります。 ※ 海外の電話に転送した場合は、ご契約された国際電話通信事業者からのご請求となります。

応答できない電話を転送する（無応答転送）

電波の届かない場所にいるときや、電源が切ってあるときなど、かかってきた電話に出ることができないときに電話を転送します。

1 **ホーム画面で［電話］→［1］［4］［2］［2］＋転送先電話番号を入力→［ ］**

ホーム画面で［ ］→［設定］→［通話設定］→［着信転送］→［無応答転送］→［OK］と操作し、ガイダンスに従って「ダイヤルキー」から転送先電話番号をタップしても、無応答転送の設定ができます。

2 **［切断］**

memo

- 前回と同じ転送先を設定する場合には、ホーム画面で［電話］→［1］［4］［2］［1］［2］→［ ］で設定できます。
- 着信転送サービスの応答時間は変更できません。
- 無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。
- 「エリア設定」（▶P.306）を「海外（GSM ／ UMTS）自動」または「海外（GSM ／ UMTS）手動」に設定している場合は、ご利用になれません。

通話中にかかってきた電話を転送する（話中転送）

1 ホーム画面で［電話］→［1］［4］［2］［3］＋転送先電話番号を入力→［ ］

ホーム画面で［ ］→［設定］→［通話設定］→［着信転送］→［話中転送］→［OK］と操作し、ガイダンスに従って「ダイヤルキー」から転送先電話番号をタップしても、話中転送の設定ができます。

2 ［切断］

memo

- 前回と同じ転送先を設定する場合には、ホーム画面で［電話］→［1］［4］［2］［1］［3］→［ ］で設定できます。
- 話中転送と割込通話サービス（▶P.290）を同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。
- 「エリア設定」（▶P.306）を「海外（GSM ／ UMTS）自動」または「海外（GSM ／ UMTS）手動」に設定している場合は、ご利用になれません。

かかってきたすべての電話を転送する（フル転送）

1 ホーム画面で［電話］→［1］［4］［2］［4］＋転送先電話番号を入力→［ ］

ホーム画面で［ ］→［設定］→［通話設定］→［着信転送］→［フル転送］→［OK］と操作し、ガイダンスに従って「ダイヤルキー」から転送先電話番号をタップしても、フル転送の設定ができます。

2 ［切断］

memo

- 前回と同じ転送先を設定する場合には、ホーム画面で［電話］→［1］［4］［2］［1］［4］→［ ］で設定できます。
- フル転送を設定している場合は、お客様のVEGA（PTL21）は呼び出されません。

手動で転送する（選択転送）

かかってきた電話に出ることができないときなどに、手動で転送します。

1 ホーム画面で［電話］→［1］［4］［2］［5］＋転送先電話番号を入力→［ ］

ホーム画面で［ ］→［設定］→［通話設定］→［着信転送］→［選択転送］→［OK］と操作し、ガイダンスに従って「ダイヤルキー」から転送先電話番号をタップしても、選択転送の設定ができます。

2 ［切断］

memo

- 前回と同じ転送先を設定する場合には、ホーム画面で［電話］→［1］［4］［2］［1］［5］→［ ］で設定できます。
- 着信中に［メニュー］→［着信転送］と操作すると、転送先電話番号に転送します。
- 国際ローミング中は、ご利用になれません。

海外の電話へ転送する

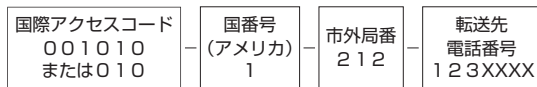
au国際電話サービスをご利用いただくと、海外の電話に転送できます。
例：アメリカの「212-123-XXXX」に転送する場合

1 ホーム画面で［電話］→転送の種類によって、それぞれの番号を入力→［ ］

［1］［4］［2］［2］：無応答転送　［1］［4］［2］［4］：フル転送
［1］［4］［2］［3］：話中転送　［1］［4］［2］［5］：選択転送

2 ［キーパッド］→転送先電話番号を入力

転送先電話番号を国際アクセスコードから入力します。

国際アクセスコード 001010 または010	－	国番号（アメリカ） 1	－	市外局番 212	－	転送先電話番号 123XXXX

3 ［切断］

memo

- au国際電話サービス以外の国際電話サービスでも転送がご利用いただけますが、一部の国際電話通信事業者で転送できない場合があります。

着信転送サービスを停止する（転送停止）

着信転送サービスを停止します。

1 ホーム画面で［電話］→［1］［4］［2］［0］→［ ］

ホーム画面で［ ］→［設定］→［通話設定］→［着信転送］→［転送停止］→［OK］と操作しても、1420に発信します。

2 ［切断］

着信転送サービスを遠隔操作する（遠隔操作サービス）

お客様の本製品以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、着信転送サービスの転送開始（無応答転送、話中転送、フル転送、選択転送）、転送停止ができます。

1 090－4444－XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
無応答転送開始	1422
話中転送開始	1423
フル転送開始	1424
選択転送開始	1425
転送停止	1420

2 ご利用の本製品の電話番号を入力

3 暗証番号（4桁）を入力

暗証番号については（「ご利用いただく各種暗証番号について」（▶P.24）をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

memo

- 暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
- 遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

割込通話サービスを利用する（標準サービス）

通話中に別の方から電話がかかってきたときに、現在通話中の電話を一時的に保留にして、後からかけてこられた方と通話ができるサービスです。

memo

- 新規にご加入いただいた際には、サービスは開始されていますので、すぐにご利用いただけます。ただし、機種変更の場合や修理からのご返却時またはau Micro IC Card(LTE)を差し替えた場合には、ご利用開始前に割込通話サービスをご希望の状態（開始／停止）に設定し直してください。

ご利用料金について

月額使用料	無料
通話料	電話をかけた方のご負担（保留中でも通話料はかかります）

割込通話サービスを開始する

1 ホーム画面で［電話］→［1］［4］［5］［1］→［ ］

ホーム画面で［ ］→［設定］→［通話設定］→［その他］→［割込通話開始］→［OK］と操作しても、1451に発信します。

2 ［切断］

memo

- 割込通話サービスと番号通知リクエストサービス（▶P.301）を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスが優先されます。
- 割込通話サービスと迷惑電話撃退サービス（▶P.302）を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
- 国際ローミング中は、ご利用になれません。

割込通話サービスを停止する

1 ホーム画面で［電話］→［1］［4］［5］［0］→［ ］

ホーム画面で［ ］→［設定］→［通話設定］→［その他］→［割込通話停止］→［OK］と操作しても、1450に発信します。

2 ［切断］

memo

- 割込通話サービスを「停止」に設定しても、パケット通信中に着信を受けられます。
- 国際ローミング中は、ご利用になれません。

割込通話を受ける

■Aさんと通話中にBさんが電話をかけてきた場合

1 Aさんと通話中に割込音が聞こえる

2 を右にスライド

Aさんとの通話は保留になり、Bさんと通話できます。
「通話」をタップするたびにAさん・Bさんとの通話を切り替えることができます。
「切断」をタップすると、通話中／保留中の両方の通話が終了します。

memo

- 通話中に相手の方が電話を切ったときは、保留中の相手との通話に切り替わります。
- 割込通話時の着信も着信履歴に記録されます。ただし、発信者番号通知／非通知などの情報がない着信については記録されない場合があります。

割り込みされたくないときは

大事な用件などで割り込みされたくない通話相手の場合は、その相手の方との通話だけ、割り込みを禁止できます。

1 ホーム画面で［電話］→［1］［4］［5］［2］＋相手先電話番号を入力→［ ］

memo

- 発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186／184」を最初にダイヤルしてください。
- 割込禁止の通話中に別の相手から電話があった場合は、お話し中になります。ただし、お留守番サービスを開始しているときは、お留守番サービスへ転送されます。

お留守番サービスEXを利用する（オプションサービス）

電源を切っているときや、電波の届かない場所にいるとき、機内モード（▶P.257）をONに設定しているとき、一定の時間が経過しても電話に出られなかったときなどに、留守応答して相手の方からの伝言をお預かりするサービスです。

お留守番サービスEXをご利用になる前に

- au電話ご購入時や、機種変更や電話番号変更のお手続き後、修理時の代用機貸出しと修理後返却の際にお留守番サービスEXに加入中の場合、お留守番サービスは開始されています。
- お留守番サービスと着信転送サービス（▶P.287）は同時に開始できません。

  お留守番サービスを開始しているときに着信転送サービスを開始すると、お留守番サービスは自動的に停止されます。
- お留守番サービスと番号通知リクエストサービス（▶P.301）を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合に番号通知リクエストサービスが優先されます。

お留守番サービスEXでお預かりする伝言・ボイスメールについて

お留守番サービスEXでは、次の通りに伝言・ボイスメールをお預かりします。

お預かり（保存）する時間	7日間まで※1
お預かりできる件数	99件まで※2
1件あたりの録音時間	3分まで

※1　お預かりから7日間以上経過している伝言・ボイスメールは、自動的に消去されます。

※2　件数は伝言とボイスメールの合計です。100件目以降の場合は、電話をかけてきた相手の方に、伝言・ボイスメールをお預かりできないことをガイダンスでお知らせします。

ご利用料金について

月額使用料	315円（税込）
特番へのダイヤル操作	入力する特番にかかわりなく、蓄積された伝言・ボイスメールを聞いた場合は通話料がかかります。伝言・ボイスメールがないときなど、伝言・ボイスメールを聞かなかった場合は通話料がかかりません。
遠隔操作	遠隔操作を行った場合、すべての操作について遠隔操作を行った電話に対して通話料がかかります。
伝言・ボイスメールの録音	伝言・ボイスメールを残す場合、伝言・ボイスメールを残した方の電話に通話料がかかります。 ※ お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しません。転送され応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

お留守番サービス総合案内（141）を利用する

総合案内からは、ガイダンスに従って操作することで、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音／確認／変更、英語ガイダンスの設定／日本語ガイダンスの設定、不在通知（蓄積停止）の設定／解除、着信お知らせの開始／停止ができます。

1 ホーム画面で［電話］→［1］［4］［1］→［発信］

2 ［キーパッド］→ガイダンスに従って操作

お留守番サービスを開始する

■ 通話中にかかってきた電話も転送する場合（留守番開始1）

1 ホーム画面で［電話］→［1］［4］［1］［1］→［発信］

ホーム画面で［⋮］→［設定］→［通話設定］→［ボイスメール］→［ボイスメール開始1］→［OK］と操作しても、1411に発信します。

2 ［切断］

■ 通話中にかかってきた電話は転送しない場合（留守番開始2）

1 ホーム画面で［電話］→［1］［4］［1］［3］→［発信］

ホーム画面で［⋮］→［設定］→［通話設定］→［ボイスメール］→［ボイスメール開始2］→［OK］と操作しても、1413に発信します。

2 ［切断］

お留守番サービスEXでの留守応答について

電話がかかってきたとき、au電話の状態が次の場合には、お留守番サービスに転送され、留守応答します。

- 電波の届かない場所にいた場合や電源を切っていた場合、または一定時間呼び出しても電話に出なかった場合
- 通話中にかかってきた場合（「ボイスメール1」で開始した場合のみ）

memo

- お留守番サービスを開始しているときに電話がかかってきても、着信音が鳴っている間は電話に出ることができます。
- 「エリア設定」（▶P.306）を「日本」以外に設定している場合は、「ボイスメール開始2」でお留守番サービスを開始できません。日本で「ボイスメール開始2」のお留守番サービスを開始したまま海外へ行かれた場合は、通話中の着信もお留守番サービスに転送します。
- 「エリア設定」（▶P.306）を「日本」以外に設定している場合は、選択転送ができません。

お留守番サービスを停止する

1 **ホーム画面で［電話］→［1］［4］［1］［0］→［ ］**

ホーム画面で［ ］→［設定］→［通話設定］→［ボイスメール］→［ボイスメール停止］→［OK］と操作しても、1410に発信します。

2 **［切断］**

memo

- お留守番サービスを停止しても、録音された伝言・ボイスメールや応答メッセージは消去されません。
- お留守番サービスを停止していても、伝言・ボイスメール再生「1417」、応答メッセージの録音／確認／変更「1414」などの操作をすることができます。

電話をかけてきた方が伝言を録音する

ここでご説明するのは、電話をかけてきた方が伝言を録音する操作です。

1 **お留守番サービスで留守応答**

かかってきた電話がお留守番サービスに転送されると、本製品にてお客様が設定した応答メッセージで応答します。（▶P.296「応答メッセージの録音／確認／変更をする」）

電話をかけてきた相手の方は［#］を押すと、応答メッセージを最後まで聞かずに（スキップして）操作2に進むことができます。ただし、応答メッセージのスキップ防止が設定されている場合は、［#］を押しても応答メッセージはスキップしません。

2 **伝言を録音**

録音時間は、3分以内です。

伝言を録音した後、操作3へ進む前に電話を切っても伝言をお預かりします。

3 **［#］を押して録音を終了**

録音終了後、ガイダンスに従って次のキー操作ができます。

［ 1 ］：録音した伝言を再生して、内容を確認する

［ 2 ］：録音した伝言を「至急扱い」にする

［ 9 ］：録音した伝言を消去して、取り消す

［ ＊ ］：録音した伝言を消去して、録音し直す

4 **電話を切る**

memo

- 電話をかけてきた方が「至急扱い」にした伝言は、伝言やボイスメールを再生するとき、他の「至急扱い」ではない伝言より先に再生されます。
- お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しませんが、転送されて応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

ボイスメールを録音する

相手の方がau電話でお留守番サービスをご利用の場合、相手の方を呼び出すことなくお留守番サービスに直接ボイスメールを録音できます。また、相手の方がお留守番サービスを停止していてもボイスメールを残すことができます。

1 **ホーム画面で［電話］→［1］［6］［1］［2］＋相手の方のau電話番号を入力→［ 発信 ］**

2 **ガイダンスに従ってボイスメールを録音**

伝言お知らせについて

お留守番サービスセンターで伝言やボイスメールをお預かりしたことを通知音と文字でお知らせします。お知らせする内容は、お預かりした時間と相手の方の電話番号となります。
伝言お知らせは、SMSに保存されます。

memo

- 同じ電話番号から複数の伝言・ボイスメールをお預かりした場合は、最新の伝言・ボイスメールのみについてお知らせします。
- お留守番サービスセンターが保持できる伝言お知らせの件数は20件です。
- 伝言・ボイスメールをお預かりしてから約48時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから伝言お知らせは自動的に消去されます。
- 通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

伝言・ボイスメールを聞く

1 **ホーム画面で［電話］→［1］［4］［1］［7］→［発信］**

ホーム画面で［⋮］→［設定］→［通話設定］→［ボイスメール］→［ボイスメール再生］→［OK］と操作しても、1417に発信します。

2 **［キーパッド］→ガイダンスに従ってキー操作**

［1］：同じ伝言をもう一度聞く
［2］：伝言を保存
［4］：5秒間巻き戻して聞き直す
［5］：伝言を一時停止（20秒間）※
［6］：5秒間早送りして聞く
［9］：伝言を消去
［0］：伝言再生中の操作方法を聞く
［#］：次の伝言を聞く
［*］：前の伝言を聞く

※「切断」以外のキーをタップすると、伝言の再生を再開します。

3 **［切断］**

memo

- お留守番サービスの留守応答でお預かりした伝言も、ボイスメールも同じものとして扱われます。
- 伝言・ボイスメールの再生後、保存または消去を選択しないと、その伝言・ボイスメールは常に新しいものとして保存されます。

応答メッセージの録音／確認／変更をする

新しい応答メッセージの録音や現在設定されている応答メッセージの内容を確認／変更したり、スキップ防止などの設定を行うことができます。

1 **ホーム画面で［電話］→［1］［4］［1］［4］→［発信］**

ホーム画面で［⋮］→［設定］→［通話設定］→［ボイスメール］→［応答内容変更］→［OK］と操作しても、1414に発信します。

■ すべてお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合

2 **［1］→3分以内で応答メッセージを録音→［#］→［#］→［切断］**

■ 名前のみお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合

2 **［2］→10秒以内で名前を録音→［#］→［#］→［切断］**

■ 設定されている応答メッセージを確認する場合

2 **［3］→応答メッセージを確認→［切断］**

■ 蓄積停止時の応答メッセージ（不在通知）を録音する場合

2 **［7］→3分以内で応答メッセージを録音→［#］→［#］→［切断］**

memo

- 録音できる応答メッセージは、各1件です。
- ご契約時は、標準メッセージに設定されています。
- 応答メッセージを最後まで聞いて欲しい場合は、応答メッセージ選択後の設定でスキップができないようにすることもできます。
- 録音した応答メッセージがある場合に、ガイダンスに従って「4」をタップすると標準メッセージに戻すことができます。
- 録音した蓄積停止時の応答メッセージ（不在通知）がある場合に、ガイダンスに従って「8」をタップすると標準メッセージに戻すことができます。
- 国際ローミング中は、ご利用になれません。

伝言の蓄積を停止する（不在通知）

長期間の海外出張やご旅行でご不在の場合などに伝言・ボイスメールの蓄積を停止することができます。
あらかじめ蓄積停止時の応答メッセージ（不在通知）を録音しておくと、お客様が録音された声で蓄積停止時の留守応答ができます。
（▶P.296「応答メッセージの録音／確認／変更をする」）

1 ホーム画面で［電話］→［1］［6］［1］［0］→［発信］

2 ［切断］

memo

- 蓄積を停止する場合は、事前にお留守番サービスを開始しておく必要があります。
- 蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。
- 国際ローミング中は、ご利用になれません。

蓄積停止を解除する

1 ホーム画面で［電話］→［1］［6］［1］［1］→［発信］

2 ガイダンスを確認後［切断］

memo

- 蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。
- 国際ローミング中は、ご利用になれません。

お留守番サービスを遠隔操作する（遠隔操作サービス）

お客様の本製品以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、お留守番サービスの開始／停止、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音／確認／変更などができます。

1 **090－4444－XXXXに電話をかける**

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
総合案内（伝言再生など）	0141
お留守番サービスの開始	1411／1413
お留守番サービスの停止	1410
伝言・ボイスメールの再生	1417

2 **ご利用の本製品の電話番号を入力**

3 **暗証番号（4桁）を入力**

暗証番号については「ご利用いただく各種暗証番号について」（▶P.24）をご参照ください。

4 **ガイダンスに従って操作**

memo

- 暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
- 遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

英語ガイダンスへ切り替える

お留守番サービスの操作ガイダンスや、標準の応答メッセージを日本語から英語に変更できます。

1 **ホーム画面で［電話］→［1］［4］［1］［9］［1］→［発信］**

ホーム画面で［⋮］→［設定］→［通話設定］→［その他］→［ガイダンス変更］→［ガイダンス（英語）］→［OK］と操作しても、14191に発信します。

英語ガイダンスに切り替わったことが英語でアナウンスされます。

2 **［切断］**

memo

- ご契約時は、日本語ガイダンスに設定されています。
- 国際ローミング中は、ご利用になれません。

日本語ガイダンスへ切り替える

1 **ホーム画面で［電話］→［1］［4］［1］［9］［0］→［発信］**

ホーム画面で［⋮］→［設定］→［通話設定］→［その他］→［ガイダンス変更］→［ガイダンス（日本語）］→［OK］と操作しても、14190に発信します。

日本語ガイダンスに切り替わったことが日本語でアナウンスされます。

2 **［切断］**

memo

- 国際ローミング中は、ご利用になれません。

三者通話サービスを利用する（オプションサービス）

通話中に他のもう１人に電話をかけて、３人で同時に通話できます。

■ Ａさんと通話中に、Ｂさんに電話をかけて３人で通話する場合

1 ［通話追加］→Ａさんと通話中にＢさんの電話番号を入力

通話中に「電話帳」をタップすると、電話帳から電話番号を呼び出せます。

2 ［ ］

通話中のＡさんとの通話が保留になり、Ｂさんを呼び出します。

3 Ｂさんと通話

Ｂさんが電話に出ないときは、「通話」を２回タップするとＡさんとの通話に戻ります。

4 ［通話］

３人で通話できます。
「通話」をタップすると、Ｂさんとの電話が切れ、Ａさんとの二者通話に戻ります。
「切断」をタップすると、Ａさんとの電話とＢさんとの電話が両方切れます。

memo

- 三者通話中の相手の方が電話を切ったときは、もう１人の相手の方との通話になります。
- 三者通話を開始したお客様が電話を切って、ＡさんとＢさんの通話にすることはできません。
- 三者通話ではＡさんとの通話、Ｂさんとの通話それぞれに通話料がかかります。
- 三者通話中は、割込通話サービスをご契約のお客様でも割り込みはできません。
- 三者通話中は、SMSを送ることはできません。
- 三者通話の２人目の相手として、割込通話サービスをご利用のau電話を呼び出したとき、相手の方が割込通話中であった場合には、割り込みはできません。
- 国際ローミング中は、ご利用になれません。

ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担（保留中でも通話料はかかります）

発信番号表示サービスを利用する（標準サービス）

電話をかけた相手の方の電話機にお客様の電話番号を通知したり、着信時に相手の方の電話番号がお客様のVEGA（PTL21）のディスプレイに表示されるサービスです。

お客様の電話番号の通知について

相手の方の電話番号の前に「184」（電話番号を通知しない場合）または「186」（電話番号を通知する場合）を付けて電話をかけることによって、通話ごとにお客様の電話番号を相手の方に通知するかどうかを指定できます。

memo

- 発信者番号（本製品の電話番号）はお客様の大切な情報です。お取り扱いについては十分にお気を付けください。
- 電話番号を通知しても、相手の方の電話機やネットワークによっては、お客様の電話番号が表示されないことがあります。
- 海外から発信した場合、相手の方に電話番号が表示されない場合があります。

相手の方の電話番号の表示について

電話がかかってきたときに相手の方の電話番号が、本製品のディスプレイに表示されます。
相手の方が電話番号を通知しない設定で電話をかけてきたときや、電話番号が通知できない電話からかけてきた場合は、その理由がディスプレイに表示されます。

表示	説明
「非通知設定」（ID Unsent）	相手の方が発信者番号を通知しない設定で電話をかけている場合に表示されます。
「公衆電話」（Pay Phone）	相手の方が公衆電話からかけている場合に表示されます。
「通知不可能」（Not Support）	相手の方が国際電話、一部地域系電話、CATV 電話など、発信者番号を通知できない電話から電話をかけている場合に表示されます。

番号通知リクエストサービスを利用する（標準サービス）

電話をかけてきた相手の方が電話番号を通知していない場合、相手の方に電話番号の通知をしてかけ直して欲しいことをガイダンスでお伝えするサービスです。

memo

- 初めてご利用になる場合は、停止状態になっています。
- お留守番サービス（▶P.292）、着信転送サービス（▶P.287）、割込通話サービス（▶P.290）、三者通話サービス（▶P.299）のそれぞれと、番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
- 番号通知リクエストサービスと迷惑電話撃退サービス（▶P.302）を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
- サービスの開始・停止には、通話料はかかりません。

番号通知リクエストサービスを開始する

1 ホーム画面で［電話］→［1］［4］［8］［1］→［ 発信 ］

2 ［切断］

memo

- 電話をかけてきた相手の方が意図的に電話番号を通知してこない場合は、相手の方に「こちらはauです。お客様の電話番号を通知しておかけ直しください。」とガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
- 番号通知リクエストサービスを開始したまま海外（国際ローミングエリア）へ行かれた場合にも、電話番号を通知してこない相手からの着信には、番号通知リクエストサービスのガイダンスが流れます。
- 次の条件からの着信時は、番号通知リクエストサービスは動作せず、通常の接続となります。
  - 公衆電話、国際電話
  - SMS
  - その他、相手の方の電話網の事情により電話番号を通知できない電話からの発信の場合

番号通知リクエストサービスを停止する

1 ホーム画面で［電話］→［1］［4］［8］［0］→［ 発信 ］

2 ［切断］

迷惑電話撃退サービスを利用する（オプションサービス）

迷惑電話やいたずら電話がかかってきて通話した後に「1442」にダイヤルすると、次回からその発信者からの電話を「お断りガイダンス」で応答するサービスです。

memo

- お留守番サービス（▶P.292）、着信転送サービス（▶P.287）、割込通話サービス（▶P.290）、三者通話サービス（▶P.299）、番号通知リクエストサービス（▶P.301）のそれぞれと、迷惑電話撃退サービスを同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。

ご利用料金について

月額使用料	有料
受信拒否リスト登録「1442」	無料
最後の登録を削除「1448」	無料
すべての登録を削除「1449」	無料

最後に着信した電話番号を受信拒否リストに登録する

迷惑電話などの着信後、次の操作を行います。

1 ホーム画面で［電話］→［1］［4］［4］［2］→［発信］

2 ［切断］

memo

- 受信拒否リストに登録できる電話番号は10件までです。10件を超えて登録すると、最も古い電話番号を削除して、新しい電話番号を登録します。
- 電話番号の通知のない着信についても、受信拒否リストに登録できます。
- 国際ローミング中や、次の条件からの着信時は受信拒否リストへは登録できません。
  - 警察、消防機関、海上保安本部
  - 公衆電話、国際電話
  - SMS
- 通話をせずに、不在着信となった電話番号は登録できません。
- 受信拒否リストに登録した相手の方から電話がかかってくると、相手の方に「こちらはauです。おかけになった電話番号への通話は、お客様のご希望によりおつなぎできません。」とお断りガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
- 受信拒否リストに登録された相手の方が、電話番号を非通知で発信した場合もお断りガイダンスに接続されます。
- 国際ローミング中には、受信拒否リストの登録／削除はできません。日本で受信拒否リストに登録されていた相手から着信があった場合には、お断りガイダンスに接続されます。
- 受信拒否リストに登録した相手の方でも次の条件の場合は、迷惑電話撃退サービスは動作せず、通常の接続となります。
  - SMS
  - 国際ローミング中のau電話からの着信

最後に登録した電話番号を受信拒否リストから削除する

1 ホーム画面で［電話］→［1］［4］［4］［8］→［ ］

2 ［切断］

memo

- 受信拒否リストに複数の電話番号が登録されている場合は、最後に登録した電話番号から順に1件ずつ削除されます。

受信拒否リストに登録した電話番号を全件削除する

1 ホーム画面で［電話］→［1］［4］［4］［9］→［ ］

2 ［切断］

通話明細分計サービスを利用する（オプションサービス）

分計したい通話について相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルすると、通常の通話明細書に加えて、分計ダイヤルした通話分について分計明細書を発行するサービスです。それぞれの通話明細書には、「通話先・通話時間・通話料」が記載されます。

1 ホーム画面で［電話］→［1］［3］［1］＋相手先電話番号を入力→［ ］

2 ［切断］

memo

- 分計したい通話ごとに、相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルする必要があります。
- 発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186／184」を最初にダイヤルしてください。
- フリーダイヤル、緊急通報番号（110、119、118）、SMSなどの一部の番号では「131」を付けて分計発信できません。分計対象外の番号へ「131」を付けてダイヤルした場合は、ご利用できない旨のガイダンスが流れます。
- 月の途中でサービスに加入されても、加入日以前から「131」を付けてダイヤルされていた場合は、月初めまでさかのぼって分計対象として明細書へ記載されます。

海外利用

グローバルパスポート

グローバルパスポートとは、日本国内でご使用の本製品をそのまま海外でご利用いただける国際ローミングサービスです。本製品は渡航先に合わせてGSMネットワーク、UMTSネットワーク、CDMAネットワークのいずれでもご利用になれます。

- いつもの電話番号のまま、世界のGSMネットワークとUMTSネットワーク、CDMAネットワークで話せます。
- 特別な申し込み手続きや日額・月額使用料は不要で、通話料は国内分との合算請求ですので、お支払いも簡単です。グローバルパスポートのご利用可能国、料金、その他サービス内容など詳細につきましては、auホームページまたはお客さまセンターにてご確認ください。

memo

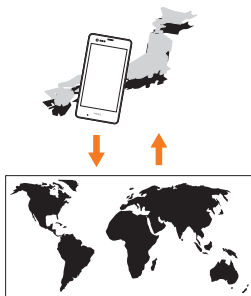
- 国際ローミングとは、日本でお使いのau電話または番号のまま海外の携帯電話事業者ネットワークにおいて音声通話などをご利用いただくサービスです。

■ご利用のイメージ

1 国内では、auのネットワークでご利用になれます。

2 本製品の「PRL（ローミングエリア情報）を取得する」（▶P.306）を行います。

3 本製品の「エリアを設定する」（▶P.306）を行います。

4 世界のGSM／UMTS／CDMAネットワークでいつもの番号で話せます。

5 帰国したら「エリアを設定する」（▶P.306）を「日本」へ戻します。

海外でご利用になるときは

海外でグローバルパスポートをご利用になるときは、「海外利用に関する設定を行う」（▶P.306）に従い、各種設定を行ってください。新規ご契約でご利用の場合、日本国内での最初のご利用日の2日後から海外でのご利用が可能です。

海外で安心してご利用いただくために

海外での通信ネットワーク状況はauホームページでご案内しています。渡航前に必ずご確認ください。
http://www.au.kddi.com/service/kokusai/tokomae/

■本製品を盗難・紛失したら

- 海外で本製品を盗難・紛失された場合は、auショップもしくはお客さまセンターまで速やかにご連絡いただき、通話停止の手続きをおとりください。盗難・紛失された後に発生した通話料・パケット通信料もお客様の負担になりますのでご注意ください。
- 本製品に挿入されているau Micro IC Card(LTE)を盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話（海外用GSM携帯電話を含む）に挿入され、不正利用される可能性がありますので、PINコードを設定されることをおすすめします。（▶P.262「au Micro IC Cardロック設定」）

■海外での通話・通信のしくみを知って、正しく利用しましょう

- ご利用料金は国・地域によって異なります。
- 海外における通話料は、各種割引サービスの対象となりません。
- 海外で着信した場合でも通話料がかかります。
- 国・地域によっては、「　」をタップした時点から通話料がかかる場合があります。

海外利用に関する設定を行う

海外で本製品を利用するには、渡航先で接続する通信事業者のネットワークに切り替える必要があります。

PRL（ローミングエリア情報）を取得する

PRL（ローミングエリア情報）とは、KDDI（au）と国際ローミング契約を締結している海外提携事業者のエリアに関する情報です。CDMAネットワークエリアで本製品を利用する場合に設定が必要です。海外渡航時には、最新のPRLを渡航前に取得してからお使いください。
PRLのバージョンは、ホーム画面で［ ⋮ ］→[設定]→[端末情報]→[端末の状態]と操作して、「PRLバージョン」の項目で確認してください。

1 ホーム画面で［電話］→［*］［5］［0］［5］［0］→［ ］

接続後に流れる音声ガイダンスを確認してから電話をお切りください。電話をお切りになった後、更新が開始されます。更新には10分程度時間がかかることがあります。

memo

- PRLの更新にかかる通話料・通信料は無料です。
- エリアによっては更新できない場合があります。
- 古いPRLデータのまま利用し続けている場合は、海外のエリアによって通信ができなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。

エリアを設定する

渡航先に着いたら、本製品を使用するエリアを設定します。

1 ホーム画面で［ ⋮ ］→［設定］→［その他］→［モバイルネットワーク］

2 ［エリア設定］

3 以下の項目をタップ

日本	日本国内でご利用になる場合に設定します。
海外（CDMA）	海外でグローバルパスポートCDMAをご利用になる場合に設定します。
海外 Auto(GSM/UMTS)	海外でグローバルパスポートGSM／UMTSをご利用になる場合に設定します。
海外 Manual(GSM/UMTS)	海外でグローバルパスポートGSM／UMTSをご利用になる場合で、海外通信事業者を手動で設定します。 ネットワーク名を選択します。

データローミングを設定する

渡航先（ローミング中）で、パケット通信を利用できるように設定します。

1 **ホーム画面で［ ⋮ ］→［設定］→［その他］→［モバイルネットワーク］**

2 **「データローミング」を有効にする→［OK］**

memo

- データローミングを有効にするには、あらかじめ「エリア設定」（▶P.306）を「海外（CDMA）」／「海外 Auto（GSM ／ UMTS）」／「海外 Manual（GSM ／ UMTS）」に設定してください。
- LTE NETまたはLTE NET for DATAにご加入されていない場合は、ローミング中にパケット通信を利用できません。

現在地時刻を設定する

「日付と時刻」の「日付と時刻の自動設定」を有効にしている場合（お買い上げ時の設定）は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本製品の時計の時刻や時差が補正されます。
GSM ／ UMTSローミング中は、「日付と時刻の自動設定」を無効にして「日付設定」「時刻設定」を手動で設定することができます（▶P.266）。

memo

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- サマータイムがある国は、現地時間と本製品の表示時間のずれがないかご確認ください。接続した海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

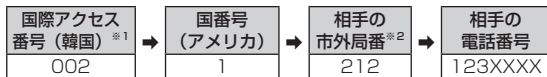
渡航先で電話をかける

渡航先から国外（日本含む）に電話をかける

渡航先から日本または他の国へ電話をかけます。

1 ホーム画面で［電話］

2 渡航先の国際アクセス番号、相手の国番号、相手の市外局番と電話番号を入力→［ ］

例：韓国からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

※1 「0」をロングタッチすると、「+」が入力され、発信時に渡航先の国際アクセス番号が自動で付加されます。

※2 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力します。ただし、イタリア･モスクワの固定電話など一部の国･地域では「0」が必要です。

memo

- 電話をかける相手がグローバルパスポート利用者の場合は、相手の渡航先にかかわらず国番号として「81」（日本）を入力してください。

渡航先の国内へ電話をかける

日本国内での操作と同様の操作で、相手の一般電話や携帯電話に電話をかけることができます。ただし、グローバルパスポートCDMAをご利用時のアメリカ本土、ハワイの場合は異なります。

1 ホーム画面で［電話］

■ GSMネットワークを利用している場合

2 市外局番と相手の方の電話番号を入力→［ ］

■ CDMAネットワークを利用している場合

2 電話番号を入力

渡航先	番号
アメリカ本土、ハワイ	「1」＋市外局番＋相手の方の電話番号
中国	市外局番＋相手の方の電話番号

3 ［ ］

渡航先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で、電話を受けることができます。

1 着信中に ◎ を右にスライド

memo

- 渡航先に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信（本製品）側には着信料がかかります。

■日本から渡航先のあなたへかけてもらう

日本国内にいるときと同様に、電話番号をダイヤルして電話をかけてもらいます。

■日本以外の国から渡航先のあなたへかけてもらう

渡航先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、国際アクセス番号および「81」（日本）をダイヤルしてもらう必要があります。

1 かける人の滞在国の国際アクセス番号、日本の国番号、最初の0を除いた本製品の電話番号を入力→発信

例：アメリカから韓国の本製品「090-1234-XXXX」にかけてもらう場合

国際アクセス番号（アメリカ）	➡	日本の国番号	➡	本製品の電話番号（最初の0は省略する）
011		81		901234XXXX

お問い合わせ方法

海外からのお問い合わせ

■本製品からのお問い合わせ方法（通話料無料）

＋（「0」をロングタッチ） ＋ 81 ＋ 3 ＋ 6670 ＋ 6944

受付時間：24時間

■一般電話からのお問い合わせ方法1（渡航先別電話番号）

地域	国	電話番号
北米・中南米	アメリカ（本土）	1-877-532-6223
	メキシコ	01-800-123-3426
	ブラジル	0021-800-00777113
アジア	韓国	002-800-00777113
	中国／マカオ／台湾	00-800-00777113
	香港／タイ	001-800-00777113
	インドネシア	001-803-81-0235
	ベトナム	120-81-003
	インド	000800-810-1134
ヨーロッパ	イギリス／イタリア／ドイツ	00-800-00777113
	フランス	0800-90-0209
オセアニア	ハワイ	1-877-532-6223
	サイパン	1-866-333-7129
	ニュージーランド	00-800-00777113

受付時間：24時間（通話料無料）

memo

- ホテル客室からご利用の場合は手数料などがかかる場合があります。
- 地域によっては公衆電話やホテル客室、携帯電話からご利用いただけない場合があります。
- 携帯電話からのご利用の場合は現地携帯電話会社による国内料金課金のケースがありますのでご了承ください。
- 記載の国は、主な例となります。最新情報についてはauホームページをご参照ください。

■一般電話からのお問い合わせ方法2

「一般電話からのお問い合わせ方法1」に記載のない国・地域からは、以下の方法でお問い合わせください。

渡航先の国際アクセス番号

受付時間：24時間（国際通話料がかかります）

日本国内からのお問い合わせ

au電話から（局番なしの）**157**番（通話料無料）
一般電話から **0077-7-111**（通話料無料）
受付時間 9:00～20:00（年中無休）

サービスエリアと海外での通話料

以下に記載の国や通話料は、主な例となります。渡航先の国・地域によってご利用いただけるサービスや通話料が異なります。

通話料は免税。単位は円／分。

国・地域名		音声通話	パケットサービス	滞在国内通話料	日本への国際通話料	他の国への国際通話料	着信した場合の料金
アジア	中国	○	○	70	175	265	145
	韓国	○	○	50	125	265	70
	台湾	○	○	70	175	265	145
	タイ	○	○	70	175	265	155
	フィリピン	○	○	75	175	265	155
	インドネシア	○	○	70	260	280	155
	ベトナム	○	○	70	195	280	80
	香港	○	○	70	175	265	145
	シンガポール	○	○	75	175	265	155
	インド	○	○	70	180	280	180
	マレーシア	○	○	75	175	265	80
	マカオ	○	○	70	175	265	145

国・地域名		音声通話	パケットサービス	滞在国内通話料	日本への国際通話料	他の国への国際通話料	着信した場合の料金
オセアニア	ハワイ	○	○	120	140	210	165
	グアム	○	○	80	140	210	130
	サイパン	○	○	80	140	210	130
	オーストラリア	○	○	80	180	280	80
	ニュージーランド	○	○	80	180	280	80
北米・中南米	アメリカ	○	○	120	140	210	165
	カナダ	○	○	120	140	210	165
	メキシコ	○	○	70	230	280	180
	ブラジル	○	○	80	280	280	140
ヨーロッパ・中東	フランス	○	○	80	180	280	110
	ドイツ	○	○	80	180	280	110
	イギリス	○	○	80	180	280	110
	イタリア	○	○	80	280	280	110
	スペイン	○	○	80	180	280	110
	スイス	○	○	80	180	280	110
	ロシア	○	○	80	380	380	110
	オランダ	○	○	80	180	280	110
	アラブ首長国連邦	○	○	80	180	280	140

memo

- 各種割引サービス・パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。
- 海外で着信した場合でも通話料がかかります。
- 発信先は、一般電話でも携帯電話でも同じ通話料がかかります。
- 渡航先でコレクトコール・フリーダイヤルなどをご利用になった場合でも渡航先での国内通話料がかかります。
- アメリカ本土、ハワイ、グアム、サイパン、カナダ、プエルトリコ、米領バージン諸島の間の通話料は、各国・地域内通話料金（120円／分または80円／分）となります。
- ニュージーランドで情報提供ダイヤルをご利用になると一律600円／分の料金がかかりますのでご注意ください。
- 韓国で情報提供ダイヤルをご利用になると一律500円／分の料金がかかりますのでご注意ください。
- 中国、香港、マカオ、台湾の間の通話料は、「日本以外への国際通話」料金（265円／分）となります。
- 国・地域によっては、「発信」をタップした時点から通話料がかかる場合があります。したがって相手につながらなくても通話料が発生することがあります。
- 2012年8月現在の情報です。
- 最新情報についてはauホームページをご参照ください。

パケットサービス・メッセージサービスの通信料

■パケットサービス・メッセージサービスの通信料（免税）

パケット通信料	SMS送信料	SMS受信料
1.6円／KB	100円／通	無料

■海外ダブル定額

対象となる海外事業者に接続した場合、1日あたり1,980円で約24.4MBまで、24.4MB以上でも1日あたり最大2,980円でご利用いただけます。
海外ダブル定額について詳しくはauホームページをご参照ください。

memo

- 海外でご利用になった場合の料金です。海外で受信したパケット量に応じて課金されます。
- 渡航先でのパケット通信料は、各種割引サービス・パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。

国際アクセス番号＆国番号一覧

■国際アクセス番号

国・地域名	番号
アメリカ、カナダ、ハワイ、グアム、サイパン	011
中国、フィリピン、ベトナム、インド、マレーシア、マカオ、ニュージーランド、メキシコ、フランス、ドイツ、イギリス、イタリア、スペイン、スイス、オランダ	00
タイ、インドネシア、香港、シンガポール	001
韓国	00700（002）
台湾	002
オーストラリア	0011
ブラジル	0021
ロシア	810

■国番号（カントリーコード）

国・地域名	番号	国・地域名	番号
アイルランド（IRL）	353	デンマーク（DNK）	45
アメリカ合衆国（USA）	1	ドイツ（DEU）	49
アラブ首長国連邦（ARE）	971	日本（JPN）	81
イギリス（GBR）	44	ニュージーランド（NZL）	64
イスラエル（ISR）	972	ノルウェー（NOR）	47
イタリア（ITA）	39	バミューダ諸島（BMU）	1
インド（IND）	91	ハンガリー（HUN）	36
インドネシア（IDN）	62	バングラデシュ（BGD）	880
オーストリア（AUT）	43	フィリピン（PHL）	63
オランダ（NLD）	31	フィンランド（FIN）	358
カナダ（CAN）	1	ブラジル（BRA）	55
韓国（KOR）	82	フランス（FRA）	33
ギリシャ（GRC）	30	ベトナム（VIE）	84
シンガポール（SGP）	65	ベルギー（BEL）	32
スイス（CHE）	41	ポルトガル（PRT）	351
スウェーデン（SWE）	46	香港（HKG）	852
スペイン（ESP）	34	マカオ（MAC）	853
タイ（THA）	66	マレーシア（MYS）	60
台湾（TWN）	886	メキシコ（MEX）	52
中国（CHN）	86	ルクセンブルグ（LUX）	352
		ロシア（RUS）	7

※ ハワイ、サイパンの国番号は、アメリカ合衆国（USA）「1」になります。

グローバルパスポートに関するご利用上のご注意

■渡航先での音声通話に関するご注意

- 渡航先でコレクトコール、フリーダイヤル、クレジットコール、プリペイドカードコールをご利用になった場合、渡航先での国内通話料が発生します。
- 国・地域によっては、「発信」をタップした時点から通話料がかかる場合があります。
- 海外で着信した場合は、日本国内から渡航先までの国際通話料が発生します。着信通話料については、国内利用分と合わせてauからご請求させていただきます。着信通話料には国際通話料が含まれていますので、別途国際電話会社からの請求はありません。

■通話明細に関するご注意

- 通話時刻は日本時間での表記となりますが、実際の通話時刻と異なる場合があります。
- 海外通信事業者などの都合により、通話明細上の通話先電話番号、ご利用地域が実際と異なる場合があります。
- 渡航先で着信した場合、「通話先電話番号」に着信したご自身のau電話の番号が表記されます。

■渡航先でのパケット通信料に関する注意

- 渡航先でのご利用料金は、国内でのご利用分に合算して翌月に（渡航先でのご利用分につきましては、翌々月以降になる場合があります）請求させていただきます。同一期間のご利用であっても別の月に請求される場合があります。
- 国内でパケット通信料が無料となる通信を含め、渡航先ではすべての通信に対しパケット通信料がかかります。

■渡航先でのメールのご利用に関するご注意

- 渡航先においては、ローミング中アイコンの表示のある場合にパケット通信が可能です。圏内表示のみの場合は音声通話（およびご利用の地域によってはSMS）のみご利用になれます。
- SMSのデータ量が渡航先の携帯電話網で許容されている長さより長い場合は、SMSの内容が一部受信できなかったり、複数に分割されて受信する場合や文字化けして受信する場合があります。また、電波状態などによって送信者がSMSを蓄積されても、渡航先では受信されません。
- SMSを電波状態の悪いエリアで受信した場合、日本へ帰国された後で渡航先で受信したメッセージと同一のメッセージを受信することがあります。
- 渡航先で、電波状態などの問題によりSMSを直接受け取れなかった場合には、送信者がそのSMSを蓄積しても、ローミング中は受信できません。お預かりしたSMSはSMSセンターで72時間保存されます。

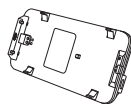
■その他ご利用上の注意

- 渡航先での通話料・パケット通信料は、各種割引サービス・パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。
- 渡航先により、連続待受時間が異なりますのでご注意ください。
- 海外で使用する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。なお、海外旅行用変圧器を使用して充電しないでください。
- 渡航先でリダイヤルする場合は、しばらく間隔をあけておかけ直しいただくとつながりやすくなります。
- 渡航先でグローバルパスポートに着信した場合、原則として発信者番号は表示されますが、海外通信事業者の事情により「通知不可能」や、まったく異なる番号が表示されることがあります。また、発信側で発信者番号を通知していない場合であっても、発信者番号が表示されることがあります。
- サービスエリア内でも、電波の届かない所ではご利用になれません。
- グローバルパスポートは、海外通信事業者の事情によりつながりにくい場合があります。
- 航空機の中では、計器類に悪影響を与えますので、携帯電話の電源は必ずお切りください。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。
- グローバルパスポートは海外通信事業者ネットワークに依存したサービスですので、海外通信事業者などの都合により、発着信・各種サービス、一部の電話番号帯への接続がご利用いただけない場合があります。
- 渡航先でのネットワークガイダンスは海外通信事業者のガイダンスに依存します。
- 渡航先ローミング中は、「料金安心サービス」の発信規制の対象になりません。
- 渡航中に「料金安心サービス【ご利用停止コース】」で設定した限度額を超過した場合、渡航先ではそのままご利用になれますが、帰国後の国内通話は発信規制となります。また国内で発信規制状態になっていても、グローバルパスポートとしては渡航先で使うことができます。
- 番号通知リクエストサービスを起動したまま渡航され、日本以外の国から着信を受けた場合、相手の方に番号通知リクエストガイダンスが流れ、着信できない場合がありますので、あらかじめ日本国内で停止してください。
- 渡航先でご利用いただけない場合、au電話の電源をオフ／オンすることでご利用可能となる場合があります。

付録／索引

周辺機器のご紹介

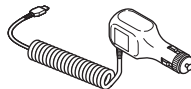
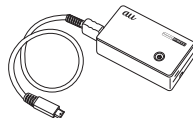
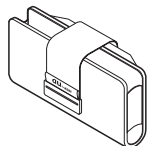
■ 電池パック（PTL21UAA）

■ 卓上ホルダ（PTL21PUA）

■ 共通ACアダプタ01（0202PQA）（別売）※
共通ACアダプタ02（0203PQA）（別売）※
共通ACアダプタ03（0301PQA）（別売）
共通ACアダプタ03 ネイビー（0301PBA）（別売）
共通ACアダプタ03 グリーン（0301PGA）（別売）
共通ACアダプタ03 ピンク（0301PPA）（別売）
共通ACアダプタ03 ブルー（0301PLA）（別売）
共通ACアダプタ04（0401PWA）（別売）

AC Adapter MIDORI（0205PGA）（別売）※
AC Adapter AO（0204PLA）（別売）※
AC Adapter SHIRO（0204PWA）（別売）※
AC Adapter MOMO（0204PPA）（別売）※
AC Adapter CHA（0204PTA）（別売）※
AC Adapter REST（LS1P002A）（別売）※
AC Adapter RANGERS（LS1P003A）（別売）※
AC Adapter CHARGY（LS1P001A）（別売）※
AC Adapter WORLD OF ALICE（LS1P004A）（別売）※
AC Adapter KiiRoll（L01P005A）（別売）※
AC Adapter JUPITRIS（ホワイト）（L02P001W）（別売）
AC Adapter JUPITRIS（レッド）（L02P001R）（別売）
AC Adapter JUPITRIS（ブルー）（L02P001L）（別売）
AC Adapter JUPITRIS（ピンク）（L02P001P）（別売）
AC Adapter JUPITRIS（シャンパンゴールド）（L02P001N）（別売）

- お使いのACアダプタによりイラストと形状が異なることがあります。
- AC Adapter MIDORI、AO、SHIRO、MOMO、CHA、REST、RANGERS、CHARGY、WORLD OF ALICE、KiiRollは、共通ACアダプタ02と共通の仕様です。
- 共通ACアダプタ01は国内専用です。海外で充電する際は、必ず共通ACアダプタ04、共通ACアダプタ03、または共通ACアダプタ02をご使用ください。

※ 本製品でご使用になる場合は、18芯-microUSB変換アダプタ01（別売）と接続する必要があります。

■ 共通DCアダプタ03（0301PEA）（別売）

■ ポータブル充電器02（0301PFA）（別売）

■ auキャリングケースFブラック（0105FCA）（別売）

■ 共通DCアダプタ01（0201PEA）（別売）※

■ ポータブル充電器01（0201PDA）（別売）※

■ 18芯-microUSB変換アダプタ01（0301QYA）（別売）

■ microUSBケーブル01（0301HVA）（別売）

■ microUSBケーブル01 ネイビー（0301HBA）（別売）

■ microUSBケーブル01 グリーン（0301HGA）（別売）

■ microUSBケーブル01 ピンク（0301HPA）（別売）

■ microUSBケーブル01 ブルー（0301HLA）（別売）

※ 本製品でご使用になる場合は、18芯-microUSB変換アダプタ01（別売）と接続する必要があります。

memo

- 最新の対応周辺機器につきましては、auホームページ（http://www.au.kddi.com/）にてご確認いただくか、お客さまセンターにお問い合わせください。
- 本製品は、ASYNC ／ FAX通信は非対応です。
- 上記の周辺機器は、auオンラインショップからご購入いただけます。http://auonlineshop.kddi.com/

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認ください。

こんなときは	ご確認ください	参照
◉を押しても電源が入らない	電池パックは充電されていますか？	▶P.42
	電池パックは正しく取り付けられていますか？	▶P.36
	電池パックの端子が汚れていませんか？	—
	◉を1秒以上長押ししていますか？	▶P.46
電源が勝手に切れる	電池が切れていませんか？	▶P.42
電源起動時の画面表示中に電源が切れる	電池が切れていませんか？ ※ 電池残量が少ない場合、電源を入れると、電源起動時の画面が表示され、しばらくすると画面が消えます。	▶P.42
電話がかけられない	電源は入っていますか？	▶P.46
	au Micro IC Card(LTE)が挿入されていますか？	▶P.39
	電話番号が間違っていませんか？（市外局番から入力していますか？）	▶P.87
	電話番号入力後、「発信」をタップしていますか？	▶P.87
	「エリア設定」が間違っていませんか？	▶P.306
	「機内モード」が設定されていませんか？	▶P.257
電話がかかってこない	電波は十分に届いていますか？	▶P.55
	サービスエリアの圏外にいませんか？	▶P.55
	電源は入っていますか？	▶P.46

こんなときは	ご確認ください	参照
電話がかかってこない	au Micro IC Card(LTE)が挿入されていますか？	▶P.39
	「エリア設定」が間違っていませんか？	▶P.306
	「着信拒否」が設定されていませんか？	▶P.256
	「機内モード」が設定されていませんか？	▶P.257
	着信転送サービスが設定されていませんか？	▶P.287
圏外アイコンが表示される	サービスエリアの圏外か、電波の弱い所にいませんか？	▶P.55
	内蔵アンテナ付近を指などでおおっていませんか？	▶P.34
	「エリア設定」が間違っていませんか？	▶P.306
Wi-Fi®がつながらない	アクセスポイントからの電波は届いていますか？	▶P.55
	Wi-Fi®の設定はしましたか？	▶P.270
着信音が鳴らない	音量が0に設定されていませんか？	▶P.258
	マナーモードが設定されていませんか？	▶P.231
充電ができない	充電用機器は正しく接続されていますか？	▶P.43 ▶P.45 ▶P.46
	電池パックは正しく取り付けられていますか？	▶P.36
	卓上ホルダや本体の充電端子などが汚れていませんか？	—
キー／タッチパネルの操作ができない	電源は入っていますか？	▶P.46
	画面ロックの解除はしましたか？	▶P.71
	スリープモードになっていませんか？	▶P.47

こんなときは	ご確認ください	参照
「au Micro IC Cardが挿入されていません」と表示される	au Micro IC Card(LTE)が挿入されていますか？	▶P.39
	au Micro IC Card(LTE)以外のカードを挿入していませんか？	▶P.39
充電してくださいなどと表示されて警告音が鳴った	電池残量がほとんどありません。	▶P.42 ▶P.48
電池パックを利用できる時間が短い	電池パックが寿命となっていませんか？	▶P.15
	電波が届きにくい場所での使用が多くありませんか？	▶P.55
	Wi-Fi®、3G／LTEデータ通信、GPS機能、Bluetooth®、自動同期などを使用する設定にすると、電池を消耗します。使用していない機能をこまめにOFFにすることで電池の消耗を抑えます。かんたん設定アイコンで各機能のON／OFFを切り替えることができます。	▶P.56
	使用していないアプリケーションを終了することで電池の消耗を抑えます。	▶P.260
	画面の明るさを暗く、画面消灯までの時間を短く設定すると、電池の消耗を抑えます。	▶P.259
電話をかけたときに受話口から「プーッ、プーッ、プーッ…」と音がしてつながらない	サービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか？	▶P.55
	回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのでおかけ直しください。	—
ディスプレイの照明がすぐに消える	「画面消灯までの時間」の時間が短く設定されていませんか？	▶P.259

こんなときは	ご確認ください	参照
相手の方の声が聞こえない	受話音量が最小に設定されていませんか？	▶P.87
	受話口を耳でふさいでいませんか？受話口が耳の穴に当たるようにしてください。	▶P.34
画面が動かなくなり、どのキーを押しても操作できない	長押ししても電源をOFFにできない場合は、一度電池パックを取り外し、数秒後に電池パックを入れ直してください。その場合、編集中のデータはすべて消失します。	―
microSDメモリカードを認識しない	microSDメモリカードは正しくセットされていますか？	▶P.41
	microSDメモリカードのマウントが解除されていませんか？	▶P.259
カメラが動作しない	電池残量が少なくなっていませんか？	▶P.168
	本体の温度が高かったり、極端に低くなっていませんか？	▶P.168

さらに詳しい内容については、お客さまセンターにお問い合わせください。

一般電話からは　フリーコール 0077-7-111（通話料無料）
au電話からは　局番なしの157（通話料無料）

ソフトウェアを更新する

■ソフトウェアアップデートご利用上のご注意

- 「アップデート情報の自動確認」を有効（お買い上げ時の設定）にしておくと、Wi-Fi®または3G／LTEデータ通信利用時、ソフトウェアアップデートが必要かどうかを25時間おきに自動的に確認します。アップデートが必要な場合は、ディスプレイ上部のステータスバーにが表示されます。
- 本製品に取り付けたmicroSDメモリカードの空き容量を500MB程度確保して、アップデートを行ってください。
  - **① 本製品に外付けした外部メモリは使用できません。**
  - **② 内部メモリを暗号化した場合、アップデートができないことがあります。アップデートのデータが300MBを超える場合に内部メモリが使用されます。**
    そのとき、内部メモリの空き容量が不足すると、メモリ不足のメッセージが表示されます。必要な空き容量を確保してから、再度アップデートを実行してください。
- パケット通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。
- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター（157／通話料無料）までお問い合わせください。また、本製品をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要な本製品をご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- 十分に充電してからアップデートしてください。電池残量が少ない場合や、アップデートの途中で電池残量が不足するとソフトウェアアップデートに失敗することがあります。
- 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェアアップデートに失敗することがあります。
- ソフトウェアを更新しても、本製品に登録された各種データや設定情報は変更されません。ただし、本製品の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。

- ソフトウェアアップデートに失敗したときや中止されたときは、「アップデート実行」をやり直してください。

ソフトウェアアップデート実行中は、以下のことは行わないでください

- ソフトウェア更新中に電池パックを外さないでください。電池パックを外すと、ソフトウェアアップデートに失敗することがあります。
- ソフトウェアの更新中は、移動しないでください。また、無線LAN（Wi-Fi®）電波が途切れたりしないようにご注意ください。

ソフトウェアアップデート実行中にできない操作について

- ソフトウェアの更新中は操作できません。110番（警察）、119番（消防機関）、118番（海上保安本部）へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。

ソフトウェアアップデートが実行できない場合などについて

- ソフトウェアアップデートに失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPit（一部ショップを除く）にお持ちください。

■「ソフトウェアアップデート」を実行する

1 **ホーム画面で［ ⋮ ］→［設定］→［端末情報］→［ソフトウェアアップデート］**

2 **［アップデート実行］**

更新データの確認を行い、現在のバージョンナンバーと最新のバージョンナンバーを表示します。
最新のバージョンナンバーが表示されない場合は、アップデートは不要です。「 ⮌ 」をタップして、ソフトウェアアップデートを終了してください。

3 **［実行］→［OK］→［OK］**

自動的に再起動します。

アフターサービスについて

■修理を依頼されるときは

修理については安心ケータイサポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社無償修理規定に基づき修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

memo

- メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いのau電話は、再生修理した上で交換用携帯電話機として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。

■補修用性能部品について

当社はこのVEGA（PTL21）本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後6年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■安心ケータイサポートプラスについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「安心ケータイサポートプラス」をご用意しています(月額399円、税込)。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細については、auホームページをご確認いただくか、安心ケータイサポートセンターへお問い合わせください。

memo

- ご入会は、au電話のご購入時のお申し込みに限ります。
- ご退会された場合は、次回のau電話のご購入時まで再入会はできません。
- 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。
- au電話を譲渡・承継された場合、安心ケータイサポートプラスの加入状態は譲受者に引き継がれます。
- 機種変更・端末増設などにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する「安心ケータイサポートプラス」は自動的に退会となります。
- サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■au Micro IC Card(LTE)について

au Micro IC Card(LTE)は、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

■アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記の窓口へお問い合わせください。

お客さまセンター（紛失・盗難時の回線停止のお手続き、操作方法について）

一般電話からは	0077-7-113（通話料無料）
au電話からは	局番なしの113（通話料無料）

安心ケータイサポートセンター（紛失・盗難・故障について）

一般電話／au電話からは	0120-925-919（通話料無料）
受付時間	9:00～21:00（年中無休）

■auアフターサービスの内容について

<table>
<tr><th colspan="3" rowspan="2">サービス内容</th><th colspan="2">安心ケータイサポートプラス</th></tr>
<tr><th>会員</th><th>非会員</th></tr>
<tr><td rowspan="3">交換用携帯電話機お届けサービス</td><td rowspan="2">自然故障</td><td>1年目</td><td>無料</td><td rowspan="3">補償なし</td></tr>
<tr><td>2年目以降</td><td rowspan="2">お客様負担額
1回目：5,250円
2回目：8,400円</td></tr>
<tr><td colspan="2">部分破損、水濡れ、全損、盗難、紛失</td></tr>
<tr><td rowspan="5">預かり修理</td><td rowspan="2">自然故障</td><td>1年目</td><td>無料</td><td>無料</td></tr>
<tr><td>2年目以降</td><td>無料（3年保証）</td><td rowspan="2">実費負担</td></tr>
<tr><td colspan="2">部分破損</td><td>お客様負担額
上限5,250円</td></tr>
<tr><td colspan="2">水濡れ、全損</td><td rowspan="2">補償なし</td><td rowspan="2">補償なし
（機種変更対応）</td></tr>
<tr><td colspan="2">盗難、紛失</td></tr>
</table>

※ 金額は全て税込

memo

交換用携帯電話機お届けサービス

- au電話がトラブルにあわれた際、お電話いただくことでご指定の送付先に交換用携帯電話機（同一機種・同一色、新品電池含む）をお届けします。故障した今までお使いのau電話は、交換用携帯電話機がお手元に届いてから14日以内にご返却ください。
- 本サービスをご利用された日を起算日として、1年間に2回までご利用可能です。本サービス申し込み時において過去1年以内に本サービスのご利用がない場合は1回目、ご利用がある場合は2回目となります。
  ※ 詳細はauホームページでご確認ください。

預かり修理

- 水濡れ・全損はこの対象とはなりません。
- お客様の故意・改造（分解改造・部品の交換・塗装など）による損害や故障の場合は補償の対象となりません。
- 外装ケースの汚れや傷、塗装の剥れなどによるケース交換は割引の対象となりません。

利用できるデータの種類

本製品で利用できる画像・動画・音の種類は次の通りです。

■画像

データの種類	拡張子
JPEG画像、デコレーション絵文字（JPG）	.jpg、.jpeg
GIF、GIFアニメ、デコレーション絵文字（GIF）	.gif
Image:PNG	.png
Image:BMP	.bmp
Image:WBMP	.wbmp

■動画

データの種類	拡張子
Video:3GPP（MPEG-4 SP）	.3gpp
Video:3GP（MPEG-4 SP）、Video:H.263、Video:H.264 AVC、カメラ撮影した動画	.3gp
EZムービー（H.264）、EZムービー（MPEG4）	.3g2
Video:3GPP2	.3gpp2
Video:H.264 AVC	.mp4
Video:MP4	.m4v
Video:WMV	.wmv
Advanced Streaming Format	.asf
Video:WEBM	.webm
Video:MKV	.mkv
Video:TS	.ts

■音

データの種類	拡張子
Audio:AMR-Narrow band	.amr
Audio:3GPP（AAC LC/LTP、HE-AACv1（AAC+）、HE-AACv2（enhanced AAC+））、着うた®（AAC、HE AAC）、ボイス（AMRのみ）	.3gp
ボイス（AMR）、着うた®（AAC、HE AAC）	.3g2
Audio:MPEG4（AAC LC/LTP、HE-AACv1（AAC+）、HE-AACv2（enhanced AAC+））	.m4a、.mp4
Audio:MP3（8~320kbps CBR or VBR）	.mp3
Audio:WMA	.wma
Audio:MIDI	.mid、.midi、.xmf、.rtttl、.rtx、.ota
Audio:Xiph.Orgが開発したフリーの音声ファイルフォーマット	.ogg、.oga
Audio:iMelody（Ericsson/SonyEricsson独自）	.imy
Audio:PCM/WAVE	.wav
Audio:SMF	.smf

主な仕様

項目		仕様
ディスプレイ		約4.3インチ、最大約1677万色、TFT、静電容量方式タッチパネル
		1280×720ドット（HD）
質量		約134g（電池パック含む）
サイズ（幅×高さ×厚さ）		約65mm×129mm×10.8mm（最厚部11.0mm）
本体内部メモリ		ROM 16GB、RAM 1GB
ユーザーメモリ		約11GB
外部メモリ		microSD™／microSDHC™メモリカード（最大32GB） microSDXC™メモリカード（最大64GB）
連続通話時間	国内	約700分
	海外（GSM）	約640分
	海外（CDMA）※1	約750分：アメリカ本土／ハワイ／中国本土
連続待受時間※2	国内	約400時間（3G使用時） 約380時間（LTE使用時）
	海外（GSM）	約550時間
	海外（CDMA）※1	約510時間：アメリカ本土／中国本土 約670時間：ハワイ
連続テザリング時間		約400分（WAN側3G） 約290分（WAN側LTE）
外部端子		micro USB Bタイプ端子（USB 2.0対応）、イヤホン端子（3.5 φ）

充電時間	共通ACアダプタ04（別売）使用時：約90分 共通DCアダプタ03（別売）使用時：約370分
カメラ	• アウトカメラ： CMOSイメージセンサー、 約800万画素（記録画素数3264 × 2448）、静止画サイズ（3264 × 2448、3200 × 1920、2560 × 1920、2000 × 1200、1600 × 1200、1280 × 960、800 × 480、640 × 480）、録画サイズ（1280 × 720、800 × 480、640 × 480、320 × 240）デジタルズーム方式、10cm 接写・ソフト処理 • インカメラ： CMOSイメージセンサー、 約200万画素（記録画素数1600 × 1200）、静止画サイズ（1600 × 1200、1280 × 960、800 × 480、640 × 480）、録画サイズ（800 × 480、640 × 480、320 × 240）
ワンセグ（連続視聴可能時間）	約4時間20分
無線LAN（Wi-Fi®）	IEEE802.11a/b/g/n準拠
Bluetooth®	4.0LE＋EDR
赤外線	IrMC ver.1.1

※1　対象国は2012年9月時点
※2　連続待受時間は、静止待受け状態での測定値です。

memo

• 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種VEGA（PTL21）の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。
この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.464W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。KDDI推奨の「auキャリングケースFブラック（0105FCA）（別売）」を用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。
KDDI推奨の「auキャリングケースFブラック（0105FCA）（別売）」をご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。
世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

（http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm）

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、以降に記載の各ホームページをご参照ください。

○総務省のホームページ：
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
○一般社団法人電波産業会のホームページ：
http://www.arib-emf.org/index02.html
○auのホームページ：
http://www.au.kddi.com/

※1　技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

※2　携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のＳＡＲの測定法については、2010年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されました。国の技術基準については、2011年10月に、諮問第118号に関して情報通信審議会情報通信技術分科会より一部答申されています。

Safety Information

CE Declaration of Conformity

In some countries/regions, such as France, there are restrictions on the use of Wi-Fi®. If you intend to use Wi-Fi® on the handset abroad, check the local laws and regulations beforehand.

■Operating Temperature

0 - 45 ° C (without adaptor), 0 - 45 ° C (with adaptor)

■Battery

RISK OF EXPLOSION IF BATTERY IS REPLACED BY AN INCORRECT TYPE.
DISPOSE OF USED BATTERY ACCORDING TO THE INSTRUCTIONS.

■Sound pressure- CAUTION

Excessive sound pressure from earphones can cause hearing loss.

■AC Adapter

The mains plug is used as the disconnect device which shall remain readily operable.
Any AC adapter used with this handset must be suitably approved with a 5Vdc SELV output which meets limited power source requirements as specified in EN/IEC 60950-1 clause 2.5.

■USB

The USB port has to be connected to USB interfaces, such as USB 2.0 version or higher.

FCC Notice

■SAFETY INFORMATION FOR FIXED WIRELESS TERMINALS

POTENTIALLY EXPLOSIVE ATMOSPHERES
Turn OFF your mobile phone when in any area with a potentially explosive atmosphere. It is rare, but your phone or its accessories could generate sparks. Sparks in such areas could cause an explosion or fire resulting in bodily injury or even death.
INTERFERENCE TO MEDICAL DEVICES
Most modern electronic equipment, for example equipment in hospitals and cars, is shielded from RF signal of your wireless phone.
However, certain electronic equipment (Pacemakers, Hearing Aids, and so on) is not therefore:
Do not use your mobile phone near medical equipment without requesting permission.
RF signal may affect some electronic systems in motor vehicles such as car stereo, safety equipment etc.
EXPOSURE TO RF ENERGY
Use only the supplied or an approved replacement antenna. Do not hold any component containing the radio so that the antenna is very close or touching any exposed parts of the body, especially the face or eyes, when making a call.

SAFETY INFORMATION FOR RF EXPOSURE

■Body worm operation

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the phone kept 1 cm. from the body. To maintain compliance requirements, use only belt-clips, holsters or similar accessories that maintain a separation distance of 1 cm. between the user's Body and the back of the phone, including the antenna. The use of belt-clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly. The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.
For more information about RF exposure, please visit the FCC website at www.fcc.gov.

SAR INFORMATION

THIS PHONE MODEL MEETS THE GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.

Your wireless phone is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health. The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. *
Tests for SAR are conducted with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone

while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power output. Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the government adopted requirement for safe exposure. The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model phone when tested for use at the ear is 0.388 W/Kg and when worn on the body , as described in this user guide, is 1.02 W/Kg . (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements). While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the government requirement for safe exposure. The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/fccid after searching on FCC ID: JYCCDMAPTL21.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications Industry Asso-ciation (CTIA) web-site at http://www.wow-com.com.

* In the United States and Canada, the SAR limit for mobile phones used by the public is 1.6 watts/kg (W/kg) averaged over one gram of tissue. The standard incorporates a sub-stantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

U.S.FEDERAL COMMUNICATIONS COMMISSION RADIO FREQUENCY INTERFERENCE STATEMENT

■INFORMATION TO THE USER

Note : This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful Interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful Interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular Installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

* Reorient or relocate the receiving antenna.
* Increase the separation between the equipment and receiver.
* Connect the equipment into an outlet of a circuit different from that to which the receiver is connected.
* Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Changes or modification not expressly approved by the party responsible for Compliance could void the user's authority to operate the equipment. Connecting of peripherals requires the use of grounded shielded signal cables.

FCC Compliance Information

This device complies with part 15 of FCC Rules.
Operation is subject to the following two conditions:

(1) This device may not cause harmful interference, and
(2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

おサイフケータイ®対応サービスご利用上の注意

■ご利用上の注意

お客さまがおサイフケータイ®対応サービスをご利用するにあたっては、以下の事項を承諾していただきます。

① おサイフケータイ®対応サービスについて

① おサイフケータイ®対応サービスとは、おサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップを利用したサービスです。

② おサイフケータイ®対応サービスは、おサイフケータイ®対応サービス提供者（以下、SPといいます）が提供します。各SPの提供するおサイフケータイ®対応サービスをご利用になる場合には、お客さまは当該SPとの間で利用契約を締結する必要があります。おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件等については、各SPにご確認、お問い合わせください。

③ おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件等について、当社は一切保証しかねますのであらかじめご了承ください。

② FeliCaチップ内のデータの取扱い等について

① お客さまがおサイフケータイ®対応サービスをご利用するにあたり、お客さまのおサイフケータイ®のFeliCaチップへのデータの書き込み及び書き換え並びにこれらに関する記録の作成、管理等は、SPが行います。

② FeliCaチップ内のデータの使用及びその管理については、お客さま自身の責任で行ってください。

③ おサイフケータイ®の故障等により、FeliCaチップ内のデータの消失、毀損等が生じることがあります。かかるデータの消失、毀損等の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

④ 当社は、FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ®の修理を行いません。お客さまは、当社におサイフケータイ®の修理をお申し付けになる場合は、あらかじめFeliCaチップ内のデータを消去した上でおサイフケータイ®をauショップもしくはPiPitにお渡しいただくか、当社がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。かかるデータの消去の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

⑤ SPがお客さまに提供するFeliCaチップ内のデータのバックアップ、移し替え等の措置（以下、SPバックアップ等といいます）については、SPの定めるおサイフケータイ®対応サービスの提供条件によります。おサイフケータイ®対応サービスのご利用開始前に必ず、当該おサイフケータイ®対応サービスを提供するSPに対し、SPバックアップ等の有無及び内容等についてご確認ください。SPバックアップ等のないサービスを選択したこと、SPバックアップ等を利用しなかったこと、又はSPバックアップ等が正常に機能しなかったこと等によりFeliCaチップ内のデータのバックアップ等が行われなかった場合であっても、それにより生じた損害、SPバックアップ等のご利用料金にかかる損害、その他FeliCaチップ内のデータの消失、毀損等、又は第三者の不正利用により生じた損害等、おサイフケータイ®対応サービスに関して生じた損害について、また、SPバックアップ等を受けるまでにおサイフケータイ®対応サービスをご利用できない期間が生じたことにより損害が生じたとしても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

⑥ 当社は、いかなる場合もFeliCaチップ内のデータの再発行や復元、一時的なお預かり、他のFeliCaチップへの移し替え等を行うことはできません。

③ FeliCaチップの固有の番号等の通知について

① おサイフケータイ®対応サービスによっては、お客さまのおサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップを特定するために、当該FeliCaチップ固有の番号が、おサイフケータイ®対応サービスを提供する当該SPに送信される場合があります。

② 当社は、SPがおサイフケータイ®対応サービスを提供するために必要な範囲で、お客さまのおサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップ固有の番号と、FeliCaチップ内のデータが消去されているか否か、及び当該FeliCaチップの廃棄処理情報について、当該SPに通知する場合があります。

③ auショップもしくはPiPitは、SPバックアップ等の各種手続きにおいて、お客様の電話番号等をSPに通知し、お客さまのFeliCaチップ内のデータについて当該SPに問い合わせる場合があります。

④ 不正利用について

① お客さまのおサイフケータイ®の紛失・盗難等により、FeliCaチップ内のデータを不正に利用されてしまう可能性があるため、十分ご注意ください。FeliCaチップ内のデータが不正利用されたことによるお客さまの損害について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

② 万一のおサイフケータイ®の紛失･盗難等に備え、ご利用前にセキュリティ機能を設定されることを推奨します。おサイフケータイ®の機種によってセキュリティのご利用方法が異なるため、詳細は取扱説明書やauホームページ等をご確認ください。但し、セキュリティ機能をご利用いただいた場合でも、FeliCaチップ内のデータの不正利用等を完全に防止できるとは限りませんのであらかじめご了承ください。

③ おサイフケータイ®対応サービスによっては、SPによりサービスを停止できる場合があります。紛失・盗難等があった場合の対応方法については、各SPにお問い合わせください。

④ 機種変更や廃棄等によりおサイフケータイ®のご利用を中止される場合には、不正に利用されることを防ぐため、必ずFeliCaチップ内のデータを全て削除してください。なお、かかるデータの削除の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

⑤ その他

① おサイフケータイ®対応サービスにおいて通信機能をご利用の場合は、お客さまのau通信サービスのご契約内容によっては、データ量に応じた通信料が発生することがあります。なお、読み取り機におサイフケータイ®をかざしておサイフケータイ®対応サービスを利用される際には通信料は発生しません。

② おサイフケータイ®対応サービスのご利用開始後におサイフケータイ®の契約名義又は電話番号の変更があった場合等、当該おサイフケータイ®対応サービスのご利用及びお客さまご自身でのFeliCaチップ内のデータの削除ができなくなることがあります。
なお、当該おサイフケータイ®対応サービスのFeliCaチップ内のデータを削除する場合は、あらかじめ当社又は当社代理店により当該おサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップ内の全てのデータを消去する必要がありますのでご了承ください。

NFCサービスご利用上の注意

■NFCについて

① NFCとは、Near Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。主に、非接触ICカード機能、リーダー／ライター機能、機器間通信機能などがあります。

② NFCを使っての各サービスご利用にあたっては、NFC機能をサポートしているau電話並びにau電話に挿入されたau Micro IC Card(LTE)へ、サービスのご利用に必要となるデータ（以下、NFCデータといいます）を書き込みする場合があります。

③ NFC機能を使った各サービスは、サービスプロバイダー（以下、SPといいます）が提供します。各SPの提供する対応サービス（以下、NFCサービスといいます）をご利用になる場合には、お客さまは当該SPとの間で利用契約を締結する必要があります。NFCサービスの内容、提供条件等については、各SPにご確認、お問い合わせください。

④ SPが提供するNFCサービスの内容、提供条件等について、当社は一切保証しかねますのであらかじめご了承ください。

■NFCデータの取り扱い等について

① お客さまがNFCサービスをご利用するにあたり、お客さまのau電話に挿入されたau Micro IC Card(LTE)へのNFCデータの書き込み、書き換え並びにこれらに関する記録の作成、管理等は、SPが行います。

② au電話並びにau Micro IC Card(LTE)内のNFCデータの使用及びその管理については、お客さま自身の責任で行ってください。

③ au電話本体並びにau Micro IC Card(LTE)の故障等により、NFCデータの消失、毀損等が生じることがあります。かかるデータの消失、毀損等の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

④ SPがお客さまに提供するNFCデータのバックアップ、移し替え等の措置（以下、SPバックアップ等といいます）については、SPの定めるサービスの提供条件によります。NFCサービスのご利用開始前に必ず、当該NFCサービスを提供するSPに対し、SPバックアップ等の有無及び内容等についてご確認ください。SPバックアップ等のないサービスを選択したこと、SPバックアップ等を利用しなかったこと、又はSPバックアップ等が正常に機能しなかったこと等によりNFCデータのバックアップ等が行われなかった場合であっても、それにより生じた損害、SPバックアップ等のご利用料金にかかる損害、その他NFCデータの消失、毀損等、又は第三者の不正利用により生じた損害等、NFCサービスに関して生じた損害について、また、SPバックアップ等を受けるまでにNFCサービスをご利用できない期間が生じたことにより損害が生じたとしても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

⑤ 当社は、いかなる場合もNFCデータの再発行や復元、一時的なお預かり、他への移し替え等を行うことはできません。

■au電話並びにau Micro IC Card(LTE)固有の番号等の通知について

① NFCサービスによっては、お客さまのau電話及びau Micro IC Card(LTE)を特定するために、当該のau電話並びにau Micro IC Card(LTE)の固有番号が、当該SPに送信される場合があります。

② 当社は、SPがNFCサービスを提供するために必要な範囲で、お客さまのau電話並びにau Micro IC Card(LTE)固有の番号と、NFCデータが消去されているか否か、及びau電話並びにau Micro IC Card(LTE)の解約処理情報について、当該SPに通知する場合があります。

■不正利用について

① お客さまのau電話並びにau Micro IC Card(LTE)の紛失・盗難等により、NFCデータを不正に利用されてしまう可能性があるため、十分ご注意ください。NFCデータが不正利用されたことによるお客さまの損害について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

② 万一、au電話並びにau Micro IC Card(LTE)の紛失・盗難等があった場合であっても、当社ではNFC機能を停止させることはできません。紛失・盗難等があった場合の対応方法については、各SPにお問い合わせください。

■その他

① NFCサービスにおいて通信機能をご利用の場合は、お客さまのau通信サービスのご契約内容によっては、データ量に応じた通信料が発生することがあります。なお、読み取り機、NFCタグ、他のau電話にau電話をかざしてNFCサービスを利用される際には通信料は発生しません。

② NFCサービスのご利用開始後に契約名義又は電話番号の変更があった場合、NFCサービスのご利用及びお客さまご自身でのNFCデータの削除ができなくなることがあります。なお､当該NFCサービスのデータを削除する場合は、あらかじめ当社又は当社代理店によりau Micro IC Card(LTE)内の全てのNFCデータを消去する必要がありますのでご了承ください。

③ 電池パックを外した場合は、NFCサービスをご利用いただけません。

④ 電池残量がなくなった場合、NFCサービスがご利用いただけない場合があります。

⑤ 機内モードまたは、電波OFFモード設定中は、NFCサービスがご利用いただけない場合があります。

知的財産権について

商標について

本書に記載している会社名､製品名は､各社の商標または登録商標です。

- microSDロゴ、microSDHCロゴ、mciroSDXCロゴはSD-3C、LLCの商標です。
- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、Pantechは、これら商標を使用する許可を受けています。
- Wi-Fi® はWi-Fi Alliance® の登録商標です。
「Wi-Fi」および「Wi-Fi」ロゴは、Wi-Fi Alliance® の登録商標です。
- AOSS™ は株式会社バッファローの商標です。

- The "RSA Secure" AND "Genuine RSA" logos are trademarks of RSA Data Security, Inc.
- Copyright© 2004-2012. PacketVideo Corporation. All Rights Reserved.
- IrMC™はInfrared Data Associationの商標です。
- DIVXビデオについて：DivX®は、Rovi Corporationの子会社であるDivX, LLC.が開発したデジタルビデオフォーマットです。本製品は、DivXビデオの再生に対応した正規のDivX Certified®（DivX認証）デバイスです。詳細情報およびビデオファイルをDivX形式に変換するためのソフトウェアについては、divx.comをご覧ください。
  DIVXビデオオンデマンドについて：DivXビデオオンデマンド（VOD）コンテンツを再生するには、このDivX Certified®（DivX認証）デバイスを登録する必要があります。登録コードは、デバイスセットアップメニューのDivXVODセクションで確認できます。詳細情報と登録方法については、vod.divx.comをご覧ください。
  DivX®、DivX Certified®、およびこれらの関連ロゴは、Rovi Corporationおよびその子会社の登録商標であり、ライセンス許諾に基づき使用しています。
  プレミアムコンテンツを含む最高HD 720pのDivX®ビデオ再生対応のDivX Certified®（DivX認証）取得済み。
  次の1つ以上の米国特許により保護されています：
  7,295,673; 7,460,668; 7,515,710; 7,519,274
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  DOLBY、ドルビーおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- 日本語変換は、オムロンソフトウェア（株）のiWnnを使用しています。
- iWnnはオムロン株式会社の登録商標です。
  iWnn© OMRON SOFTWARE Co, Ltd. 2008-2012 All Rights Reserved.
  iWnnIME© OMRON SOFTWARE Co, Ltd. 2009-2012 All Rights Reserved.
- 手書き文字認識は、富士通株式会社のInspirium手書き文字認識を使用しています。
  Inspiriumは富士通株式会社の登録商標です。
- 本製品には、株式会社モリサワの書体を搭載しています。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Microsoft® Excel®、Windows Media®、Exchange®は、米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの登録商標または商標です。
- Microsoft® Word、Microsoft® Officeは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。
- 音楽認識テクノロジーおよび関連データはGracenote®により提供されます。Gracenoteは音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。
  詳細については、次のWebサイトをご覧ください：www.gracenote.com
  GracenoteからのCDおよび音楽関連データ：
  Copyright © 2000 - present Gracenote.
  Gracenote Software：Copyright 2000 - present Gracenote.
  この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の1つまたは複数を実践している可能性があります：#5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。
  一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許（#6,304,523）用にOpen Globe,Inc.から提供されました。
  GracenoteおよびCDDBはGracenoteの登録商標です。
  GracenoteのロゴとロゴタイプおよびPowered by Gracenote」ロゴはGracenoteの商標です。
  Gracenoteサービスの使用については、次のWebページをご覧ください：www.gracenote.com/corporate
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- 「おサイフケータイ®」は株式会社NTTドコモの登録商標です。
- FeliCaはソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。FeliCaはソニー株式会社の登録商標です。
- ⓕは、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- 「Google」、「Google」ロゴ、「Android」、「Android」ロゴ、「Google Play」、「Google Play」ロゴ、「Gmail」、「Google Apps」、「Google ウォレット」、「Google Latitude」、「Google マップ」、「Google+」、「Google+」ロゴ、「Google トーク」、「Google ニュース」および「YouTube」は、Google Inc.の商標または登録商標です。
- 「Suica」「モバイルSuica」は東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

- TwitterおよびTwitterロゴはTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- 「mixi」「マイミク」は、株式会社ミクシィの登録商標です。
- Skype、関連商標およびロゴ、「S」記号はSkype Limited社の商標です。
- 「Jibe」はJibe Mobile株式会社の商標です。
- 「GREE」は、日本で登録されたグリー株式会社の登録商標または商標です。
- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- Manufactured under license under U.S. Patent Nos: 5,956,674; 5,974,380; 6,487,535 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks & DTS 2.0 Channel is a trademark of DTS, Inc. Product includes software.
- HDMI, the HDMI logo, and the term "High Definition Multimedia Interface" are trademarks or registered trademarks of HDMI Licensing, LLC.
- MHLおよびMHLロゴは、MHL, LLCの商標または登録商標です。
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browserを搭載しています。ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、日本国、米国およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。
- 本製品のソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- TRENDMICRO、およびウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
-
- 本製品には、絵文字画像として株式会社NTTドコモから利用許諾を受けた絵文字が含まれています。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

■Windowsの表記について

本書では各OS（日本語版）を以下のように略して表記しています。

- Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
- Windows Vistaは、Microsoft® Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
- Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。

■その他

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。
本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。

- MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
- MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4Videoを再生する場合

プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA．LLCにお問い合わせください。

- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手した

AVCビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。http://www.mpegla.comをご参照ください。

- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）VC-1規格準拠のビデオ（以下「VC-1ビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）VC-1ビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および／またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。http://www.mpegla.comをご参照ください。

利用許諾契約

オープンソースソフトウェアについて

本製品には、Google社が開発したAndroidのソフトウェアに基づいたオープンソースソフトウェアが含まれています。詳細については、以下のサイトの本製品に関する情報をご覧ください。
http://opensource.pantech.com/

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。

■OpenSSL License

(INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

【Original SSLeay License】

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)
THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Gracenote® エンドユーザー使用許諾契約書

本ソフトウエア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市のGracenote, Inc.（以下「Gracenote」とする）から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウエア製品または本電器製品は、Gracenote社のソフトウェア（以下「Gracenoteソフトウェア」とする）を利用し、音楽CDや楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報（以下「Gracenoteデータ」とする）などの音楽関連情報をオンラインサーバー或いは製品に実装されたデータベース（以下、総称して「Gracenoteサーバー」とする）から取得するとともに、取得されたGracenoteデータを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウエア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外にGracenoteデータを使用することはできません。
お客様は、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、GracenoteソフトウェアやGracenoteデータを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、またはGracenoteサーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**
お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様はGracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。
Gracenoteは、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenoteは、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc.が本契約上の権利をGracenoteとして直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。
Gracenoteのサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenoteサービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、Gracenoteのサービスに関するGracenoteプライバシーポリシーを参照してください。

Gracenoteソフトウェアと Gracenoteデータの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenoteは、Gracenoteサーバーにおける全てのGracenoteデータの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenoteは、妥当な理由があると判断した場合、Gracenoteサーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenoteソフトウェアまたは Gracenoteサーバーにエラー、障害のないことや、或いは Gracenoteソフトウェアまたは Gracenoteサーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenoteは、将来 Gracenoteが提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenoteは、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

- **Gracenoteは、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenoteは、お客様による Gracenoteソフトウェアまたは任意の Gracenoteサーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenoteは結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。**

『au Wi-Fi SPOT』利用規約

『au Wi-Fi SPOT』のご利用にあたっては、以下の利用契約の内容を承諾の上、ご利用ください。
株式会社ワイヤ·アンド·ワイヤレス（以下「当社」といいます。）は、この利用規約（以下「本規約」といいます。）に従って、KDDI株式会社、沖縄セルラー電話株式会社又はKDDI・沖縄セルラーの通信設備などを使用して通信サービスを提供する通信事業者（以下「KDDI等」といいます。）の通信サービスの契約者（以下の（3）項に定める条件を満たす契約者に限ります。以下「提供対象者」といいます。）に対して、『au Wi-Fi SPOT』（以下「本サービス」といいます）を提供します。お客さまは、ご利用開始後、本規約を遵守する義務を負うものとします。

（1）当社は、本サービスの提供にあたり、本規約のほか、別に定める「公衆無線ＬＡＮサービス契約約款」及び「利用規約」の適用を受けます。本規約の規定と「公衆無線ＬＡＮサービス契約約款」及び「利用規約」の規定が抵触する場合は、本規約の規定が優先して適用されます。
また、KDDI等が本サービスに関して制定するご利用条件等は本規約の一部を構成し、本サービスを利用するもの（以下「お客さま」といいます。）はこれを遵守する義務を負います。当社及びKDDI等は、当該規定及びご利用条件等を本サービス用のWeb等への掲載、又はその他の合理的な方法により告知します。

（2）当社は、本サービス及び本規約を予告なく改訂、追加、変更又は廃止することができるものとします。

（3）本サービスの提供対象者は、KDDI等の本サービス用のWeb等で掲載します。

（4）本サービスの提供は（3）項で指定する条件が満たされなくなった場合、自動的に終了するものとします。また、お客さまが本規約に違反した場合、お客さまに対する本サービスの提供を停止し又は終了することができるものとします。

(5）本サービスは、KDDI等が本サービス用に提供するアプリケーションを搭載したWi-Fi搭載機器で利用できます。
お客さまは、自己の責任と負担において、本サービスを利用するために必要なWi-Fi搭載機器を保持管理するものとします。

(6）国際ローミングサービスの取扱いは次によります。
①お客さまは、国際ローミングサービスの利用にあたり、関連する法令､提携事業者が定める約款等を遵守するものとします。なお､日本国外における国際ローミングサービスの利用に関しては、当社約款および本規約の定めにかかわらず、関係国の法令または提携事業者その他の電気通信事業者等が定める約款等により、その利用が制限等されることがあります。
②お客さまは、自己の責任に基づき国際ローミングサービスを利用するものとし、国際ローミングサービスの利用結果等について、全責任を負うものとします。
③当社は、国際ローミングサービスについて､その正確性､完全性､有用性等に関し、何らの保証責任および瑕疵担保責任を負わないものとします。
④お客さまは、国際ローミングサービスの利用に伴って、第三者から問合せ、クレームもしくは損害賠償その他の権利の侵害等 (知的財産権その他の権利の侵害等をいう。)の紛争等の請求を受け､または第三者に対して問合せ、クレームもしくは損害賠償等の請求を行う場合は、自己の責任と費用をもって処理解決するものとし、当社は、一切の責任を負わないものとします。
⑤お客さまは、本規約への違反その他自らの責に帰すべき事由により、当社または第三者に対して損害を与えた場合、その損害を賠償するものとします。

(7）国際ローミングサービスの利用可能エリアと通信料金等は、次によります。
1）利用可能エリア（国、地域等）はWeb等に掲載します。
2）通信料金は、別に定める「公衆無線LANサービス契約約款」にて規定した料金が適用されます。なお、国際ローミングサービスの通信料金は渡航先の通信事業者及び当社の機器によりログイン時刻とログアウト時刻までを測定し、そのデータに基づき算定します。利用終了時にはWi-Fi接続中にアプリよりログアウト操作をしてください。ログアウト操作しない場合は渡航先の通信事業者が一定時間経過後にログアウト処理を行うまで課金される可能性があります。
3)国際ローミングサービスの通信料金は､KDDI等から請求します。

(8）本サービスに関する著作権等を含む一切の権利は、当社又は第三者に帰属します。お客さまは本サービスに関する当社及び第三者の権利を侵害したり又はそのおそれがあるような行為を一切行ってはならないものとします。

(9）お客さまは、本規約に係るいかなる権利又は義務も第三者に移転又は譲渡することはできません。

(10）本サービスの利用にあたり、当社がKDDI等からお客さまの氏名・契約電話番号及び契約の料金プランの情報等の開示を受けることを承諾していただきます。

(11）当社が提供するサービスを通じて取得した個人情報は、次の目的の為に利用させていただきます。
・サービスの紹介、提案、および申込受付のため
・サービスの申込に基づくご本人さまの確認等のため
・サービスや契約の期日管理等、継続的なお取引における管理のため
・サービスの提供に関する妥当性の判断のため

・他の事業者等から個人情報の処理の全部または一部について委託された場合等において、委託された当該業務を適切に遂行するため
・お客さまとの契約や法律等に基づく権利の行使や義務の履行のため
・市場調査やデータ分析等によるサービスの向上や開発のため
・ダイレクトメールの発送等、サービスに関する各種ご提案やご案内のため
・サービスの終了後の管理のため
・その他お客さまとのお取引を適切かつ円滑に履行するため

（12）本サービス又は本規約に関してお客さまとの間で疑義又は争いが生じた場合には、誠意をもって協議することとしますが、それでもなお解決しない場合には「東京地方裁判所」又は「東京簡易裁判所」を専属の管轄裁判所とします。

附則 本規約は、2011年6月30日から実施します。

附則 本改訂規約は、2012年3月1日から実施します。

附則 本改訂規約は、2012年7月20日から実施します。

索引

数字／アルファベット

あ

か

付録／索引

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

Earphone jack
External connector
Earphone jack cover
External connector cover
Charging indicator/
Incoming call indicator
Proximity sensor/
VEGA Motion sensor
Earpiece
(Receiver)
Strap eyelet
Power key
Volume key
In-camera
(Camera
lens)
Display
Built-in
antenna
1Seg antenna
Microphone
VEGA
Mobile light
Photo LED
Out-camera
(Camera lens)
Infrared port
Speaker
FeliCa mark
au
au Micro IC-Card(LTE)
Battery
pack cover
microSD memory
card
Charging terminals

Turning Power On and Off

- **Turning Power On**

Press and hold down [ ] for more than one second

- **Turning Power Off**

Press and hold down [ ] →[Power off]→[OK]

Switching the Screen to English

On the Home screen, [ ] → [設定] (Settings) → [言語と入力] (Language & input)→ [言語] (Language)→ [English]

Checking Your Own Phone Number and Email Address

On the Home screen, [Apps] → [People] → the contact of "ME"

- You must register before creating My Profile Information

Making and Answering a Call

- **Making a Call**

On the Home screen, [Phone] → Enter the phone number you want to call → [ ]

To end a call : [End]

- **Answering a Call**

When the phone starts ringing, slide [ ] to the right

To adjust the earpiece volume during a call : Press [ ] / [ ]

Storing and Recalling Contacts

- **Storing a Contact**

On the Home screen, [Apps] → [People] → [ ] → Select the item you want to edit → [Save]

- **Recalling a Contact**

On the Home screen, [Apps] → [People] → Select the contact you want to recall → [ ]

Using the Camera (Movie and Snapshot)

- **Recording a Movie Clip**

On the Home screen, [Apps] → [Camera] → [ ] → [ ]

▶ Tap [ ] to start recording
▶ Tap [ ] to stop recording

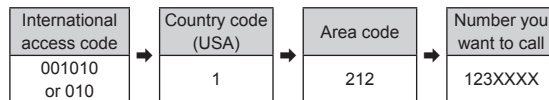
- **Taking a Snapshot**

On the Home screen, [Apps] → [Camera]

▶ Tap [ ] to take a snapshot

Making an International Call

Example : To call "212-123-XXXX" in the USA

International access code	➡	Country code (USA)	➡	Area code	➡	Number you want to call
001010 or 010		1		212		123XXXX

Other Handy Features

- **Setting the Manner Mode**

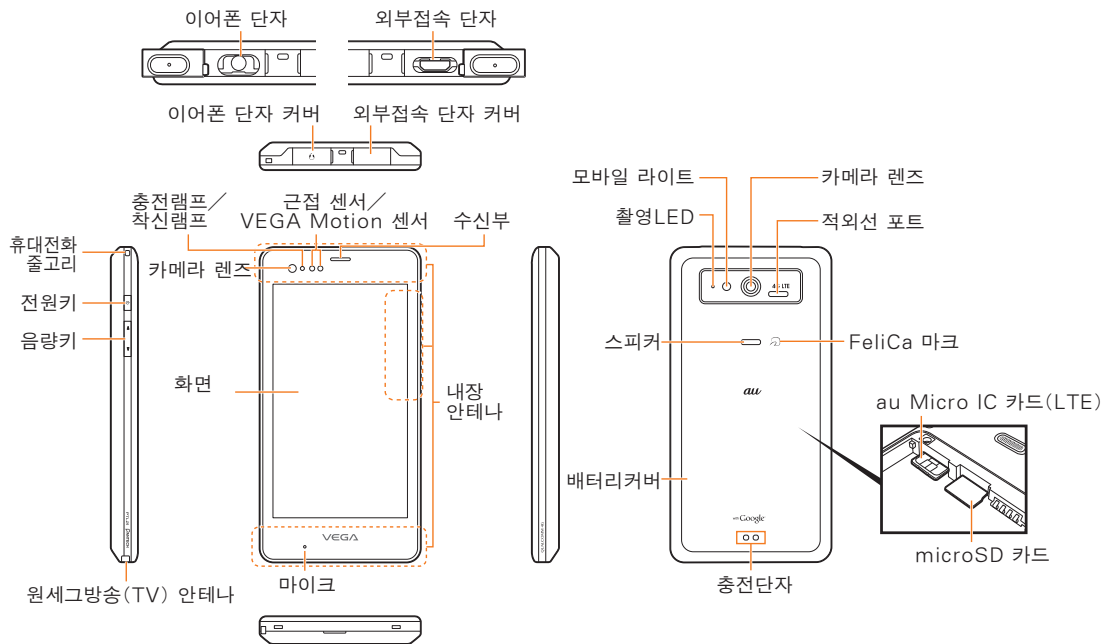
Press and hold down [ ] → [ ]

- If you want to turn off the Manner mode, press and hold down [ ] until the option screen is displayed and tap [ ]

For inquiries, please contact
Customer Service Center (General Information)

- If you are calling from a landline phone : 0077-7-111 (toll free)
- If you are calling from an au mobile phone : 157 (toll free)

간이 설명서（한국어）

이어폰 단자
외부접속 단자
이어폰 단자 커버
외부접속 단자 커버
충전램프／
착신램프
근접 센서／
VEGA Motion 센서
수신부
모바일 라이트
카메라 렌즈
촬영LED
적외선 포트
휴대전화
줄고리
카메라 렌즈
전원키
음량키
스피커
FeliCa 마크
화면
내장
안테나
au Micro IC 카드(LTE)
배터리커버
microSD 카드
원세그방송(TV) 안테나
마이크
충전단자

전원 켜기와 끄기

● 전원 켜기

을 1초 이상 길게 누름

● 전원 끄기

을 길게 누름 → [종료] → [확인]

화면 표시 언어를 한국어로 전환

대기화면에서 [ ] → [設定] (설정) → [言語と入力] (언어 및 키보드) → [言語] (언어) → [한국어]

내 전화번호와 이메일 주소 확인하기

대기화면에서 [앱스] → [피플] → "나" 의 연락처 탭

• My프로필 정보를 미리 등록해야 합니다.

전화 걸기/전화 받기

● 전화 걸기

대기화면에서 [휴대전화] → 상대방의 전화번호를 누름 → [ ]

통화 종료 : [종료]

● 전화 받기

착신음이 울리면 을 오른쪽으로 밈

통화 중 음량 조절 : / 을 누름

연락처 저장하기/불러오기

● 연락처 저장하기

대기화면에서 [앱스] → [피플] → [ ] → 편집을 원하는 항목 선택 → [저장]

● 연락처 불러오기

대기화면에서 [앱스] → [피플] → 불러오기를 원하는 연락처 선택 → [ ]

카메라 사용하기 (동영상/사진)

● 동영상 녹화하기

대기화면에서 [앱스] → [카메라] → [ ] → [ ]

▶ [ ] 을 눌러 녹화를 시작

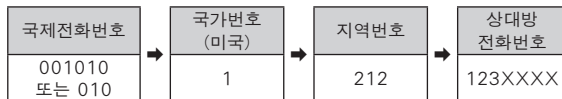
▶ [ ] 을 눌러 녹화를 멈춤

● 사진 촬영하기

대기화면에서 [앱스] → [카메라]

▶ [ ] 을 눌러 사진을 촬영

국제전화 걸기

예 : au 전화로 미국의「212-123-XXXX」로 전화를 걸려면

기타 편리한 기능

● 무음 모드 설정

을 길게 누름 → [ ]

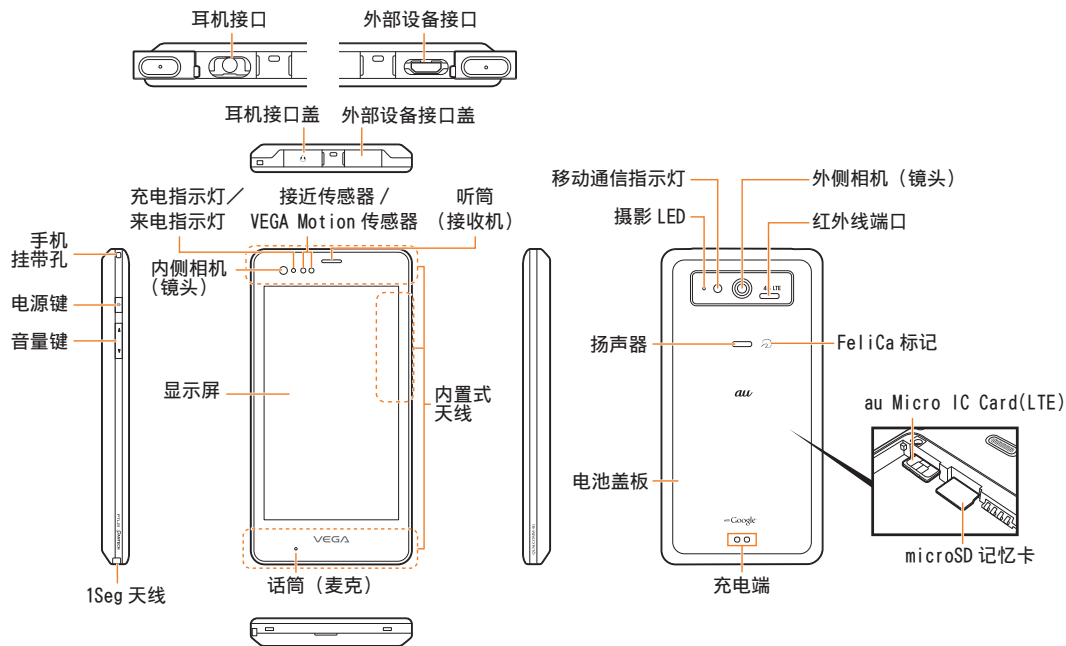
• 무음모드를 취소하려면, 휴대전화 옵션 화면이 표시될 때까지 을 길게 누른다음 [ ] 을 누르세요.

문의사항이 있으시면

au 고객서비스센터 (일반정보) 로 연락하십시오.

● 일반전화 사용시 0077-7-111 (무료)

● au 휴대전화 사용시 : 157번 (무료)

耳机接口
外部设备接口
耳机接口盖
外部设备接口盖
充电指示灯／
来电指示灯
接近传感器／
VEGA Motion 传感器
听筒
（接收机）
手机
挂带孔
电源键
音量键
内侧相机
（镜头）
显示屏
内置式
天线
1Seg 天线
话筒（麦克）
移动通信指示灯
摄影 LED
外侧相机（镜头）
红外线端口
扬声器
FeliCa 标记
au Micro IC Card(LTE)
电池盖板
microSD 记忆卡
充电端

开启或切断电源

● **开启电源**

（按住一秒钟以上）

● **切断电源**

（长按）→［关机］→［确定］

切换到中文（简体）显示

从首页画面，［ ］→［**設定**］（设置）→［**言語と入力**］（语言和输入法）→［**言語**］（语言）→［中文（简体）］

确认您自己的电话号码和邮箱地址

从首页画面，点触［应用程序］→［联系人］→“我”的电话号码和邮箱地址

需要事先登记自己的相关信息。

拨打和接听电话

● **拨打电话**

从首页画面，［拨号］→ 输入对方的电话号码 →［ ］

结束通话：［结束］

● **接听电话**

电话铃响起时向右滑动

通话时调整接听音量： /

登记联系人和选择联系人号码拨打电话

● **登记联系人**

从首页画面，［应用程序］→［联系人］→［ ］→选择项目后编辑→［保存］

● **选择联系人号码拨打电话**

从首页画面，［应用程序］→［联系人］→选择联系人号码→［ ］

使用照相机（视频和照片）

● **拍摄视频**

从首页画面，［应用程序］→［相机］→［ ］→［ ］

▶开始拍摄：［ ］

▶停止拍摄：［ ］

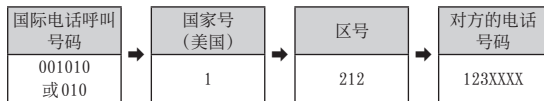
● **拍摄照片**

从首页画面，［应用程序］→［相机］

▶拍摄照片：［ ］

拨打国际长途电话

例：使用au电话拨打美国长途的“212-123-XXXX”时

国际电话呼叫号码	国家号（美国）	区号	对方的电话号码
001010 或010	1	212	123XXXX

其他便利功能

● **设置静音模式**

（长按）→［ ］

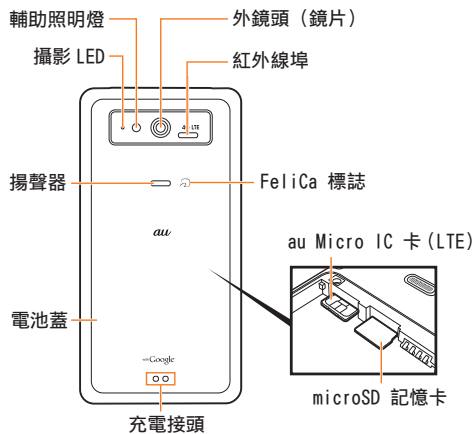
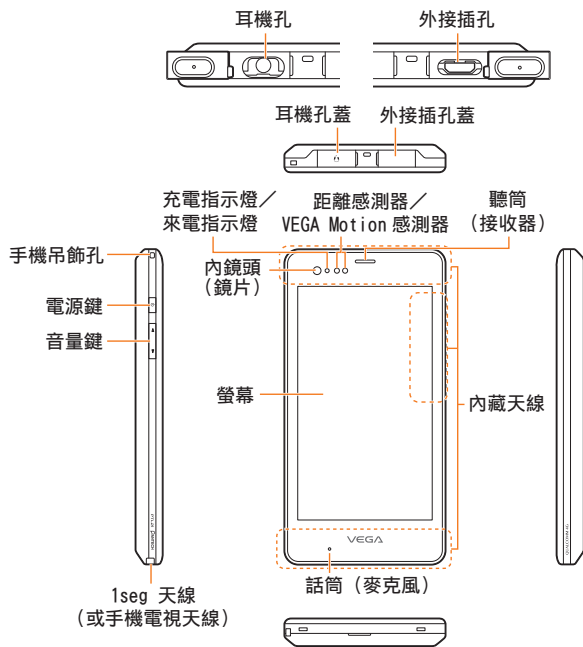
如需取消静音模式，应再次按住 直到显示手机选项画面，然后点触［ ］。

如需咨询，请联系

客户服务中心（综合信息）

● 从座机上请拨打电话 0077-7-111（免费）

● 从au手机上请拨打电话（无区号）157（免费）

耳機孔
外接插孔
耳機孔蓋
外接插孔蓋
充電指示燈／
來電指示燈
距離感測器／
VEGA Motion 感測器
聽筒
（接收器）
手機吊飾孔
內鏡頭
（鏡片）
電源鍵
音量鍵
螢幕
內藏天線
1seg 天線
（或手機電視天線）
話筒（麥克風）
VEGA
輔助照明燈
攝影 LED
外鏡頭（鏡片）
紅外線埠
揚聲器
FeliCa 標誌
au Micro IC 卡（LTE）
電池蓋
microSD 記憶卡
充電接頭

開啟／關閉電源

● 開啟電源

（按住按鍵超過 1 秒鐘）

● 關閉電源

（按住按鍵）→［關機］→［確定］

切換成中文（繁體）語系

在主螢幕首頁選擇［ ］→［**設定**］（設定）→［**言語と入力**］（語言與輸入裝置）→［**言語**］（語言）→［中文（繁體）］

查看使用者自己的聯絡資訊

在主螢幕首頁選擇［應用程式］→［使用者］→“我自己”

- 需要事先於我的資訊輸入使用者相關資訊。

撥打／接聽電話

● 撥打電話

在主螢幕首頁選擇［電話］→ 輸入對方的電話號碼 →［ ］

要結束通話，請觸控［結束］

● 接聽電話

當電話響起時，將 向右滑動

通話時調整聽筒音量，請按 ／

儲存聯絡人／選擇聯絡人撥號

● 儲存聯絡人

在首頁畫面選擇［應用程式］→［使用者］→［ ］→ 選擇欄位進行編輯 →［儲存］

● 選擇聯絡人撥號

在首頁畫面選擇［應用程式］→［使用者］→選擇要撥號的聯絡人→［ ］

使用相機（影片和快照）

● 拍攝影片

在首頁畫面選擇［應用程式］→［相機］→［ ］→［ ］

▶要開始攝影，請觸控［ ］

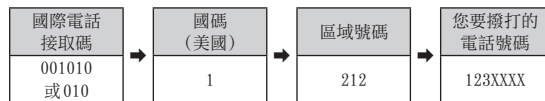
▶要結束攝影，請觸控［ ］

● 拍攝快照

在首頁畫面選擇［應用程式］→［相機］

▶拍照時請觸控［ ］

撥打國際電話

以使用 au 手機撥打美國地區電話“212-123-XXXX”時為例。

其他手機功能

● 設定靜音模式

（按住按鍵）→［ ］

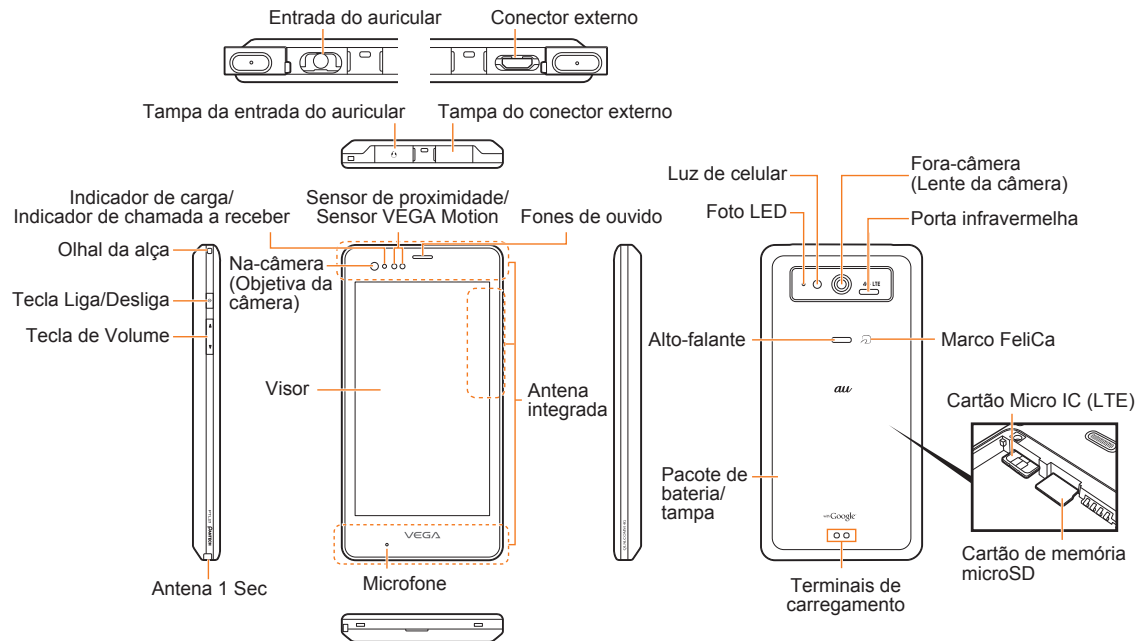
解除靜音模式時，請再次按住 不放，等到螢幕出現選項畫面後，輕觸［ ］。

若需諮詢，請聯絡

客戶服務中心（一般資訊）

● 室內電話請撥打 0077-7-111（免費）

● au 手機請撥打：157（免費）

Manual Simples em Português

Como ligar e desligar

- **Para Ligar**

  Prima sem soltar por mais de um segundo

- **Para Desligar**

  Prima sem soltar → [Desligar] → [OK]

Alternar a tela para Português

Na tela principal, [ ] → [設定] (Configurações) → [言語と入力] (Idioma e entrada) → [言語] (Idioma) → [Português]

Como verificar seu próprio número de telefone e endereço de email

Na tela principal, [Apps] → [Pessoas] → a aba de contatos “EU”

- Você deverá se registrar antes de criar informação de Meu perfil

Como fazer e atender uma chamada

- **Como fazer uma chamada**

  Na tela principal, [Telefone] → Digite o número de telefone que deseja chamar → [ ]

  Para finalizar uma chamada : [Fim]

- **Como atender uma chamada**

  Quando o telefone tocar, deslize para a direita

  Para ajustar o volume dos fones de ouvido durante uma chamada: Pressione /

Armazenar e acessar Contatos

- **Armazenar um Contato**

  Na tela principal, [Apps] → [Pessoas] → [ ] → Selecione o item que pretende editar → [Salvar]

- **Acessar um Contato**

  Na tela principal, [Apps] → [Pessoas] → Selecione o contato que deseja acessar → [ ]

Uso da Câmera (Filme e Instantâneo)

- **Como gravar um filme**

  Na tela principal, [Apps] → [Câmara] → [ ] → [ ]

  ▶Toque [ ] para iniciar a gravação

  ▶Toque [ ] para parar a gravação

- **Como fazer um instantâneo**

  Na tela principal, [Apps] → [Câmara]

  ▶Toque [ ] para fazer um instantâneo

Como fazer uma chamada internacional

Exemplo：Na tela principal, “212-123-XXXX” nos EUA

Código de acesso internacional	➡	Código do país (EUA)	➡	Código de área	➡	Número que deseja chamar
001010 or 010		1		212		123XXXX

Outros recursos úteis

- **Configurar o Modo Silencioso**

  Prima sem soltar → [ ]

  - Se você pretende desativar o modo Maneira, prima sem soltar até que o ecrã de opção seja exibido e toque [ ]

Para informações, contate

Central de Atendimento ao Cliente (Informações Gerais)

- Se estiver chamando de um telefone fixo : 0077-7-111 (chamada gratuita)
- Se estiver chamando de um telefone celular au: 157 (chamada gratuita)

文字入力の詳細情報

■記号（全角／半角）一覧

入力できる記号(全角）一覧（表示順）

空白(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ
ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／	＼	〜	‖	｜	…	‥	‘	’	“	”	（
）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄	￠	￡	％	＃
＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇	◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←
↑	↓	〓	∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃	∪	∩	∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	∠	⊥	⌒
∂	∇	≡	≒	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬	Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶	◯
ゎ	ゐ	ゑ	ヮ	ヰ	ヱ	ヴ	ヵ	ヶ	Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ
Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω	α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι
κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω	А	Б	В	Г	Д	Е
Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ
Ъ	Ы	Ь	Э	Ю	Я	а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я	─	│	┌
┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳	┫	┻	╋	┠	┯
┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸	╂	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ	㍉	㌔	㌢	㍍
㌘	㌧	㌃	㌶	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡	㍻	〝
〟	№	㏍	℡	㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼	∮	∟	⊿			

入力できる記号（半角）一覧（表示順）

空白(スペース)	!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/	:	;	<	=	>
?	@	[	\	]	^	_	`	{	¦	}	~									

※ 入力できる記号は実際の表示と多少異なります。

■絵文字一覧

入力できる絵文字一覧（表示順）

- 異なる機種の携帯電話に絵文字を送信した場合、一部の絵文字が正しく表示されない場合があります。
- 他社の携帯電話に送信した場合に変換される絵文字の対応表は、以下のホームページでご案内しております。

  パソコンから→http://www.au.kddi.com/email/emoji/index.html

  ※ サイト内の「絵文字対応表」を選択すると対応表の確認ができます。

■デコレーション絵文字一覧

お買い上げ時に用意されているデコレーション絵文字一覧

記号・文字

その他

■ピクチャー一覧

お買い上げ時に用意されているピクチャー一覧

■顔文字一覧

●ハッピー

- (*^^*)
- (^^)
- (^-^)
- (^^)v
- (^-^)v
- (^_^)
- (^_^)v
- (^o^)
- (^o^)v
- ＼(^^) ／
- ＼(^-^) ／
- ＼(^_^) ／
- ＼(^o^) ／
- (^.^)
- (^^)/
- (^-^)/
- (^^)d
- :-)
- :->
- ;-)
- (^ — ^)
- (^〇^)
- (￣—￣)
- (⌒ - ⌒)
- o(^o^)o
- p(^^)q
- p(^-^)q
- q(^-^q)
- d=(^o^)=b
- (^-^)ノ∠※。.:*:・'°☆
- (^w^)
- (*´ω｀*)
- (*´∀｀)
- (ノ´∀｀*)
- (´∀｀)
- (´,_ゝ`)
- (o´∀｀o)
- (＾∀＾)
- (￣▽￣)
- (//▽//)
- (・∇・)
- (☆∀☆)
- (v^-°) ♪
- ("⌒∇⌒")
- (#^.^#)
- ((o(^∇^)o))
- ((o(￣—￣)o))
- (*^.^*)
- (*^。^*)
- (*^-^*)
- (*^ — ^) ノ♪
- (*^_^*)
- (*^▽^)/★*☆♪
- (*^▽^*)
- (*^￢^*)
- (*^O^*)
- (*￣—￣)
- (*￣∇￣)ノ
- (*￣∇￣*)
- (*´-`)
- (*´ — ｀*)
- (*´∀`) ♪
- (*´∇｀*)
- (*≧∀≦*)
- (*ノ▽ノ)
- (。^。^。)
- (。-∀-)
- (///∇///)
- (///ω///) ♪
- (//∇//)
- (／▽＼) ♪
- (^〇^)
- (^^)b
- (^∇^)
- (＾◇＾)
- (^◇^)
- (^O^)
- (˜▽˜@) ♪♪♪
- (￣∇￣*) ゞ
- (´∇｀)
- (' -' *) ♪
- (〃⌒∇⌒ 〃)
- (// ^ — ^ //)
- (// ∇ //)
- (//⌒—⌒//) ゞ
- (// ω //)
- (° ∇ ^d)!!
- (≡ ^ ∇ ^ ≡)
- (≧∇≦)
- (≧▽≦)
- (°▽° *)
- (●^o^●)
- (°▽°)
- (o^ — ^o)
- (o ＾・＾ o)
- (o^O^o)
- (o ≧▽°)o
- (o⌒∇⌒o)

- (p^-^)p
- (σ≧▽≦)σ
- ＼(^.^)／
- 《*≧∀≦》
- ♪(/ω＼*)
- ♪ヽ(´▽｀)/
- d(^-^)
- d(⌒ー⌒)!
- o(*⌒—⌒*)o
- o(^-^o)(o^-^)o
- O(≧∇≦)O
- v(^o^)
- v(・∀・*)
- Ψ(￣∇￣)Ψ
- ヘ(≧▽≦ヘ)♪
- ヽ(*´▽)ノ♪
- ヾ(@°▽°@)ノ
- ヽ(^。^)ノ
- ヽ(^○^)ノ
- ヽ(￣▽￣)ノ
- ヽ(・∀・)ノ

● 悲しい

- (;_;)
- (;o;)
- (T_T)
- (ToT)
- (TT)
- (T-T)
- (..)
- :-(
- X-＜
- (/_;)/~~
- (;_;)/~~~
- (´д｀¦¦¦)
- (。＞д＜)
- m(。≧Д≦。)m
- (´・ω・`)
- (´_ゝ`)
- (´・c_・`)
- (;∀;)
- (TДT)
- (´△｀)
- (ノД`)…
- ((T_T))
- (*ToT)
- (._.)
- (。´Д⊂)
- (／。＼)
- (/—￣;)
- (/_;)
- (／_;)/
- (/´△`＼)
- (/o＼)
- (;;)
- (;-;)
- (;_・)
- (;__q)
- (;O;)
- (;つД｀)
- (´;ω;`)
- °°(´O｀)°°
- (T.T)
- (T^T)
- (T__T)
- (T△T)
- (T▽T)
- (TOT)
- (つд;*)
- (ノ_＜。)
- (ノ_・,)
- (ノ_・。)
- 。・°°(ノД`)
- ・°・(つД｀)・°・
- ・・・(;´Д｀)
- o(T□T)o
- orz
- ρ(・・、)
- Σ(ノд＜)

● びっくり

<table>
<tr><td>(*_*)</td></tr>
<tr><td>:-O</td></tr>
<tr><td>(゜□゜)</td></tr>
<tr><td>(゜□゜;</td></tr>
<tr><td>(/--)/</td></tr>
<tr><td>(゜□゜;ノ) ノ</td></tr>
<tr><td>Σ(゜Д゜)</td></tr>
<tr><td>(; ´ _ ゝ `)</td></tr>
<tr><td>！！(゜□゜ノ)ノ</td></tr>
<tr><td>！Σ (￣□￣;)</td></tr>
<tr><td>！Σ(×_×;)!</td></tr>
<tr><td>(; ゜Д゜)</td></tr>
<tr><td>(゜o゜)</td></tr>
<tr><td>(((((((・ ・;)</td></tr>
<tr><td>(((((゜゜;)</td></tr>
<tr><td>((((; ゜Д゜)))</td></tr>
<tr><td>(*_*;</td></tr>
<tr><td>(*゜Q゜*)</td></tr>
<tr><td>(゜.゜)</td></tr>
<tr><td>(／□゜)／</td></tr>
<tr><td>(;゜゜)</td></tr>
<tr><td>(゜゜;)</td></tr>
<tr><td>(゜○゜;)</td></tr>
<tr><td>(゜○゜;)?????</td></tr>
<tr><td>(; ゜∀゜)</td></tr>
<tr><td>(;゜∇゜)</td></tr>
<tr><td>(; ・∀・)</td></tr>
<tr><td>(; ・ω・)</td></tr>
<tr><td>(;゜O゜)</td></tr>
<tr><td>(@_@)</td></tr>
<tr><td>(@_@;)</td></tr>
<tr><td>(@￣□￣@;) ！！</td></tr>
<tr><td>(゜_゜)</td></tr>
<tr><td>(゜_゜;)</td></tr>
<tr><td>(¦¦゜Д゜)</td></tr>
<tr><td>(˜O˜;)</td></tr>
<tr><td>(￣□¦¦¦¦ ！！</td></tr>
<tr><td>(￣□￣;)!!</td></tr>
<tr><td>(￣O￣;</td></tr>
<tr><td>(￣O￣)</td></tr>
<tr><td>(○_○) ！！</td></tr>
<tr><td>(◎-◎;)</td></tr>
<tr><td>(゜Д゜)</td></tr>
<tr><td>(・。・)</td></tr>
<tr><td>(・。・;</td></tr>
<tr><td>(・_・)</td></tr>
<tr><td>(・o・)</td></tr>
<tr><td>(゜m゜;)</td></tr>
<tr><td>(゜O゜;</td></tr>
<tr><td>(゜д゜)</td></tr>
<tr><td>(ノ゜ο゜)ノ</td></tr>
<tr><td>(ノ￣ο￣)ノ</td></tr>
<tr><td>＼(>_<)／</td></tr>
<tr><td>＼(◎o◎)／</td></tr>
<tr><td>＼(゜o゜;)/</td></tr>
<tr><td>＼(゜□＼)(／□゜)／</td></tr>
<tr><td>w(゜o゜)w</td></tr>
<tr><td>Σ(￣□￣|||)</td></tr>
<tr><td>Σ(´□`;)</td></tr>
<tr><td>Σ(-∀-;)</td></tr>
<tr><td>Σ(T▽T;)</td></tr>
<tr><td>ヘ(゜ο゜;)ノ</td></tr>
</table>

● 困る

(*_*)
(-.-)
(--;)
(^^;
(^-^;
(^_^;)
(^o^;)
(-_-;)
(>_<)
(・ ・;)
f(^^;
f(^_^;
f(^_^)
X-<
(((^^;)
(((^_^;)
(((・ ・;)
(;´д`)
(^^;)))
(^^ ゞ
(^-^ ゞ
(^_^;)))
(^_^ ゞ
(^o^ ゞ

- (￣▽￣;)
- (´Д｀)
- _(^^;)ゞ
- ┐('～`;)┌
- f(^ー^;
- σ(^_^;)?
- (´д｀|||)
- 。。(〃_ _)σ‖
- (;´∀｀)
- (-_・)?
- (・◇・)？
- (-""-;)
- (－－;
- (－－;)
- ((／__;)／)
- (ー_ー;)
- (*_*;
- (-。-;)
- (/≧◇≦＼)
- (";)
- (;°°)
- (°°;)
- (°○°;)
- (°°;)(。。;)
- (°○°;)?????

- (;^_^A
- (;￣ー￣A
- (;￣Д￣)？
- (;>_<;)
- (;°∀°)
- (;°▽°)
- (;・∀・)
- (;・ω・)
- (;A´▽｀A
- (?_?)
- (@_@;)
- (^。^;)
- (^^;)
- (^-^;)
- (^^;)(;^^)
- (^^;;
- (^ー^;A
- (^_^;
- (^o^;
- ('_'?)
- (~_~;)
- (~O~;)
- (~Q~;)
- (¨;)
- (￣～￣;)

- (￣O￣;)
- (￣O￣;
- (´▽｀;)ゞ
- (´・ω・`)?
- (´-ω-`)
- (´Д`|||)
- (>.<)
- (>_<")
- (><)
- (>o<")
- (×_×)
- (◎-◎;)
- (・。・;
- (・__・;
- (・_・;
- (・_・?)
- (・・?
- (-o-)
- (-o-;)
- ?!(・◇・;)？
- ?(・_・;?
- ＼(+_<)/
- ^^;
- ^-^;
- ^_^;

- ┐(-。ー;)┌
- ┐(-。-;)┌
- ┐(￣ヘ￣)┌
- ┐(´д｀)┌
- f(^^;)
- f(^_^;)
- orz
- σ(￣▽￣;)
- ヽ(´o｀;

(@^^)/~~~
(@＾＾@) ／
(@＾▽゜@) ゞ
(^.^)/~~~
(^.^) ノ
(^^)/~~~
(^ ー゜) ノ
(^ ー ^) ノ
(^o^) ／
(^O^) ／
(-_-).｡ oO
(-_-)zzz
(｀ー ´ ゞ-☆
(｀◇ ´) ゞ
(￣ー￣ゞ−☆
(￣▽￣) ゞ
(￣O￣)/
(￣q￣) z z z
(´ ー ｀) ノ
(´ ・ω・`)/~~
(‘ー ‘)/~~
(’ -’ *) ♪
(+.+)(-.-)(__)..zzZZ
(>_<)/~~
(＞＜*) ノ~~~~~

(⌒∇⌒) ノ
"(⌒∇⌒) ノ""
(゜◇゜) ゞ
(・∀・) ノ
(・ω・) ノ
(・ω・｀=) ゞ
(・д・) ノ
(-o-)/
(o゜◇゜) ゝ
(o・・o)/~
＼ (´O｀) ／
＼(・o・) ／
_(..)_
_(._.)_
¦＾▽＾) ノ
<(_ _*)>
☆⌒ (＊＾∇゜) v
♪ (o・ω・) ノ))
♪ v(*'-^*)^☆
♪Ю―(^▽^o) ♪
m(._.)m
m(｡ _｡)m
人 (￣ω￣;)
ヾ (*T▽T*)
ヾ (´ ー｀) ノ
ヾ (・◇・) ノ

●アクション

＼(^^) ／
＼(^-^) ／
＼(^_^) ／
＼(^o^) ／
m(__)m
(..)
(^^)d
(^q^)
(__)
:-p
;-)
f(^_^)
(((^^;)
(((^_^;)
(((・・;)
(-.-)y-~
(-.-)Zzz・・・・
(-.-) ノ⌒-~
(-｡ -)y-~
(/_;)/~~
(゜゜;)＼(--;)
(;_;)/~~~
(^｡ ^)y-~
(^^;)))

(^^ ゞ
(^-^ ゞ
(^_^)/~~
(^_^;)))
(^_^ ゞ
(^ ∧ ^)
(^3^)/
(^o^) ／~~
(^o^ ゞ
(^ з ^)-☆
(^ 人 ^)
(-_-)/~~~
(⌒O⌒) ／~~
(・・;)))
(゜o゜) ＼(-_-)
┐ ('～`;) ┌
p(^^)q
p(^-^)q
q(^-^q)
σ (^_^;)?
φ (゜゜) ノ゜
φ (..)
φ (. .)
(/--)/
(>.<)y-~

- c(>_<。)シ*
- C=C=＼(;・_・)／
- d(^-^)
- d(⌒ー⌒)!
- L(　‘▽　‘)／
- m(._.)m
- m(。_。)m
- o(*￣○￣)ゝ
- o(*⌒—⌒*)o
- o(*⌒O⌒)b
- o(^-^o)(o^-^)o
- o (____*) Z z z
- o(｀^´*)
- o(￣ー￣)○☆
- o(><;)(;><)o
- o(T△T=T△T)o
- v(^o^)
- v(￣Д￣)v
- v(=∩_∩=)
- v(・∀・*)
- ﾟﾟﾟﾟﾟ -y(^。^)。oO○
- ε-(´ー`*)
- ε=（￣。￣ ）
- ε=ε=(ノ≧∇≦）ノ
- ε=ε=┏(・＿・)┛
- ρ(^o^)b_♪♪
- ρ（ーoー)♪
- σ(*´∀`*)
- σ(^_^)
- σ(￣∇￣;)
- σ(´・д・`)
- σ(≧ω≦*)
- σ(・_・)
- σ(o・ω・o)
- φ(・・;
- Ψ(￣∇￣)Ψ
- щ(ﾟ▽ﾟщ)
- ヘ(^^ヘ)
- ヘ(＿ヘ)☆＼(^^;)
- ヘ（×_×；）ヘ
- ヘ(・。・。)
- ヘ(・・ヘ)。。
- ヘ(・o・ミ・o・)ヘ
- 三(|||´Д`)
- 三(ﾟ∀ﾟ)
- ヽ（´ー‘）ノ⌒○
- ヽ(*´▽)ノ♪
- ヾ(--;)
- ヾ(^^ヘ)
- ヽ(^○^)ノ
- ヽ(^o^;)ノ
- ゞ(^o^ゝ)≡(/^_^)/"
- ゞ(｀´)
- ヽ(￣▽￣)ノ
- ヽ(´ー`)ノ
- ヾ(´▽`*)ゝ
- ヽ(´・`)ノ
- ヽ(´o`;
- ヾ(¬。¬)
- ヾ(・・;)
- ヾ(・o・*)シ
- ヾ(ﾟOﾟ*)ノ?

● ラブ・友情

- (^3^)/
- (^ з ^)-☆
- (*^)(*^-^*)ゞ
- (*^-^)／＼(*^-^*)／＼(^-^*)
- (*^3(*^o^*)
- (*＾3＾）/～☆
- (*^o^)／＼(^-^*)
- (*⌒3⌒*)
- (--、)ヾ(^^)
- (／＼)＼(^o^)／
- (^^)／＼(^^)
- (＾＾）人（＾＾)
- (^3^)/～☆
- (´3`)
- (・∀・)人(・∀・)

● 動物・キャラクタ

(ΦωΦ)
(゜)#))<<
(゜)))<<
(゜))<<
(-)_(-)
(=^ェ^=)
(≡・x・≡)
.｡o○
〜〜〜〜〜(m--)m
~>゜)―――
￣(=∵=)￣
<゜)#)))彡
<゜)))彡
<*))>=<
<+))))><<
<+)))><<
<+))><<
>゜))))彡
>゜)))彡
>゜))彡
⊂(^(工)^)⊃
⌒(ë)⌒
○o｡.
☆ミ
U^ェ^U

※ 入力できる顔文字は実際の表示と多少異なります。

ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

大切な地球のために、一人ひとりができること。

それは、たとえばケータイや取扱説明書のリサイクルという、とても身近なことから始められます。

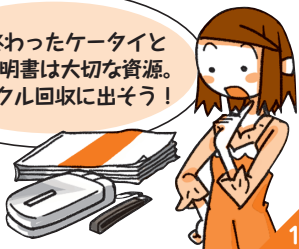
ケータイの本体や電池に含まれている希少金属や、取扱説明書などの紙類はリサイクルすることができます。
取扱説明書などの紙類は古紙原料として、製紙会社で再生紙となり、次の印刷物に生まれ変わります。また、このリサイクルによる資源の売却金は、国内の森林保全活動に役立てています。

ご不要になったケータイや取扱説明書は、お近くのauショップへ。
みなさまのご協力をお願いいたします。

新しいケータイを買った!!

使い終わったケータイと取扱説明書は大切な資源。リサイクル回収に出そう！

古いケータイと取説どーしよう？

1

回収しています

auショップへ持って行こう！

リサイクルお願いしま〜す！

使い終わったケータイに入ったデータは、バックアップや消去がしっかりとできるので安心です。

2

原材料ごとに再資源化されて新しい商品として店頭へ！

このケータイい〜な〜

取説も生まれかわるよ！

3

ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

http://www.au.kddi.com/notice/recycle/index.html

お問い合わせ先番号

お客さまセンター

総合・料金について（通話料無料）

一般電話からは	au電話からは
0077-7-111	局番なしの157番

PRESSING ZERO WILL CONNECT YOU TO AN OPERATOR AFTER CALLING 157 ON YOUR au CELLPHONE.

紛失・盗難時の回線停止のお手続き、操作方法について（通話料無料）

一般電話からは	au電話からは
0077-7-113	局番なしの113番

上記の番号がご利用になれない場合、下記の番号にお電話ください。（無料）

0120-977-033（沖縄を除く地域）

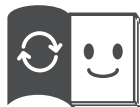
0120-977-699（沖縄）

安心ケータイサポートセンター

紛失・盗難・故障について（通話料無料）

一般電話／au電話から

0120-925-919

受付時間　9:00～21:00　（年中無休）

取扱説明書リサイクルにご協力ください。

このマークのあるお店で回収し、循環再生紙として再利用します。お近くのauショップへお持ちください。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

2012年10月第1版

発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）

輸入元：Pantech Wireless Japan Inc.

製造元：Pantech Co., Ltd.